

**EPSON**

# Web Config リファレンスガイド

TM-T88VII

M00145503

Rev.D

## ご注意

本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。

本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。

本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

## 商標について

Microsoft®、Windows®、Microsoft Edge®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Wi-Fi®は Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

WPA™、WPA2™は Wi-Fi Alliance®の商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

©Seiko Epson Corporation 2022–2025

## 本書について

### 記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

## Web Config の使い方

Web Config は、プリンターの設定確認や変更がブラウザー上でできるプリンター内蔵の Web ページです。

Web Config を使用するには、あらかじめコンピューターの IP アドレスを、プリンターと同じセグメントに設定しておく必要があります。

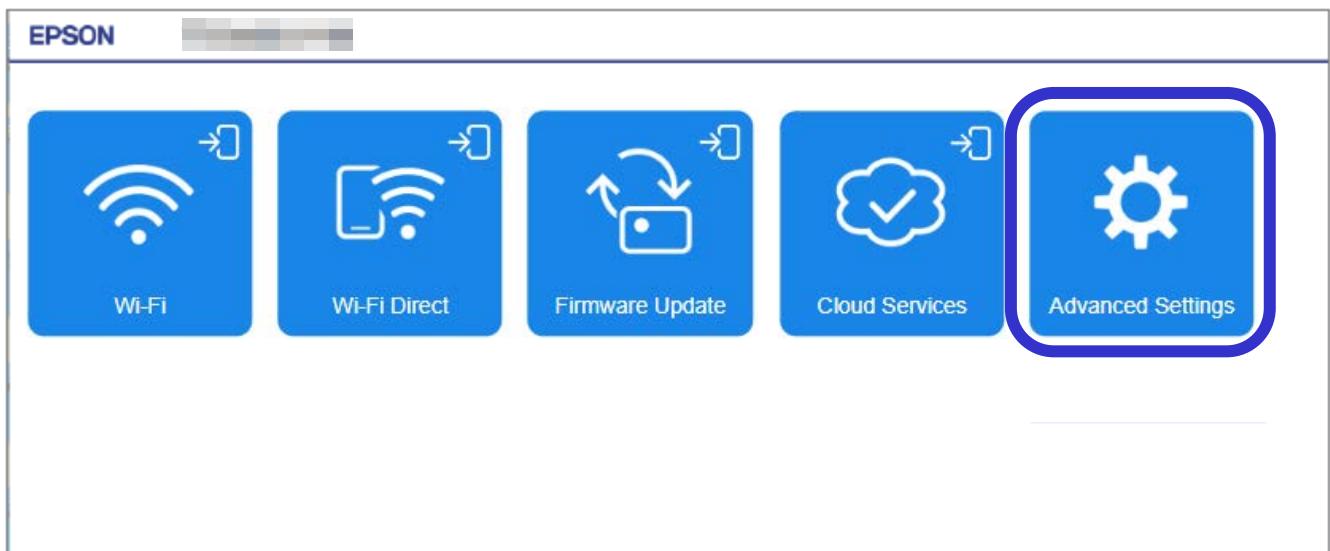
### Web Config の起動方法

1. ネットワーク上のコンピューターやスマートデバイスからブラウザーを起動し、アドレス欄にプリンターの IP アドレスを入力します。

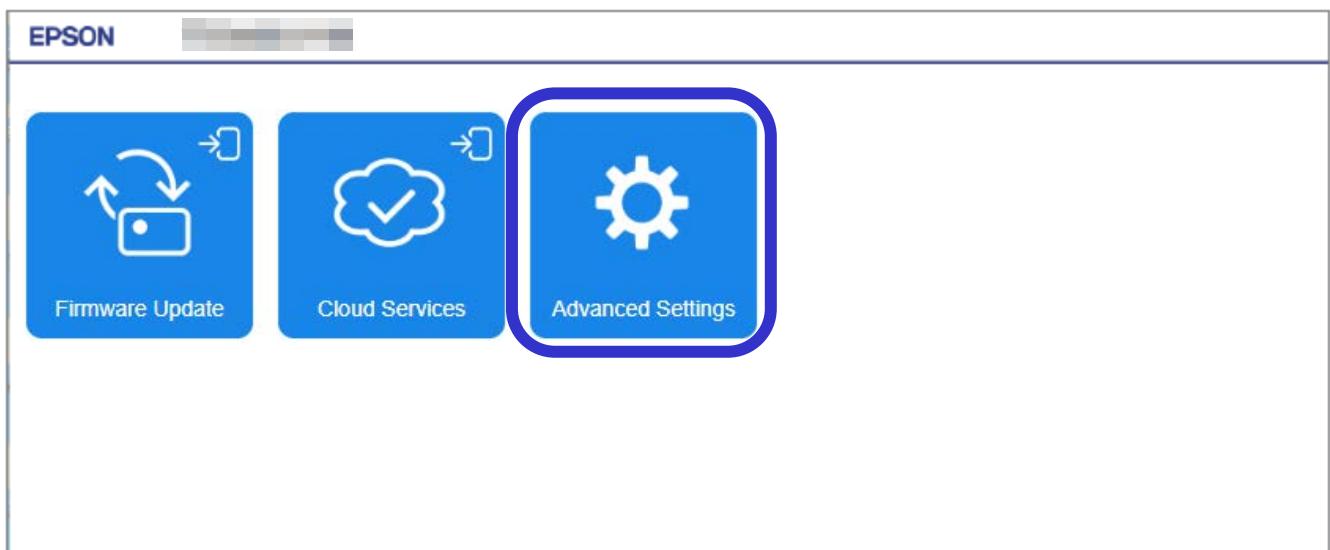
アクセス	入力例
HTTPS	IPv4 : https://192.0.2.111/ IPv6 : https://[2001:db8::1000:1]/
HTTP	IPv4 : http://192.0.2.111/ IPv6 : http://[2001:db8::1000:1]/

2. 以下の画面が表示されたら、「Advanced Settings」を選択します。それ以外の場合は、手順 3 に進んでください。

無線 LAN ユニットが接続されている



無線 LAN ユニットが接続されていない



3. Product Status 画面が表示されます。「Administrator Login」を選択します。

The screenshot shows the 'EPSON' logo at the top left and a navigation bar with 'Status' and 'Administrator Login'. The main area is titled 'Product Status' and contains sections for 'Printer Status' (Available), 'Firmware' (06.16.DM15L1), 'Root Certificate Version' (02.02), 'MAC Address' (DC:CD:2F:16:A0:7E), 'Date and Time' (05-06-2022 PM 10:51 UTC+09:00), and 'Administrator Name/Contact Information'. A 'Refresh' button is at the bottom left, and 'Software Licenses' is at the bottom right.

4. 認証画面が表示されたらパスワードを入力し、ログインします。

パスワードの初期設定値は製品のシリアルナンバーです。シリアルナンバーはセルフテスト、もしくは製品に貼られた製造銘板で確認できます。



ブラウザーの JavaScript を有効にしてください。HTTPS アクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Config を起動するとブラウザーに警告が表示されます。

#### 対象機種

本書は、以下のプリンターの Web Config について説明します。

- TM-T88VII

## 目次

ご注意.....	2
商標について .....	2
本書について .....	2
記号の意味 .....	2
Web Config の使い方 .....	3
Web Config の起動方法.....	3
対象機種.....	4
目次 5	
1. 適用 .....	9
1.1 定義.....	9
1.2 用語.....	9
2. 対応端末 .....	10
3. ページ構成 .....	10
3.1 基本設定ページ .....	10
3.1.1 スマートフォン向け構成.....	10
3.1.2 PC 向け構成.....	11
3.2 詳細設定ページ .....	12
4. 表示言語 .....	12
5. トップページ .....	13
5.1 URL .....	13
5.2 JavaScript .....	13
6. 管理者パスワード設定 .....	14
6.1 トップページ .....	14
6.1.1 イメージ図 .....	14
6.1.2 設定項目 .....	14
6.1.3 ボタン .....	15
7. ユーザー認証 .....	16
7.1 認証方法 .....	16
7.2 常時閲覧可能なページ .....	16
7.3 ログオンページ .....	16
7.3.1 イメージ図 .....	16
7.3.2 入力項目 .....	17
7.3.3 ボタン .....	17
7.4 ログオン失敗ページ .....	18
7.4.1 イメージ図 .....	18
7.4.2 認証結果 .....	18
8. 共通仕様 .....	19
8.1 パスワード入力欄 .....	19
9. 基本設定ページ .....	20
9.1 メインページ .....	20
9.1.1 トップページ .....	20
9.1.1.1 イメージ図 .....	20
9.1.1.2 リンク項目 .....	21

9.2	ログオンページ .....	22
9.2.1	イメージ図 .....	22
9.2.2	入力項目 .....	22
9.2.3	ボタン .....	23
9.3	ログオン失敗ページ .....	24
9.3.1	イメージ図 .....	24
9.3.2	認証結果 .....	24
9.4	無線 LAN 設定ページ .....	25
9.4.1	トップページ .....	25
9.4.1.1	イメージ図 .....	25
9.4.1.2	設定項目 .....	25
9.4.1.3	ボタン .....	25
9.4.2	SSID 設定ページ .....	26
9.4.2.1	イメージ図 .....	26
9.4.2.2	設定項目 .....	26
9.4.2.3	ボタン .....	26
9.4.3	設定結果ページ .....	27
9.4.3.1	イメージ図 .....	27
9.4.3.2	設定結果 .....	27
9.4.3.3	ボタン .....	27
9.5	Wi-Fi Direct 設定ページ .....	28
9.5.1	トップページ .....	28
9.5.1.1	イメージ図 .....	28
9.5.1.2	設定項目 .....	28
9.5.1.3	ボタン .....	28
9.5.2	設定結果ページ .....	29
9.5.2.1	イメージ図 .....	29
9.5.2.2	設定結果 .....	29
9.5.2.3	ボタン .....	29
9.6	ファームウェアアップデートページ .....	30
9.6.1	トップページ .....	30
9.6.1.1	イメージ図 .....	30
9.6.1.2	表示項目 .....	30
9.6.1.3	説明文 .....	30
9.6.1.4	ボタン .....	31
9.6.2	ファームウェア確認中ページ .....	31
9.6.2.1	イメージ図 .....	31
9.6.2.2	説明文 .....	31
9.6.2.3	ボタン .....	31
9.6.3	アップデート前確認ページ .....	32
9.6.3.1	イメージ図 .....	32
9.6.3.2	説明文 .....	32
9.6.3.3	ファームウェアアップデートデータ情報 .....	32
9.6.3.4	ボタン .....	32
9.6.4	キャンセル中ページ .....	33
9.6.4.1	イメージ図 .....	33
9.6.4.2	説明文 .....	33
9.6.4.3	ボタン .....	33
9.6.5	結果表示ページ .....	34
9.6.5.1	イメージ図 .....	34
9.6.5.2	設定結果 .....	34
9.6.5.3	ボタン .....	34

9.7	詳細設定ページへのリンク.....	35
9.8	クラウドサービス.....	36
9.8.1	トップページ .....	36
9.8.1.1	クラウドサービス無効状態 .....	36
9.8.1.2	クラウドサービス有効状態 .....	37
9.8.1.3	クラウドサービス設定変更中状態.....	39
9.8.2	設定結果ページ .....	40
9.8.2.1	イメージ図.....	40
9.8.2.2	設定結果.....	40
9.8.2.3	ボタン.....	40
10.	表示・設定ページ .....	41
10.1	情報確認 - Status.....	41
10.1.1	製品情報 - Product Status .....	41
10.1.1.1	トップページ .....	41
10.1.2	ネットワーク情報 - Network Status.....	47
10.1.2.1	トップページ .....	47
10.1.3	TM-Intelligent.....	55
10.1.3.1	トップページ .....	55
10.1.3.2	Device Admin - Printer .....	55
10.1.3.3	Device Admin - Customer Display .....	56
10.1.3.4	Services - ePOS-Print .....	57
10.1.3.5	Services - ePOS- Device.....	57
10.1.3.6	Services - Server Direct Print .....	58
10.1.3.7	Services - Status Notification .....	59
10.1.3.8	Services - Print Data Parsing .....	60
10.1.3.9	Miscellaneous Settings - Proxy .....	60
10.1.3.10	System - Reset .....	61
10.1.3.11	System - Help .....	62
10.2	ネットワーク - Network .....	63
10.2.1	ネットワーク基本 - Network Basic .....	63
10.2.1.1	トップページ .....	63
10.2.1.2	入力確認ページ .....	67
10.2.1.3	設定結果ページ .....	68
10.2.2	無線 LAN - Wi-Fi .....	69
10.2.2.1	トップページ .....	69
10.2.2.2	SSID 探索ページ .....	70
10.2.2.3	設定入力ページ .....	70
10.2.2.4	入力確認ページ .....	72
10.2.2.5	結果表示ページ .....	74
10.2.3	有線 LAN - Wired LAN .....	75
10.2.3.1	トップページ .....	75
10.2.3.2	入力確認ページ .....	75
10.2.3.3	設定結果ページ .....	76
10.2.4	Wi-Fi Direct .....	77
10.2.4.1	トップページ .....	77
10.2.4.2	入力確認ページ .....	79
10.2.4.3	設定結果ページ .....	80
10.3	ネットワークセキュリティー - Network Security .....	81
10.3.1	プロトコル - Protocol .....	81
10.3.1.1	トップページ .....	81
10.3.1.2	入力確認ページ .....	86
10.3.1.3	結果表示.....	87

10.3.2 相手サーバー検証用 CA 証明書 - CA Certificate .....	88
10.3.2.1 トップページ .....	88
10.3.2.2 インポートページ - Import page.....	89
10.3.2.3 結果表示ページ .....	90
10.3.3 SSL/TLS .....	92
10.3.3.1 基本 - Basic.....	92
10.3.3.2 証明書 - Certificate .....	95
10.3.4 証明書自動更新 - Automatic Certificate Update.....	104
10.3.4.1 トップページ .....	104
10.3.4.2 入力確認ページ .....	105
10.3.4.3 結果表示.....	106
10.3.5 IPsec/IP フィルタリング - IPsec/IP Filtering.....	107
10.3.5.1 基本- Basic.....	107
10.3.5.2 クライアント証明書 - Client Certificate .....	123
10.3.6 IEEE802.1X.....	134
10.3.6.1 基本.....	134
10.3.6.2 クライアント証明書設定.....	140
10.4 本体セキュリティー - Product Security .....	150
10.4.1 パスワード暗号化 - Password Encryption .....	150
10.4.1.1 トップページ .....	150
10.4.1.2 結果表示ページ .....	151
10.4.2 管理者パスワード変更 - Change Administrator Password .....	152
10.4.2.1 トップページ .....	152
10.4.2.2 結果表示.....	153
10.5 デバイス管理 - Device Management.....	155
10.5.1 設定のエクスポート/インポート - Export and Import Setting Value.....	155
10.5.1.1 エクスポート/インポートカテゴリー.....	155
10.5.1.2 エクスポート - Export .....	157
10.5.1.3 インポート - Import .....	160
10.5.2 フームウェアアップデート- Firmware Update .....	166
10.5.2.1 トップページ .....	166
10.5.2.2 フームウェア確認中ページ - Firmware search process page .....	167
10.5.2.3 アップデート前確認ページ - Before update confirm page.....	168
10.5.2.4 キャンセル中ページ - Cancel process Page .....	170
10.5.2.5 結果表示ページ - Result page .....	171
10.5.3 管理者名/連絡先 - Administrator Name / Contact Information .....	173
10.5.3.1 トップページ .....	173
10.5.3.2 結果表示.....	173
10.5.4 日付/時刻 - Date and Time .....	174
10.5.4.1 表示形式- Display Format.....	174
10.5.4.2 日付時刻- Date and Time .....	176
10.5.4.3 時差- Time Difference.....	178
10.5.4.4 タイムサーバー- Time Server .....	180
10.6 クラウドサービス - Cloud Services .....	183
10.6.1 基本 - Basic .....	183
10.6.1.1 トップページ .....	183
10.6.1.2 結果表示.....	184
10.6.2 自動接続 - Auto Connection .....	185
10.6.2.1 トップページ .....	185
10.6.2.2 結果表示.....	186

## 1. 適用

本書は EPSON Web Config 機能(以降 ‘Web Config’)に適用する。

### 1.1 定義

本書において“”で括られる文字列については、Web Config で表示する文字列であることを示す。

### 1.2 用語

Table 1-1 用語

用語	意味
ボタン	押下することができるボタンを表現する部品。
テキストボックス	テキスト（文字列）を表示または編集するための箱をイメージした部品。読み出し専用、読み書き可能がある。
チェックボックス	いくつかあるオプションから複数の項目を選択するために使う部品。
タブ	リスト等の多数の表示内容から一つの表示を選択するためのボタン。
ラジオボタン	用意された選択項目から 1 つを選択するために使うボタン。
ドロップダウンリスト	項目の一覧が引き出され、その項目から一つが選択できる部品。
フレーム	ページを分割するために用いる部品。必要に応じてスクロールバーが付く。
ファイル参照ボタン	ブラウザが用意するファイル参照画面を呼び出すボタン。
赤色	Web Config の CUD-Red として RGB 値が(255,80,0)と定義する色。
UTF-8	Web ブラウザ上から入力できる文字コードの 1 つ。 1 文字を表現するために、1byte から 3bytes までの文字コードがある。 例外として、1 文字で 4bytes のサロゲートペアも存在するが、内部処理としては 1 文字を 2 文字分としてカウントする
UTF-16	Web ブラウザ上から入力できる文字コードの 1 つ。 UTF-16 で U+010000 の値を超えるものはサロゲートペアと呼ばれ、字数カウントの処理は 1 文字を 2 文字分としてカウントする。

## 2. 対応端末

Web Config は以下のプラットフォーム、Web ブラウザーにて対応する。

Table 2-1 対応端末

プラットフォーム	Web ブラウザー
Windows 11, Windows 10, Windows 8.1, Windows 8, Windows 7, Windows XP	Microsoft Edge、Firefox、Chrome
Mac OS X (10.6.8, 10.7.x, 10.8.x, 10.9.x, 10.10.x, 10.11.x, 10.12.x, 10.13.x, 10.14.x)	Safari、Firefox、Chrome
Chromebook	標準ブラウザー

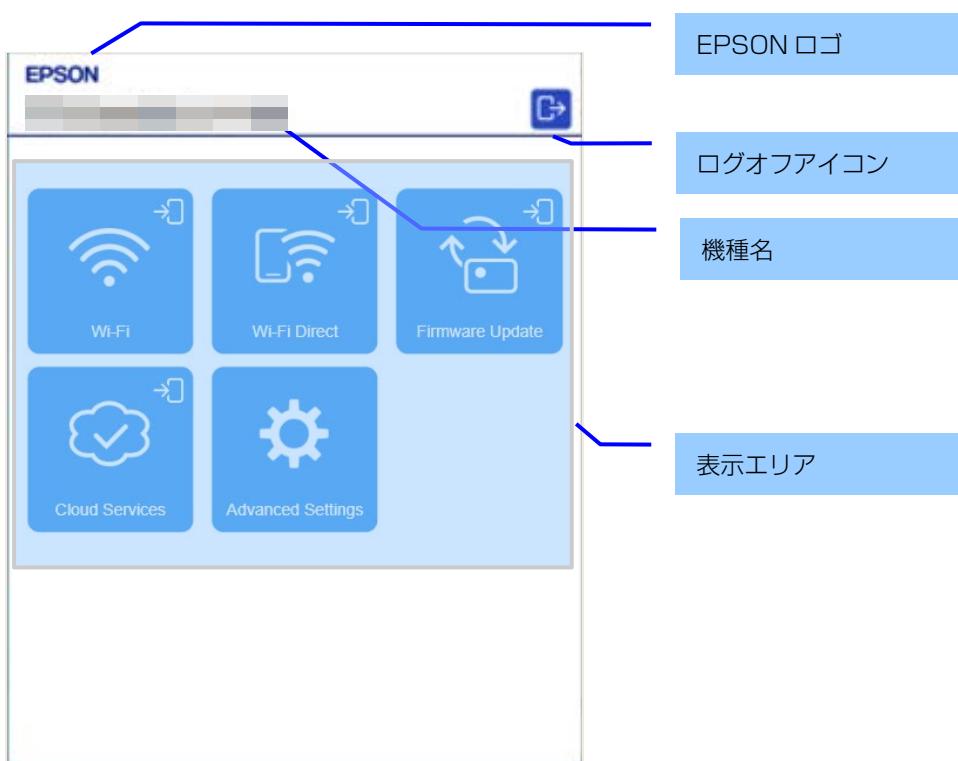
## 3. ページ構成

本章では、Web Config のページ構成について述べる。

### 3.1 基本設定ページ

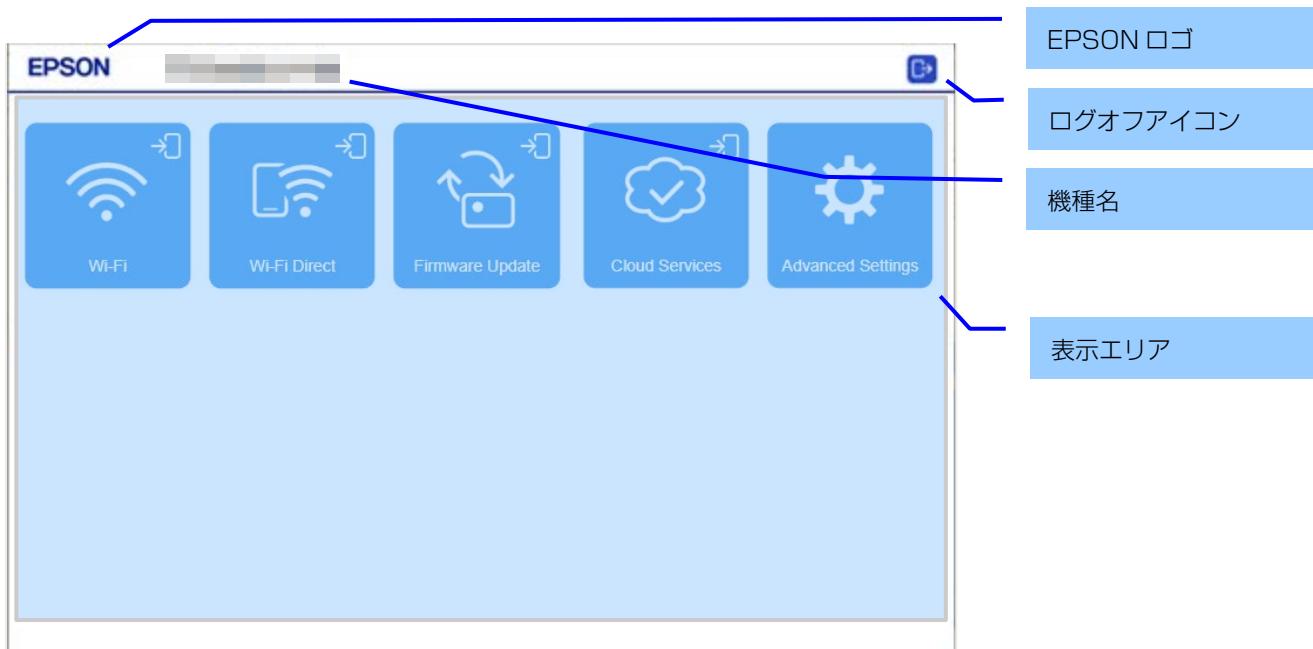
#### 3.1.1 スマートフォン向け構成

表示デバイスの幅が 700px 以下の場合には、スマートフォン向け構成で表示する



### 3.1.2 PC 向け構成

表示デバイスの幅が 700px より大きい場合は、PC 向け構成で表示する



パート	説明
EPSON ロゴ	EPSON ロゴを画像で表示する。ロゴを押下すると Web Config のトップページにアクセスする。ただし、ファームウェアアップデートページでは、トップページ以外のページでは押下してもトップページには遷移しない。
機種名	機種名を表示する。
ログオフアイコン	管理者ログオン時はログオフアイコンを表示する。ログオフアイコンを押下すると、管理者ログオフ後に Web Config のトップページにアクセスする。
表示エリア	製品の状態や設定項目を表示する。情報量が多い場合はページ全体がスクロールされる。

### 3.2 詳細設定ページ

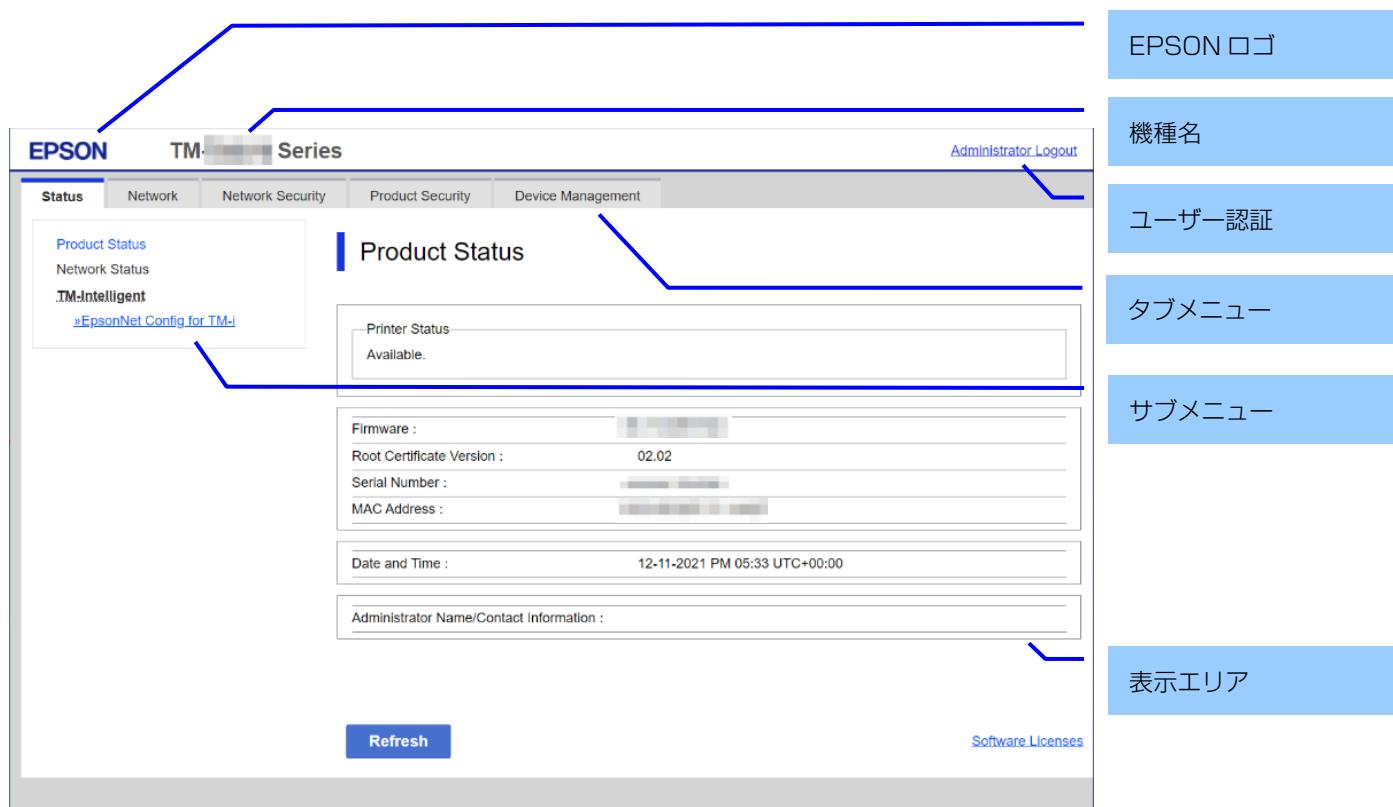


Figure 3-1 ページ構成

Table 3-1 ページ構成

パート	説明
EPSON ロゴ	EPSON ロゴを画像で表示する。
機種名	機種名を表示する。
ユーザー認証	ユーザーのログオン・ログオフを行う。ログオン時は認証情報を入力するページを表示する。“ログオン”と“ログオフ”というリンクを設ける。 ログオン時にはリンクの左側にログオン中のユーザー名を表示する（管理者ログオン時は“管理者”と表示する）。
タブメニュー	メインのメニューをタブ形式で表示する。選択されているタブメニューは強調して表示する。
サブメニュー	各タブメニューに対応するメニューを表示する。選択されているサブメニューは強調して表示する。
表示エリア	製品の状態や設定項目を表示する。情報量が多い場合はスクロールを行うが、表示エリアのみをスクロールする。

表示されるタブメニュー、サブメニューについては機能サポート参照。

### 4. 表示言語

WebConfig は仕向けに限らず日本語 / 英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / スペイン語 / ポルトガル語をサポートする。また、WebConfig を開いた際に選択されている表示言語は以下の仕様になる。

Table 4-1 表示言語の仕様

言語	条件
日本語	日本仕向けで、WebConfig での言語設定前
WebConfig で設定した言語	WebConfig での言語設定後

## 5. トップページ

---

### 5.1 URL

Web Configへのアクセスは、以下の URL で行える。

**Table 5-1 Web Config アクセスの URL**

URL	説明
http(s)://(製品の IP アドレス or デバイス名*)/PRESENTATION/ADVANCED/TOP	正式な URL
http(s)://(製品の IP アドレス or デバイス名*)	正式な URL にリダイレクトされる

\*デバイス名が DNS に登録されている必要あり。

本体の設定で HTTPS へのリダイレクト機能が有効になっている場合、HTTP でアクセスした際は HTTPS へ自動でリダイレクトする。HTTPS アクセス時に使用するサーバー証明書は、製品内部で保持する自己署名証明書を使用するため、ブラウザーに警告が発生する。任意のサーバー証明書は SSL/TLS 設定で変更する。

### 5.2 JavaScript

Web ブラウザーの設定で JavaScript が無効になっている場合、トップページは JavaScript が無効の場合でも閲覧可能であり、左側のサブメニューから各設定ページに遷移可能。ただし、右側の表示領域幅の制限や、設定ページ内の設定ボタン等が操作不可となり制限があるため、タブ上に警告アイコンと”ブラウザーの JavaScript の設定を有効にしてください。”とエラーメッセージを表示する。

## 6. 管理者パスワード設定

Web Config ヘアクセスした際に、管理者パスワードが未設定状態であれば管理者パスワードの設定ページに遷移する。

### 6.1 トップページ

#### 6.1.1 イメージ図

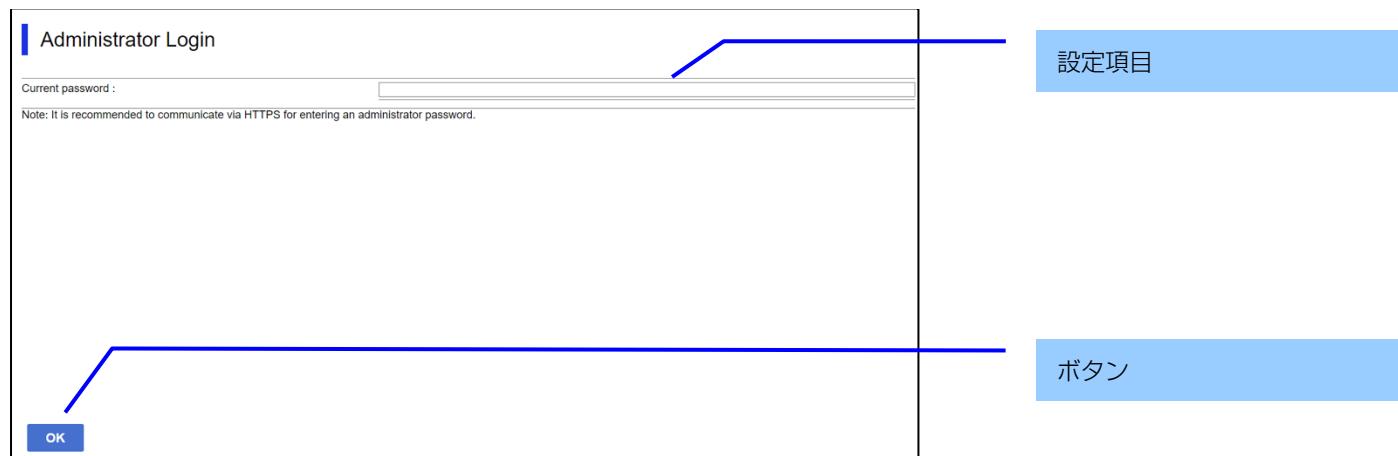


Figure 6-1 管理者パスワード設定

#### 6.1.2 設定項目

以下に設定項目について記載する。

Table 6-1 設定項目

項目	説明	有効条件
"User Name"	現在設定されている管理者ユーザー名を入力するためのテキストボックス。 ASCII 文字コード（0x20-0x7E）（英数字記号）0～20 文字。 テキストボックス内には現在設定されているユーザー名を表示する。	管理者ユーザー名が設定可能な機種でのみ表示する。
"Enter between 0 and 20 characters."	ユーザー名の入力用テキストボックス上部に、表示する。	管理者ユーザー名が設定可能な機種でのみ表示する。
"New Password"	新しく設定するパスワードを入力するためのテキストボックス。 ASCII 文字コード（0x20-0x7E）（英数字記号）1～20 文字。 ただし、パスワードポリシー反したパスワードの場合は設定に失敗する。	-
"Enter between %d and 20 characters."	新しいパスワードの入力用テキストボックス上部に、表示する。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ISO15408 のみ対応機種</li><li>● その他機種 “1～20 文字”</li></ul>	-
"Confirm New Password"	ASCII 文字コード（0x20-0x7E）（英数字記号）1～20 文字。 新しいパスワードと同じものを入力させるためのテキストボックス。	-
"Note: It is recommended to communicate via HTTPS for entering an administrator password."	固定文字列	-

### 6.1.3 ボタン

設定項目の入力値を反映するためのボタンを設ける。

Table 6-2 ボタン

項目	説明
"OK"	ボタンを押下することで入力値チェックを行い、問題なければトップページへ遷移する。

"OK"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 6-3 エラー ポップアップ

項目	説明
"Invalid value below."	入力されたユーザー名やパスワードの入力形式が間違っている場合に JavaScript のポップアップウィンドウで表示する。
"Password and confirm password do not match."	入力された新しいパスワードと、新しいパスワード（確認）が一致しない場合に JavaScript のポップアップウィンドウで表示する。

## 7. ユーザー認証

### 7.1 認証方法

Web Config ではユーザー名とパスワードを使用して、ユーザー認証を行うことができる。管理者パスワードはパネル UI のパネルロックパスワード、NetConfig のパスワード認証と共有する。管理者パスワード未設定状態は、全てのアクセスを管理者権限を持ったアクセスとして扱う。管理者ユーザー名とパスワードの設定/未設定状態による認証の有無を下記に示す。

Table 7-1 管理者認証状態

	管理者ユーザー名設定済み	管理者ユーザー名未設定
管理者パスワード設定済み	認証を要求する。	認証を要求する。ただし、管理者はユーザー名に何も入力しなくてもよい。
管理者パスワード未設定	"管理者パスワード設定"ページへ遷移する。	"管理者パスワード設定"ページへ遷移する。

### 7.2 常時閲覧可能なページ

以下のページは、管理者ログオン状態に関わらず、常にアクセス可能である。

Table 7-2 常時閲覧可能なページ

タブメニュー	サブメニュー
情報確認	製品情報（ソフトウェアのライセンス含む） ネットワーク情報 使用状況 ハードウェア情報

### 7.3 ログオンページ

#### 7.3.1 イメージ図

ログオンページのイメージ図を以下に示す。

[REDACTED] Series Administrator Login page. The page shows a login form with fields for 'Current password' and a note about using HTTPS. A blue bracket points from the 'Input Item' label to the password field. Another blue bracket points from the 'Button' label to the 'OK' button at the bottom left."/>

The screenshot shows the 'Administrator Login' page of an EPSON TM-

Figure 7-1 ログオンページ

### 7.3.2 入力項目

**Table 7-3 入力項目**

項目	説明	有効条件
"User name"	現在設定されているユーザー名を入力させるためのテキストボックス。 本テキストボックスにカーソルがあたった状態で Enter キーを押した場合、"確認"ボタン押下時と同等の処理を行う。	-
"Current password"	現在設定されているパスワードを入力させるためのテキストボックス。入力した値は*でマスクして表示する。 本テキストボックスにカーソルがあたった状態で Enter キーを押した場合、"確認"ボタン押下時と同等の処理を行う。	-
"Note: It is recommended to communicate via HTTPS for entering an administrator password."	コメント	-
"The initial password is provided on the label attached to the product. For more details, please refer to the user manual."	コメント	-
"The initial password is the product's serial number. Please check the serial number. For more details, please refer to the user manual."	コメント	-

### 7.3.3 ボタン

**Table 7-4 ボタン**

項目	説明
"OK"	ログオンを行うためのボタン。ログオンに成功すると情報確認タブの製品情報ページを表示する。

管理者ログオンページは以下のケースで表示される。

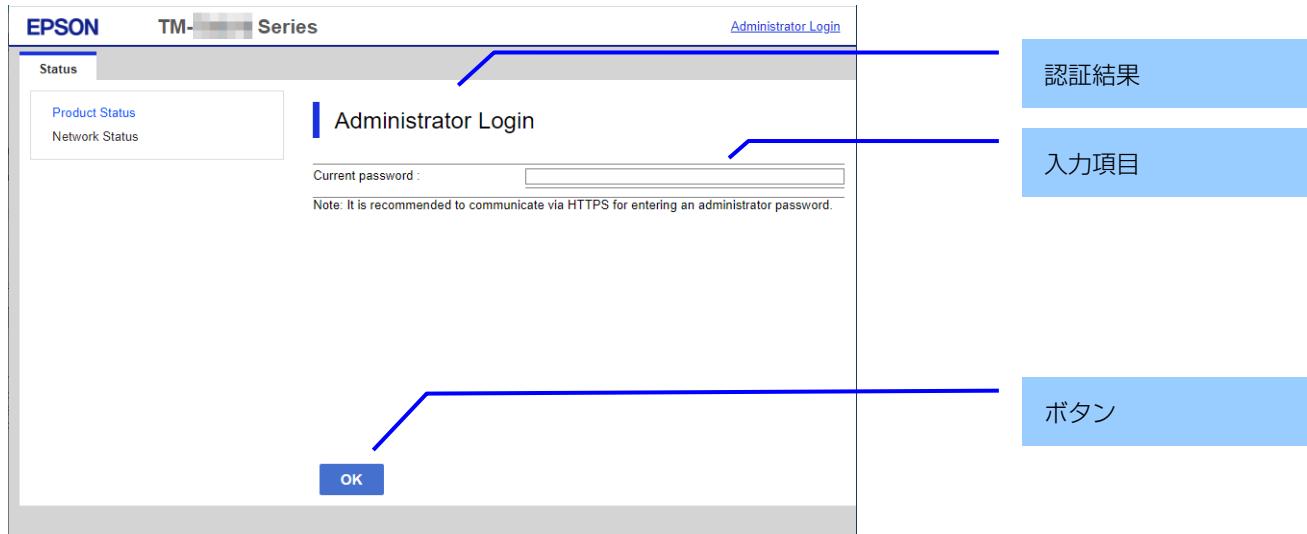
- ユーザー認証のリンクで管理者ログオンが選択されたとき。
- 管理者ログオフ状態のブラウザーから管理者ログオン時のみアクセスできるページに直接アクセスした場合。
- Web Config への最終アクセスから 20 分以上たった後の Web Config アクセス時。
- 管理者ログオン中に別のブラウザーから管理者ログオンされた後の Web Config アクセス時。

## 7.4 ログオン失敗ページ

ログオンに失敗した場合、認証結果付のログオンページを表示する。

このとき、ユーザー名は直前の入力値が残った状態で表示し、パスワードは空の状態で表示する。

### 7.4.1 イメージ図



### 7.4.2 認証結果

Table 7-5 設定結果

項目	説明
"Incorrect password."	入力されたパスワードが間違っていた場合に表示する。 本項目は赤文字で表示する。 本項目は、管理者でログオンが失敗した際に表示する。
"Authentication failed." "Try again later."	管理者ログインのロックアウトによる失敗、もしくは登録ユーザーの ログオンに失敗した際に表示する。 本項目は赤文字で表示する。

## 8. 共通仕様

---

### 8.1 パスワード入力欄

Web Config のパスワード入力欄は以下の共通仕様を持つ。

- ・ 入力した文字は、ブラウザー上でマスクして表示する。マスク表示はブラウザーの仕様に依存する。（実現方法として HTML 上では `type` 属性に“password”を指定する）
- ・ パスワードが 1 文字以上で設定済みの場合は、テキストボックスの `value` 属性に\*（アスタリスク）を 10 個表示する。
- ・ パスワードが空の場合は、テキストボックスの `value` 属性を空で表示する。ただしパスワードが空でも\*（アスタリスク）10 個で表示する場合があり、その条件は各項目で説明する。
- ・ パスワードが\*（アスタリスク）10 個で入力された場合（設定済みの状態から変更がない場合）、パスワードの変更は行わない。

## 9. 基本設定ページ

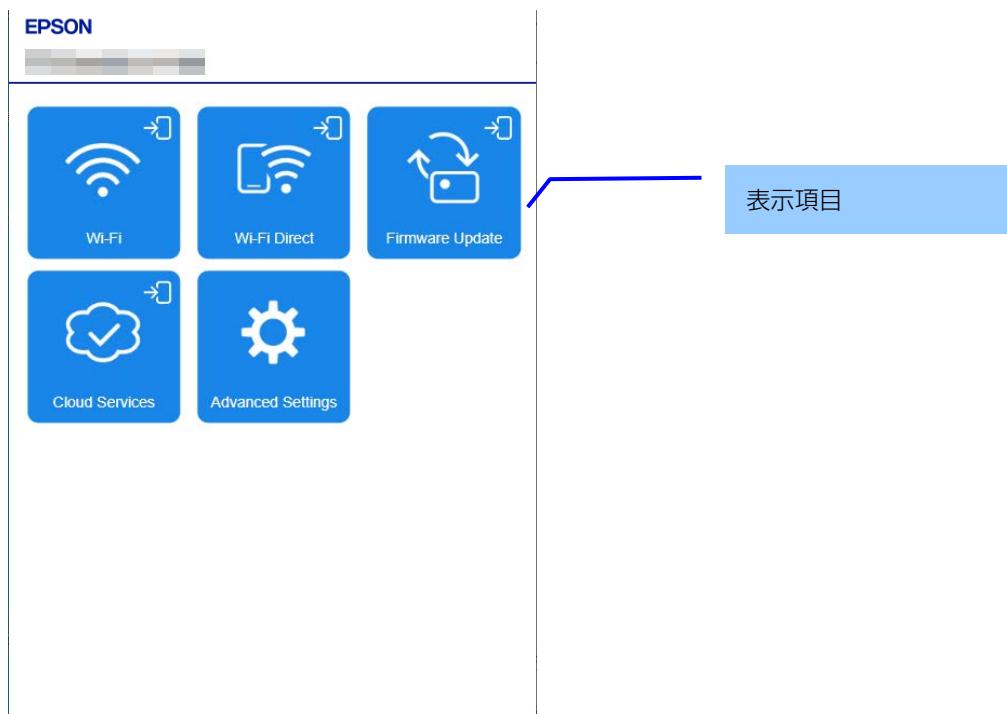
製品のファームウェアのバージョンにより、表示されません。

### 9.1 メインページ

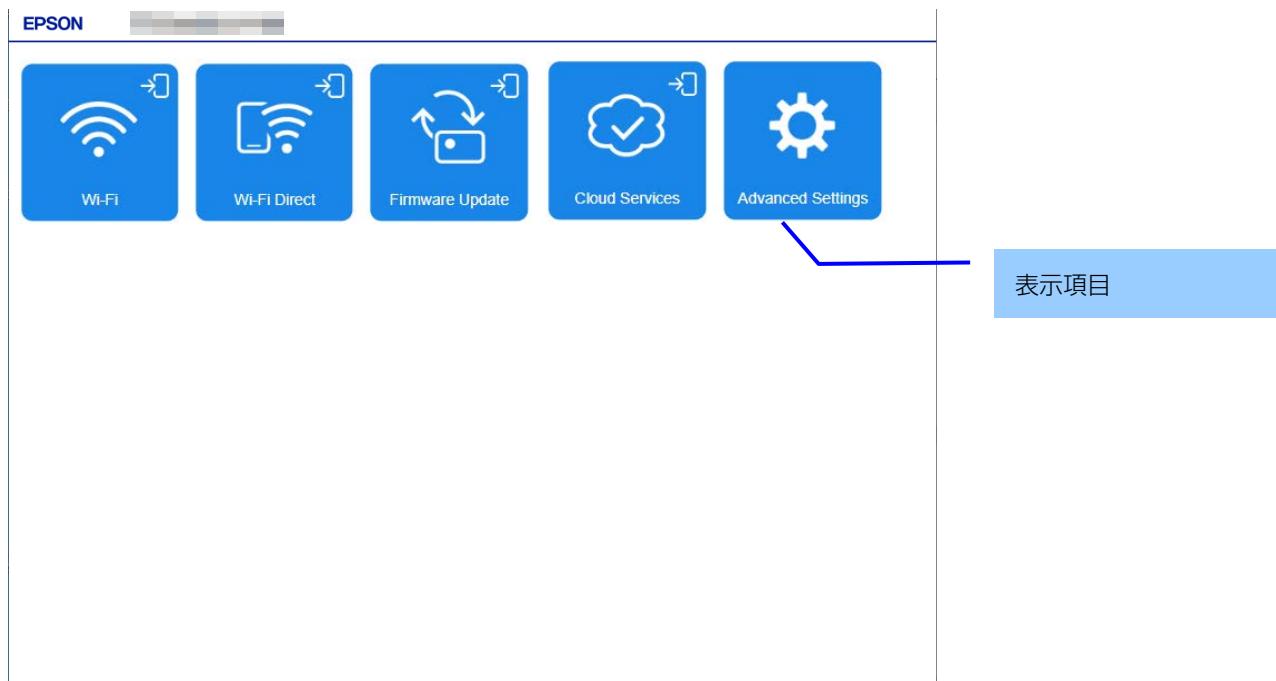
#### 9.1.1 トップページ

##### 9.1.1.1 イメージ図

###### 9.1.1.1.1 スマートフォン向け構成



###### 9.1.1.1.2 PC 向け構成

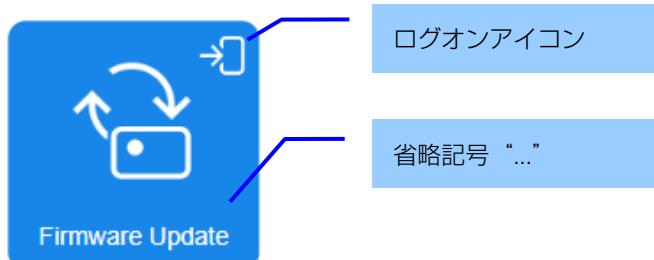


### 9.1.1.2 リンク項目

リンク項目は正方形のボタン形式で表示する。スマートフォン向け構成では横3×縦N、PC向け構成では横5×縦Nのレイアウトで表示する。

未ログオン状態で、かつログオンが必要なリンク項目には、ボタンの右上にログオンアイコンを表示する。

項目名称の長さが正方形のボタンの幅よりあふれる場合は、省略記号“...”を表示する。



項目	説明	有効条件
“Wi-Fi”	無線 LAN 設定のトップページにアクセスする	-
“Wi-Fi Direct”	Wi-Fi Direct 設定のトップページにアクセスする	-
“Firmware Update”	ファームウェアアップデートのトップページにアクセスする	-
“Advanced Settings”	詳細設定のトップページにアクセスする	-
“Cloud Services”	クラウドサービス接続ページにアクセスする	-

† ログオンアイコンが表示されたリンク項目を押下した場合は、まずログオンページにアクセスし、ログオン成功すると各トップページにアクセスする。

## 9.2 ログオンページ

### 9.2.1 イメージ図

ログオンページのイメージ図を以下に示す。

EPSON  
TM-T88VII Series

Log in

Current password :

Note: It is recommended to communicate via HTTPS for entering an administrator password.  
The initial password is provided on the label attached to the product. For more details, please refer to the user manual.

Back to Main      OK

Figure 9-1 ログオンページ

### 9.2.2 入力項目

Table 9-1 入力項目

項目	説明	有効条件
"Current password"	現在設定されているパスワードを入力させるためのテキストボックス。入力した値は*でマスクして表示する。 本テキストボックスにカーソルがあたった状態で Enter キーを押した場合、"OK"ボタン押下時と同等の処理を行う。 " "押下で入力した値を表示する。 " "押下で入力した値を*でマスクして表示する。	-
"Note: It is recommended to communicate via HTTPS for entering an administrator password."	コメント	-
"The initial password is provided on the label attached to the product. For more details, please refer to the user manual."	コメント	英国 PSTI 法案対応機種(仕向け)であれば表示する。
"The initial password is the product's serial number. Please check the serial number. For more details, please refer to the user manual."	コメント	英国 PSTI 法案非対応機種(仕向け)であれば表示する。

### 9.2.3 ボタン

Table 9-2 ボタン

項目	説明
"OK"	ログオンを行うためのボタン。ログオンに成功すると各機能の先頭ページを表示する。
"Back to Main"	メインページを表示する。

管理者ログオンページは以下のケースで表示される。

- ・ ユーザー認証のリンクで管理者ログオンが選択されたとき。
- ・ 管理者ログオフ状態のブラウザーから管理者ログオン時のみアクセスできるページに直接アクセスした場合。
- ・ WebConfig への最終アクセスから 20 分以上たった後の WebConfig アクセス時。
- ・ 管理者ログオン中に別のブラウザーから管理者ログオンされた後の WebConfig アクセス時。

### 9.3 ログオン失敗ページ

ログオンに失敗した場合、認証結果付のログオンページを表示する。

このとき、ユーザー名は直前の入力値が残った状態で表示し、パスワードは空の状態で表示する。

#### 9.3.1 イメージ図



#### 9.3.2 認証結果

Table 9-3 設定結果

項目	説明
"Incorrect password."	入力されたパスワードが間違っていた場合に表示する。 本項目は赤文字で表示する。 本項目はユーザー名入力非対応機種で、管理者でログオンが失敗した際に表示する。
"Authentication failed." "Try again later."	管理者ログインのロックアウトによる失敗、もしくは登録ユーザーのログオンに失敗した際に表示する。 本項目は赤文字で表示する。

## 9.4 無線 LAN 設定ページ

オプションの無線 LAN ユニットが接続されていない場合は、表示されません。

### 9.4.1 トップページ

#### 9.4.1.1 イメージ図



#### 9.4.1.2 設定項目

Table 9-4 設定項目

項目	説明	有効条件
"SSID"	SSID 探索で見つかった SSID と手動の選択肢をラジオボタンで選択する。	-

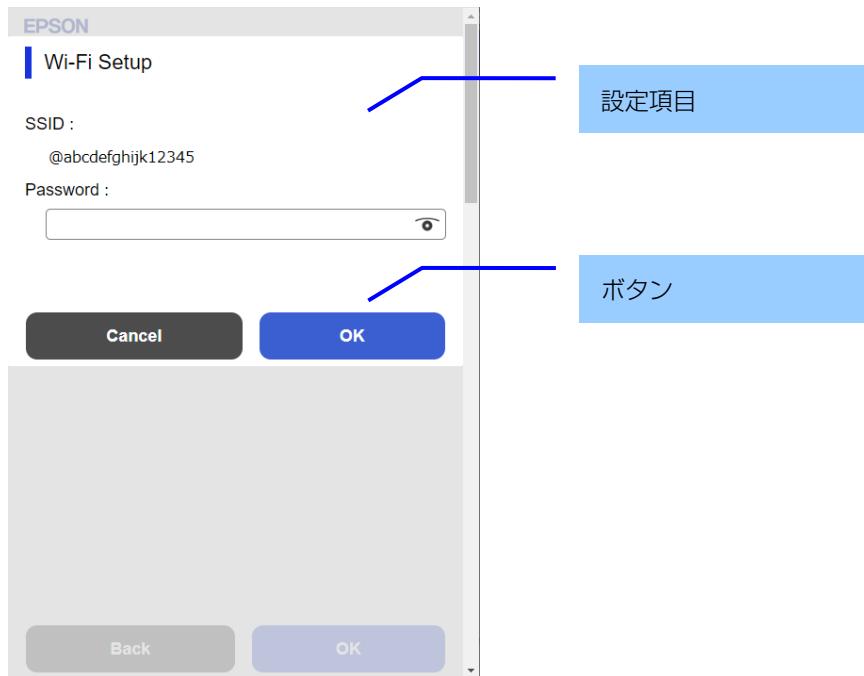
#### 9.4.1.3 ボタン

Table 9-5 ボタン

項目	説明	有効条件
"OK"	SSID 接続を行うための設定ページへ遷移する。	-
"Back"	メインページへ遷移するためのボタン。	-

## 9.4.2 SSID 設定ページ

### 9.4.2.1 イメージ図



### 9.4.2.2 設定項目

Table 9-6 設定項目

項目	説明	有効条件
"SSID"	検索リストから選択された場合は、選択された SSID を固定文字列で表示する。 手動の場合はテキストボックスで設定を行う。	-
"Password"	パスワードを入力するテキストボックスを設ける。以下の文字をテキストボックスに 0、5、8~63 文字の範囲で入力可能である（ASCII コードで 0x20-0x7E の範囲）。ただし入力時の表示は"**"でマスクする。	検索リストから選択された SSID が PW 未設定の場合は非表示とする。

### 9.4.2.3 ボタン

Table 9-7 ボタン

項目	説明	有効条件
"OK"	SSID 接続を行うための設定ページへ遷移する。	-
"Cancel"	ポップアップを消すボタン	-

### 9.4.3 設定結果ページ

#### 9.4.3.1 イメージ図

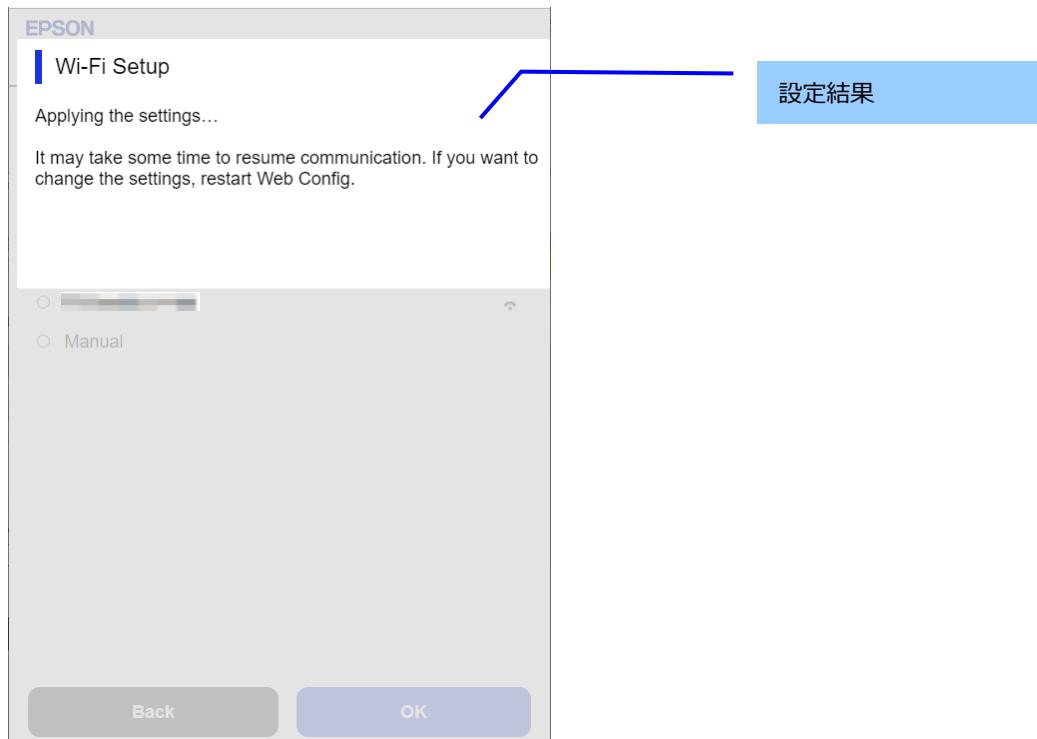


Figure 9-2 設定結果ページ

#### 9.4.3.2 設定結果

Table 9-8 設定結果

項目	説明
"Setup complete.\nIt may take some time to resume communication. If you want to change the settings, restart Web Config."	設定に成功したときに表示する。
"Setup failed."	設定に失敗したときに表示する。

#### 9.4.3.3 ボタン

Table 9-9 ボタン

項目	説明	有効条件
"Back to Main"	メインページに遷移するためのボタン。	設定が失敗した時のみ表示する。

## 9.5 Wi-Fi Direct 設定ページ

オプションの無線 LAN ユニットが接続されていない場合は、表示されません。

### 9.5.1 トップページ

#### 9.5.1.1 イメージ図



#### 9.5.1.2 設定項目

Table 9-10 設定項目

項目	説明	有効条件
"Wi-Fi Direct"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Enable" / "Disable"	-
"The number of connected devices"	Wi-Fi Direct 接続している機器の数を、接続機器数/最大接続可能数で表示する。	"Wi-Fi Direct"が"Enable"のときのみ表示する。

#### 9.5.1.3 ボタン

Table 9-11 ボタン

項目	説明	有効条件
"Back"	メインページへ遷移するためのボタン。	-
"OK"	設定を開始するためのボタン。 ボタンが押されると設定結果ページへ遷移する。	-

## 9.5.2 設定結果ページ

### 9.5.2.1 イメージ図

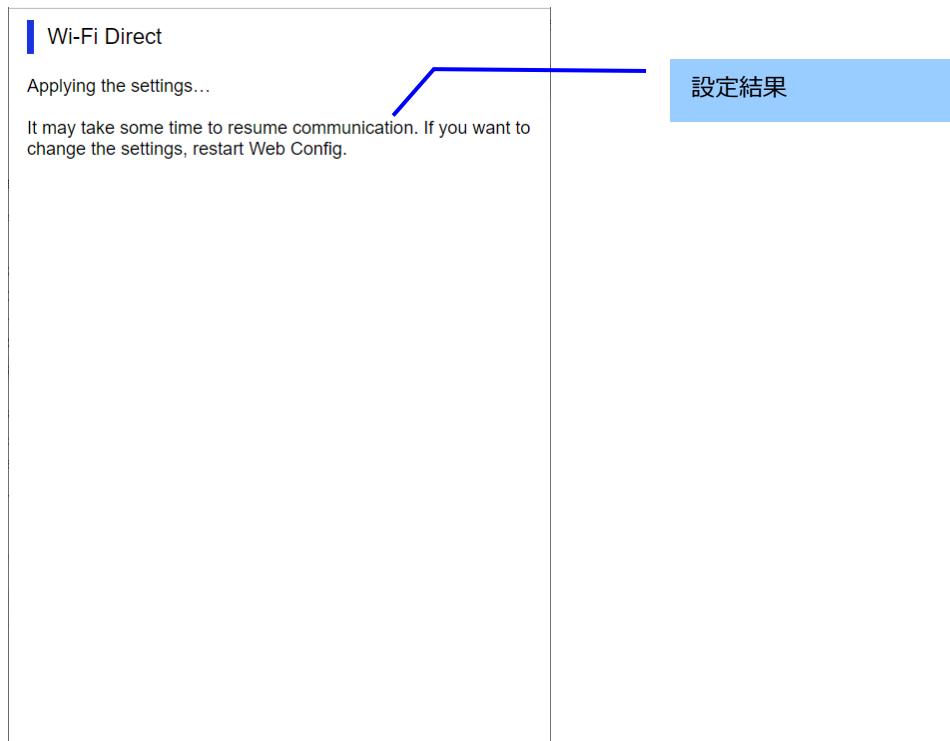


Figure 9-3 設定結果ページ

### 9.5.2.2 設定結果

Table 9-12 設定結果

項目	説明
"Setup complete.\nIt may take some time to resume communication. If you want to change the settings, restart Web Config."	設定に成功したときに表示する。
"Setup failed."	設定に失敗したときに表示する。

### 9.5.2.3 ボタン

Table 9-13 ボタン

項目	説明	有効条件
"Back to Main"	メインページに遷移するためのボタン。	設定が失敗した時のみ表示する。

## 9.6 フームウェアアップデートページ

### 9.6.1 トップページ

#### 9.6.1.1 イメージ図



Figure 9-4 トップページ

#### 9.6.1.2 表示項目

Table 9-14 表示項目

項目	説明
"Current Version"	12 文字以下の ASCII 文字列。 XX.YY.ZZZZZ -XX: Linux Kernel バージョン -YY: Linux Appli バージョン -ZZZZZZ: Main バージョン

#### 9.6.1.3 説明文

Table 9-15 説明文

項目	説明	有効条件
"Check for the latest updates." "Note the following and click "Start"."	固定文字列	-
"Do not update the firmware while printing or scanning."	固定文字列	-
"If there is an error on the product, clear it first."	固定文字列	-
"Remove the roll paper if loaded."	固定文字列	ロール紙給紙サポート機種のみ表示する。
"Current job or queued job will be deleted."	固定文字列	-
"If the battery is low, charge it before starting."	固定文字列	バッテリー機能搭載機種のみ表示する。
"Do not turn the product off after clicking "Start"."	固定文字列 文字列の前に ! マークアイコンを表示する。	-

#### 9.6.1.4 ボタン

Table 9-16 ボタン

項目	説明
"Back"	メインページに遷移する。
"Start"	ファームウェア確認中ページに遷移する。

#### 9.6.2 ファームウェア確認中ページ

ファームウェアアップデートトップページの確認開始ボタンを押下することによって、以下のファームウェア確認中ページに遷移する。

##### 9.6.2.1 イメージ図

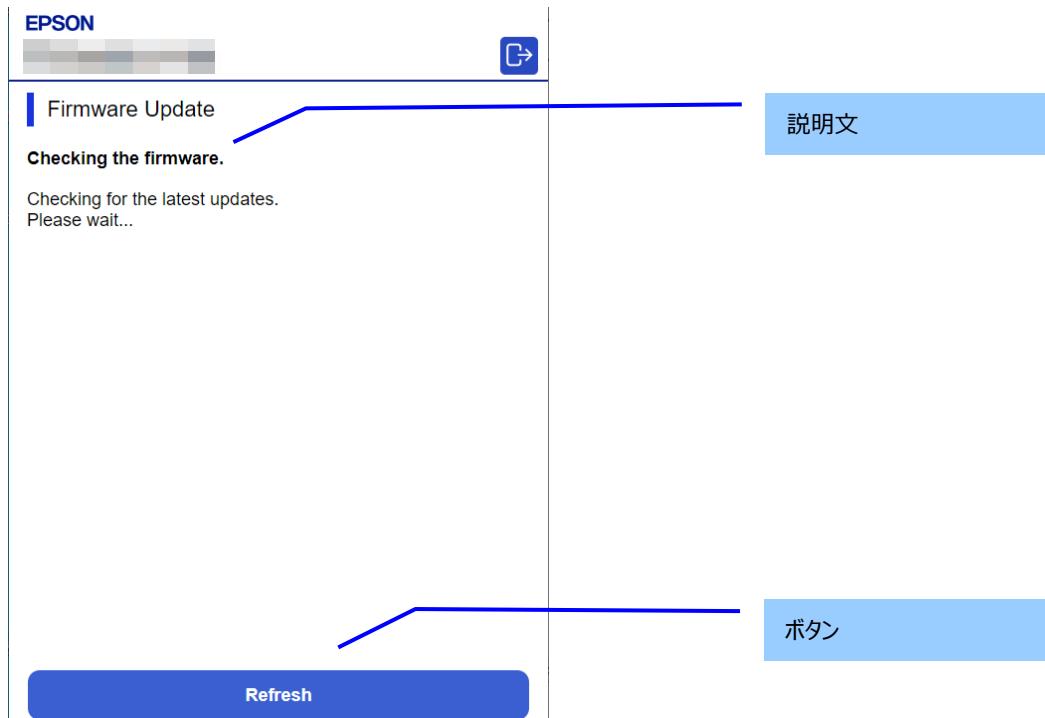


Figure 9-5 ファームウェア確認中ページ

##### 9.6.2.2 説明文

Table 9-17 説明文

項目	説明
"Checking the firmware." "Checking for the latest updates.yn Please wait..."	固定文字列

##### 9.6.2.3 ボタン

Table 9-18 ボタン

項目	説明
"Refresh"	実行中ページ最下部にボタンを設ける。 押下するとページを最新の状態へ更新する。

### 9.6.3 アップデート前確認ページ

アップデート可能なファームウェアが見つかった場合、以下のアップデート前確認ページに遷移する。

#### 9.6.3.1 イメージ図

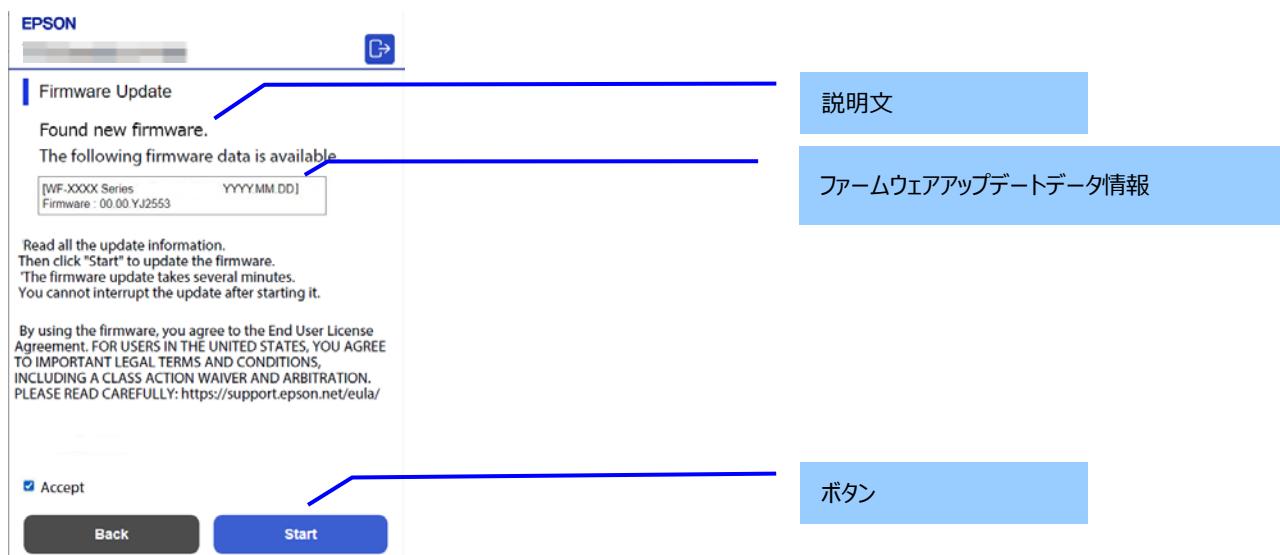


Figure 9-6 アップデート前確認ページ

#### 9.6.3.2 説明文

Table 9-19 説明文

項目	説明
"Found new firmware." "The following firmware data is available."	固定文字列
"Read all the update information. Then click "Start" to update the firmware." "The firmware update takes several minutes. You cannot interrupt the update after starting it."	固定文字列
"By using the firmware, you agree to the End User License Agreement. FOR USERS IN THE UNITED STATES, YOU AGREE TO IMPORTANT LEGAL TERMS AND CONDITIONS, INCLUDING A CLASS ACTION WAIVER AND ARBITRATION. PLEASE READ CAREFULLY: <a href="https://support.epson.net/eula/">https://support.epson.net/eula/</a> "	EULA 説明文
"Accept"	チェックボックス。本チェックボックスにチェックを入れると"Start"のボタンが有効になる。（未チェック状態の時は"開始ボタン"はグレーアウト）

#### 9.6.3.3 ファームウェアアップデートデータ情報

Table 9-20 ファームウェアアップデートデータ情報

項目	説明
Product name and release date.	10 文字以下の ASCII 文字列。 YYYY.MM.DD
Firmware	12 文字以下の ASCII 文字列。 XX.YY.ZZZZZZ -XX: Linux Kernel バージョン -YY: Linux Appli バージョン -ZZZZZZ: Main バージョン
Description	1024Byte 以下の UTF-8 文字列。

#### 9.6.3.4 ボタン

Table 9-21 ボタン

項目	説明
"Cancel"	ファームウェアアップデートを中止する。
"Start"	ファームウェアアップデートを開始する。

## 9.6.4 キャンセル中ページ

### 9.6.4.1 イメージ図

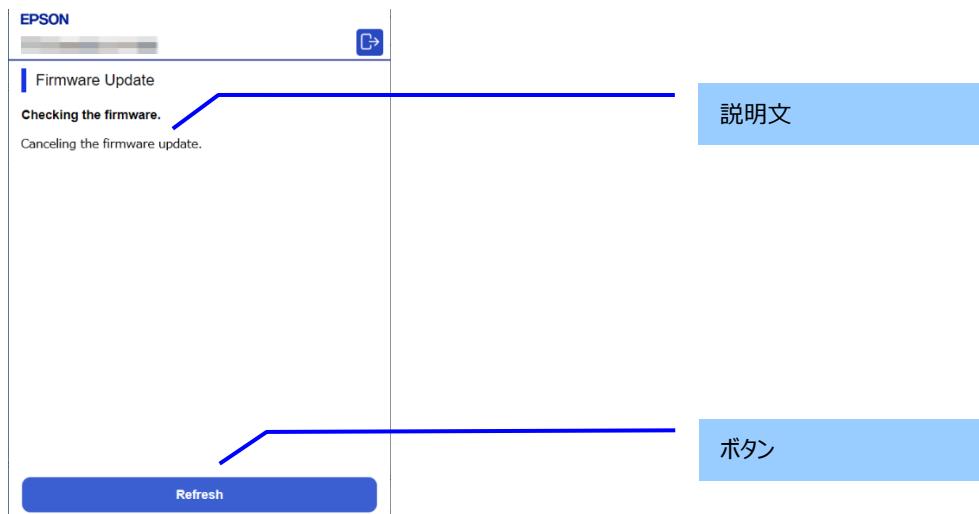


Figure 9-7 キャンセル中ページ

### 9.6.4.2 説明文

Table 9-22 説明文

項目	説明
"Canceling the firmware update."	固定文字列

### 9.6.4.3 ボタン

Table 9-23 ボタン

表示項目	説明
"Refresh"	実行中ページ最下部にボタンを設ける。 押下するとページを最新の状態へ更新する。

## 9.6.5 結果表示ページ

### 9.6.5.1 イメージ図

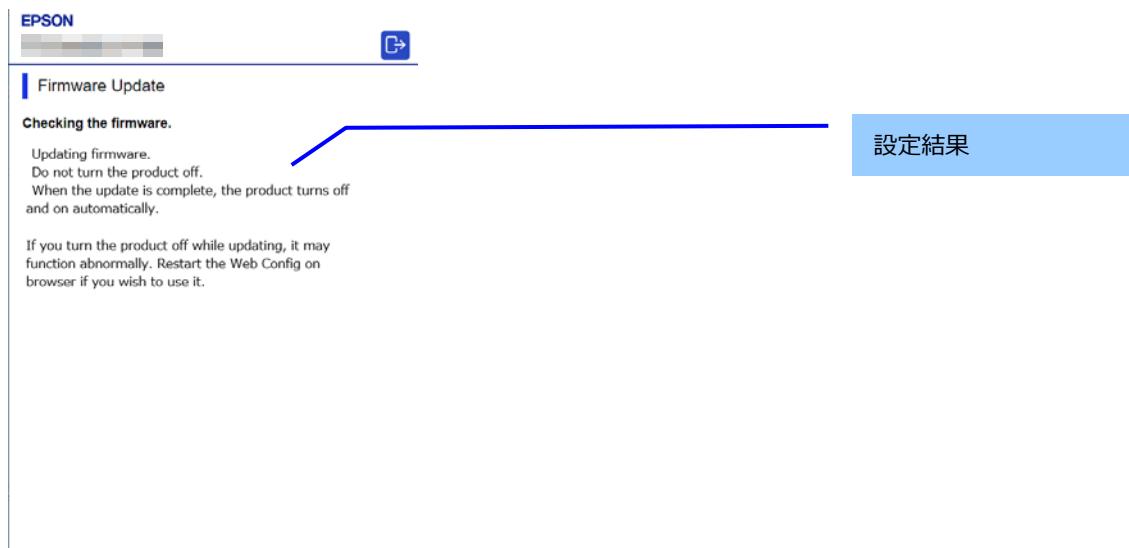


Figure 9-8 結果表示ページ

### 9.6.5.2 設定結果

Table 9-24 設定結果

項目	説明
"Updating firmware." "Do not turn the product off." "When the update is complete, the product turns off and on automatically." If you turn the product off while updating, it may function abnormally. Restart the Web Config on browser if you wish to use it."	正常にアップデート処理を開始した場合に表示する。 "Do not turn the product off."の先頭に!マークアイコンを表示する。
"The firmware update was canceled."	正常に中止処理が完了した場合に表示する。
"You have the latest firmware."	ファームウェアが最新である場合に表示する。
"Cannot connect to the Epson server."	Epson サーバーに接続不可能な状態の場合に表示する。 文字列の前に×マークアイコンを表示する。
"Cannot update the firmware." "Quit printing or scanning." "Remove the roll paper if loaded." "When an error message appears on the screen or status lights indicate an error, solve the problem." "Note: There might be an error regarding the consumables such as ink supply units." "Remove the memory card." "If the problem is not solved, close the Web browser and then launch it."	ファームウェアアップデートが実行できない状態の場合に表示する。 "Cannot update the firmware."の先頭に×マークアイコンを表示する。 "Remove the roll paper if loaded."はロール紙給紙サポート機種のみ表示する。
"The operation failed." "Another computer may be communicating with the product."	他のコンピュータから処理が行われていて処理が実行できなかった場合に表示。 "The operation failed."の先頭に×マークアイコンを表示する。
"Cannot update the firmware." "Low battery. Connect to a power source."	電源非接続状態、かつ、バッテリー残量が少ないため、処理が実行できなかった場合に表示する。 "Cannot update the firmware."の先頭に×マークアイコンを表示する。

### 9.6.5.3 ボタン

Table 9-25 ボタン

項目	説明
"Back to Main"	メインページに遷移する。

## **9.7 詳細設定ページへのリンク**

ボタンを押下すると詳細設定の情報確認 > 製品情報を表示する。

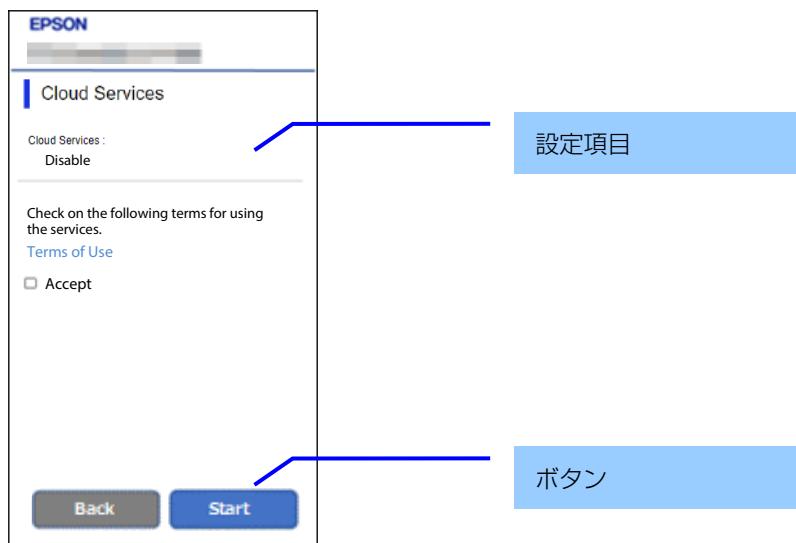
## 9.8 クラウドサービス

製品のファームウェアのバージョンにより、表示されません。

### 9.8.1 トップページ

#### 9.8.1.1 クラウドサービス無効状態

##### 9.8.1.1.1 イメージ図



##### 9.8.1.1.2 設定項目

Table 9-26 設定項目

項目	説明	有効条件
"Cloud Services"	クラウドサービスに接続可能か表示する。 "Enable" / "Disable"	-
"Check on the following terms for using the services."	固定文字列	-
"Terms of Use"	文字列中の"利用規約"はリンクになっており、クリックすると別窓で <a href="https://pos-cloud-link.epson.com/documents/license.html">https://pos-cloud-link.epson.com/documents/license.html</a>	-
"Accept"	チェックボックス。本チェックボックスにチェックを入れると"有効"のボタンが有効になる。（未チェック状態の時は"有効ボタン"はグレーアウト）	-

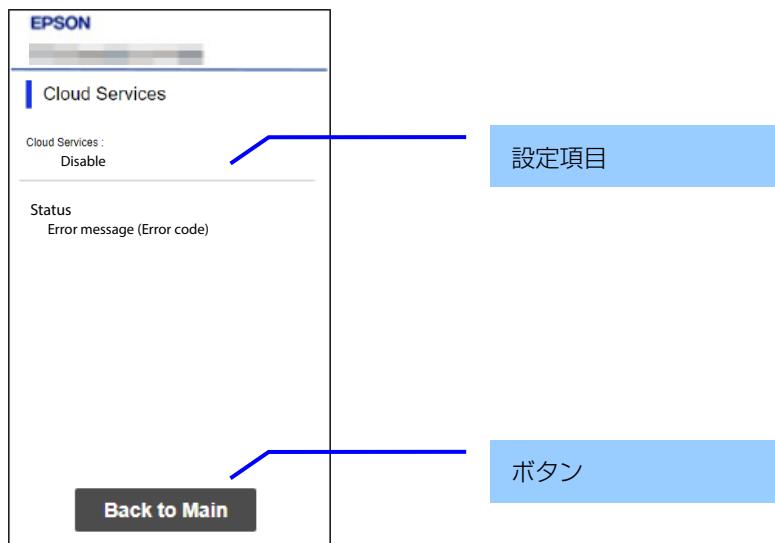
##### 9.8.1.1.3 ボタン

Table 9-27 ボタン

項目	説明	有効条件
"Start"	クラウドサービス接続を有効にするための処理を開始する。	-
"Back"	メインページへ遷移するためのボタン。	-

## 9.8.1.2 クラウドサービス有効状態

### 9.8.1.2.1 イメージ図



### 9.8.1.2.2 設定項目

Table 9-28 設定項目

項目	説明	有効条件
"Cloud Services"	クラウドサービスに接続可能か表示する。 "Enable" / "Disable"	-
"接続状態"	<p>以下のいずれかのクラウドサービスの接続状態を表示する。</p> <p>"接続に成功しました。"</p> <p>"サービスが一時的に利用できません。 しばらくしてからやり直してください。 (910001)"</p> <p>"インターネットまたはサービスが利用できません。 LAN ケーブルの接続、ネットワーク設定を確認し、しばらくしてからやり直してください。 (910002)"</p> <p>"DNS が利用できません。 DNS サーバーの設定が正しいか確認し、しばらくしてからやり直してください。 (910003)"</p> <p>"DNS でドメイン名を解決できません。 インターネット接続やネットワーク設定を確認してください。 (910004)"</p> <p>"プロキシサーバーが利用できません。 プロキシサーバーの設定が正しいか確認し、しばらくしてからやり直してください。 (910005)"</p> <p>"プロキシサーバーの設定に問題がある可能性があります。 HTTPS ポートの許可設定またはプロキシ認証を確認してください。 (910006)"</p>	-

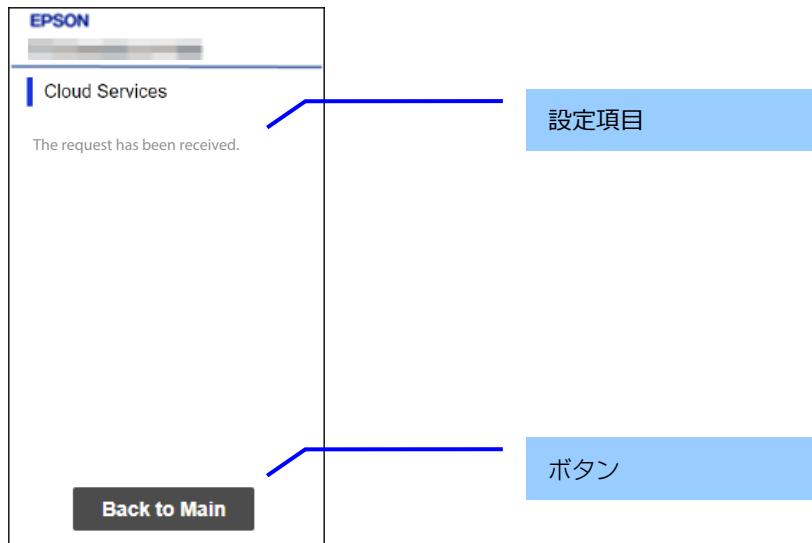
### 9.8.1.2.3 ボタン

Table 9-29 ボタン

項目	説明	有効条件
“Back to Main”	メインページを表示する。	-

### 9.8.1.3 クラウドサービス設定変更中状態

#### 9.8.1.3.1 イメージ図



#### 9.8.1.3.2 設定項目

Table 9-30 設定項目

項目	説明	有効条件
"The request has been received."	クラウドサービス接続ページで、PINコード入力ページへリダイレクト後、接続が有効になるまでにTOPページへアクセスした場合に表示する。この時別タブでPINコード入力画面も表示する。	-

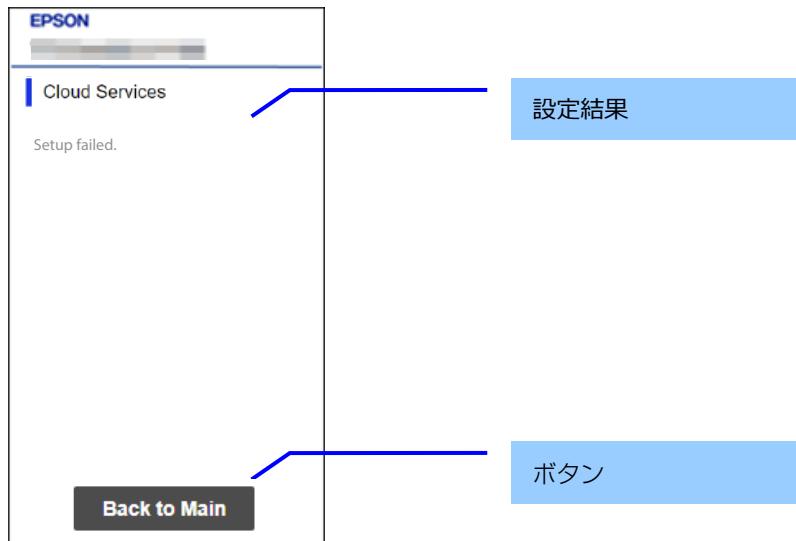
#### 9.8.1.3.3 ボタン

Table 9-31 ボタン

項目	説明	有効条件
"Back to Main"	メインページを表示する。	-

## 9.8.2 設定結果ページ

### 9.8.2.1 イメージ図



### 9.8.2.2 設定結果

Table 9-32 設定結果

項目	説明	有効条件
"The request has been received."	設定が成功し、クラウドサービスの PIN コード入力画面を別タブ表示する際に表示する。	-
"Setup failed."	設定に失敗したときに表示する。	-
"Cannot execute because the product is in use."	製品がビジーによる設定失敗時に表示する。	設定に失敗した際に、エラー内容を追加で表示する。
"There is a problem with the network device or it is difficult to access to the server."	ネットワークエラーによる設定失敗時に表示する。	設定に失敗した際に、エラー内容を追加で表示する。
"This printer is not registered with cloud services."	クラウドサービスに製品が登録されていない時に表示する。	設定に失敗した際に、エラー内容を追加で表示する。

### 9.8.2.3 ボタン

Table 9-33 ボタン

項目	説明	有効条件
"Back to Main"	メインページを表示する。	-

## 10. 表示・設定ページ

### 10.1 情報確認 – Status

#### 10.1.1 製品情報 – Product Status

##### 10.1.1.1 トップページ

###### 10.1.1.1.1 イメージ図

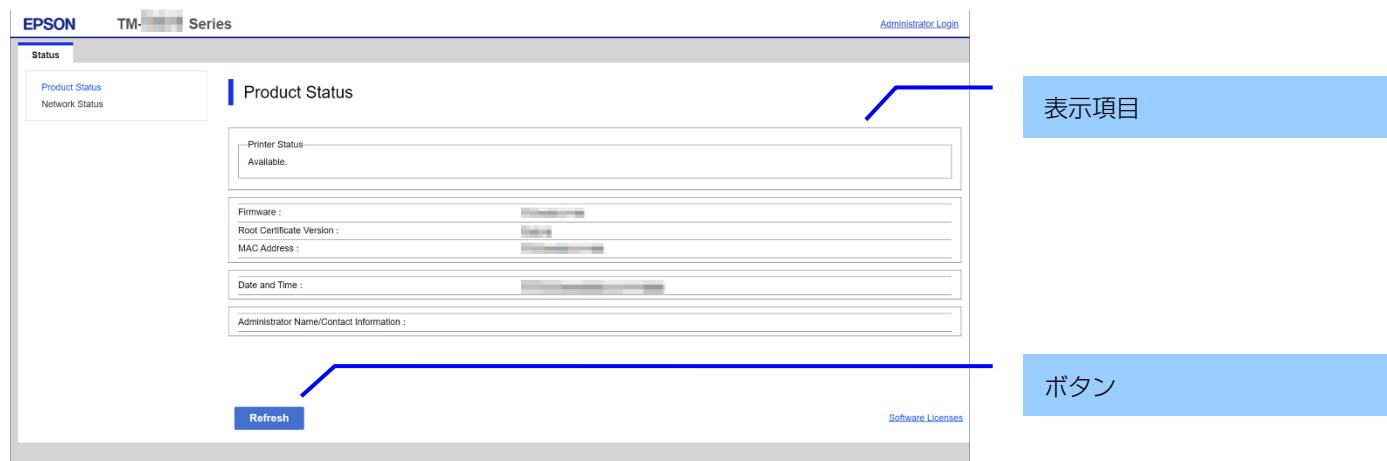


Figure 10-1 製品情報 – Product Status

##### 10.1.1.1.2 表示項目

###### 10.1.1.1.2.1 表示言語選択 – Display language setting

表示言語の仕様は、4章「表示言語」に従う。

ドロップダウンリストで選択後、すぐさま選択された言語が設定され、表示言語が切り替わる。

###### 10.1.1.1.2.2 ステータス情報 – Status Information

プリンターステータスは、印刷機能のある機種で以下のいずれかの情報を表示する。

“使用できます。”と“使用中です。”以外が表示されている場合はパネルのスナップショットへのリンクをメッセージの下に表示する。

Table 10-1 プリンターステータス - Printer Status

項目	説明
“Available.”	プリンターが使用可能な状態の場合に表示する。
“Busy.”	エラーではないが、プリンターが使用不可能な状態の場合に表示する。
“Paper out.”	プリンターで用紙なしエラーが発生している場合に表示する。
“Paper jam.”	プリンターで紙ジャムエラーが発生している場合に表示する。
“An error has occurred. Please confirm the indicator or message on the product.”	故障ではないが、エラーでプリンターが使用不可能な状態の場合に表示する。
“Printer error. Turn the power off and on again. For details, see your documentation.”	その他のプリンターエラーやエラーコードが発生している場合に表示する。エラーコードが割り当てられている場合は、本文言の後ろにエラーコードを表示する。

スキャナーステータスは、印刷機能のない機種で以下のいずれかの情報を表示する。  
"使用できます。"と"使用中です。"以外が表示されている場合はパネルのスナップショットへのリンクをメッセージの下に表示する。

**Table 10-2 スキャナーステータス – Scanner Status**

項目	説明	有効条件
"Available."	スキャナーが使用可能な状態の場合に表示する。	-
"Paper jam. Remove the jammed paper in the Automatic Document Feeder (ADF)"	スキャナーで紙ジャムエラーが発生している場合に表示する。	-
"Incorrect size documents have been placed in the Automatic Document Feeder (ADF). Remove the documents."	スキャナーで ADF 両面サイズエラーが発生している場合に表示する。	-
"Double feed has occurred."	スキャナーで重送エラーが発生している場合に表示する。スキャナーで紙ジャムと重送が判別できる機種で表示する。	-
"The number of scans is close to the Life Cycle of the rollers."	スキャナーで消耗品ローラー交換時期間近ワーニングが発生している場合に表示する。	消耗品ローラー交換可能機種でのみ表示する。
"The number of scans exceeds the Life Cycle of the rollers."	スキャナーで消耗品ローラー交換時期超過ワーニングが発生している場合に表示する。	消耗品ローラー交換可能機種でのみ表示する。
"Unavailable. Check [Hardware Status]."	故障によるエラーでスキャナーが使用不可能な状態の場合に表示する。	-
"An error has occurred. Please confirm the indicator or message on the product."	上記以外のエラーが発生した場合に表示する。 (仕様上、表示されることはがないが、実装としてメッセージを用意しておく。)	-

ハードウェア情報は、以下のいずれかの情報を表示する。

**Table 10-3 ハードウェア情報 – Hardware Status**

項目	説明
"Scanner is out of order. Contact Epson Support." "Panel Snapshot"	スキャナーのみが故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"Wi-Fi is out of order. Contact Epson Support." "Panel Snapshot"	無線 LAN のみが故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"Memory card slot is out of order. Contact Epson Support." "Panel Snapshot"	メモリカードスロットのみが故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"Built-in SD card is out of order. Contact Epson Support." "Panel Snapshot"	内蔵 SD カードのみが故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"TPM is out of order. Contact Epson Support." "If you have not backed up the device data encryption key, back up the key." "To continue using the printer without exchanging the TPM, disable device data encryption." "Panel Snapshot"	TPM のみが故障していて、暗号化機能が有効な場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"TPM is out of order. Contact Epson Support." "Device data encryption can not be enabled." "Panel Snapshot"	TPM のみが故障していて、暗号化機能が無効な場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"PS board is out of order. Contact Epson Support." "Panel Snapshot"	PS 基板標準搭載機で PS 基板が故障している場合に表示する。本文

	の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"There is a problem with PS board. Reset PS board after shut down and pull out the outlet. If the device can not be recovered, contact Epson Support." "Panel Snapshot"	PS 基板オプション機で PS 基板が故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"Cassette1 is out of order. Contact Epson Support." "Panel Snapshot"	LP 機種以外のプリンターで用紙カセット 1 のみが故障している場合に表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"Cassette2 is out of order. Contact Epson Support." "Panel Snapshot"	LP 機種以外のプリンターで用紙カセット 2 のみが故障している場合に表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"Cassette3 is out of order. Please contact Epson Support." "Panel Snapshot"	LP 機種以外のプリンターで用紙カセット 3 のみが故障している場合に表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"Cassette4 is out of order. Contact Epson Support." "Panel Snapshot"	LP 機種以外のプリンターで用紙カセット 4 のみが故障している場合に表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"NFC is out of order. Contact Epson Support." "Panel Snapshot"	NFC モジュールのみが故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"Additional Network is out of order. Please contact Epson Support." "Panel Snapshot"	増設ネットワークのみが故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"Additional Network : Update the firmware because this feature does not work in the current version." "Panel Snapshot"	バージョン不一致により増設ネットワークのみが使用できない場合に表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"There are problems with x parts of the hardware. Contact Epson Support. (Detail)" "Panel Snapshot"	動作に異常があるハードウェアが複数存在しており、エプソン修理窓口への相談が必要な場合に表示する。「x」には異常件数を表示する。文字は赤色で表示する。ハードウェア情報ページを別タブとして開くリンクを用意する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"There are problems with x parts of the hardware. (Detail)" "Panel Snapshot"	動作に異常があるハードウェアが複数存在しているが、ユーザー環境で解決可能な場合に表示する。「x」には異常件数を表示する。文字は赤色で表示する。ハードウェア情報ページを別タブとして開くリンクを用意する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。

その他のステータスは、JavaScript 情報と IP アドレス衝突情報を表示する。

JavaScript が無効で、IP アドレス衝突が起こっている場合は JavaScript 情報と IP アドレス衝突情報の両方を表示する。

Table 10-4 その他のステータス – Other Status

項目	説明
"Enable the browser's JavaScript setting."	ブラウザ側の設定で、JavaScript が無効にされていた場合に表示する。JavaScript が有効の場合は表示しない。
"xxx.xxx.xxx.xxx is already in use on the network."	「xxx.xxx.xxx.xxx」には製品の IP アドレスを表示する。 デバイスと他のネットワーク機器で同じ IP アドレス(IPv4)を使用していたら表示する。そうでなければ表示しない。 パネル表示で同様のエラーの画面が消された場合は、本文言は表示されなくなる。
"Invalid date and time."	日付時刻が未設定であるときに表示する。
"The setting which is required restart has been changed. Turn the power off and on."	反映に本体の再起動が必要な設定が変更されているときに表示す

"Direct-XX-YYYYYY is already in use on the network."	る。 Wi-Fi チップ搭載機種のみ 「Direct-XX-YYYYYY」には製品の SSID を表示する。 デバイスと他のネットワーク機器で同じ SSID を使用していたら表示する。そうでなければ表示しない。 パネル表示で同様のエラーの画面が消された場合は、本文言は表示されなくなる。
--	---

#### 10.1.1.1.2.3 クラウドサービス情報 – Cloud Service related Information

**Table 10.1-5 クラウドサービス状態 - Cloud Services status**

項目 - Items	説明 - Description	有効条件 - Condition
"Cloud Services"	クラウドサービス接続の有無を表示する。	-
"Status"	クラウドサービスの接続状態を表示する。 非接続の場合はエラー内容とエラーコードも表示する。	-

#### 10.1.1.1.2.4 製品システム情報 – Device system Information

**Table 10-6 製品システム情報 – Device system Information**

項目	説明	有効条件
"Firmware"	ファームウェアバージョンを表示する。 12 文字以下の ASCII 文字列 XX.YY.ZZZZZZ -XX: Linux Kernel バージョン -YY: Linux Appli バージョン -ZZZZZZ: Main バージョン	-
"Root Certificate Version"	ルート証明書バージョンを表示する	-
"Serial Number"	製造番号を表示する	管理者パスワードの初期値対応が入っている機種では、管理者ログインを行っている場合のみ表示する。
"Network MAC Address"	有線 LAN、無線 LAN インフラ、無線 LAN アドホック用のインターフェイスの MAC アドレスを表示する。	無線機能を使える機種でのみ表示
"Wi-Fi Direct MAC Address"	Wi-Fi Direct (Simple AP 接続含む)用のインターフェイスの MAC アドレスを表示する。Wi-Fi Direct 無効時は、本項目は非表示。	無線機能を使える機種でのみ表示
"MAC Address"	全ての通信モード（有線 LAN、無線 LAN インフラ、Wi-Fi Direct）用のインターフェイスの MAC アドレスを表示する。	無線機能をサポートしない機種でのみ表示

#### 10.1.1.1.2.5 日時情報 – Date/Time Information

**Table 10-7 日時情報 – Date/time Information**

項目	説明	有効条件
"Date and Time"	ページを開いた時の日付時刻を表示する 時刻未設定の場合は "Invalid date and time."を表示する。	日付/時刻設定可能機種のみ表示する。

#### 10.1.1.1.2.6 管理者情報 – Administrator Information

**Table 10-8 管理者情報 - Administrator Information**

項目	説明
"Administrator Name/Contact Information"	連絡先を表示する

#### 10.1.1.2.7 ソフトウェアのライセンス - Software Licenses

製品情報ページの最下部にある“ソフトウェアのライセンス”リンクが押下された場合に、製品の使用しているオープンソースのライセンスを記載したページが新規タブとして表示される。

#### 10.1.1.3 ボタン

Table 10-9 ボタン

項目	説明
“Refresh”	製品情報に含まれる情報を最新のものに更新し、トップページを再表示する。

## 10.1.2 ネットワーク情報 – Network Status

ネットワーク情報確認機能では、プリンターやスキャナなどの製品のネットワーク情報を確認することが可能である。

### 10.1.2.1 トップページ

#### 10.1.2.1.1 イメージ図

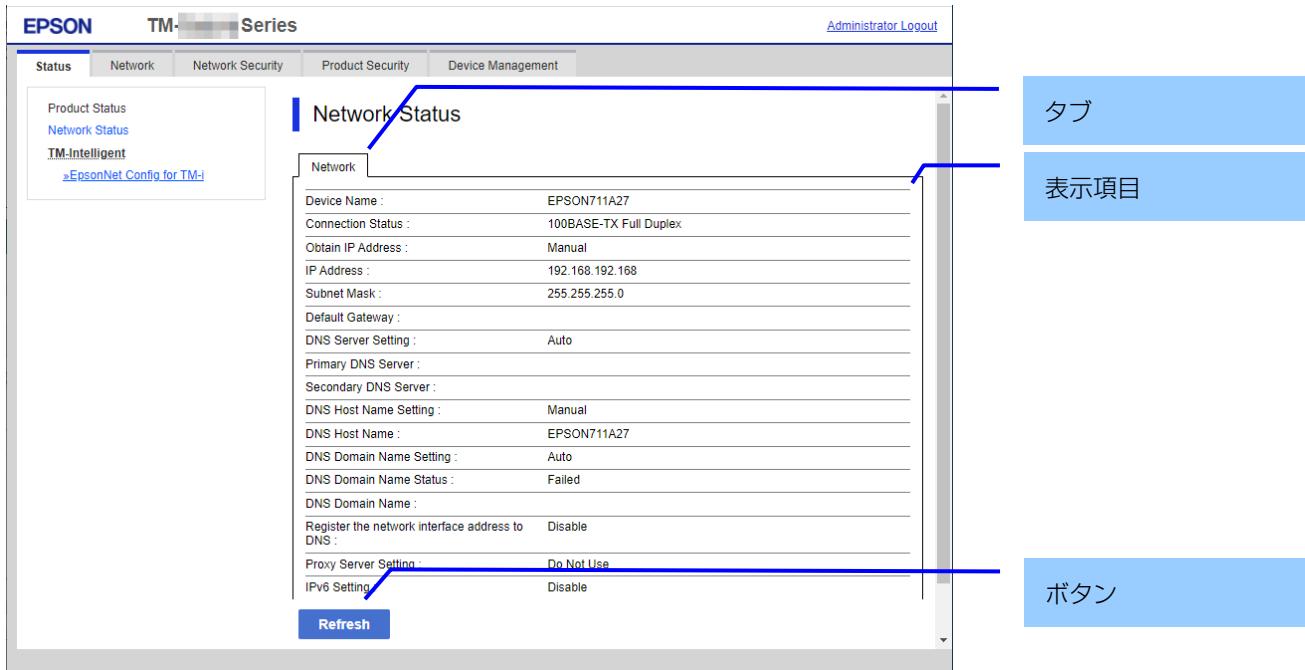


Figure 10-2 ネットワーク情報– Network Status

#### 10.1.2.1.2 タブ

無線機能を使える機種の場合は“ネットワーク”と“Wi-Fi Direct”的タブを表示し、それぞれの情報表示を切り替えられる。

#### 10.1.2.1.3 表示項目

無線機能を使える機種での表示（ネットワーク、Wi-Fi Direct）と無線機能をサポートしない機種での表示項目を以下に示す。

Table 10-10 表示項目（ネットワーク）

項目	説明	条件
“Device Name”	使用しているデバイス名が表示される。	-
“Connectio n Status”	“Disconnect” / “10BASE-T Half Duplex” / “10BASE-T Full Duplex” / “100BASE-TX Half Duplex” / “100BASE-TX Full Duplex” / “1000BASE-T Full Duplex” / “Unknown”	有線 LAN 接続の場合に表示する。
	“Wi-Fi Disconnected” / “Searching for Wi-Fi” / “W-Fi-xxxMbps” (“xx”: “00” - “495”) / “Unknown”	無線 LAN 接続の場合に表示する。
	“Disable”	有線 LAN も無線 LAN も無効の場合 (Wi-Fi Direct のみ接続している場合) に表示する。
“Signal Strength”	“Excellent” / “Good” / “Fair” / “No Good” / “Unknown”	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。Wi-Fi Direct 中は非表示にする。
“Obtain IP Address”	“Auto” / “Manual”	-接続状態が Disable 時は、非表示する。
“Set using BOOTP”	“Enable” / “Disable”	“Obtain IP Address”が“Manual”的時は非表示にする。

"Set using Automatic Private IP Addressing"	"Enable" / "Disable"	"Obtain IP Address" が"Manual"の時は非表示にする。
"IP Address"	<ul style="list-style-type: none"> <li>"xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>"xxx"部分は"0"～"255"の10進数である。</li> </ul>	--接続状態が Disable 時は、非表示する。
"Subnet Mask"	<ul style="list-style-type: none"> <li>"xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>"xxx"部分は"0"～"255"の10進数である。</li> </ul>	--接続状態が Disable 時は、非表示する。
"Default Gateway"	<ul style="list-style-type: none"> <li>"xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>"xxx"部分は"0"～"255"の10進数である。</li> </ul>	--接続状態が Disable 時は、非表示する。
"DNS Server Setting"	"Auto" / "Manual"	--接続状態が Disable 時は、非表示する。
"Primary DNS Server"	<ul style="list-style-type: none"> <li>"xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>"xxx"部分は"0"～"255"の10進数である。</li> </ul>	--接続状態が Disable 時は、非表示する。
"Secondary DNS Server"	<ul style="list-style-type: none"> <li>"xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>"xxx"部分は"0"～"255"の10進数である。</li> </ul> <p>"xxx.xxx.xxx.xxx" xxx: 0 - 255 in decimal</p>	--接続状態が Disable 時は、非表示する。
"DNS Host Name Setting"	"Auto" / "Manual"	--接続状態が Disable 時は、非表示する。
"DNS Host Name Status"	"Unknown" / "Successful" / "Failed"	"DNS Host Name Setting" が"Auto"の時に内容を表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"DNS Host Name"	使用している DNS ホスト名が表示される。	--接続状態が Disable 時は、非表示する。
"DNS Domain Name Setting"	"Auto" / "Manual"	-接続状態が Disable 時は、非表示する。
"DNS Domain Name Status"	"Unknown" / "Successful" / "Failed""	"DNS Host Name Setting" が"Auto"の時に内容を表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"DNS Domain Name"	使用している DNS ドメイン名が表示される。	-接続状態が Disable 時は、非表示する。
"ネットワーク I/F のアドレスを DNS に登録する"	"Enable" / "Disable"	-接続状態が Disable 時は、非表示する。
"Proxy Server Setting"	"Do Not Use" / "Use"	-接続状態が Disable 時は、非表示する。
"Proxy Server"	IP アドレス形式か FQDN 形式で表示される。 IP アドレス形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>"xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>"xxx"部分は"0"～"255"の10進数である。</li> </ul> FQDN 形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>最大 252 文字の文字列</li> <li>使用可能文字 : ("a"～"z", "A"～"Z"), digits("0"～"9"), minus sign("-"), period(".") の組み合わせで表現される。</li> </ul>	"Proxy Server Setting" が"Use"の時に内容を表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。

"Proxy Server Port Number"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ "0"～"65535"の範囲の 10 進数である。</li> </ul>	"Proxy Server Setting"が"Use"の時に内容を表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"Proxy Server User Name"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 0～255byte の半角文字</li> <li>・ ASCII 文字コード 0x20～0x7E</li> </ul>	"Proxy Server Setting"が"Use"の時に内容を表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"Proxy Server Password"	"Not Set" / "*****"	"Proxy Server Setting"が"Use"の時に内容を表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"IPv6 Setting"	"Enable" / "Disable"	-接続状態が Disable 時は、非表示する。
"IPv6 Privacy Extension"	"Enable" / "Disable"	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"IPv6 DHCP Server Setting"	"Do Not Use" / "Use"	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。  DHCPv6 機能をサポートしない場合は項目を表示しない。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"IPv6 Address"	任意の IPv6 アドレス	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。  -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"IPv6 Address Default Gateway"	任意の IPv6 デフォルトゲートウェイを表示する。	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。  -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"IPv6 Link-Local Address"	有効なリンクローカルアドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。  -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"IPv6 Stateful Address "	有効なステートフルアドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。  DHCPv6 機能をサポートしない場合は項目を表示しない。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"IPv6 Stateless Address 1"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。  -接続状態が Disable 時は、非表示する。

"IPv6 Stateless Address 2"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"IPv6 Stateless Address 3"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"IPv6 Primary DNS Server"	任意の IPv6 アドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"IPv6 Secondary DNS Server"	任意の IPv6 アドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"Wi-Fi Setup"	"AOSS" / "WPS" / "Manual" / "Wi-Fi Auto Connect" / "Epson iPrint"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"Wi-Fi Mode"	"IEEE802.11b" / "IEEE802.11g" / "IEEE802.11b/g" / "IEEE802.11b/g/n" / "IEEE802.11a/n/ac"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"SSID"	・ 1~32 文字の半角英数字と半角記号である。	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"Channel"	Wi-Fi チップ搭載機種以外 ・ "1"~"13" の範囲の半角数字である。  Wi-Fi チップ搭載機種  2.4GHz の場合 ・ "1"~"13" の範囲の半角数字である。  5GHz の場合 "36"/"40"/"44"/"48"/"52"/"56"/"60"/"64"/ "100"/"104"/"108"/"112"/"116"/"120"/"124"/"128"/"132"/"136"/"140" "/149"/"153"/"157"/"161"/"165"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"Security Level"	"None" / "WEP-64bit(40bit)" / "WEP-128bit(104bit)" / "WPA-PSK(TKIP)" / "WPA2-PSK(AES)" / "WPA2/WPA3-Enterprise" / "WPA3-SAE(AES)"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。
"Password"	"Not Set" / "*****"	無線 LAN 接続の場合、かつセキュリティー設定が"WPA2/WPA3-Enterprise"以外のときのみ表示する。 -接続状態が Disable 時は、非表示する。

"MAC Address"	"XX:XX:XX:XX:XX:XX" X は "0"～"F"までの 16 進数である。	接続状態が Disable 時は、非表示する。
---------------	---	-------------------------

Table 10-11 表示項目（Wi-Fi Direct）

項目	説明	条件
"Device Name"	使用しているデバイス名が表示される。	-
"Connection Method"	"Not Set"/"Simple AP"	-
"IP Address"	<ul style="list-style-type: none"> <li>"Auto"/"Manual"と IP アドレスを表示する。</li> <li>IP アドレスは、"xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>"xxx"部分は"0"～"255"の 10 進数である。</li> </ul>	"Connection Method"が"Not Set"でない時に表示する。
"Subnet Mask"	<ul style="list-style-type: none"> <li>"xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>"xxx"部分は"0"～"255"の 10 進数である。</li> </ul>	"Connection Method"が"Not Set"でない時に表示する。
"Default Gateway"	<ul style="list-style-type: none"> <li>"xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>"xxx"部分は"0"～"255"の 10 進数である。</li> </ul>	"Connection Method"が"Not Set"でない時に表示する。
"The number of connected devices"	<p>■Wi-Fi チップ搭載機種以外 "0"～"4"の範囲の半角数字である。</p> <p>■Wi-Fi チップ搭載機種 "0"～"8"の範囲の半角数字である。</p>	"Connection Method"が"Simple AP"の時に表示する。
"SSID"	<ul style="list-style-type: none"> <li>1～32 文字の半角英数字と半角記号である。</li> </ul>	"Connection Method"が"Not Set"でない時に表示する。
"Channel"	<p>■Wi-Fi チップ搭載機種以外 "1"～"13"の範囲の半角数字である。</p> <p>■Wi-Fi チップ搭載機種 2.4GHz の場合 "1"～"13"の範囲の半角数字である。</p> <p>5GHz の場合 "36"/"40"/"44"/"48"/"52"/"56"/"60"/"64"/"100"/"104"/"108"/"112"/"116"/"120"/"124"/"128"/"132"/"136"/"140" /"149"/"153"/"157"/"161"/"165"</p>	"Connection Method"が"Not Set"でない時に表示する。
"Security Level"	"WPA2-PSK(AES)"固定	"Connection Method"が"Not Set"でない時に表示する。
"Password"	"*****" "*****"	"Connection Method"が"Not Set"でない時に表示する。
"MAC Address"	"XX:XX:XX:XX:XX:XX" X は "0"～"F"までの 16 進数である。	"Connection Method"が"Not Set"でない時に表示する。

Table 10-12 表示項目（無線機能をサポートしない機種）

項目	説明	有効条件
"Device Name"	使用しているデバイス名が表示される。	-
"Connection Status"	"Disconnect" / "10BASE-T, Half Duplex" / "10BASE-T, Full Duplex" / "100BASE-TX, Half Duplex" / "100BASE-TX, Full Duplex" / "1000BASE-T, Full duplex" / "Unknown"	有線 LAN 接続の場合に表示する。
	"Wi-Fi Disconnected" / "Searching for Wi-Fi" / "W-Fi-xxxMbps" ("xxx": "00" - "495") / "Unknown"	無線 LAN 接続の場合に表示する。
"Signal Strength"	"Excellent" / "Good" / "Fair" / "No Good" / "Unknown"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。"Wi-Fi Setup" が"Wi-Fi Direct"中は非表示にする。
"Obtain IP Address"	"Auto" / "Manual"	-
"Set using BOOTP"	"Enable" / "Disable"	"Obtain IP Address" が"Manual"の時は非表示にする。
"Set using Automatic Private IP Addressing"	"Enable" / "Disable"	"Obtain IP Address" が"Manual"の時は非表示にする。
"IP Address"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>・ "xxx"部分は"0"～"255"の 10 進数である。</li> </ul>	-
"Subnet Mask"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>・ "xxx"部分は"0"～"255"の 10 進数である。</li> </ul>	-
"Default Gateway"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>・ "xxx"部分は"0"～"255"の 10 進数である。</li> </ul>	-
"DNS Server Setting"	"Auto" / "Manual"	-
"Primary DNS Server"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>・ "xxx"部分は"0"～"255"の 10 進数である。</li> </ul>	-
"Secondary DNS Server"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>・ "xxx"部分は"0"～"255"の 10 進数である。</li> </ul>	-
"Way of obtaining DNS Host Name"	"Auto" / "Manual"	-
"DNS Host Name Status"	"Unknown" / "Successful" / "Failed"	"Way of obtaining DNS Host Name" が"Auto"の時に内容を表示する。
"DNS Host Name"	使用している DNS ホスト名が表示される。	-
"Way of obtaining DNS Domain Name"	"Auto" / "Manual"	-
"DNS Domain Name Status"	"Unknown" / "Successful" / "Failed"	"Way of obtaining DNS Host Name" が"Auto"の時に内容を表示する。
"State of DNS Domain Name obtained automatically"	使用している DNS ドメイン名が表示される。	-
"Proxy Server Setting"	"Do Not Use" / "Use"	-

"Proxy Server"	<ul style="list-style-type: none"> <li>IP アドレス形式か FQDN 形式で表示される。</li> </ul> <p><b>■IP アドレス形式</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>"xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。</li> <li>"xxx"部分は"0"～"255"の10進数である。</li> </ul> <p><b>■FQDN 形式</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最大252文字の文字列</li> <li>使用可能文字："a"～"z", "A"～"Z"、 digits("0"～"9")、 minus sign("-")、 period(".")の組み合わせで表現される。</li> </ul>	"Proxy Server Setting"が"Use"の時に内容を表示する。
"Proxy Server Port Number"	<ul style="list-style-type: none"> <li>値は"0"～"65535"の範囲の10進数である。</li> </ul>	"Proxy Server Setting"が"Use"の時に内容を表示する。
"Proxy Server User Name"	<ul style="list-style-type: none"> <li>0～255byte の半角文字</li> <li>ASCII 文字コード 0x20～0x7E</li> </ul>	"Proxy Server Setting"が"Use"の時に内容を表示する。
"Proxy Server Password"	"Not Set" / "*****"	"Proxy Server Setting"が"Use"の時に内容を表示する。
"IPv6 Setting"	"Enable" / "Disable"	-
"IPv6 Anonymous Address"	"Enable" / "Disable"	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。
"IPv6 DHCP Server Setting"	"Do Not Use" / "Use"	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。  DHCIPv6 機能をサポートしない場合は項目を表示しない。
"IPv6 Address"	<p>任意の IPv6 アドレス IPv6 の IP アドレスは、以下の1～3の表現をサポートする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>"x:x:x:x:x:x:x" の形式。 x は"0"～"FFFF"の16進数である。</li> <li>1において、x が"0"のブロックが1つまたは2つ以上連続する場合、"::"で省略できる。ただし、"::"はアドレス中に一回しか使用できない。"::"はアドレス全体の先頭および末尾にも使用できる。 例) 1080:0:0:0:800:200C:417A → 1080::800:200C:417A に省略可</li> <li>"x:x:x:x:x:d.d.d.d"の形式。 x は "0"～"FFFF"の16進数である。d は"000"～"255"の10進数である。 IPv4 と IPv6 の混在環境において、アドレスの下位 4×8bit を IPv4 表現で表記する。":"および"."で区切られた個々のブロックの先頭の"0"は省略することができる。また、x 部分は2の"::"による省略記法が利用できる。 例) ::FFFF:129.144.52.38 アルファベットは大文字/小文字どちらもサポートする。</li> </ol>	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。
"IPv6 Address Default Gateway"	任意の IPv6 アドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。
"IPv6 Link-Local Address"	有効なリンクローカルアドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が"Enable"の時に表示する。

"IPv6 Stateful Address"	有効なステートフルアドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が "Enable"の時に表示する。 DHCPv6 機能をサポートしない場合は項目を表示しない。
"IPv6 Stateless Address 1"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が "Enable"の時に表示する。
"IPv6 Stateless Address 2"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が "Enable"の時に表示する。
"IPv6 Stateless Address 3"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が "Enable"の時に表示する。
"IPv6 Primary DNS Server"	任意の IPv6 アドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が "Enable"の時に表示する。
"IPv6 Secondary DNS Server"	任意の IPv6 アドレスを表示する。	"IPv6 Setting"が "Enable"の時に表示する。
"Wi-Fi Setup"	"AOSS" / "WPS" / "Wi-Fi Direct" / "Manual" / "Wi-Fi Auto Connect" / "Epson iPrint"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。
"Wi-Fi Mode"	"IEEE802.11b" / "IEEE802.11g" / "IEEE802.11b/g" / "IEEE802.11b/g/n"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。
"The number of connected devices"	半角数字であること 値は"0"~"4"の範囲でなければならない	シンプル AP モードのみ
"SSID"	・ 使用可能文字：半角英数字と半角記号 ・ 文字数 1~32 文字	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。
"Channel"	・ 半角数字であること ・ 値は"1"~"13"の範囲でなければならない	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。
"Security Level"	"None" / "WEP-64bit(40bit)" / "WEP-128bit(104bit)" / "WPA-PSK(TKIP)" / "WPA2-PSK(AES)" / "WPA2/WPA3-Enterprise" / "WPA3-SAE(AES)"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。
"Password"	"Not Set" / "*****"	無線 LAN 接続の場合、かつ"Security Level"が "WPA2-Enterprise"以外のときのみ表示する。
"MAC Address"	"XX:XX:XX:XX:XX:XX" X は"0"~"F"までの 16 進数である。	-

#### 10.1.2.1.4 ボタン

Table 10-13 ボタン

項目	説明
"Refresh"	ネットワーク情報確認に含まれる情報を最新のものに更新し、トップページを再表示する。

### 10.1.3 TM-Intelligent

TM-iへのリンクを可能とする。

#### 10.1.3.1 トップページ

メニュー項目をクリックすることで TM-i の設定ページを新規タブで開く。

##### 10.1.3.1.1 イメージ図

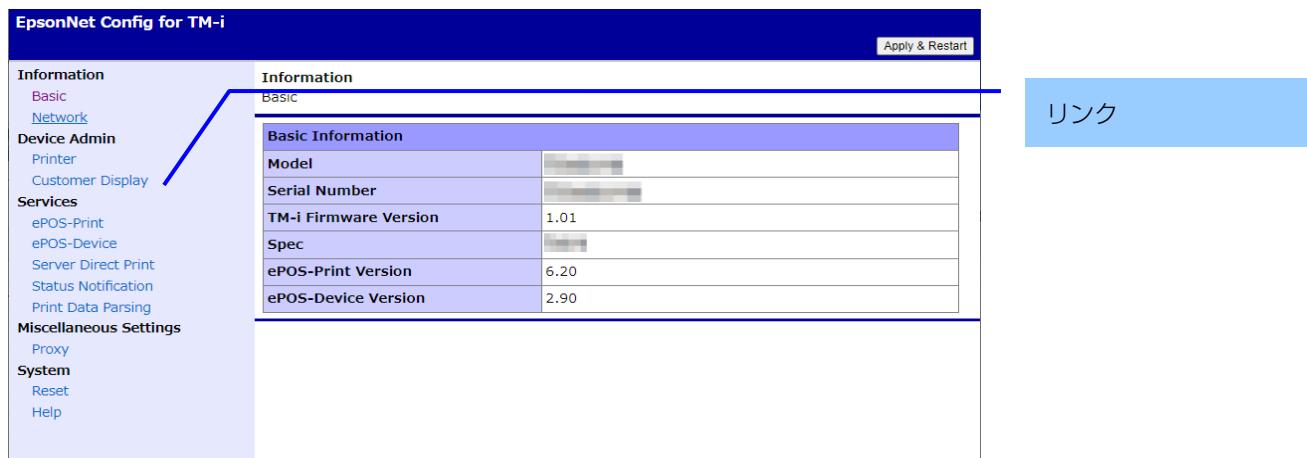


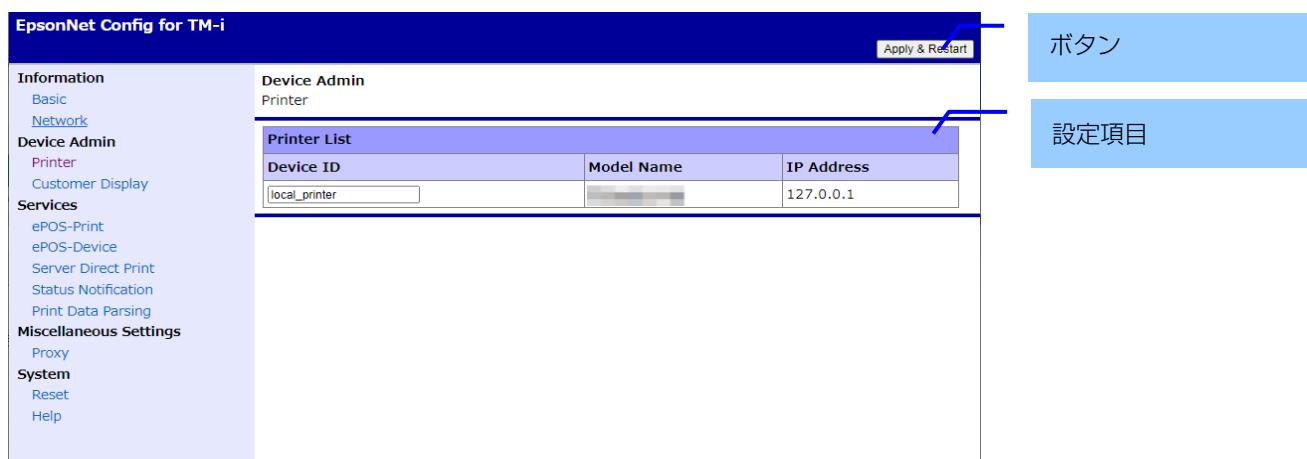
Figure 10-3 TM-i リンクイメージ図

#### 10.1.3.1.2 設定項目

以下に TM-i の設定項目について記載する。

#### 10.1.3.2 Device Admin – Printer

##### 10.1.3.2.1 イメージ図



#### 10.1.3.2.2 設定項目

以下に Device Admin - Printer の設定項目について記載する。

Table 10-14 設定項目

項目	説明
"Device ID"	プリンターの ID を設定します。 (任意の文字列) デバイス ID の初期値は local_printer です。
"Model Name"	プリンターのモデル名を表示します。
"IP Address"	プリンターの IP アドレスを表示します。

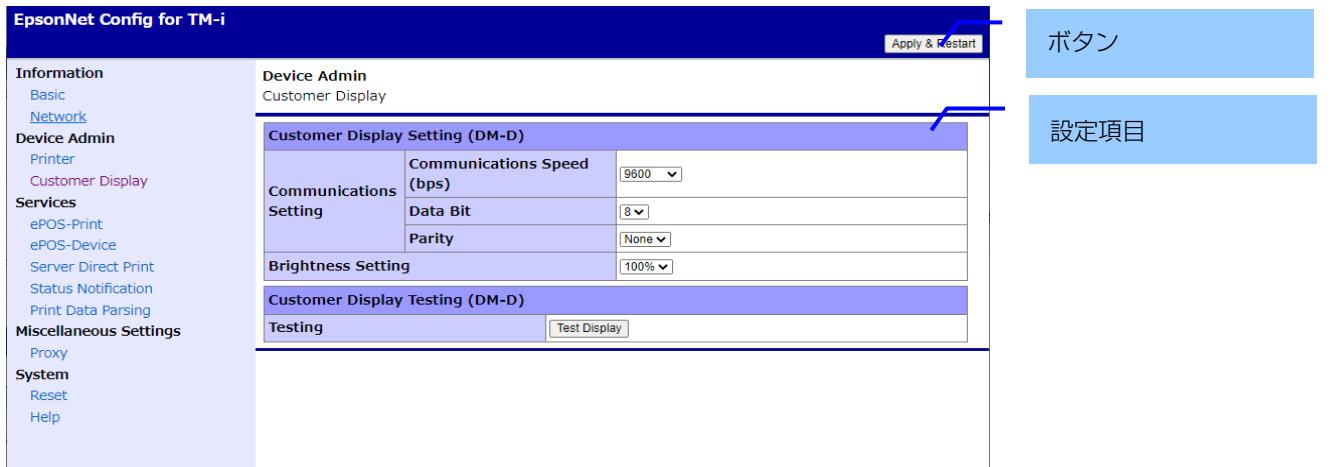
### 10.1.3.2.3 ボタン

Table 10-15 ボタン

項目	説明
"Apply & Restart"	プリンターに設定を登録して、再起動します。

### 10.1.3.3 Device Admin - Customer Display

#### 10.1.3.3.1 イメージ図



#### 10.1.3.3.2 設定項目

以下に Device Admin - Customer Display の設定項目について記載する。

Table 10-16 設定項目

項目	説明
"Communications Speed(bps)"	通信速度を設定します。
"Data Bit"	データビットを設定します。
"Parity"	パリティーを設定します。
"Brightness Setting"	カスタマーディスプレイの輝度をパーセンテージで設定します。 100%,60%,40%,20%に設定できます。最大輝度は 100%です。

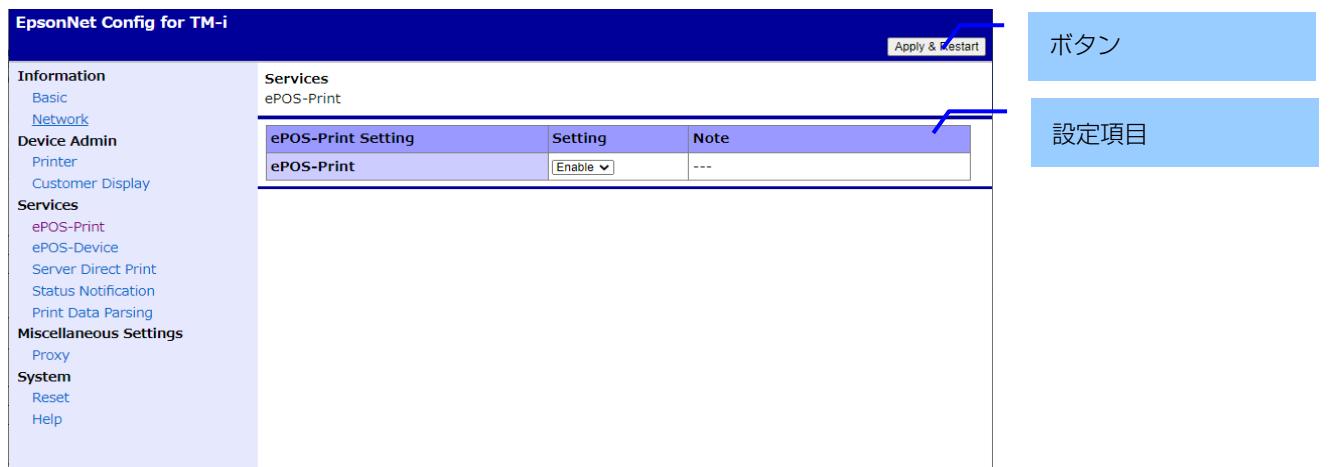
#### 10.1.3.3.3 ボタン

Table 10-17 ボタン

項目	説明
"Apply & Restart"	プリンターに設定を登録して、再起動します。
"Testing"	テスト表示します。カスタマーディスプレイに文字を表示します。

#### 10.1.3.4 Services - ePOS-Print

##### 10.1.3.4.1 イメージ図



##### 10.1.3.4.2 設定項目

以下に Services - ePOS-Print の設定項目について記載する。

Table 10-18 設定項目

項目	説明
"ePOS-Print"	ePOS-Print の "Enable" / "Disable" を設定します。

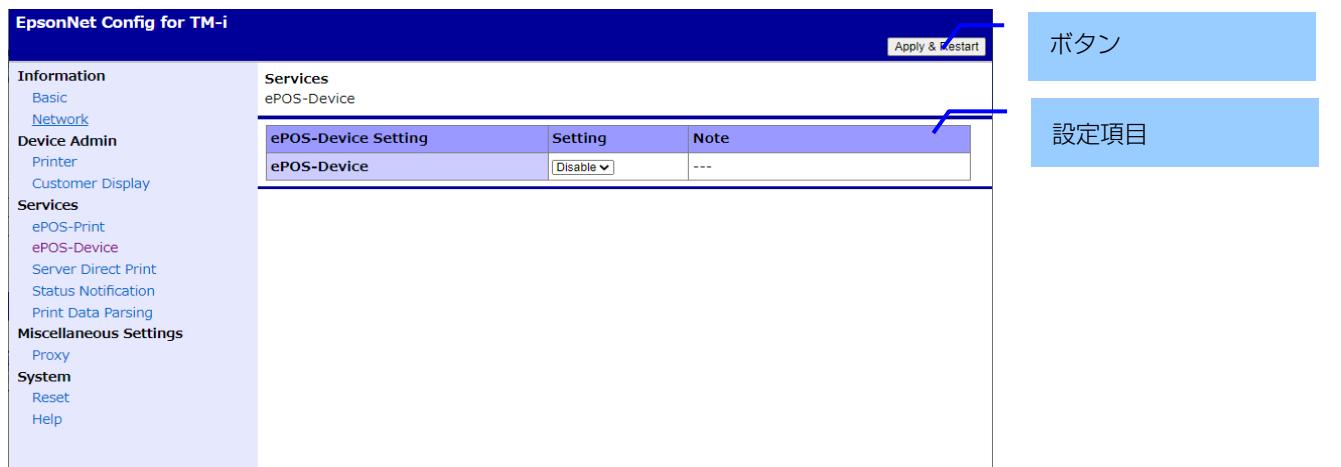
##### 10.1.3.4.3 ボタン

Table 10-19 ボタン

項目	説明
"Apply & Restart"	プリンターに設定を登録して、再起動します。

#### 10.1.3.5 Services - ePOS-Device

##### 10.1.3.5.1 イメージ図



##### 10.1.3.5.2 設定項目

以下に Services - ePOS-Device の設定項目について記載する。

Table 10-20 設定項目

項目	説明
"ePOS-Device"	ePOS-Device の "Enable" / "Disable" を設定します。

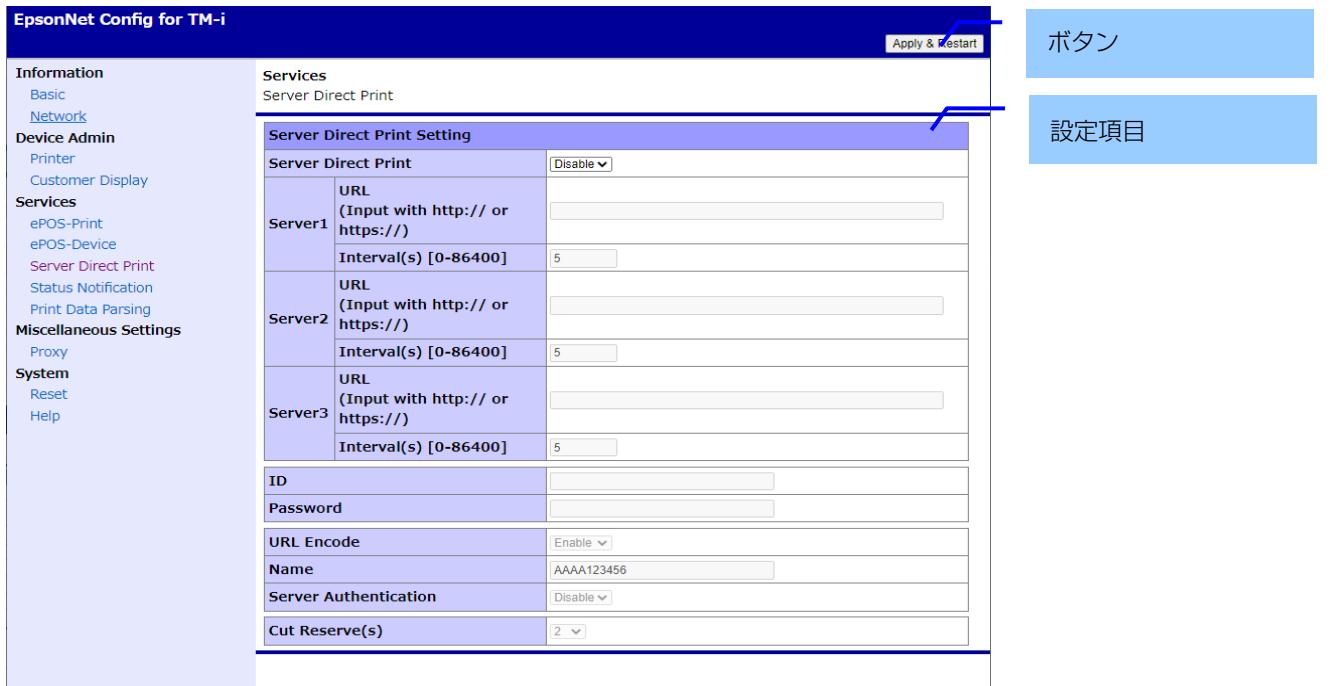
### 10.1.3.5.3 ボタン

Table 10-21 ボタン

項目	説明
"Apply & Restart"	プリンターに設定を登録して、再起動します。

### 10.1.3.6 Services - Server Direct Print

#### 10.1.3.6.1 イメージ図



#### 10.1.3.6.2 設定項目

以下に Services - Server Direct Print の設定項目について記載する。

Table 10-22 設定項目

項目	説明
"Server Direct Print"	Server Direct Print の"Enable" / "Disable"を設定します。
"URL (Input with http:// or https://)"	ステータスを通知する通知先サーバーの URL を入力します。
"Interval(s) [1-86400]"	ステータス通知終了から、次の通知を出すまでの待機時間を指定します。
"ID"	ID を設定します。
"Password"	パスワードを入力します。
"URL Encode"	URL エンコードの"Enable" / "Disable"を選択します。
"Name"	Web サーバー側で本プリンターを識別するための識別名を入力します。
"Server Authentication"	サーバー認証の"Enable" / "Disable"を選択します。

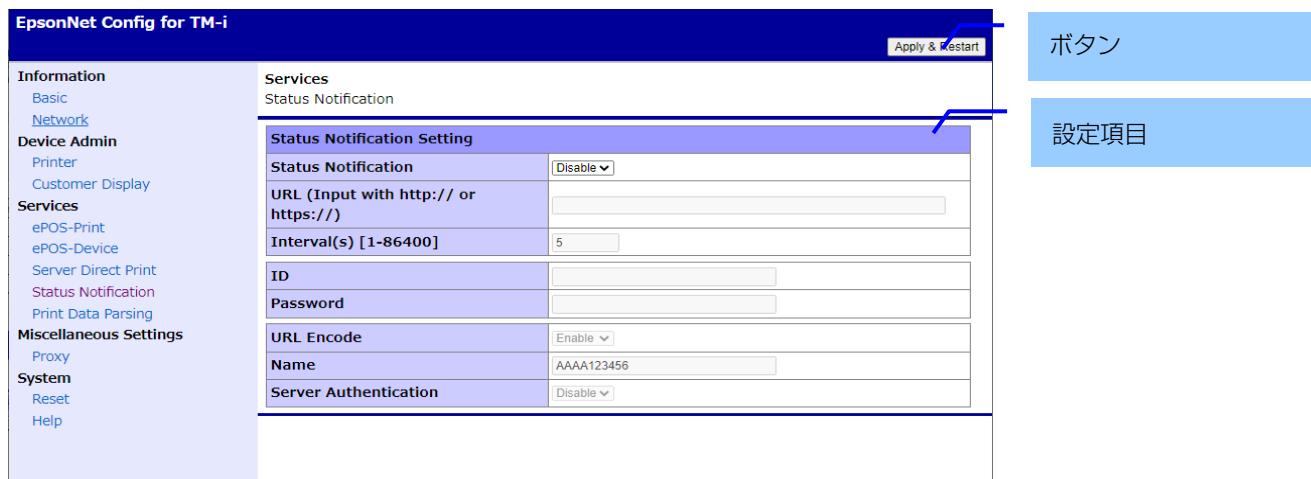
#### 10.1.3.6.3 ボタン

Table 10-23 ボタン

項目	説明
"Apply & Restart"	プリンターに設定を登録して、再起動します。

### 10.1.3.7 Services - Status Notification

#### 10.1.3.7.1 イメージ図



#### 10.1.3.7.2 設定項目

以下に Status Notification の設定項目について記載する。

**Table 10-24 設定項目**

項目	説明
"Status Notification"	Status Notification の"Enable" / "Disable"を設定します。
"URL (Input with http:// or https://)"	ステータスを通知する通知先サーバーの URL を入力します。
"Interval(s) [1-86400]"	ステータス通知終了から、次の通知を出すまでの待機時間を指定します。
"ID"	ID を設定します。
"Password"	パスワードを入力します。
"URL Encode"	URL エンコードの"Enable" / "Disable"を選択します。
"Name"	Web サーバー側で本プリンターを識別するための識別名を入力します。
"Server Authentication"	サーバー認証の"Enable" / "Disable"を選択します。

#### 10.1.3.7.3 ボタン

**Table 10-25 ボタン**

項目	説明
"Apply & Restart"	プリンターに設定を登録して、再起動します。

### 10.1.3.8 Services - Print Data Parsing

#### 10.1.3.8.1 イメージ図



#### 10.1.3.8.2 設定項目

以下に Print Data Parsing の設定項目について記載する。

**Table 10-26 設定項目**

項目	説明
"Print Data Parsing"	Print Data Parsing の"Enable" / "Disable"を設定します。

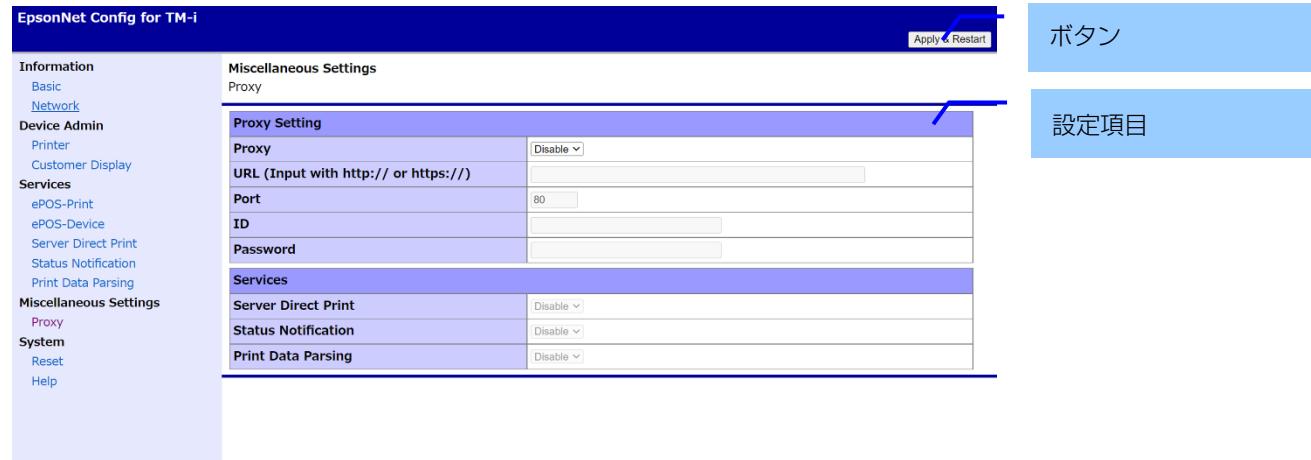
#### 10.1.3.8.3 ボタン

**Table 10-27 ボタン**

項目	説明
"Apply & Restart"	プリンターに設定を登録して、再起動します。

### 10.1.3.9 Miscellaneous Settings - Proxy

#### 10.1.3.9.1 イメージ図



### 10.1.3.9.2 設定項目

以下に Proxy の設定項目について記載する。

**Table 10-28 設定項目**

項目	説明
"Proxy"	Proxy の"Enable" / "Disable"を設定します。
URL (Input with http:// or https://)	プロキシサーバーの URL を入力します。
Port	プロキシサーバーのポートを指定します。
"ID"	ID を設定します。
"Password"	パスワードを入力します。
"Server Direct Print"	Server Direct Print の"Enable" / "Disable"を選択します。
"Status Notification"	Status Notification の"Enable" / "Disable"を選択します。
"Print Data Parsing"	Print Data Parsing の"Enable" / "Disable"を選択します。

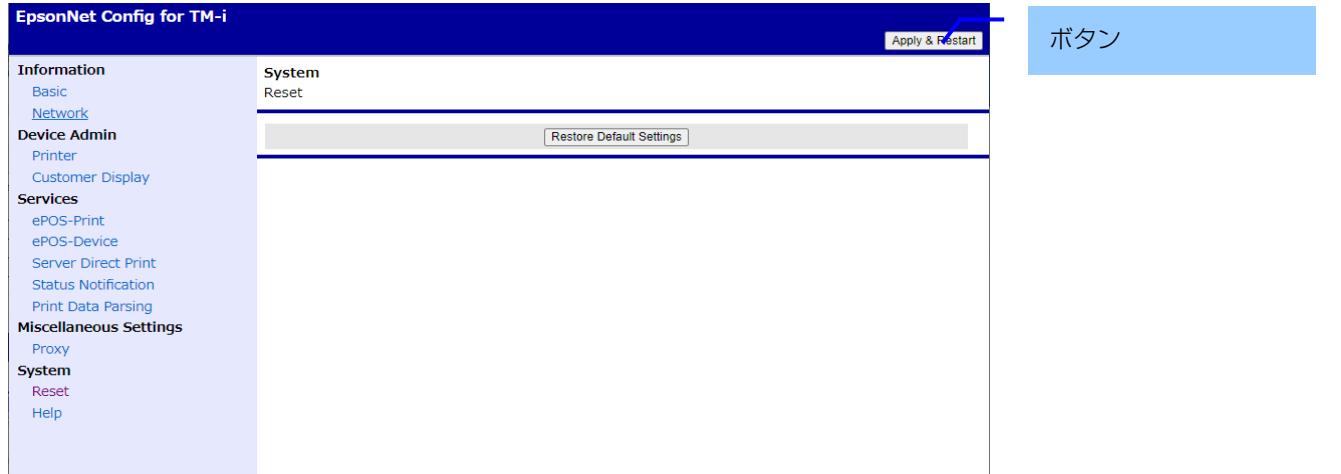
### 10.1.3.9.3 ボタン

**Table 10-29 ボタン**

項目	説明
"Apply & Restart"	プリンターに設定を登録して、再起動します。

### 10.1.3.10 System - Reset

#### 10.1.3.10.1 イメージ図



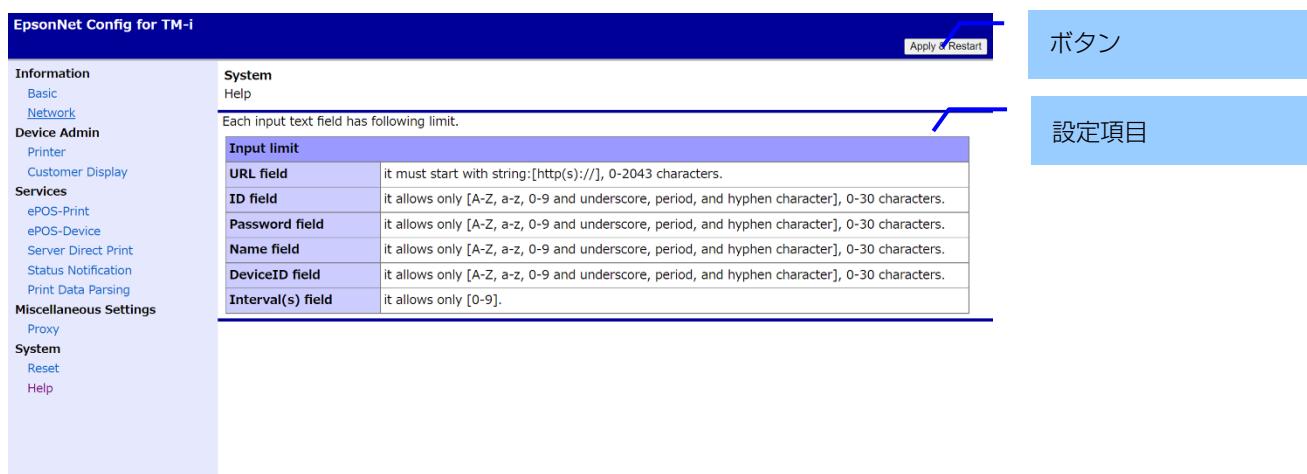
#### 10.1.3.10.2 ボタン

**Table 10-30 ボタン**

項目	説明
"Apply & Restart"	プリンターに設定を登録して、再起動します。
"Restore Default Settings"	初期設定に戻します。

### 10.1.3.11 System - Help

#### 10.1.3.11.1 イメージ図



#### 10.1.3.11.2 設定項目

以下に Help の項目について記載する。

**Table 10-31 設定項目**

項目	説明
"URL field"	it must start with string:[http(s)://], 0-2043 characters.
"ID field"	it allows only [A-Z, a-z, 0-9 and underscore, period, and hyphen character], 0-30 characters.
"Password field"	it allows only [A-Z, a-z, 0-9 and underscore, period, and hyphen character], 0-30 characters.
"Name field"	it allows only [A-Z, a-z, 0-9 and underscore, period, and hyphen character], 0-30 characters.
"DeviceID field"	it allows only [A-Z, a-z, 0-9 and underscore, period, and hyphen character], 0-30 characters.
"Interval(s) field"	it allows only [0-9].

#### 10.1.3.11.3 ボタン

**Table 10-32 ボタン**

項目	説明
"Apply & Restart"	プリンターに設定を登録して、再起動します。

## 10.2 ネットワーク – Network

### 10.2.1 ネットワーク基本 – Network Basic

#### 10.2.1.1 トップページ

##### 10.2.1.1.1 イメージ図

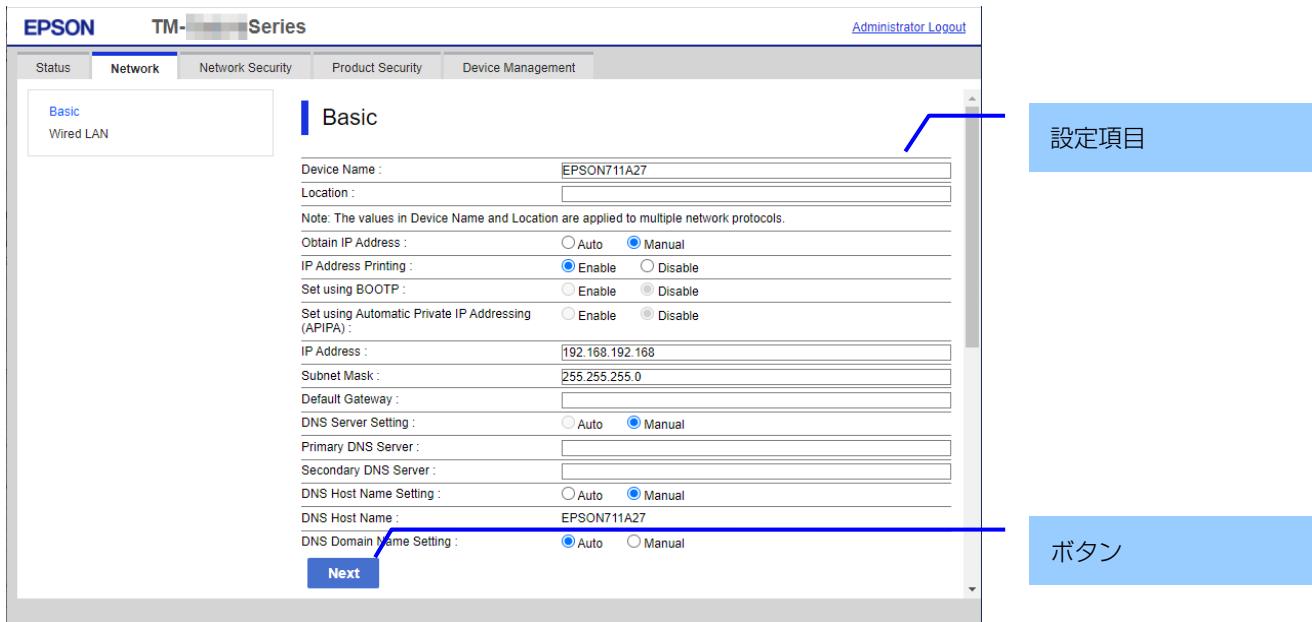


Figure 10-4 トップページ

#### 10.2.1.1.2 設定項目

以下にネットワーク基本設定の設定項目について記載する。

Table 10-33 設定項目

項目	説明	有効条件
"Device Name"	テキストボックスに文字数 2~15 文字（文字列長 1 は不可）の範囲で入力する。 使用可能文字 "A"~"Z", "a"~"z", "0"~"9", "-"（半角スペースは不可） 先頭に使用できる文字 "A"~"Z", "a"~"z" ("0"~"9", "-"は不可) 最後に使用できる文字 "A"~"Z", "a"~"z", "0"~"9" ("-"は不可)	-
"Location"	テキストボックスに最大 127Byte の UTF-8 で入力する。	-
"Note: The values in Device Name and Location are applied to multiple network protocols."	"Device Name"と"Location"の注意書き	-
"Obtain IP Address"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Auto" / "Manual"	-
"IP Address Printing"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Enable" / "Disable"	-
"Set using BOOTP"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Enable" / "Disable"	"Obtain IP Address" が"Manual"の時にグレーアウトする。 CIJ では表示しない。
"Set using Automatic Private IP Addressing (APIPA)"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Enable" / "Disable"	"Obtain IP Address" が"Manual"の時にグレーアウトする。 CIJ では表示しない。

"IP Address"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・"xxx.xxx.xxx.xxx"形式でテキストボックスに入力する。</li> <li>・"xxx"部分は"0"～"255"でなければならない</li> <li>・以下のIPアドレスは入力不可とする "0.0.0.0"～"0.255.255.255.255" ループバックアドレス("127.0.0.0"～"127.255.255.255") クラスD("224.0.0.0"～"239.255.255.255") クラスE("240.0.0.0"～"255.255.255.255") ディレクティッド・ブロードキャストアドレス("255.255.255.255")</li> </ul>	"Obtain IP Address"が"Auto"の時にグレーアウトする。
"Subnet Mask"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・"xxx.xxx.xxx.xxx"形式でテキストボックスに入力する。</li> <li>・"xxx"部分は"0"～"255"でなければならない</li> <li>・以下のIPアドレスは入力不可とする 非連續マスクビット("255.254.128.0"等) 0.0.0.0 255.255.255.254 255.255.255.255</li> </ul>	"Obtain IP Address"が"Auto"の時にグレーアウトする。
"Default Gateway"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・"xxx.xxx.xxx.xxx"形式でテキストボックスに入力する。</li> <li>・"xxx"部分は"0"～"255"でなければならない</li> <li>・以下のIPアドレスは入力不可とする "0.0.0.0"(未設定の意味で入力は許容するが、表示の際は空欄とする。) "0.0.0.1"～"0.255.255.255.255" ループバックアドレス("127.0.0.0"～"127.255.255.255") クラスD("224.0.0.0"～"239.255.255.255") クラスE("240.0.0.0"～"255.255.255.255") ディレクティッド・ブロードキャストアドレス("255.255.255.255")</li> </ul>	"Obtain IP Address"が"Auto"の時にグレーアウトする。
"DNS Server Setting"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Auto" / "Manual" "Obtain IP Address"が"Manual"のときは"DNS Server Setting"は"Manual"のみ選択される。	-
"Primary DNS Server"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・"xxx.xxx.xxx.xxx"形式であること</li> <li>・"xxx"部分は"0"～"255"でなければならない</li> <li>・ブロードキャストアドレス("255.255.255.255")は入力不可とする</li> <li>・("0.0.0.0")は入力不可とする</li> <li>・プライマリDNSサーバーが空欄で、セカンダリDNSサーバーが入力されている場合はエラーとする。</li> <li>・空文字列入力は可能。</li> </ul>	"DNS Server Setting"が"Auto"の時にグレーアウトする。
"Secondary DNS Server"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・"xxx.xxx.xxx.xxx"形式であること</li> <li>・"xxx"部分は"0"～"255"でなければならない</li> <li>・ブロードキャストアドレス("255.255.255.255")は入力不可とする</li> <li>・("0.0.0.0")は入力不可とする</li> <li>・空文字列入力は可能。</li> </ul>	"DNS Server Setting"が"Auto"の時にグレーアウトする。
"DNS Host Name Setting"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Auto" / "Manual"	-
"DNS Host Name"	デバイス名を表示する。	-
"DNS Domain Name Setting"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Auto" / "Manual"	-
"DNS Domain Name"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストボックスに全体の文字数2～249文字(文字列長1は不可)で入力する。 ただし、ホスト名と合わせて251文字以内で入力する必要があり、これを超える長さの場合は、設定が反映されない。</li> <li>・使用可能文字"A"～"Z", "a"～"z", "0"～"9", "-", "."(半角スペースは不可)</li> <li>・先頭に使用できる文字"A"～"Z", "a"～"z" ("0"～"9", "-", "."は不可)</li> <li>・最後に使用できる文字"A"～"Z", "a"～"z", "0"～"9" ("-", "."は不可)</li> <li>・period(".")で区切られた各ラベルの文字数 1～63文字</li> </ul>	"DNS Domain Name Setting"が"Auto"の時にグレーアウトする。

"Register the network interface address to DNS"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Enable" / "Disable"	-
"Proxy Server Setting"	"Do Not Use" / "Use"	-
"Proxy Server"	IPv4 アドレス形式、もしくは、FQDN 形式で入力する。	"Proxy Server Setting"が"Do Not Use"の時にグレーアウトする。
"Proxy Server Port Number"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストボックスに半角数字で入力する。</li> <li>・値は"0"～"65535"の範囲でなければならない</li> </ul>	"Proxy Server Setting"が"Do Not Use"の時にグレーアウトする。
"Proxy Server User Name"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストボックスに 0～255byte の半角文字で入力する。</li> <li>・ASCII 文字コード 0x20～0x7E</li> </ul>	"Proxy Server Setting"が"Do Not Use"の時にグレーアウトする。
"Proxy Server Password"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストボックスに 0～255byte の半角文字で入力する。</li> <li>・ASCII 文字コード 0x20～0x7E</li> <li>・パスワードが空でも"Proxy Server Setting"が"Use"となっているときは * (アスタリスク) 10 個を表示する。</li> </ul>	"Proxy Server Setting"が"Do Not Use"の時にグレーアウトする。
"IPv6 Setting"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Enable" / "Disable"	-
"IPv6 Privacy Extension"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Enable" / "Disable"	"IPv6 Setting"が"Disable"の時にグレーアウトする。
"IPv6 DHCP Server Setting"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Do Not Use" / "Use"	<ul style="list-style-type: none"> <li>-"IPv6 Setting"が"Disable"の時にグレーアウトする。</li> <li>DHCPv6 機能をサポートしない場合は項目を表示しない。</li> </ul>
"IPv6 Address"	<p>空入力もしくはIPv6 アドレス形式(prefix 有)で入力する入力する場合は以下の一いずれかの形式に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx/prefix xxxx は 1～4 衔の 16 進数 prefix は 1～128 の 10 進数 アドレス内で 1 箇所のみ 全て 0 で構成される 1 個以上の連続した xxxx を :: として省略できる アドレス部が以下となるアドレスはエラーとする ":/128" ":1/128" "FF00::/8"</li> </ul> <p>IPv6 デフォルトゲートウェイが入力されている場合は入力必須とする</p>	"IPv6 Setting"が"Disable"の時にグレーアウトする。
"IPv6 Address Default Gateway"	<p>空入力もしくは IPv6 アドレス形式で入力する 入力する場合は以下の一いずれかの形式に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx xxxx は 1～4 衔の 16 進数 アドレス内で 1 箇所のみ 全て 0 で構成される 1 個以上の連続した xxxx を :: として省略できる アドレス部が以下となるアドレスはエラーとする ":/128" ":1/128" "FF00::/8"</li> </ul>	"IPv6 Setting"が"Disable"の時にグレーアウトする。
"IPv6 Link-Local Address"	有効なリンクローカルアドレスを表示する。	-
"IPv6 Stateful Address "	有効なステートフルアドレスを表示する。	DHCPv6 機能をサポートしない場合は項目を表示しない。
"IPv6 Stateless Address 1"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	-
"IPv6 Stateless Address 2"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	-
"IPv6 Stateless Address 3"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	-

"IPv6 Primary DNS Server"	<p>IPv6 アドレス形式で入力する 以下のいずれかの形式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx</li> </ul> <p>xxxx は 4 枠の 16 進数で先頭の 0 は省略可能、ただし最低 1 文字が必要 アドレス内で 1 箇所のみ 全て 0 で構成される 1 個以上の連続した xxxx を :: として省略できる アドレス部が以下となるアドレスはエラーとする “::/128” “::1/128” “FF00::/8”</p> <p>IPv6 プライマリーDNS サーバーが空欄で、IPv6 セカンダリーDNS サーバーが入力されている場合はエラーとする。 ・空文字列入力は可能。</p>	"IPv6 Setting"が"Disable"の時にグレーアウトする。
"IPv6 Secondary DNS Server"	<p>IPv6 アドレス形式で入力する 以下のいずれかの形式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx</li> </ul> <p>xxxx は 4 枠の 16 進数で先頭の 0 は省略可能、ただし最低 1 文字が必要 アドレス内で 1 箇所のみ 全て 0 で構成される 1 個以上の連続した xxxx を :: として省略できる アドレス部が以下となるアドレスはエラーとする “::/128” “::1/128” “FF00::/8”</p> <p>他の IPv6DNS サーバーアドレスすでに登録されているアドレスは登録できない ・空文字列入力は可能。</p>	"IPv6 Setting"が"Disable"の時にグレーアウトする。
"Power Saving(Wi-Fi)"	以下の 2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Enable" / "Disable"	無線 LAN 有効時のみ表示
"Frequency Range (Wi-Fi · Wi-Fi Direct)"	以下の 2つを選択するドロップダウンリストを設ける。 "Auto" / "2.4 GHz" / "5 GHz"	無線 LAN 有効時のみ表示 ただし、2.4GHz のみをサポートする無線ドングル挿入時は非表示。

#### 10.2.1.1.3 ボタン

ネットワーク基本情報を設定するためのボタンを設ける。

Table 10-34 ボタン

項目	説明
"Next"	入力確認ページへ遷移する。

"Next"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーpopupアップウィンドウを出す。

複数の入力値エラーが発生した場合は、より優先度の高いものが表示される。（下記表の順番で上にあるものが下にあるものよりも優先度が高い）

Table 10-35 エラーpopupアップ

項目	説明
"Invalid value below."	テキストボックスへの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は 1 行に 1 項目表示する。
"The combination of IP Address and Subnet Mask is incorrect." "All the bits in the host address part of the IP address cannot be set to 1."	IP アドレスのホスト部が全ビット 1 の場合に表示する。

"The combination of IP Address and Subnet Mask is incorrect." "All the bits in the host address part of the IP address cannot be set to 0."	IP アドレスのホスト部が全ビット 0 の場合に表示する。
"The combination of Default Gateway and Subnet Mask is incorrect." "All the bits in the host address part of the Default Gateway cannot be set to 1."	デフォルトゲートウェイのホスト部が全ビット 1 の場合に表示する。
"The combination of Default Gateway and Subnet Mask is incorrect." "All the bits in the host address part of the Default Gateway cannot be set to 0."	デフォルトゲートウェイのホスト部が全ビット 0 の場合に表示する。
"The combination of IP Address, Subnet Mask and Default Gateway is incorrect." "IP Address and Default Gateway must be on the same network segment as defined by the Subnet Mask."	デフォルトゲートウェイの設定があり、かつ、サブネットマスクが表すネットワーク部が IP アドレスとデフォルトゲートウェイで異なる場合に表示する。

### 10.2.1.2 入力確認ページ

#### 10.2.1.2.1 イメージ図

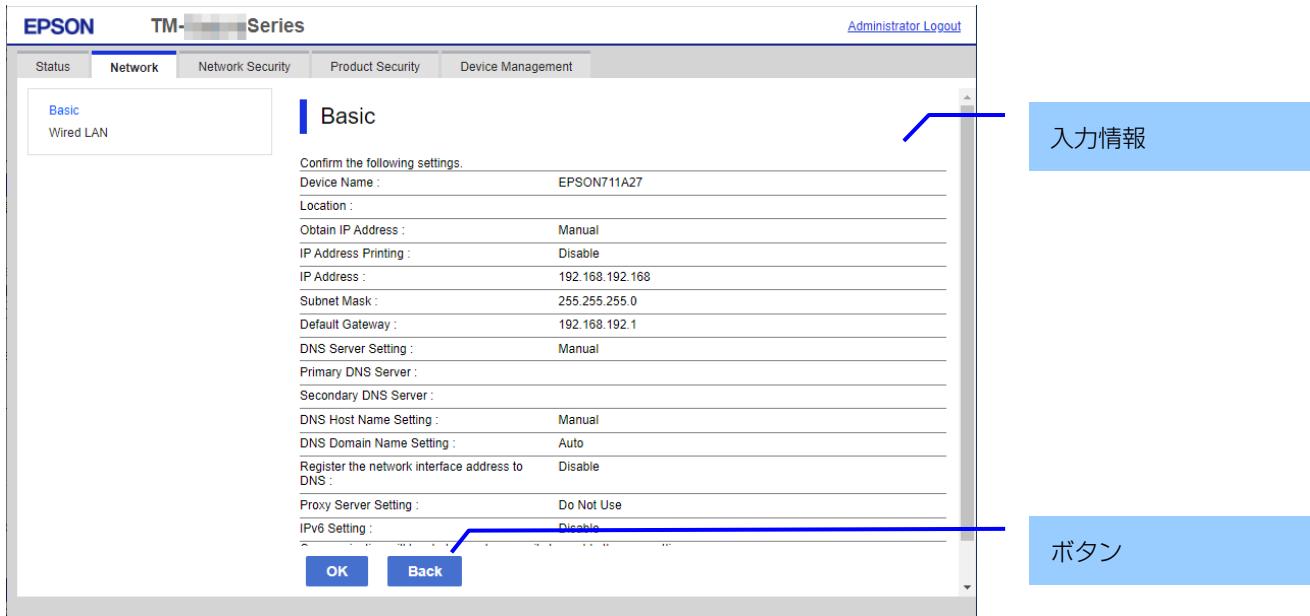


Figure 10-5 入力確認ページ

#### 10.2.1.2.2 入力情報

Table 10-36 入力情報

項目	説明
"Confirm the following settings."	左記の文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。
"Communication will be shut down temporarily to enable the new settings. You cannot access the network immediately after the settings are changed."	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。

#### 10.2.1.2.3 ボタン

ネットワーク基本設定ページで表示した値でネットワーク設定を行うためのボタンを設ける。設定ボタンを押下することで設定結果ページを表示する。

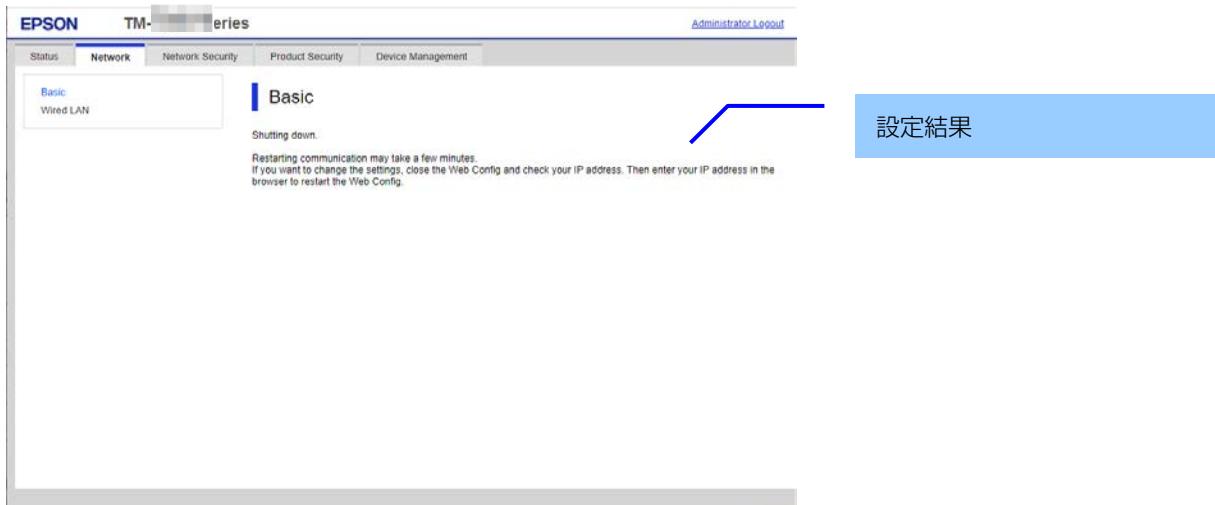
Table 10-37 ボタン

項目	説明
"OK"	入力確認ページで表示した値でネットワーク設定を行うためのボタンを設ける。ボタンを押下することで設定結果ページへ遷移する。
"Back"	ネットワーク基本設定ページへ戻るためのボタンを設ける。ボタンを押下することでネットワーク基本設定ページへ遷移する。

### 10.2.1.3 設定結果ページ

"OK"ボタンを押すと結果ページが表示される。設定成功時に表示されるページと設定失敗時に表示されるページを以下に示す。

#### 10.2.1.3.1 イメージ図



## 10.2.2 無線 LAN - Wi-Fi

### 10.2.2.1 トップページ

#### 10.2.2.1.1 イメージ図

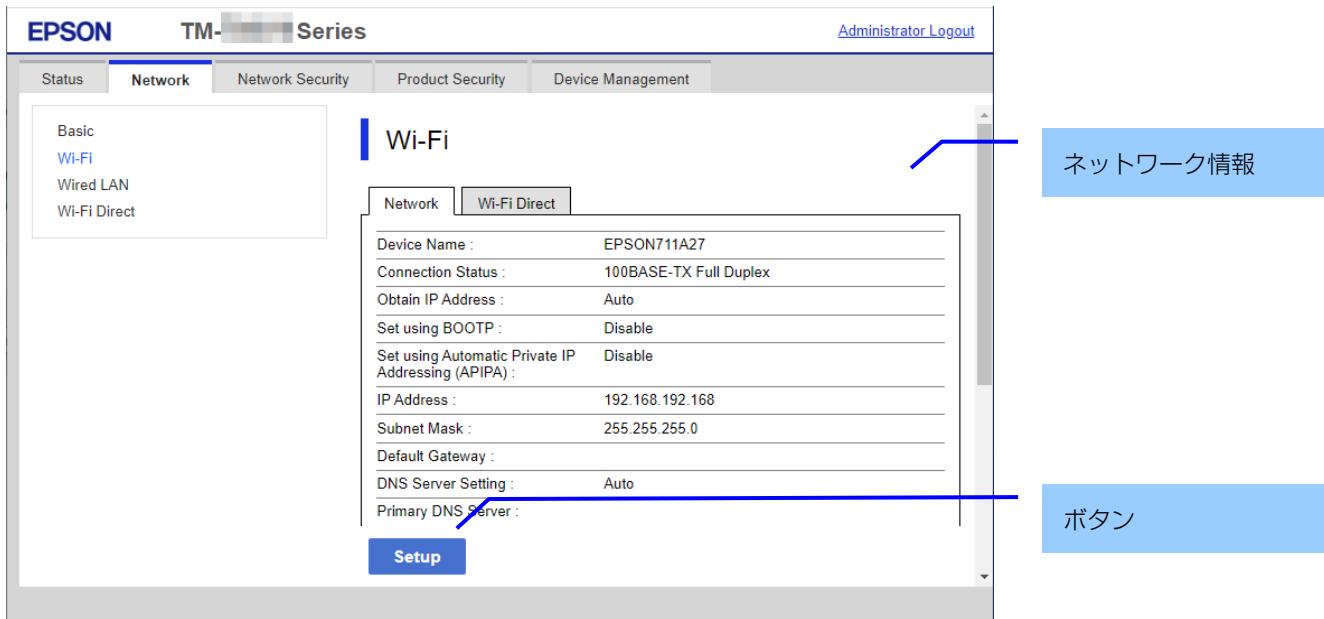


Figure 10-7 無線 LAN 設定トップページ - Wi-Fi Setup Top Page

#### 10.2.2.1.2 ネットワーク情報

情報確認タブのネットワーク情報と同内容を表示する。

#### 10.2.2.1.3 ボタン

無線 LAN 設定の開始、無効にするためのボタンを表示する。

Table 10-39 ボタン

項目	説明	有効条件
"Setup"	無線 LAN 設定を開始するためのボタン。ボタンを押下することで SSID 探索ページに遷移する。	-

#### 10.2.2.1.4 確認ポップアップ

"Disable Wi-Fi"ボタン押下により、無線 LAN 設定を無効にするか確認するための確認ポップアップを表示する。ポップアップでは"無線 LAN を無効にしますか?"と表示する。

## 10.2.2.2 SSID 探索ページ

### 10.2.2.2.1 イメージ図

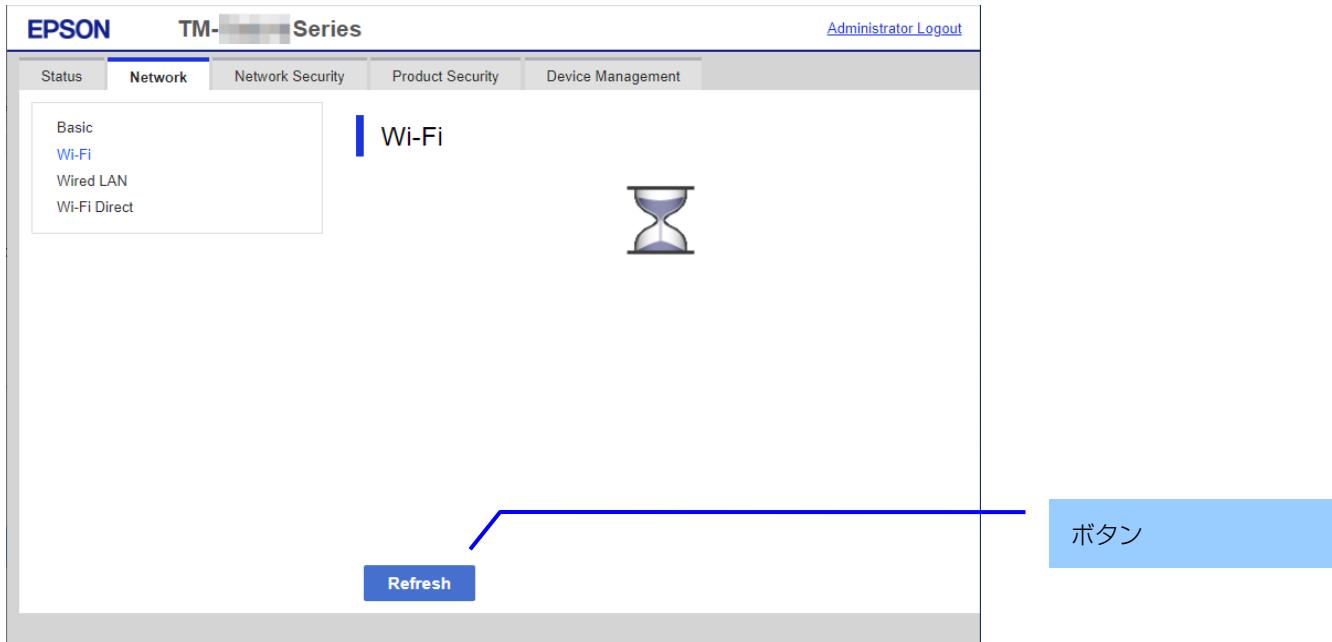


Figure 10-8 SSID 探索ページ - SSID Search Page

### 10.2.2.2.2 ボタン

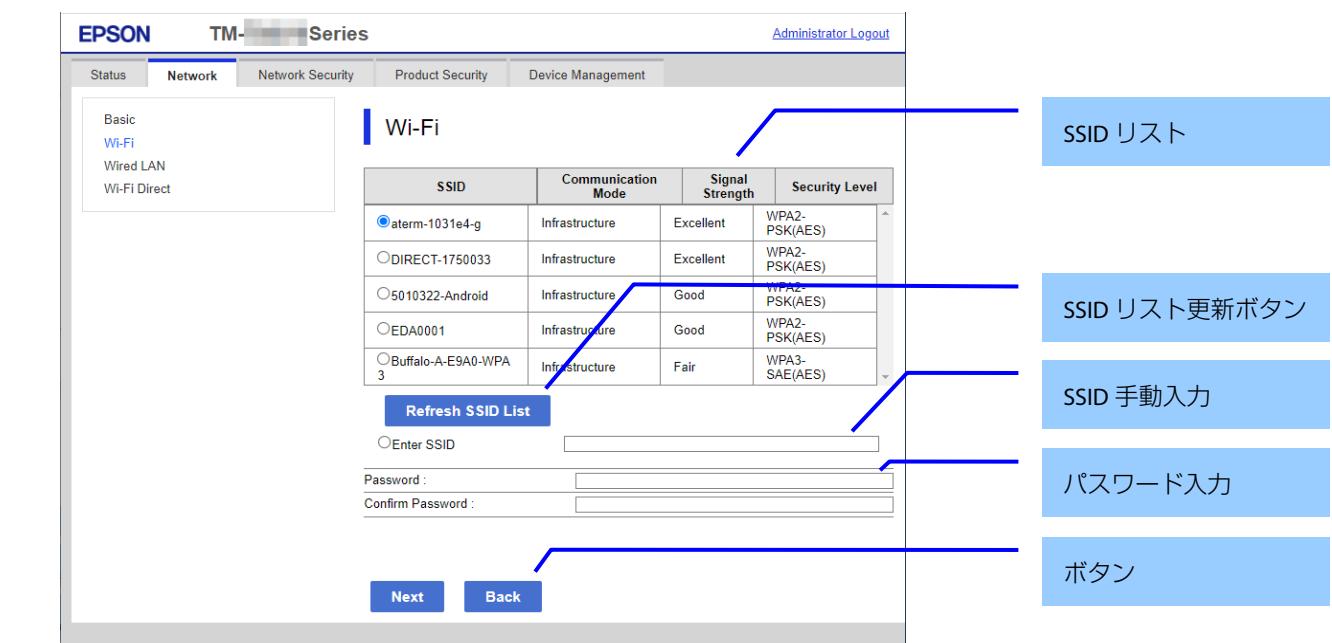
Table 10-40 ボタン

項目	説明
"Refresh"	ボタン押下により SSID 探索が完了していた場合は設定入力ページを、未完了の場合は SSID 探索ページへ遷移する。

### 10.2.2.3 設定入力ページ

SSID 探索ページより、「Refresh」ボタンの押下、あるいは定期的な探索結果確認により SSID の探索が完了した時点で、設定入力ページに遷移する。設定入力ページは以下のようになる。ラジオボタンにて、探索された SSID、あるいは手動設定の SSID の中から設定する SSID を選択する。

### 10.2.2.3.1 イメージ図



**Figure 10-9 設定入力ページ**

#### 10.2.2.3.2 SSID リスト - SSID List

SSID リストから設定する SSID を選択する。SSID リストは以下のように構成され、信号強度の強い順に、インフラストラクチャモードで接続できる SSID を最大 50 個まで表示する。セキュリティー設定が“WPA2/WPA3-Enterprise”的 SSID はここでは表示しない。

**Table 10-41 SSID リスト - SSID List**

項目	説明	条件
“SSID”	SSID 名を表示する。	-
“Communication Mode”	通信方法を表示する。表示される文字列は“Infrastructure”である。	-
“Signal Strength”	電波状態を表示する。表示される文字列は “Excellent” / “Good” / “Fair” / である。	Wi-Fi チップ搭載機種のみ
“Security Level”	セキュリティーの方式を表示する。 表示される文字列は “None” / “WEP-64bit(40bit)” / “WEP-128bit(104bit)” / “WPA-PSK(TKIP)” / “WPA2-PSK(AES)” “WPA3-SAE(AES)” / “Unknown”である。  現時点ではセキュリティー設定が WEP-64bit か WEP-128bit のアクセ スポイントを探査した場 合、”Unknown”を表示する。（64bit か 128bit かがプリンターで判別で きないため）	-

#### 10.2.2.3.3 SSID 手動入力 - SSID manual input

手動入力した SSID に対する設定を行う。

**Table 10-42 SSID 手動入力 - SSID manual input**

項目	説明
“Enter SSID”	SSID 手動入力用のテキストボックスを設ける。入力可能文 字は、1～32 文字の範囲で、半角英数字、半角記号（ASCII コードでは 0x20-0x7E の範囲）である。

#### 10.2.2.3.4 SSID リスト更新ボタン - Refresh Button

SSID リストを更新するためのボタンを設ける。

**Table 10-43 SSID リスト更新ボタン - Refresh Button**

項目	説明
“Refresh SSID List”	ボタンを押下することで SSID 探索ページを表示する。

#### 10.2.2.3.5 パスワード入力 - Password entering

指定した SSID で接続するためのパスワードを入力する。

Table 10-44 パスワード入力 - Password entering

項目	説明
"Password"	パスワードを入力するテキストボックスを設ける。以下の文字をテキストボックスに 0、5、8~63 文字の範囲で入力可能である (ASCII コードで 0x20-0x7E の範囲)。ただし入力時の表示は"**"でマスクする。
"Confirm Password"	パスワードと同じ。

#### 10.2.2.3.6 ボタン

設定入力ページで入力された値で無線 LAN 設定を進める、あるいは操作を戻すためのボタンを設ける。

Table 10-45 ボタン

項目	説明
"Next"	設定入力ページで入力された値で無線 LAN 設定を進めるためのボタン。ボタン押下でも設定は反映されず、入力確認ページへ遷移する。
"Back"	設定入力ページで入力された値を破棄し、無線 LAN 設定トップページへ遷移するためのボタン。

"設定"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーポップアップウィンドウを出す。

Table 10-46 エラーポップアップ

項目	説明
"Invalid value below."	SSID、パスワード、パスワードの確認の入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は 1 行に 1 項目表示する。
"Passwords you entered do not match."	パスワードと確認用のパスワードが一致しない場合に表示する。

#### 10.2.2.4 入力確認ページ

##### 10.2.2.4.1 イメージ図

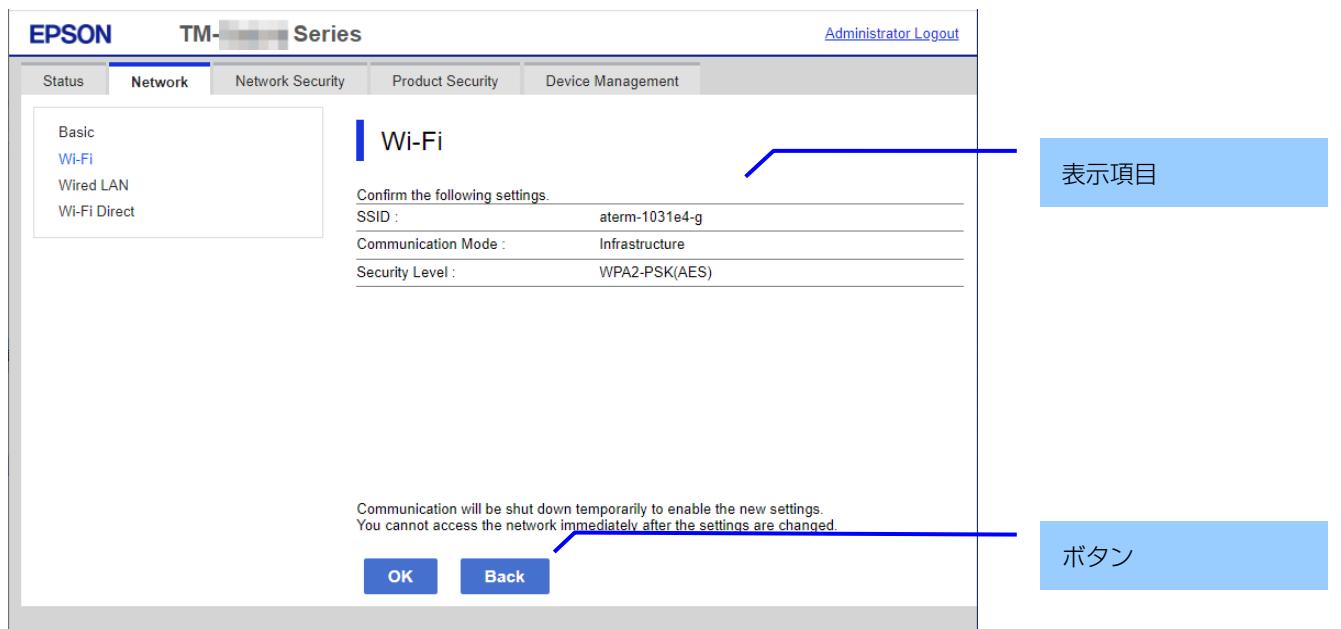


Figure 10-10 入力確認ページ

#### 10.2.2.4.2 表示項目

Table 10-47 表示項目

項目	説明
"Confirm the following settings."	左記の文言をページのトップに表示する。
"SSID"	設定入力ページで入力された値を表示する。
"Communication Mode"	設定入力ページで入力された値を表示する。
"Security Level"	設定入力ページで入力された値を表示する。
"Communication will be shut down temporarily to enable the new settings. You cannot access the network immediately after the settings are changed."	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。

"Security Level"は、設定入力ページでの入力値により表示する値が決定される。

Table 10-48 セキュリティー設定の値 - Value of Seruity Level

設定入力ページでの入力値			表示されるセキュリティー設定
SSID	選択 SSID のセキュリティー設定	セキュリティーキー長	
"Enter SSID"を選択	-	0	"None"
		5	"WEP-64bit(40bit)"
		その他	"Unknown"
リストから選択	"Unknown"	0	"None"
		10 (16進数)	"WEP-64bit(40bit)"
		26 (16進数)	"WEP-128bit(104bit)"
		5 (16進数以外)	"WEP-64bit(40bit)"
		13 (16進数以外)	"WEP-128bit(104bit)"
		その他	"Unknown"
	その他	-	選択したセキュリティー設定

#### 10.2.2.4.3 ボタン

入力確認ページで表示した値で無線 LAN 設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-49 ボタン

項目	説明
"OK"	入力確認ページで表示した値で無線 LAN 設定を行うためのボタン。ボタンを押下することで結果表示のページへ遷移する。
"Back"	設定入力ページへ戻るためのボタン。ボタンを押下することで設定入力ページへ遷移する。

## 10.2.2.5 結果表示ページ

### 10.2.2.5.1 イメージ図

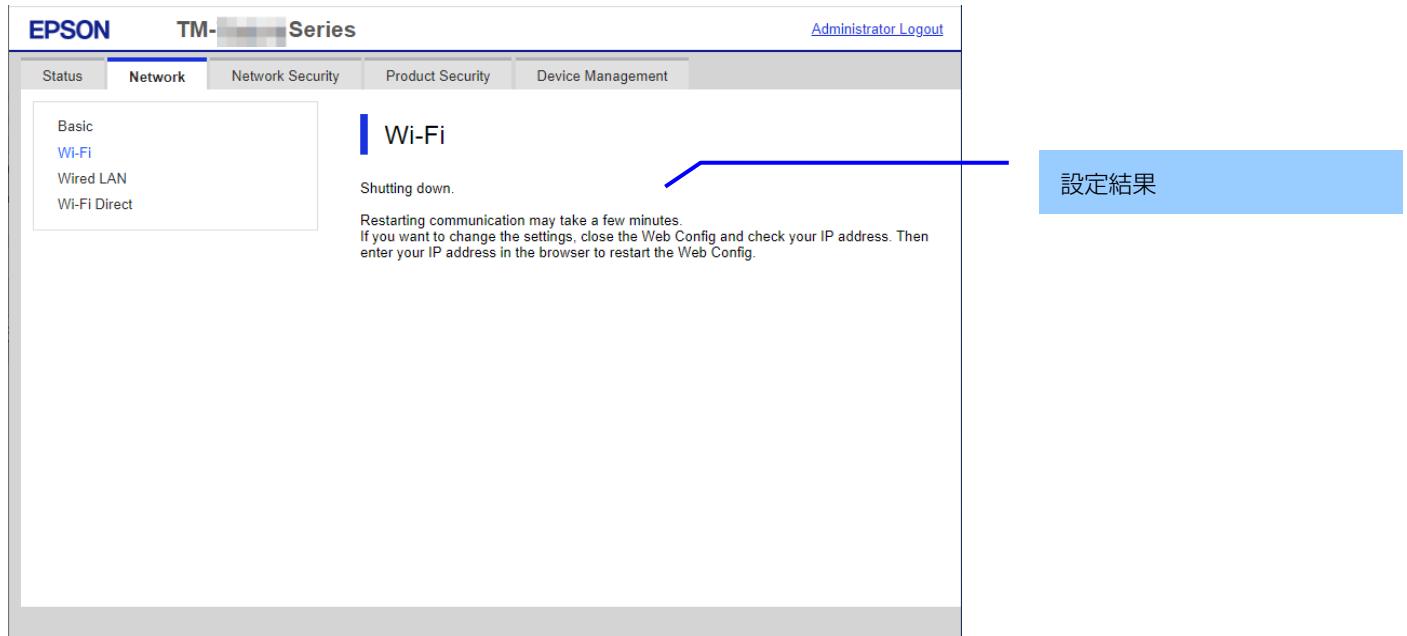


Figure 10-11 結果表示ページ

### 10.2.2.5.2 設定結果

Table 10-50 設定結果

項目	説明
"Shutting down. Restarting communication may take a few minutes. If you want to change the settings, close the Web Config and check your IP address. Then enter your IP address in the browser to restart the Web Config."	設定成功時に表示する。
"Setup failed."	設定失敗時に表示する。

## 10.2.3 有線 LAN – Wired LAN

### 10.2.3.1 トップページ

#### 10.2.3.1.1 イメージ図

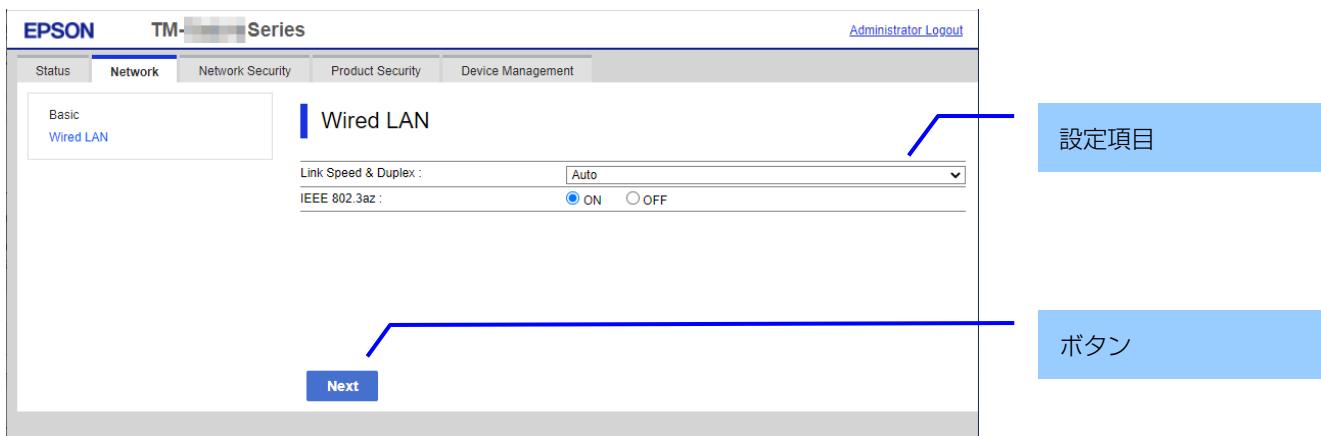


Figure 10-12 トップページ

#### 10.2.3.1.2 設定項目

以下に有線 LAN 設定の設定項目について記載する。

Table 10-51 設定項目

項目	説明	有効条件
"Link Speed & Duplex"	以下を選択するドロップダウンリストを設ける。 "Auto" / "10BASE-T Half Duplex" / "10BASE-T Full Duplex" / "100BASE-TX Half Duplex" / "100BASE-TX Full Duplex" / "100BASE-TX Auto"	"100BASE-TX Auto"は SoC12H 機種のみ
"IEEE 802.3az"	"ON" / "OFF"をラジオボタンで選択する。	-

#### 10.2.3.1.3 ボタン

以下に有線 LAN 設定のボタンについて記載する。

Table 10-52 ボタン

項目	説明
"Next"	ボタンを押下することで入力確認ページへ遷移する。

## 10.2.3.2 入力確認ページ

### 10.2.3.2.1 イメージ図

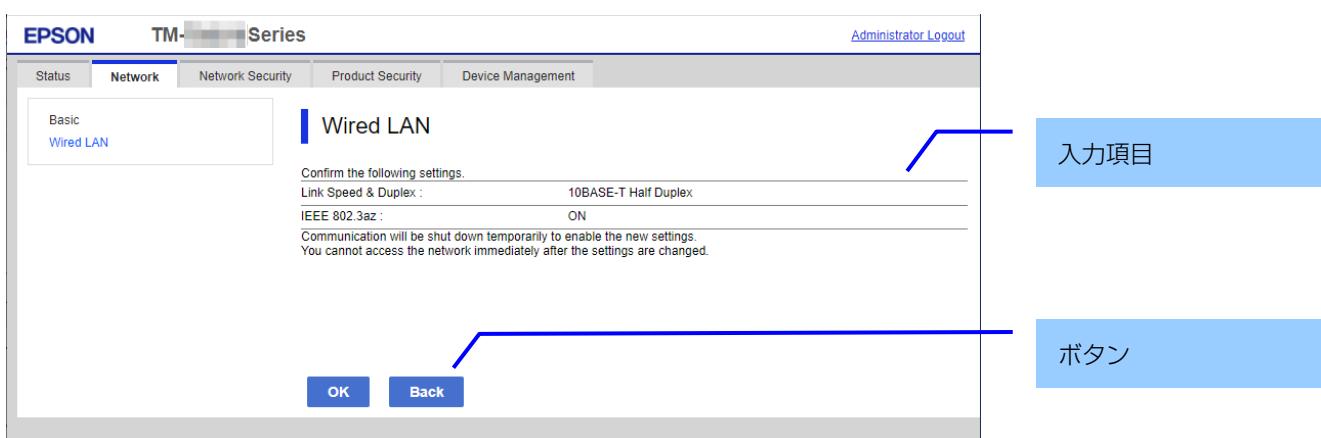


Figure 10-13 入力確認ページ

### 10.2.3.2.2 入力情報 - Input Information

Table 10-53 入力情報 - Input Information

項目	説明
"Confirm the following settings."	左記の文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。
"Communication will be shut down temporarily to enable the new settings. You cannot access the network immediately after the settings are changed."	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。

### 10.2.3.2.3 ボタン

有線 LAN 設定ページで表示した値で有線 LAN 設定を行うためのボタンを設ける。設定ボタンを押下することで設定結果ページを表示する。

Table 10-54 ボタン

項目	説明
"OK"	入力確認ページで表示した値で有線 LAN 設定を行うためのボタンを設ける。ボタンを押下することで設定結果ページへ遷移する。
"Back"	有線 LAN 設定ページへ戻るためのボタンを設ける。ボタンを押下することで有線 LAN 設定ページへ遷移する。

### 10.2.3.3 設定結果ページ

設定ボタンを押すと結果ページが表示される。設定成功時に表示されるページと設定失敗時に表示されるページを以下に示す。

#### 10.2.3.3.1 イメージ図

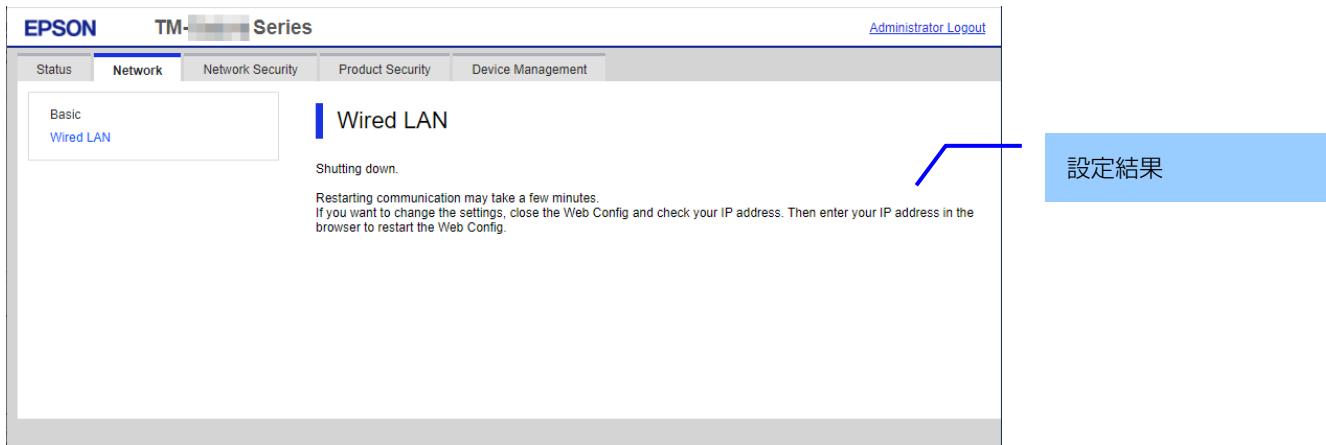


Figure 10-14 設定結果ページ

#### 10.2.3.3.2 設定結果

Table 10-55 設定結果

項目	説明
"Shutting down." "Restarting communication may take a few minutes." "If you want to change the settings, close the Web Config and check your IP address. Then enter your IP address in the browser to restart the Web Config."	設定に成功したときに表示する。
"Setup failed."	ネットワーク基本情報の設定に失敗したときに表示する。

## 10.2.4 Wi-Fi Direct

Wi-Fi Direct の設定では、Wi-Fi Direct ネットワークの情報確認と、Wi-Fi Direct に関する設定ができる。オプションの無線 LAN ユニットが接続されていない場合は、表示されません。

### 10.2.4.1 トップページ

#### 10.2.4.1.1 イメージ図

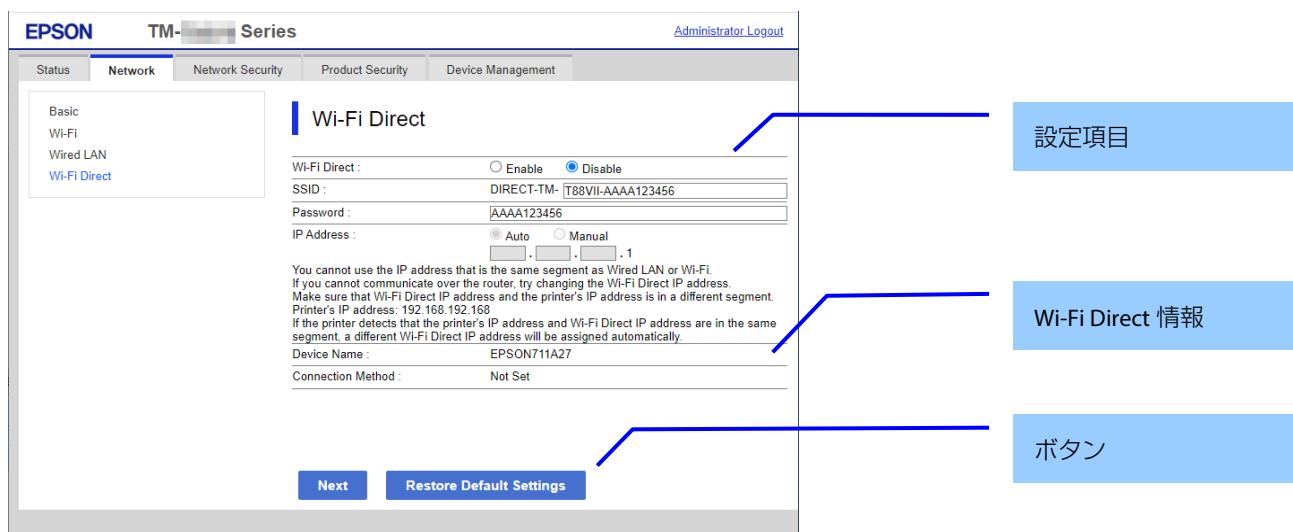


Figure 10-15 トップページ

#### 10.2.4.1.2 設定項目

Wi-Fi Direct 設定ページでは、以下の設定が可能である。

Table 10-56 設定項目

項目	説明	有効条件
"Wi-Fi Direct"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Enable" / "Disable" "Disable"を選択した場合は、Wi-Fi Direct(シンプル AP)を無効にする。 "Enable"が選択された場合は、Wi-Fi Direct(シンプル AP)を有効にする。	-
"SSID"	テキストボックスに 0~22 文字を 0x20-0x7F の ASCII 文字を入力する。 "DIRECT-TM-"を固定文字列としてテキストボックスの前に表示し、 "DIRECT-TM-" + 本テキストボックスに入力された文字列が SSID 名となる。	Wi-Fi チップ搭載機種のみ
"Password"	Wi-Fi Direct のパスワードを設定する。 テキストボックスに ASCII 文字列を 8~22 文字の範囲で入力できる。	Wi-Fi チップ搭載機種以外は、 "Wi-Fi Direct"が"Enable"が選択されていれば有効となる。
"IP Address"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Auto" / "Manual"  IP アドレスを入力するためのテキストボックスを表示する。 IP アドレスのバイト区切りを 10 進数で入力するための 3 つ	"Wi-Fi Direct"が"Disable"のときはグレー アウトする。 テキストボックスは、"Auto"の場合はグ レーアウトする。

	<p>の入力欄とし、</p> <p>最後の 1 バイトは"1"を固定表示する。それぞれの入力欄の間には"."を表示する。</p> <p>Wi-Fi Direct が有効の時は、動作値が初期表示される。無効の時は、IP アドレスが手動設定であれば設定値が初期表示され、それ以外は、空欄表示となる。</p> <p>それぞれのテキストボックスは 0~255 の範囲で入力できるが、</p> <p>IP アドレスの入力値として以下の入力チェックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の IP アドレスは入力不可とする           <ul style="list-style-type: none"> <li>"0.0.0.1"~"0.255.255.1"</li> <li>ループバックアドレス ("127.0.0.1" ~"127.255.255.1")</li> <li>クラス D ("224.0.0.1"~"239.255.255.1")</li> <li>クラス E ("240.0.0.1"~"255.255.255.1")</li> </ul> </li> </ul> <p>また、有線または無線 LAN(Wi-Fi)側の IP アドレスとの衝突をチェックする。エラーの場合はその旨ポップアップ表示する。ただし、未接続のときはチェックしない。</p> <p>(有線または無線 LAN 側の IP アドレスの 2 バイト目までをチェックする。)</p>	
<p>"You cannot use the IP address that is the same segment as Wired LAN or Wi-Fi.¥n If you cannot communicate over the router, try changing the Wi-Fi Direct IP address.¥nMake sure that Wi-Fi Direct IP address and the printer's IP address is in a different segment.¥nPrinter's IP address: %s¥nIf the printer detects that the printer's IP address and Wi-Fi Direct IP address are in the same segment, a different Wi-Fi Direct IP address will be assigned automatically."</p>	<p>IP アドレスの設定項目内に表示される固定文字列。</p> <p>"%s"には現在の有線 LANor 無線 LAN(Wi-Fi)の IP アドレスを表示する。</p>	-

### 10.2.4.1.3 Wi-Fi Direct 情報- Wi-Fi Direct Information

情報確認タブのネットワーク情報の Wi-Fi Direct 情報の記載と同じ内容を表示する。

### 10.2.4.1.4 ボタン

設定を反映、及び、プリンターに登録されている無線機器の登録所を削除するためのボタンを設ける。

The following table shows the button on the page.

**Table 10-57 ボタン**

項目	説明	有効条件
"Next"	設定を開始するためのボタン。 ボタンが押されると入力確認ページに遷移する。	-
"Restore Default Settings"	"購入時の設定に戻しますか？"￥n 設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。￥n 設定を変更した直後はネットワーク接続できません。"の警告ポップアップを表示し、OK ボタンを押下されたら、Wi-Fi Direct 設定を購入時の状態に戻す。キャンセルボタンを押下されたら、警告ポップアップの表示を消すのみで何もしない。	Wi-Fi チップ搭載機種のみ表示される。

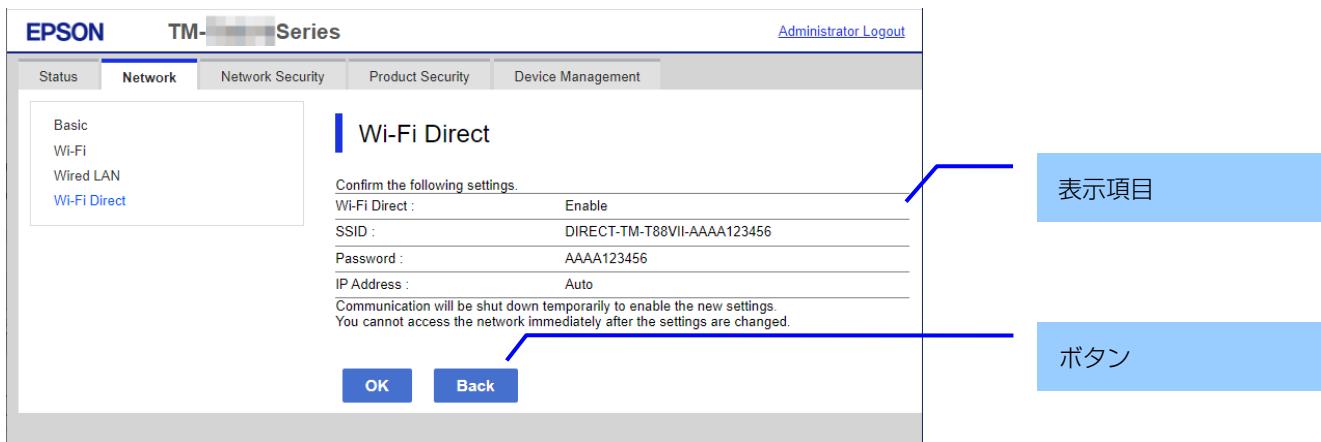
"次へ"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーPOップアップウィンドウを出す。

**Table 10-58 エラーPOップアップ**

表示項目	説明
"Invalid value below."	設定項目について、入力された値が間違っている場合に表示する。

### 10.2.4.2 入力確認ページ

#### 10.2.4.2.1 イメージ図



**Figure 10-16 入力確認ページ**

#### 10.2.4.2.2 表示項目

"Change the following settings"という文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。また設定項目の最下部に以下の注意文を表示する。"Communication will be shut down temporarily to enable the new settings. You cannot access the network immediately after the settings are changed."

#### 10.2.4.2.3 ボタン

入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-59 ボタン

項目	説明
"OK"	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタン。ボタンを押下することで設定結果表示のページへ遷移する。
"Back"	設定入力ページへ戻るためのボタン。ボタンを押下することで設定入力ページへ遷移する。

#### 10.2.4.3 設定結果ページ

設定ボタンを押した際、結果ページが表示される。プリンターの無線 LAN モードの設定が IEEE802.11g の場合はエラーページを表示する。また、"Delete"ボタン押下により削除結果表示のページに遷移する。

##### 10.2.4.3.1 イメージ図

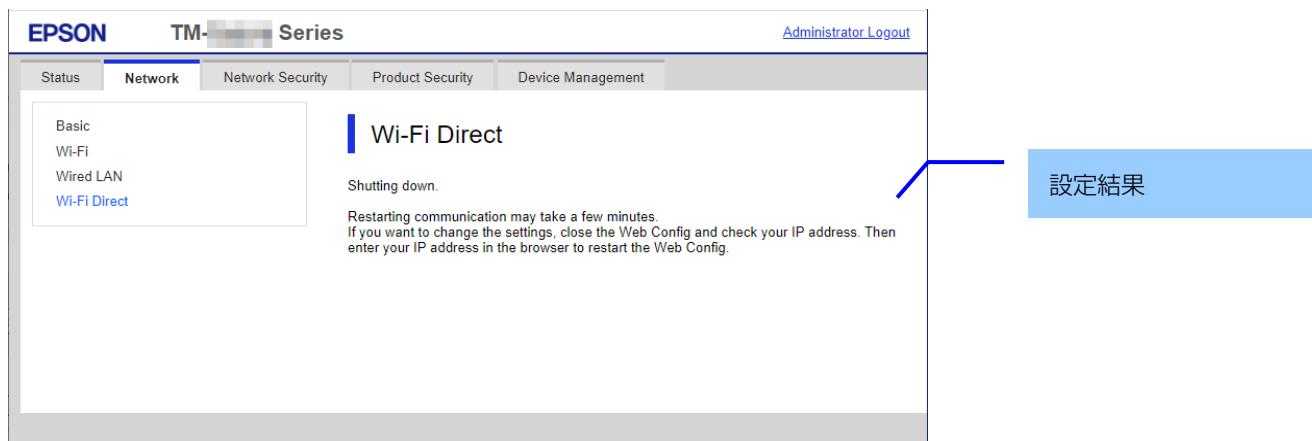


Figure 10-17 設定結果ページ

#### 10.2.4.3.2 設定結果

Table 10-60 設定結果

項目	説明
"Shutting down." "Restarting communication may take a few minutes." "If you want to change the settings, close the Web Config and check your IP address. Then enter your IP address in the browser to restart the Web Config."	設定に成功したときに表示する。
"Setup complete."	削除成功時に表示する。

## 10.3 ネットワークセキュリティ - Network Security

### 10.3.1 プロトコル - Protocol

#### 10.3.1.1 トップページ

##### 10.3.1.1.1 イメージ図

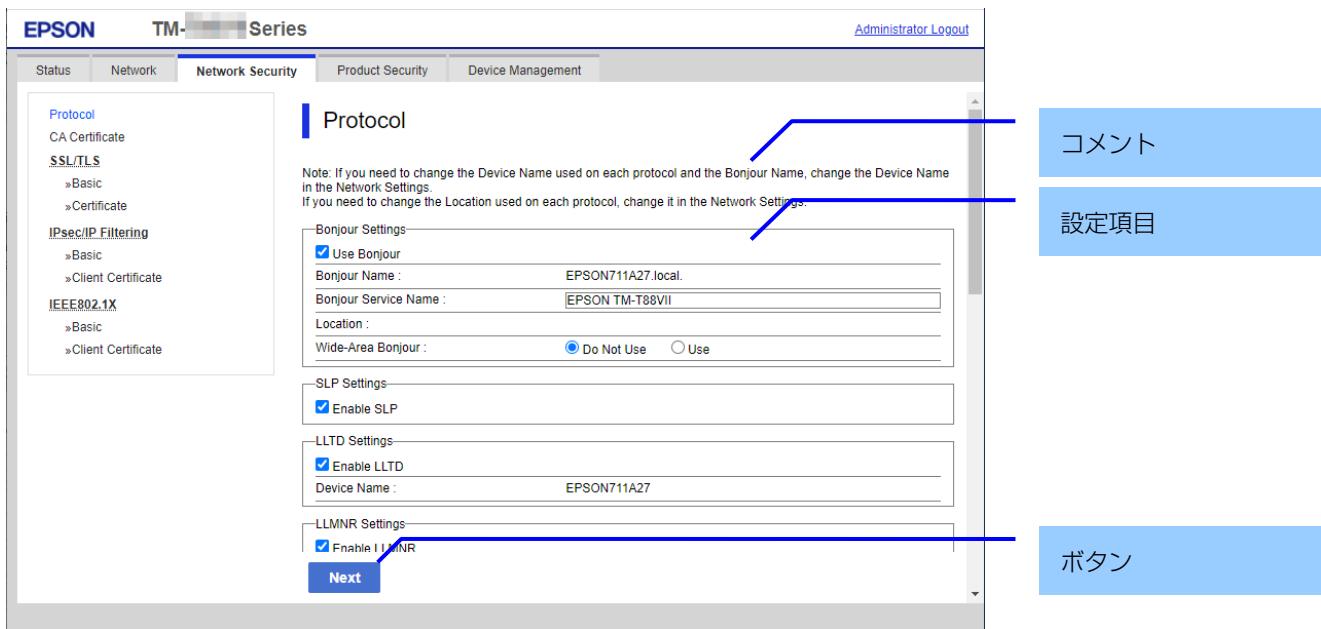


Figure 10-18 トップページ

#### 10.3.1.1.2 コメント

Table 10-61 コメント

コメント	説明
"Note: If you need to change the Device Name used on each protocol and the Bonjour Name, change the Device Name in the Network Settings. If you need to change the Location used on each protocol, change it in the Network Settings."	固定文字列

#### 10.3.1.1.3 設定項目

Table 10-62 設定項目

項目	説明	有効条件
"Bonjour Settings"	タイトル	-
"Use Bonjour"	チェックボックスで Bonjour の使用と未使用の切り替えを可能にする。 チェック時は使用を意味する。	-
"Bonjour Name"	Bonjour 名として "デバイス名" + ".local." を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。 デバイス名はネットワーク基本設定から変更可能	Read only
"Bonjour Service Name"	Bonjour のサービス名の文字列を設定するテキストボックスとする。 最大 41Byte の英数字記号 (0x20-0x7E) であること	"Use Bonjour" がチェックされているときのみ入力可能にする。
"Location"	Bonjour のロケーション文字列を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。	Read only
"Top Priority Protocol"	"Port9100" / "IPP" をドロップダウンリストから選択する。	RAW(Port9100)かつ IPP 対応機種のみ表示。 "Use Bonjour" がチェックされているときのみ入力可能にする。

"iBeacon Settings"	タイトル	iBeacon 対応機種のみ表示
"Enable iBeacon Transmission"	チェックボックスで iBeacon 対応機器からの探索の有効と無効の切り替えを可能にする。 チェック時は有効を意味する。	iBeacon 対応機種のみ表示
"SLP Settings"	タイトル	-
"Enable SLP"	チェックボックスで SLP の有効と無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	-
"WSD Settings"	タイトル	-
"Enable WSD"	チェックボックスで WSD の有効と無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	-
"Scanning Timeout (sec)"	テキストボックスで WSD(スキャン)通信のタイムアウトの設定を可能にする。(3-3600)秒	"Enable WSD"が有効のときのみ入力可能にする。 WSD スキャン対応機種のみ項目を表示する。
"Device Name"	WSD のデバイス名を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。 本値は、ネットワーク基本設定から変更可能	Read only
"Location"	WSD のロケーション文字列を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。 本値は、ネットワーク基本設定から変更可能	Read only
"LLTD Settings"	タイトル	-
"Enable LLTD"	チェックボックスで LLTD の有効と無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	-
"Device Name"	LLTD のデバイス名を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。 本値は、ネットワーク基本設定から変更可能	Read only
"LLMNR Settings"	タイトル	-
"Enable LLMNR"	チェックボックスで LLMNR の有効と無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	-
"LPR Settings"	タイトル	LPR 対応機種のみ表示。
"Allow LPR Port Printing"	チェックボックスで LPR ポートからの印刷の許可と非許可の切り替えを可能にする。チェック時は許可を意味する。	LPR 対応機種のみ表示。
"Printing Timeout (sec)"	テキストボックスで LPR 通信のタイムアウトの設定を可能にする。(0-3600)秒	LPR 対応機種のみ表示。 "Allow LPR Port Printing"が許可の場合のみ有効とする。
"RAW (Port9100) Settings"	タイトル	RAW(Port9100)対応機種のみ表示。
"Allow RAW(Port9100) Printing"	チェックボックスで RAW(Port9100)からの印刷の許可と非許可の切り替えを可能にする。チェック時は許可を意味する。	RAW(Port9100)対応機種のみ表示。
"Printing Timeout (sec)"	テキストボックスで RAW(Port9100)通信のタイムアウトの設定を可能にする。(0-3600)秒	RAW(Port9100)対応機種のみ表示。 "Allow RAW(Port9100) Printing"が許可の場合のみ有効とする。
"RAW(Custom Port) Settings"	タイトル	RAW (任意ポート) 対応機種のみ表示。
"Allow RAW(Custom Port) Printing"	チェックボックスで RAW (任意ポート) からの印刷の許可の切り替えを可能にする。チェック時は許可を意味する。	RAW (任意ポート) 対応機種のみ表示。

"Port Number"	テキストボックスでポート番号を設定する。 1024 – 65535 (9100、1865、2968 を除く)	RAW (任意ポート) 対応機種のみ表示。 "Allow RAW(Custom Port) Printing" が許可の場合のみ有効。
"Printing Timeout(sec)"	テキストボックスで RAW (任意ポート) 通信のタイムアウトの設定を可能にする。(0-3600 秒)	RAW (任意ポート) 対応機種のみ表示。 "Allow RAW(Custom Port) Printing" が許可の場合のみ有効。
"IPP Settings"	タイトル	IPP 対応機種のみ表示。
"Enable IPP"	チェックボックスで IPP の有効と無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	IPP 対応機種のみ表示。
"Allow Non-secure Communication"	"Allowed"/"Not Allowed"が選べるラジオボタン。	IPP 対応機種のみ表示。
"Communication Timeout (sec)"	テキストボックスで IPP ポート通信のタイムアウトの設定を可能にする。(3-3600)秒	IPP 対応機種のみ表示。 "Enable IPP"が有効のときのみ入力可能にする。
"Require PIN Code when using IPP printing"	"はい"/"いいえ"が選べるラジオボタン。	IPP 対応機種のみ表示。 IPP が有効のときのみ入力可能にする。 PIN 印刷対応機種のみ表示。
"URL(Network)"	IPP の URL 文字列を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。  http://xxx.xxx.xxx.xxx:yyy/ipp/print と http S ://xxx.xxx.xxx.xxx:yyy/ipp/print を併記する。  "xxx.xxx.xxx.xxx"は、IPv4 アドレス、"yyy"はポート番号、"ipp/print"は、IPP Printer Name の値が反映される。	Read only  IPP 対応機種のみ表示。 有線 LAN、あるいは無線 LAN で接続されている場合のみ有効とする。
"URL(Wi-Fi Direct)"	IPP の URL 文字列 (Wi-Fi Direct 側) を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。  http://xxx.xxx.xxx.xxx:yyy/ipp/print と http S ://xxx.xxx.xxx.xxx:yyy/ipp/print を併記する。  "xxx.xxx.xxx.xxx"は、IPv4 アドレス、"yyy"はポート番号、"ipp/print"は、IPP Printer Name の値が反映される。	Read only  IPP 対応機種のみ表示。 Wi-Fi Direct が接続されている場合のみ有効とする。
"Printer Name"	IPP のプリンターナンバーリストを表示する読み出し専用のテキストボックスとする。	Read only  IPP 対応機種のみ表示。
"Location"	IPP のロケーション文字列を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。  本値は、ネットワーク基本設定から変更可能	Read only  IPP 対応機種のみ表示。
"SNMPv1/v2c Settings"	タイトル	SNMPv3 サポート機種のみ表示。
"Enable SNMPv1/v2c"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SNMPv3 サポート機種、かつ、SNMPv1/v2c 個別設定機能非サポート機種で表示する。
"Enable SNMPv1"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SNMPv1/v2c 個別設定機能サポート機種で表示する。

	ツク時は有効を意味する。	ト機種で表示する。
"Enable SNMPv2c"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SNMPv1/v2c 個別設定機能サポート機種で表示する。
"Access Authority"	"Read Only" / "Read/Write"をドロップダウンリストから選択する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。 "Enable SNMPv1/v2c"にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。  SNMPv1/v2c が個別で設定できる機種ではどちらかにチェックが入っているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"Community Name(ReadOnly)"	テキストボックスに0~32文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。 "Enable SNMPv1/v2c"にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。  SNMPv1/v2c が個別で設定できる機種ではどちらかにチェックが入っているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"Community Name(ReadWrite)"	テキストボックスに0~32文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。 "Enable SNMPv1/v2c"にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。  SNMPv1/v2c が個別で設定できる機種ではどちらかにチェックが入っているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"IP Trap1"	以下の4項目をまとめるフィールドのタイトル。	SIDM 機種のみ表示
"Enable IP Trap 1"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SIDM 機種のみ表示
"Address"	IPv4 アドレスをテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"Community Name"	テキストボックスに0~32文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。	SIDM 機種のみ表示
"Port Number"	0 - 65535 の値をテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"IP Trap2"	以下の4項目をまとめるフィールドのタイトル。	SIDM 機種のみ表示
"Enable IP Trap 2"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SIDM 機種のみ表示
"Address"	IPv4 アドレスをテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"Community Name"	テキストボックスに0~32文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。	SIDM 機種のみ表示
"Port Number"	0 - 65535 の値をテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"IP Trap3"	以下の4項目をまとめるフィールドのタイトル。	SIDM 機種のみ表示
"Enable IP Trap 3"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SIDM 機種のみ表示

	ツク時は有効を意味する。	
"Address"	IPv4 アドレスをテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"Community Name"	テキストボックスに 0~32 文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。	SIDM 機種のみ表示
"Port Number"	0~65535 の値をテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"IP Trap4"	以下の 4 項目をまとめるフィールドのタイトル。	SIDM 機種のみ表示
"Enable IP Trap 4"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SIDM 機種のみ表示
"Address"	IPv4 アドレスをテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"Community Name"	テキストボックスに 0~32 文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。	SIDM 機種のみ表示
"Port Number"	0~65535 の値をテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"SNMPv3 Settings"	タイトル	SNMPv3 サポート機種のみ表示。 - Only SNMPv3 support printer.
"Enable SNMPv3"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。
"User Name"	テキストボックスに 1~32byte の範囲で UTF-8 文字列を入力する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。 "Enable SNMPv3"にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"Authentication Settings"	タイトル	SNMPv3 サポート機種のみ表示。
"Algorithm"	認証アルゴリズムを選択する。 "MD5" / "SHA-1"をドロップダウンリストから選択する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。 "Enable SNMPv3"にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"Password"	認証パスワードを入力する。 テキストボックスに 8~32byte の範囲で ASCII 文字列を入力する。入力時の表示はマスクする。 パスワードが空で設定されているときに* (アスタリスク) 10 個で入力された場合は設定に失敗する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。 "Enable SNMPv3"にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"Confirm Password"	"Password"と同様	"Password"と同様
"Encryption Settings"	タイトル	SNMPv3 サポート機種のみ表示。
"Algorithm"	暗号化アルゴリズムを選択する。 "DES" / "AES-128"をドロップダウンリストから選択する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。 "Enable SNMPv3"にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"Password"	暗号化パスワードを入力する。 テキストボックスに 8~32byte の範囲で ASCII 文字列を入力する。入力時の表示はマスクする。 パスワードが空で設定されているときに* (アスタリスク) 10 個で入力された場合は設定に失敗する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。 "Enable SNMPv3"にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"Confirm Password"	"Password"と同様	"Password"と同様
"Context Name"	テキストボックスに 0~32byte の範囲で UTF-8 文字列を入力す	SNMPv3 サポート機種のみ表示。

	る。	"Enable SNMPv3"にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
--	----	--

#### 10.3.1.1.4 ボタン

入力を確認するためのボタンを設ける。

Table 10-63 ボタン

項目	説明
"Next"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。 ボタンが押されると入力確認ページに遷移する。

"Next"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-64 エラー ポップアップ

表示項目	説明
"Invalid value below." "-WSD Settings > Timeout"	タイムアウトの設定項目について、入力された値が間違っている場合に表示する。表示形式は「タイトル > 項目名」とし、1行につき1項目表示する。  Shows the warning with the items of the mis inputted value.
"Passwords you entered do not match." "-SNMPv3 Settings >"	パスワードとパスワードの確認の入力した値が一致しない場合に表示する。表示形式は「タイトル > タイトル」とし、1行につき1項目表示する。  When the password and the confirming password do not match up, this message is shown.

#### 10.3.1.2 入力確認ページ

##### 10.3.1.2.1 イメージ図

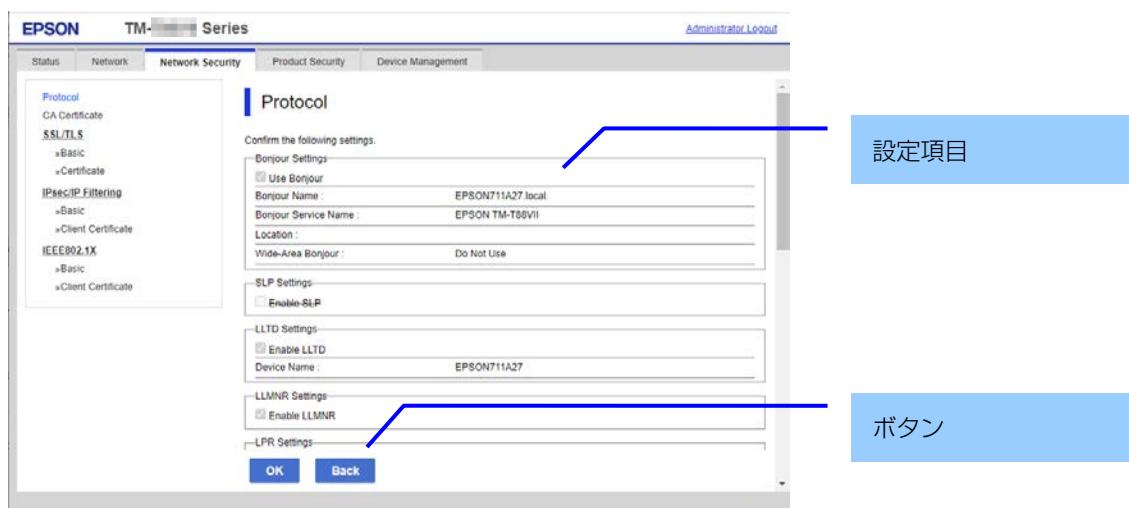


Figure 10-19 入力確認ページ

##### 10.3.1.2.2 設定項目

"Confirm the following settings."という文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。（"パスワード確認入力"の項目は表示しない）また設定項目の最下部に以下の注意文を表示する。

"Communication will be shut down temporarily to enable the new settings. You cannot access the network immediately after the settings are changed."

### 10.3.1.2.3 ボタン

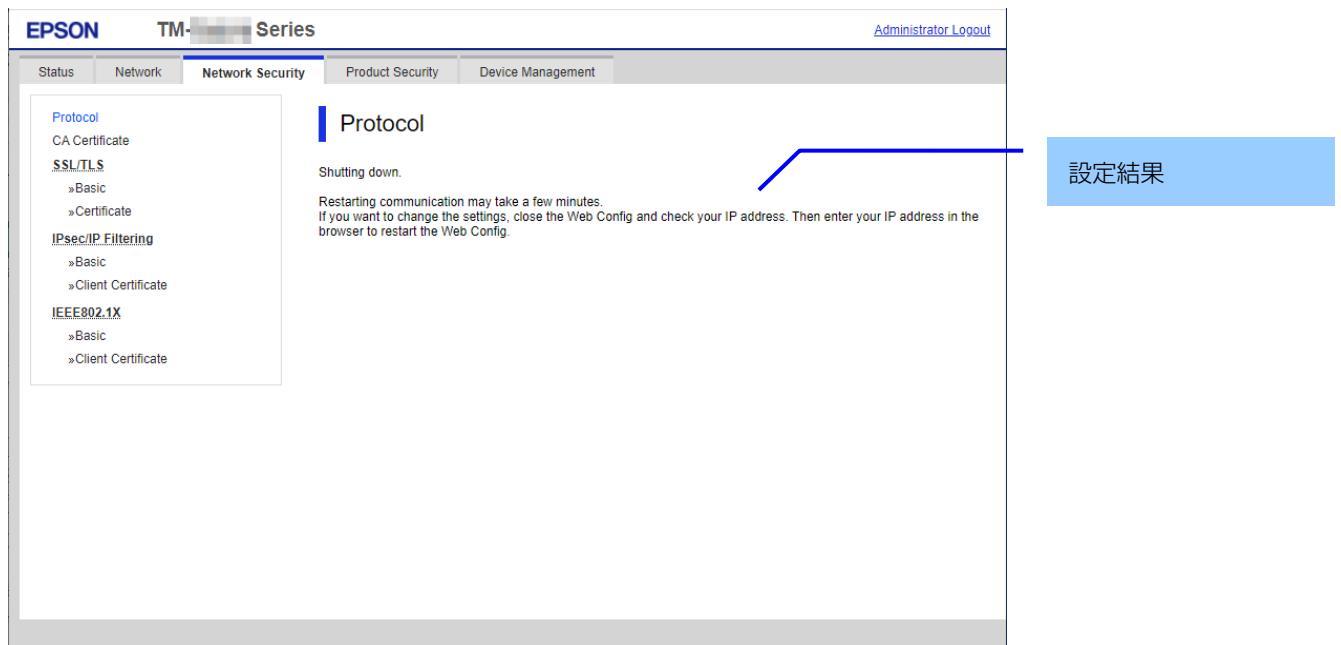
入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

**Table 10-65 ボタン**

項目	説明
"OK"	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタン。ボタンを押下することで結果表示のページへ遷移する。
"Back"	設定入力ページへ戻るためのボタン。ボタンを押下することで設定入力ページへ遷移する。

### 10.3.1.3 結果表示

#### 10.3.1.3.1 イメージ図



**Figure 10-20 結果表示ページ**

#### 10.3.1.3.2 設定結果

**Table 10-66 設定結果**

項目	説明
"Shutting down." "Restarting communication may take a few minutes." "If you want to change the settings, close the Web Config and check your IP address. Then enter your IP address in the browser to restart the Web Config."	成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)
"Setup failed."	失敗の場合に表示する。

### 10.3.2 相手サーバー検証用 CA 証明書 – CA Certificate

#### 10.3.2.1 トップページ

相手サーバー検証用 CA 証明書トップページでは、相手サーバー検証用 CA 証明書のインポート、表示、削除が可能である。証明書のインポート、削除に成功した場合に、このページに遷移する。以下にトップページの画面イメージを示す。

##### 10.3.2.1.1 イメージ図

以下にトップページの画面イメージを示す。

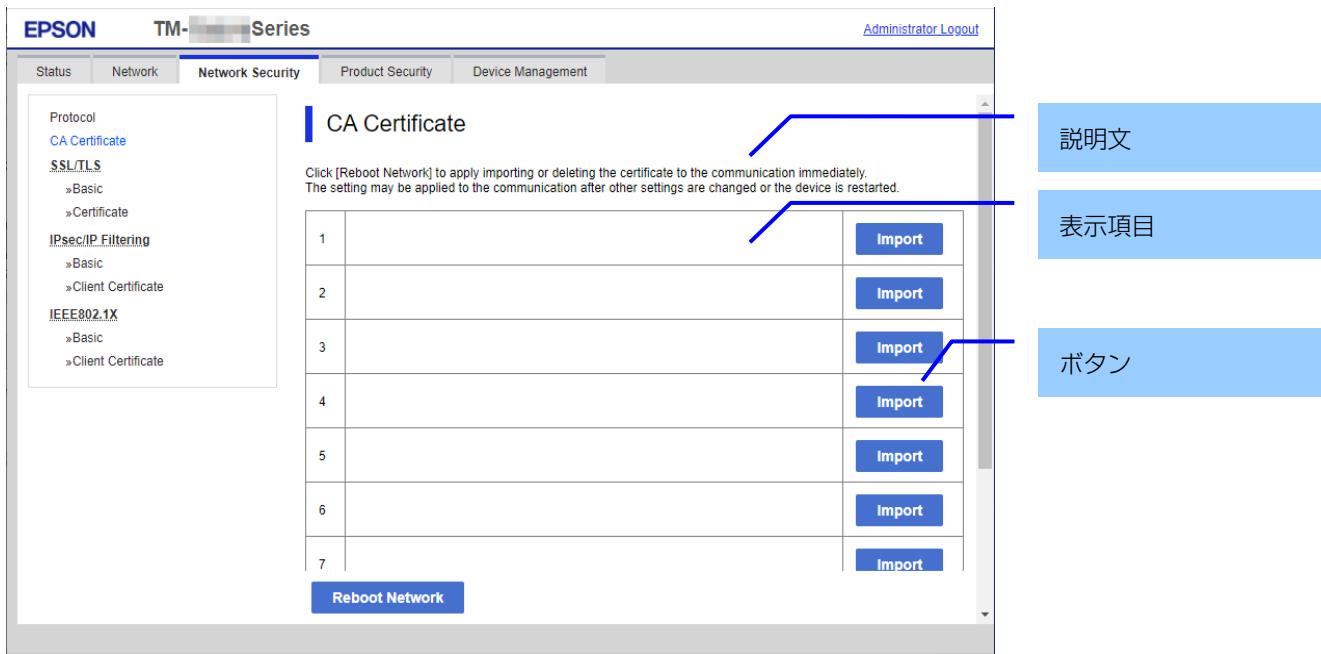


Figure 10-21 トップページ

##### 10.3.2.1.2 説明文

Table 10-67 説明文

項目	説明
"Click [Reboot Network] to apply importing or deleting the certificate to the communication immediately."	固定文字列
"The setting may be applied to the communication after other settings are changed or the device is restarted."	固定文字列

##### 10.3.2.1.3 表示項目

Table 10-68 表示項目

項目	説明
"1"	相手サーバー検証用 CA 証明書の情報を表示する。ASCII 最大 8192Byte。
"2"	同上
"3"	同上
"4"	同上
"5"	同上
"6"	同上
"7"	同上
"8"	同上
"9"	同上
"10"	同上

#### 10.3.2.1.4 ボタン

Table 10-69 相手サーバー検証用 CA 証明書情報 ボタン

項目	説明	有効条件
"Import"	相手サーバー検証用 CA 証明書のインポート設定ページに遷移する。	相手サーバー検証用 CA 証明書が未インポート時に表示
"Delete"	ポップアップ表示後、インポート済みの相手サーバー検証用 CA 証明書を削除する。	相手サーバー検証用 CA 証明書がインポート済時
"Reboot Network"	ネットワークを再起動し、証明書のインポートまたは削除を通信に反映させる。	-

#### 10.3.2.1.5 削除 - Delete

相手サーバー検証用 CA 証明書設定トップページの削除ボタンを押下することによって、以下の警告ポップアップを表示してから、相手サーバー検証用 CA 証明書を削除しトップページへ遷移する。OK ボタン、キャンセルボタンの文言は各ブラウザーの表示仕様に従う。

Table 10-70 ポップアップウィンドウ

項目	説明
"The certificate of No. %d will be deleted."	固定文字列

#### 10.3.2.1.6 ネットワーク再起動 - Reboot Network

相手サーバー検証用 CA 証明書設定トップページのネットワーク再起動ボタンを押下することによって、以下の警告ポップアップを表示してから、ネットワークを再起動し、結果表示ページへ遷移する。

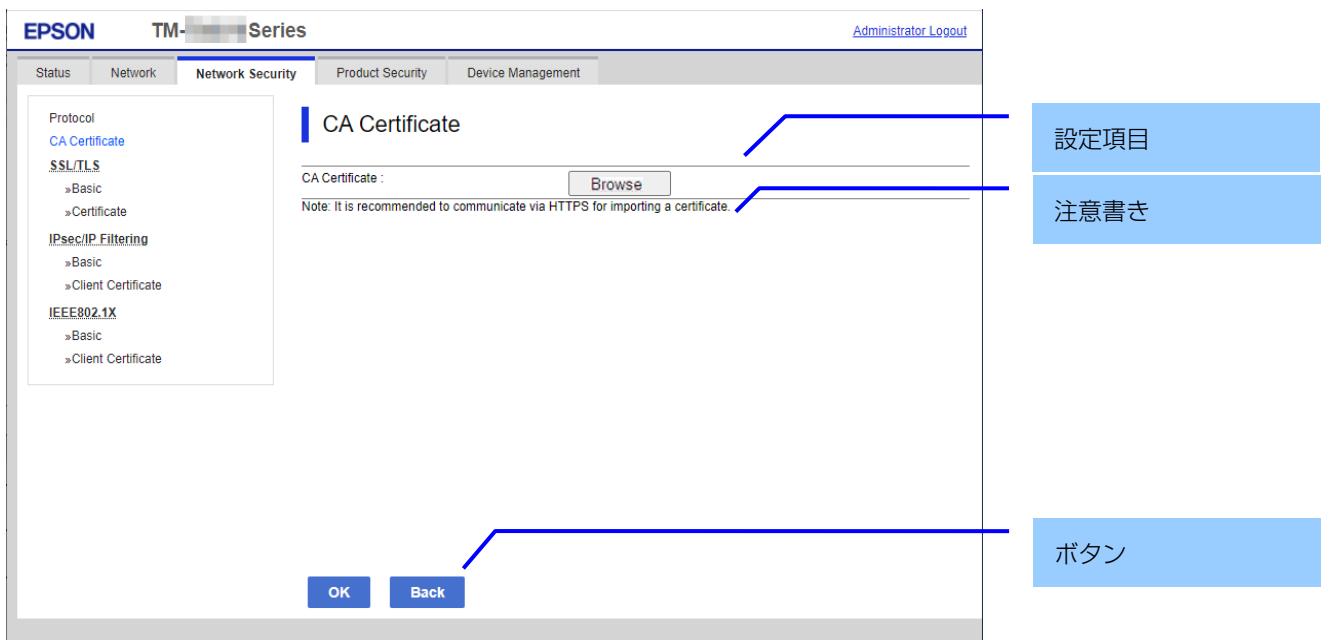
Table 10-71 ポップアップウィンドウ

項目	説明
"The network will be rebooted." "Communication will be shut down temporarily."	固定文字列

#### 10.3.2.2 インポートページ - Import page

相手サーバー検証用 CA 証明書設定トップページのインポートボタンを、押下することによって、以下の相手サーバー検証用 CA 証明書インポート設定ページに遷移する。

#### 10.3.2.2.1 イメージ図



**Figure 10-22 インポートページ – Import page**

#### 10.3.2.2.2 設定項目

**Table 10-72 設定項目**

項目	説明
"CA Certificate"	インポートする CA 証明書ファイルを指定できる。フォルダー参照ボタンで入力する。

#### 10.3.2.2.3 注意書き

相手サーバー検証用 CA 証明書インポートページに、注意書き欄設ける。

**Table 10-73 注意書き**

項目	説明
"Note: It is recommended to communicate via HTTPS for importing a certificate."	固定文字列

#### 10.3.2.2.4 ボタン

**Table 10-74 ボタン**

項目	説明
"OK"	インポートを実施する。 インポートボタンが押された後に、結果によって以下のページへ遷移する。 <ul style="list-style-type: none"><li>● インポートに成功した場合はトップページに遷移する。</li><li>● インポートに失敗した場合は結果表示ページに遷移する。</li><li>● 入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。</li></ul>
"Back"	相手サーバー検証用 CA 証明書設定トップページに遷移する。

#### 10.3.2.2.5 エラーポップアップウィンドウ

**Table 10-75 エラーポップアップウィンドウ**

項目	説明
"Select a CA Certificate."	相手サーバー検証用 CA 証明書のパスが未入力の場合に表示する。

#### 10.3.2.3 結果表示ページ

インポートボタンが押された後に、インポートに成功した場合はトップページに遷移する。

インポートボタンが押された後に、インポートに失敗した場合は以下の設定結果を表示するページに遷移する。

### 10.3.2.3.1 イメージ図

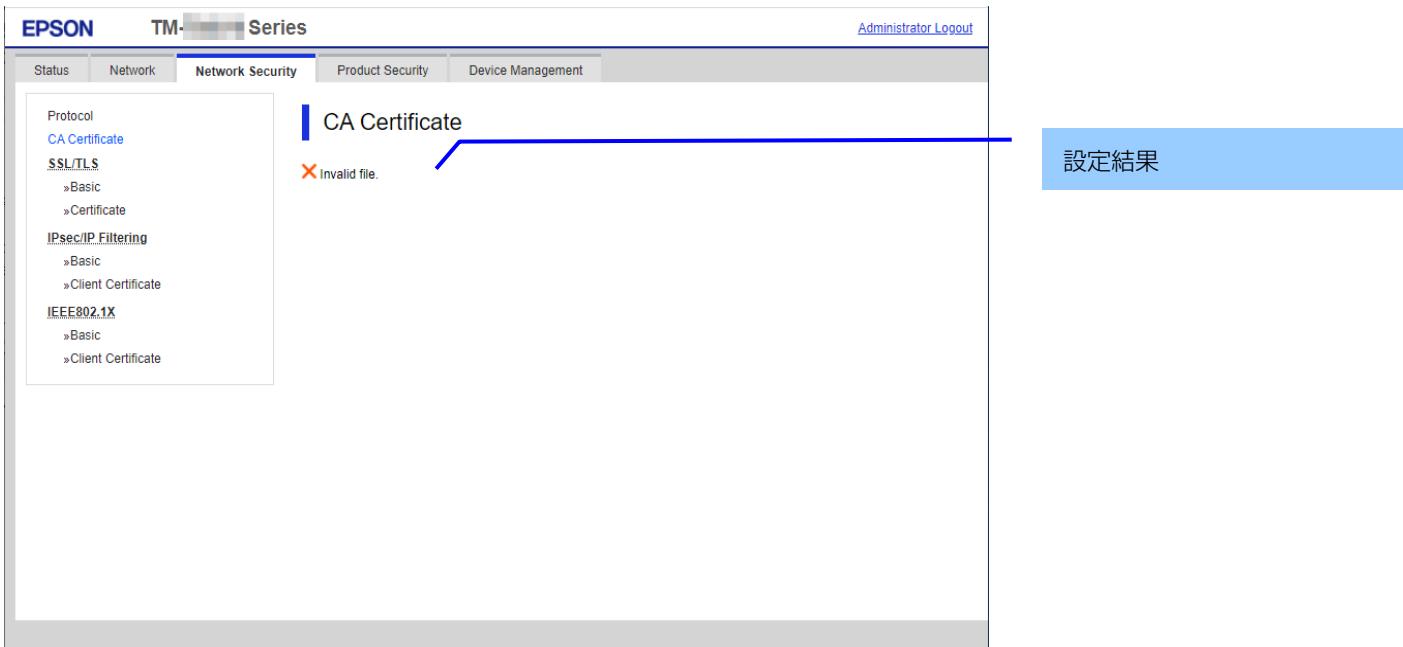


Figure 10-23 結果表示ページ

### 10.3.2.3.2 設定結果

Table 10-76 設定結果

項目	説明
"Invalid file."	以下の場合に表示する。 ・証明書が不正 -ファイル形式が X.509 形式でない -5K 以上 24K 未満のサイズオーバーの証明書をインポートしようとした(※)
"Invalid date and time."	有効期間外の証明書をインポートしようとしたときに表示する。(日時未設定状態)
"The certificate has expired. Check if the certificate is valid, or check the date and time on the product."	有効期間外の証明書をインポートしようとしたときに表示する。(日時設定済状態)
"Shutting down." "Restarting communication may take a few minutes." "If you want to change the settings, close the Web Config and check your IP address. Then enter your IP address in the browser to restart the Web Config."	ネットワークリブート成功時に表示する。
"Setup failed."	証明書インポート失敗時、あるいはネットワーク再起動失敗時に表示する。

※インポートする証明書のサイズが 24Kbyte 以上の場合、読み込みできず Web ブラウザーのエラーが表示される。

### 10.3.3 SSL/TLS

SSL/TLS 設定では、SSL/TLS に関する、基本設定、証明書設定が可能である。  
本設定のメニューでは、以下のサブメニューをサポートする。

**Table 10-77 SSL/TLS 設定のサブメニュー**

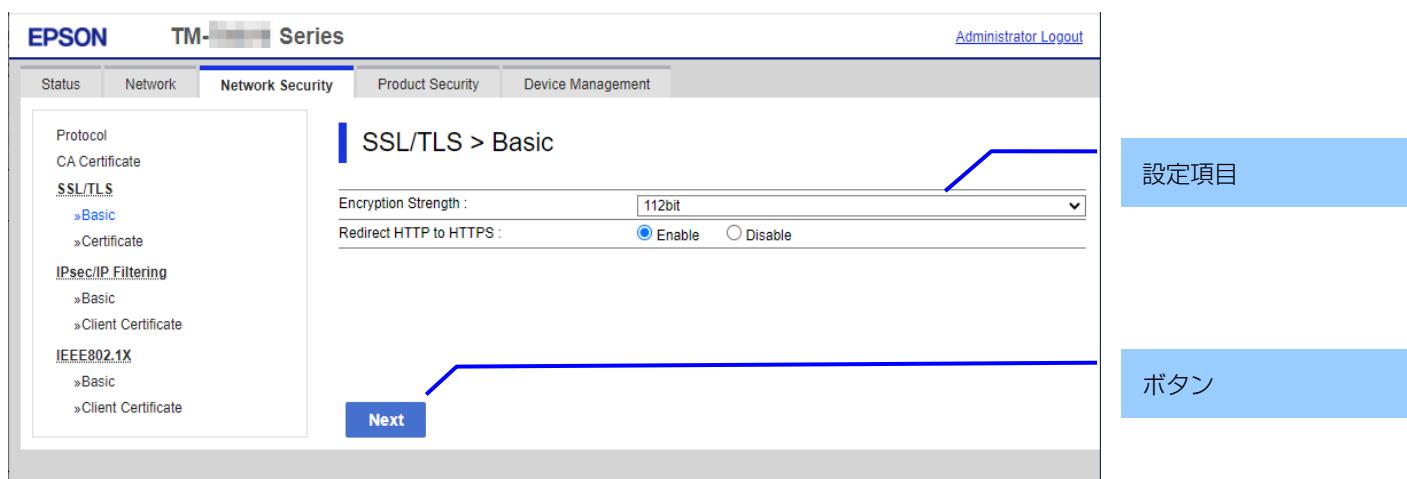
サブメニュー - Sub menu	
"Basic"	
"Certificate"	

#### 10.3.3.1 基本 - Basic

##### 10.3.3.1.1 トップページ

###### 10.3.3.1.1.1 イメージ図

以下にトップページの画面イメージを示す。



**Figure 10-24 トップページ**

##### 10.3.3.1.1.2 設定項目

**Table 10-78 SSL/TLS 基本設定 設定項目**

項目	説明
"Encryption Strength"	暗号の強度をドロップダウンリストで選択する。 "80bit" / "112bit" / "128bit" / "192bit" / "256bit"
"Redirect HTTP to HTTPS"	HTTP でアクセスされた場合に HTTPS ヘリダイレクトする否かをドロップダウンリストで選択する。 "Enable" "Enable" / "Disable" "Disable"

##### 10.3.3.1.1.3 ボタン

**Table 10-79 SSL/TLS 基本設定 設定ボタン**

項目	説明
"Next"	ページ最下部にボタンを設ける。このボタンが押されると入力確認ページに遷移する。

### 10.3.3.1.2 入力確認ページ

設定ページで"Next"ボタンが押下されたら、入力された設定値を確認するための入力確認ページに遷移する。

#### 10.3.3.1.2.1 イメージ図

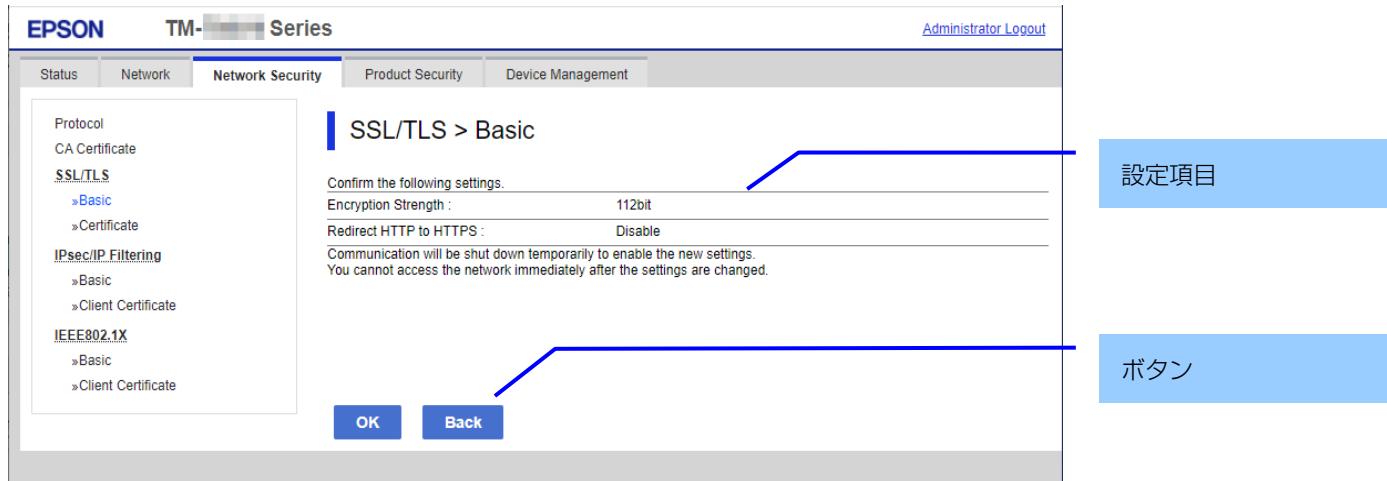


Figure 10-25 入力確認ページ

#### 10.3.3.1.2.2 設定項目

"Confirm the following settings."という文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。

また設定項目の最下部に以下の注意文を表示する。

"Communication will be shut down temporarily to enable the new settings. You cannot access the network immediately after the settings are changed."

#### 10.3.3.1.2.3 ボタン

入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

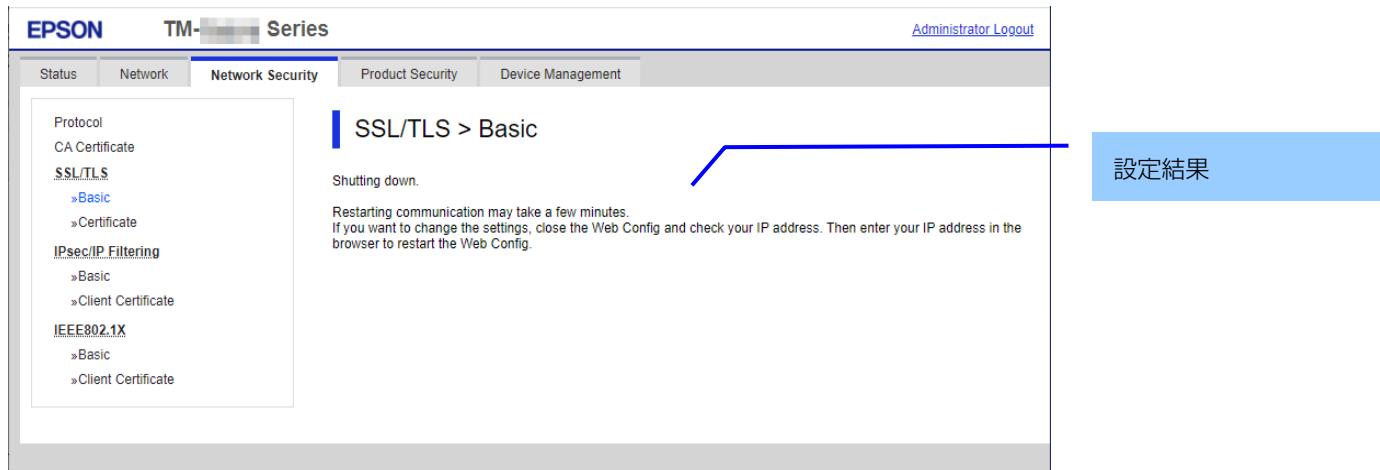
Table 10-80 ボタン

項目	説明
"OK"	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタン。ボタンを押下することで結果表示のページへ遷移する。
"Back"	設定入力ページへ戻るためのボタン。ボタンを押下することで設定入力ページへ遷移する。

### 10.3.3.1.3 結果表示

設定ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

#### 10.3.3.1.3.1 イメージ図



設定結果

Figure 10-26 結果表示

#### 10.3.3.1.3.2 設定結果

Table 10-81 SSL/TLS 基本設定 設定結果

項目	説明
"Shutting down." "Restarting communication may take a few minutes." "If you want to change the settings, close the Web Config and check your IP address. Then enter your IP address in the browser to restart the Web Config."	成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)
"Setup failed."	失敗の場合に表示する。

### 10.3.3.2 証明書 - Certificate

#### 10.3.3.2.1 トップページ

##### 10.3.3.2.1.1 イメージ図

以下にトップページの画面イメージを示す。

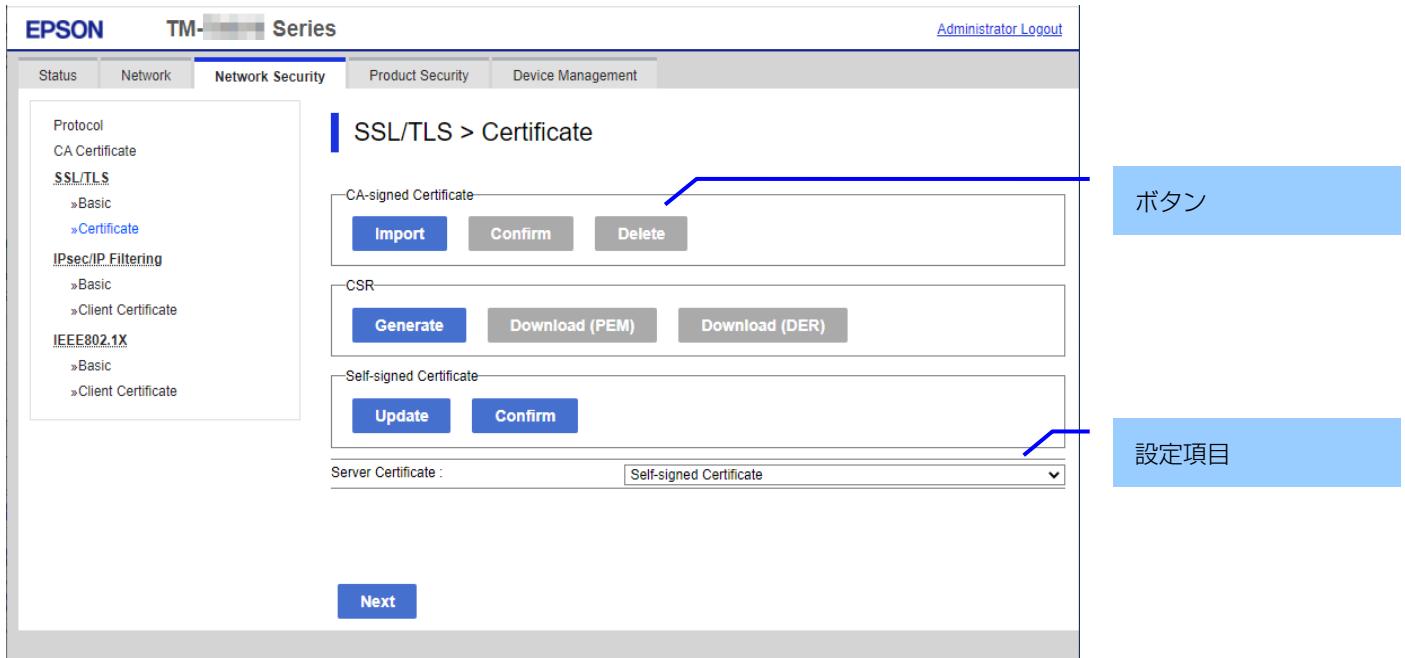


Figure 10-27 トップページ

#### 10.3.3.2.1.2 設定項目

SSL/TLS 通信時に使用するサーバー証明書をドロップダウンリストで選択できる。

Table 10-82 設定項目

項目	説明
"Server Certificate"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "CA-signed Certificate" / "Self-signed Certificate" CA署名証明書が未インポート時は、選択肢は"Self-signed Certificate"固定

#### 10.3.3.2.1.3 ボタン

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページで表示するボタンについて説明する。

Table 10-83 SSL/TLS 証明書トップページのボタンについて

項目(グループ名)	項目(ボタン名)	説明	有効条件
"Server Certificate"	"Next"	使用するサーバー証明書を切り替える。	-
"CA-signed Certificate"	"Import"	CA署名証明書のインポートの設定ページに遷移する	-
	"Confirm"	CA署名証明書の情報確認ページに遷移する	CA署名証明書がインポート済時
	"Delete"	ポップアップ表示後、インポート済みのCA署名証明書を削除する	CA署名証明書がインポート済時、かつ、未使用時

"CSR"	"Generate"	CSR の生成するための設定画面に遷移する	-
	"Download (PEM)"	生成した CSR を PEM 形式でダウンロードする	CSR が生成済時
	"Download (DER)"	生成した CSR を DER 形式でダウンロードする	CSR が生成済時
"Self-signed Certificate"	"Update"	自己署名証明書の更新/作成の設定ページに遷移する。 日付時刻が未設定の場合は、"Invalid Date and Time." の文言が表示される日時未設定のエラー画面に遷移する。	-
	"Confirm"	自己署名証明書の情報確認ページに遷移する	-

### 10.3.3.2.2 CA 署名証明書「インポート」

#### 10.3.3.2.2.1 インポートトップページ

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページの CA 署名証明書のインポートボタンを、押下することによって、以下の CA 署名証明書インポート設定ページに遷移する。

#### 10.3.3.2.2.1.1 イメージ図

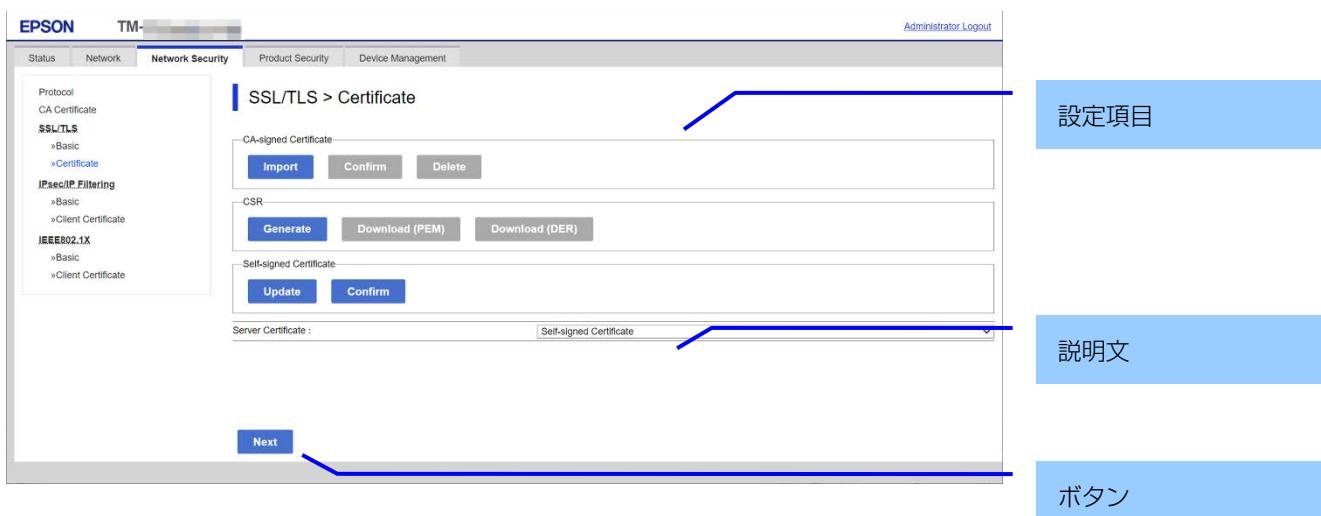


Figure 10-28 インポートトップページ

#### 10.3.3.2.2.1.2 設定項目

インポートトップページでは、以下の設定が可能である。

Table 10-84 CA 署名証明書インポート 設定項目

項目	説明	有効条件
"Server Certificate"	インポートするサーバー証明書ファイルを指定できる。フォルダ参照ボタンで入力する。	-
File Format	インポートするサーバー証明書のファイル形式をドロップダウンリストで選択する。 "Certificate (PEM/DER)" / "Certificate with Private Key (PKCS#12)"	-
"Private Key"	インポートするサーバー証明書に関する秘密鍵ファイルが指定できる。フォルダ参照ボタンで入力する。	ファイル形式 が"Certificate (PEM/DER)" を選択された時

"Password"	秘密鍵を暗号化するためのパスフレーズをテキストボックスで入力する。ASCII 文字コード（0x20-0x7E） 0 文字以上 48 文字以下 入力した文字は、"**"でマスクして表示する。	-ファイル形式 が"Certificate with Private Key (PKCS#12)"を選択された時
"CA Certificate 1"	サーバー証明書を発行した機関の証明書をインポートするためにファイルを指定する。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式 が"Certificate (PEM/DER)"を選択された時
"CA Certificate 2"	"CA Certificate 1"を発行した機関の証明書をインポートするためにファイルを指定する。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式 が"Certificate (PEM/DER)"を選択された時

#### 10.3.3.2.2.1.3 説明文

**Table 10-85 CA 署名証明書情報 説明文**

項目	説明
"Note: It is recommended to communicate via HTTPS for importing a certificate."	固定文字列
"To use ePOS-Device, use a Certificate which Key Length is RSA."	固定文字列

#### 10.3.3.2.2.1.4 ボタン

インポートページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

**Table 10-86 CA 署名証明書インポート ボタン**

項目	説明
"OK"	インポートを実施する。 "OK"ボタンが押された際に、条件によって下記の動作を行う。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。</li><li>● 入力値に誤りがなく、かつ既に証明書がインポートされている場合は、警告としてポップアップウィンドウを出す。</li><li>● 入力値に誤りがなく、かつ証明書がインポートされていない場合は、結果表示ページへ遷移する。</li></ul>
"Back"	SSL/TLS 証明書設定トップページに遷移する

### 10.3.3.2.3 CA 署名証明書「表示」

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページの CA 署名証明書の表示ボタンを、押下することによって、以下の CA 署名証明書情報確認ページに遷移する。

#### 10.3.3.2.3.1 「表示」ページ

##### 10.3.3.2.3.1.1 イメージ図

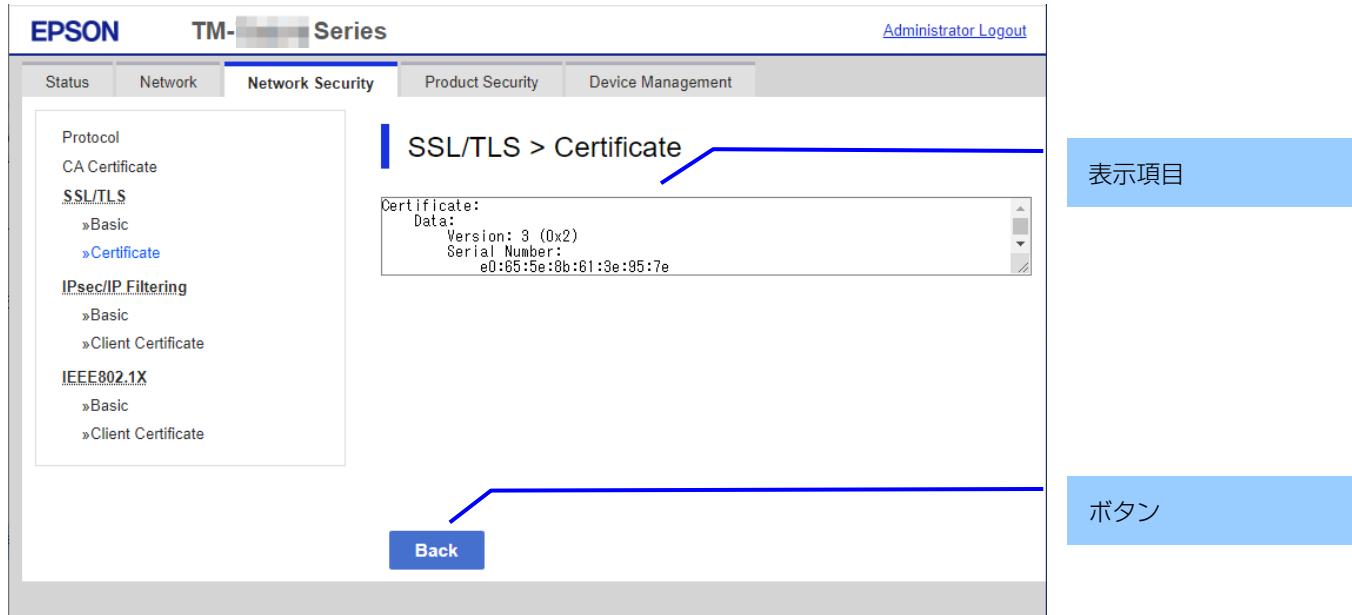


Figure 10-29 CA 署名証明書「表示」

##### 10.3.3.2.3.1.2 表示項目

Table 10-87 CA 署名証明書情報 表示項目

項目	説明
"Server Certificate"	サーバー証明書の情報を表示する。 ASCII 最大 8192Byte。
"CA Certificate 1"	CA 証明書 1 の情報を表示する。なければ項目自体表示しない。 ASCII 最大 8192Byte。
"CA Certificate 2"	CA 証明書 2 の情報を表示する。なければ項目自体表示しない。 ASCII 最大 8192Byte。

##### 10.3.3.2.3.1.3 ボタン

Table 10-88 CA 署名証明書情報 ボタン

項目	説明
"Back"	SSL/TLS 証明書設定トップページに遷移する

#### 10.3.3.2.4 CSR(署名リクエスト)「生成」

##### 10.3.3.2.4.1 生成トップページ

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページの CSR の生成ボタンを、押下することによって、以下の CSR 生成設定ページに遷移する。

##### 10.3.3.2.4.1.1 イメージ図

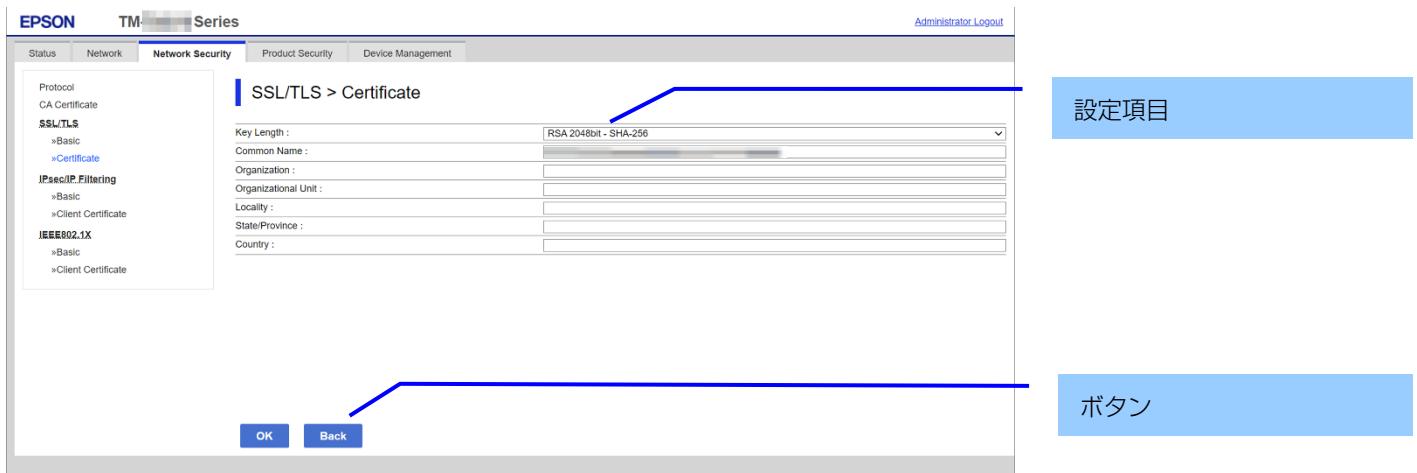


Figure 10-30 CSR(署名リクエスト)「生成」

##### 10.3.3.2.4.1.2 設定項目

CSR の生成には以下の情報をユーザーに入力してもらう必要がある。

Table 10-89 CSR 生成 設定項目

項目	説明
"Key Length"	CSR 作成に用いる公開鍵長を設定する。 以下をドロップダウンリストで選択する。 "RSA 1024bit - SHA-1" / "RSA 2048bit - SHA-256" / "RSA 3072bit - SHA-256" / "EC 256bit - SHA-256" / "RSA 4096bit - SHA-384" / "EC 384bit - SHA-384" / "EC 512bit - SHA-512"
"Common Name"	CSR 作成に用いるコモンネームを設定する。 テキストボックスで入力を行う。 1 文字以上 128 文字以下 IPv4 形式、IPv6 形式（括弧 "["、 "]" で囲む書式を許容）、ホスト名形式、FQDN 形式で入力可能。また、カンマ（0x2c）は、制御用文字として特殊な意味を持つ。※参照
"Organization"	CSR 作成に用いる組織名を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"Organizational Unit"	CSR 作成に用いる部署名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"Locality"	CSR 作成に用いる市町村名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。

"State/Province"	CSR 作成に用いる都道府県名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"Country"	CSR 作成に用いる国別記号（ISO-3166）を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 2 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする 入力文字列無い場合は "" を設定する。

※ コモンネームやにカンマ(,)文字を使用して複数入力が可能。入力した情報はカンマ(,)によって複数に分割される。

#### 10.3.3.2.4.1.3 ボタン

Table 10-90 CSR 生成設定ページのボタンについて

項目	説明
"OK"	CSR 生成を実施する
"Back"	SSL/TLS 証明書設定トップページに遷移する

生成ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-91 CSR 生成 エラー ポップアップ ウィンドウ

項目	説明
"Invalid value below.¥n -%s¥n -%s¥n..."	入力値エラーの場合に表示する。

#### 10.3.3.2.4.2 結果表示ページ

設定ボタンが押された後で、砂時計ページを表示し、設定結果を表示するページに遷移する。

(イメージ図は CA 署名証明書「削除」を参照。)

#### 10.3.3.2.4.2.1 結果表示

Table 10-92 CSR 生成 設定結果

項目	説明
"Setup Complete."	成功時に表示する。
"Setup failed."	上記以外の場合に表示する。

#### 10.3.3.2.5 CSR（署名リクエスト）「ダウンロード」

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページの CSR 「ダウンロード (PEM)」 ボタン、もしくは CSR 「ダウンロード (DER)」 ボタンを、押下することによって、生成した CSR のダウンロードが可能である。

「ダウンロード (PEM)」 ボタン押下した場合は、PEM のファイル形式でダウンロードでき、「ダウンロード (DER)」 ボタン押下した場合は、DER のファイル形式でダウンロードできる。

ダウンロードされるファイルの初期名は、"EXPORT\_CSR\_<製造番号>\_<日付時刻>" の形式である。

<製造番号>は、製品の製造番号をあらわす。

<日付時刻>は、プリンターに設定されている日付時刻をあらわす。例:20181010143021

CSR のダウンロード方法は、ブラウザーによって異なる。

### 10.3.3.2.6 自己署名証明書「更新」

#### 10.3.3.2.6.1 更新トップページ

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページの自己署名証明書「更新」ボタンを、押下することによって、以下の自己署名証明書更新設定ページに遷移する。

##### 10.3.3.2.6.1.1 イメージ図

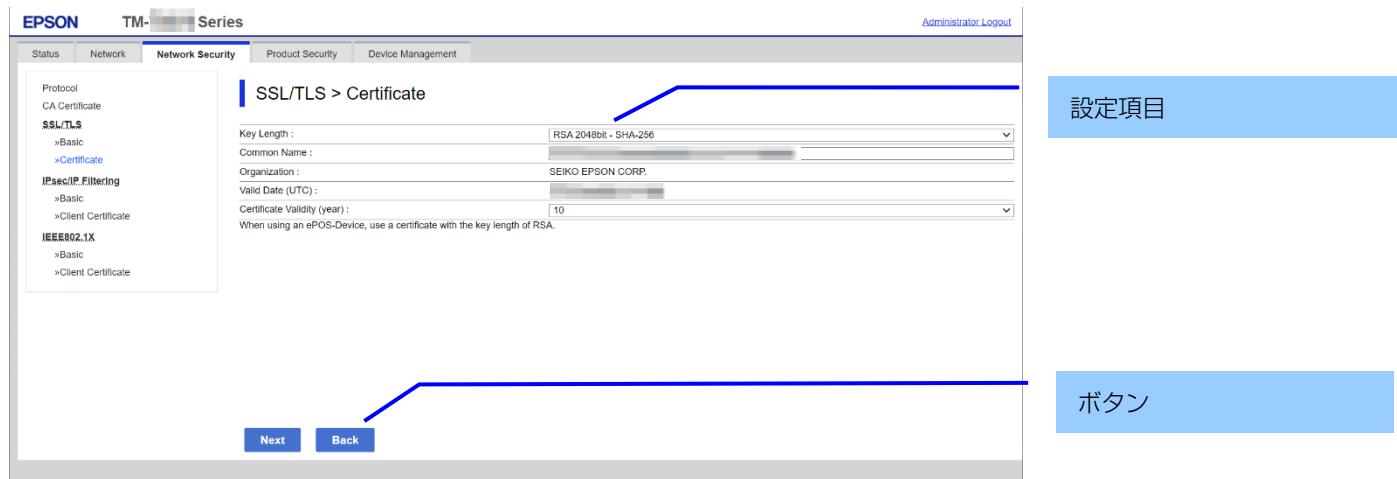


Figure 10-31 自己署名証明書「更新」

#### 10.3.3.2.6.1.2 設定項目

Table 10-93 自己署名証明書更新作成 設定項目

項目	説明
"Key Length"	自己署名証明書更新に用いる公開鍵長を設定する。 以下をドロップダウンリストで選択する。 "RSA 1024bit - SHA-1" / "RSA 2048bit - SHA-256" / "RSA 3072bit - SHA-256" / "EC 256bit - SHA-256" / "RSA 4096bit - SHA-384" / "EC 384bit - SHA-384" / "EC 521bit - SHA-512"
"Common Name"	CSR 作成に用いるコモンネームを設定する。 テキストボックスで入力を行う。 1 文字以上 128 文字以下 IPv4 形式、IPv6 形式（括弧 "["、 "]" で囲む書式を許容）、ホスト名形式、FQDN 形式で入力可能。また、カンマ（ $0 \times 2c$ ）は、制御用文字として特殊な意味を持つ。※参照
"Organization"	"SEIKO EPSON CORP." 固定
"Valid Date (UTC)"	この自己署名証明書更新ページを開いた時点での Web Config にアクセスしているクライアント端末の時刻（UTC）から 5 分引いた時刻を表示する。
"Certificate Validity (year)"	有効期間を以下のドロップダウンリストで表示する。 "1" / "2" / "3" / "4" / "5" / "6" / "7" / "8" / "9" / "10" (単位は「年」)
"To use ePOS-Device, use a Certificate which Key Length is RSA."	固定文字列

※コモンネームの入力にカンマ(,)文字を使用して複数入力が可能。入力した情報はカンマ(,)によって複数に分割される。

### 10.3.3.2.6.1.3 ボタン

Table 10-94 自己署名証明書更新作成設定ページのボタンについて

項目	説明
"Next"	自己署名証明書更新作成を実施する
"Back"	SSL/TLS 証明書設定トップページに遷移する

"Next"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-95 CA 署名証明書インポート エラーポップアップウィンドウ

項目	説明
"Invalid value below."	入力値エラーの場合に表示する。

### 10.3.3.2.6.2 入力確認ページ

設定ページで"設定"ボタンが押下されたら、入力された設定値を確認するための入力確認ページに遷移する。

#### 10.3.3.2.6.2.1 イメージ図

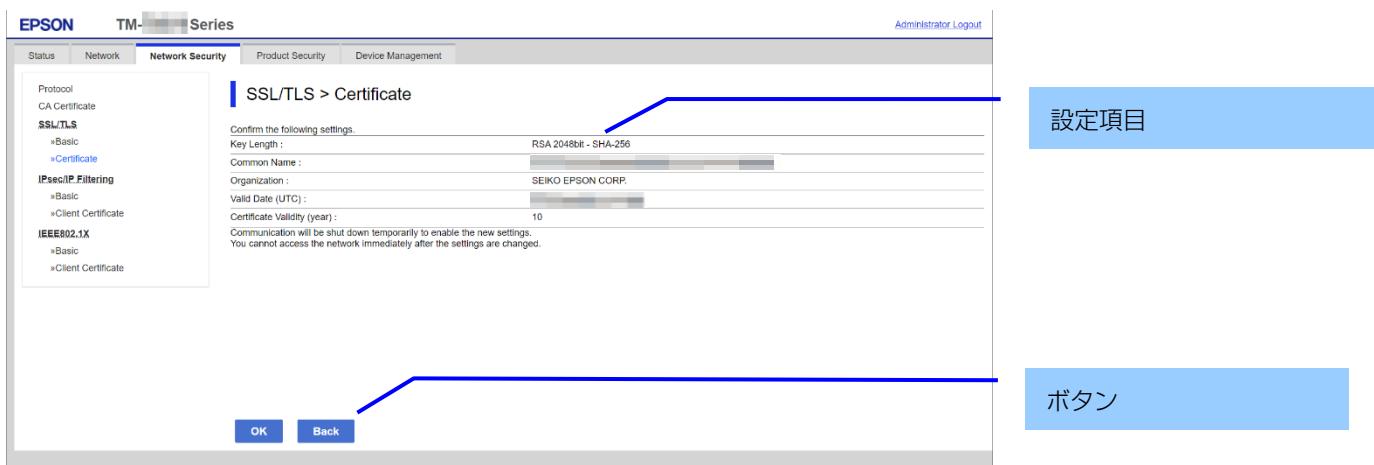


Figure 10-32 入力確認ページ

#### 10.3.3.2.6.2.2 設定項目

"Confirm the following settings."という文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。

また設定項目の最下部に以下の注意文を表示する。

"Communication will be shut down temporarily to enable the new settings. You cannot access the network immediately after the settings are changed."

#### 10.3.3.2.6.2.3 ボタン

入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-96 ボタン

項目	説明
"OK"	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタン。ボタンを押下することで結果表示のページへ遷移する。
"Back"	設定入力ページへ戻るためのボタン。ボタンを押下することで設定入力ページへ遷移する。

### 10.3.3.2.6.3 結果表示

設定ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

(イメージ図は CA 署名証明書「削除」を参照。)

#### 10.3.3.2.6.3.1 結果表示

Table 10-97 自己署名証明書更新作成 設定結果

項目	説明
"Shutting down." "Restarting communication may take a few minutes." "If you want to change the settings, close the Web Config and check your IP address. Then enter your IP address in the browser to restart the Web Config."	成功時に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)
"Date and Time are not set"	日時未設定の場合に表示する。
"Setup failed."	上記以外の場合に表示する。

### 10.3.3.2.7 自己署名証明書「表示」

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページの自己署名証明書の表示ボタンを、押下することによって、以下の自己署名証明書情報確認ページに遷移する。

#### 10.3.3.2.7.1 表示トップページ

##### 10.3.3.2.7.1.1 イメージ図

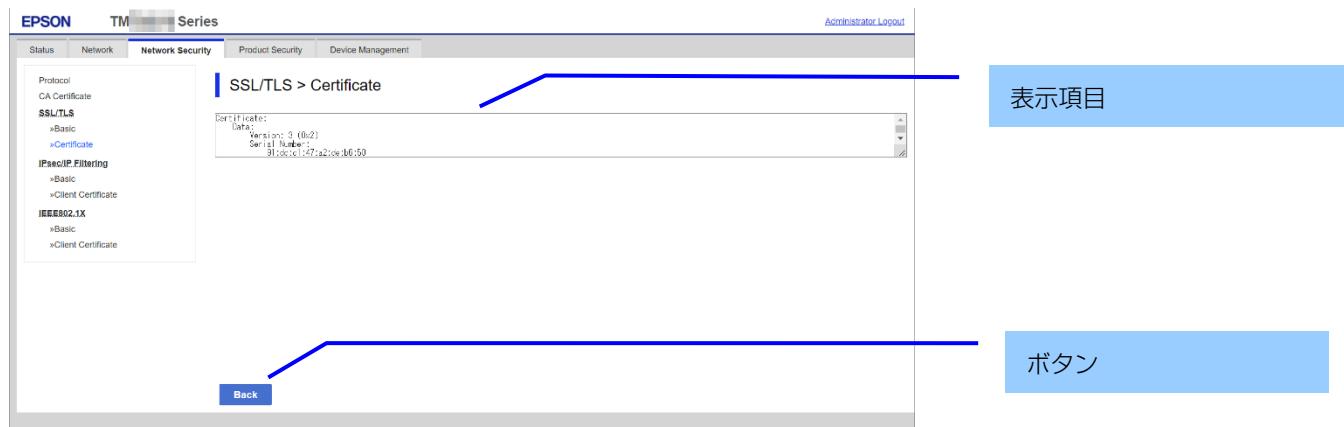


Figure 10-33 自己署名証明書「表示」

##### 10.3.3.2.7.1.2 表示項目

Table 10-98 CA 署名証明書情報 表示項目

項目	説明
"Self-signed certificate"	自己署名証明書の情報を表示する。 ASCII 最大 8192Byte。

##### 10.3.3.2.7.1.3 ボタン

Table 10-99 自己署名証明書情報確認ページのボタンについて

項目	説明
"Back"	SSL/TLS 証明書設定トップページに遷移する

## 10.3.4 証明書自動更新 – Automatic Certificate Update

### 10.3.4.1 トップページ

#### 10.3.4.1.1 イメージ図

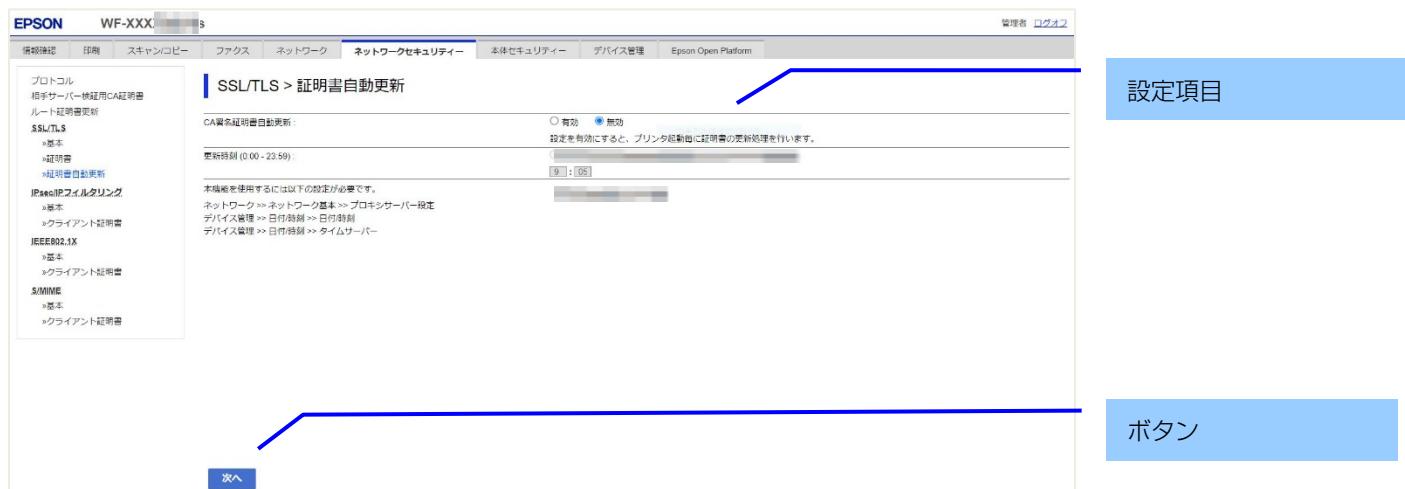


Figure 10-34 トップページ

#### 10.3.4.1.2 設定項目

Table 10-100 設定項目

項目	説明	有効条件
"CA署名証明書自動更新"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効"	-
"設定を有効にすると、プリント起動毎に証明書の更新処理を行います。"	固定文字列	-
"更新時刻 (0:00 – 23:59)"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効"	"CA署名証明書自動更新"が"有効"の場合はグレーアウトしない。
	上記の更新時刻(ラジオボタン)を"有効"にしている場合に有効になる。時間のテキストボックス、":"、分のテキストボックスを順で並べて表示する。 それぞれのテキストボックスの入力可能文字 "0"~"9" 24時制のみ入力可能。	"更新時刻 (0:00 – 23:59)"が"有効"かつ"CA署名証明書自動更新"が"有効"の場合はグレーアウトしない。

#### 10.3.4.1.1 コメント

以下のコメントを記載する。

Table 10-101 コメント

コメント	説明
"本機能を使用するには以下の設定が必要です." "ネットワーク >> ネットワーク基本 >> プロキシサーバー設定" "デバイス管理 >> 日付/時刻 >> 日付/時刻" "デバイス管理 >> 日付/時刻 >> タイムサーバー"	ページ下部に記載する。

#### 10.3.4.1.1 ボタン

入力を確認するためのボタンを設ける。

**Table 10-102 ボタン**

項目	説明
“次へ”	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。 ボタンが押されると入力確認ページに遷移する。

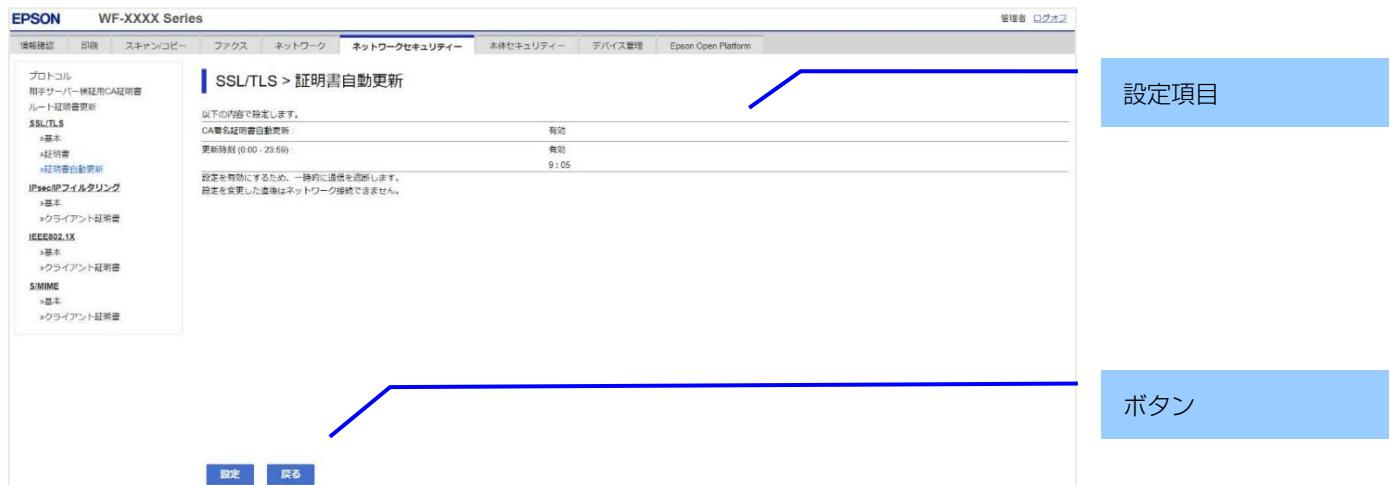
次へボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

**Table 10-103 エラーポップアップウィンドウ**

表示項目	説明
“以下の入力値が正しくありません。”	テキストボックスへの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は1行に1項目表示する。

#### 10.3.4.2 入力確認ページ

##### 10.3.4.2.1 イメージ図



**Figure 10-35 入力確認ページ**

##### 10.3.4.2.2 設定項目

“以下の内容で設定します。”という文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。また設定項目の最下部に以下の注意文を表示する。

※ 設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。設定を変更した直後はネットワーク接続できません。

##### 10.3.4.2.3 ボタン

入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

**Table 10-104 ボタン**

項目	説明
“設定”	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタン。ボタンを押下することで結果表示のページへ遷移する。
“戻る”	設定入力ページへ戻るためのボタン。ボタンを押下することで設定入力ページへ遷移する。

### 10.3.4.3 結果表示

#### 10.3.4.3.1 イメージ図



Figure 10-36 結果表示

#### 10.3.4.3.2 設定結果

Table 10-105 設定結果

項目	説明
“通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。”	成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)
“再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザーに「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。”	
“設定に失敗しました。”	失敗の場合に表示する。

### 10.3.5 IPsec/IP フィルタリング – IPsec/IP Filtering

IPsec/IP フィルタリング設定では、IPsec 及び IP フィルタリングの設定が可能である。

Table 10-106 IPsec 設定のサブメニュー

サブメニュー
"Basic"
"Client Certificate"

#### 10.3.5.1 基本- Basic

基本設定では、IPsec/IP フィルタリングの基本ポリシー及び各個別ポリシーの設定が可能である。基本ポリシー及び各個別ポリシーは、タブによって表示を切り替えることができ、設定は一括で行われる。IPsec/IP フィルタリング 基本は基本ポリシーと個別ポリシー1~10 から構成される。

##### 10.3.5.1.1 トップページ

###### 10.3.5.1.1.1 基本ポリシー -Default Policy

###### 10.3.5.1.1.1.1 イメージ図

以下に基本ポリシーの設定項目の画面イメージを示す。

EPSON TM- [REDACTED] Series

Administrator Logout

Status Network Network Security Product Security Device Management

Protocol CA Certificate

SSL/TLS

- » Basic
- » Certificate

IPsec/IP Filtering

- » Basic
- » Client Certificate

IEEE802.1X

- » Basic
- » Client Certificate

IPsec/IP Filtering > Basic

Each policy is applied with following priorities:  
Group Policy 1 > Group Policy 2 > ... > Group Policy 10 > Default Policy

Default Policy 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

IPsec/IP Filtering :  Enable  Disable

Default Policy

Access Control : IPsec

IKE Version :  IKEv1  IKEv2

Authentication Method : Pre-Shared Key

Pre-Shared Key :

Confirm Pre-Shared Key :

Encapsulation : Transport Mode

Remote Gateway(Tunnel Mode) :

Security Protocol : ESP

Algorithm Settings

IKE

Encryption : Any

Authentication : Any

Key Exchange : Any

ESP

Encryption : Any

Authentication : Any

AH

Authentication : Any

Next

基本ポリシーの設定項目

ボタン

Figure 10-37 IPsec 設定ページ

### 10.3.5.1.1.1.2 基本ポリシーの設定項目 of Default Policy

以下の項目の設定が可能である。

Table 10-107 設定項目

項目	説明	有効条件
"Each policy is applied with following priorities: "Group Policy 1 > Group Policy 2 > ... > Group Policy 10 > Default Policy"	ポリシーの説明	-
"IPsec/IP Filtering"	"Enable" / "Disable" をラジオボタンで選択	-
"Default Policy"	タイトル	-
"Access Control"	"Permit Access" / "Refuse Access" / "IPsec" をドロップダウンリストで選択	"IPsec/IP Filtering"が"Enable"
"IKE Version"	"IKEv1" / "IKEv2"をラジオボタンで選択。	"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"
"Authentication Method"	"Pre-Shared Key" / "Certificate" をドロップダウンリストで選択	"IKE Version"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"のときのみ項目が有効になる。
"Pre-Shared Key"	Max Length = 127 文字 ASCII:0x20-0x7E 空文字列入力は不可とする 表示はマスクする	"IKE Version"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"のときのみ項目が有効になる。
"Confirm Pre-Shared Key"	"Pre-Shared Key"と同様	"Pre-Shared Key"と同様
"Local"	タイトル	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。
"Authentication Method"	"Pre-Shared Key" / "Certificate" をドロップダウンリストで選択	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。
"ID Type"	ドロップダウンリストで選択する。 "Distinguished Name" / "IP Address" / "FQDN" / "Email Address" / "Key ID"	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"かつ "Local"の"Authentication Method"が "Pre-Shared Key"のとき項目が有効になる。

"ID"	<p>入力可能値は"ID Type"の選択による。ただし全てにおいて先頭での「@」「#」「=」の使用は不可である。</p> <p>"Distinguished Name" : ASCII で 1~255 文字。ただし「=」を必ず使用する。</p> <p>"IP Address" : IPv4、Ipv6</p> <p>"FQDN" : ASCII のうち英数、ドット、ハイフンが使用可能で 1~255 文字。</p> <p>"Email Address" : ASCII で 1~255 文字。ただし「@」を必ず使い、「=」は使用不可</p> <p>"Key ID" : ASCII で 1~255 文字</p>	<p>"IKE Version"が"IKEv2"かつ"Local"の"ID Type"が"IP Address"以外のとき、項目が表示される。</p> <p>"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ"Access Control"が"IPsec"かつ"Local"の"Authentication Method"が</p> <p>"Pre-Shared Key"のとき項目が有効になる。</p>
"Pre-Shared Key"	<p>Max Length = 127 文字 ASCII:0x20-0x7E 空文字列入力は不可とする 表示はマスクする</p>	<p>"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。</p> <p>"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ"Access Control"が"IPsec"かつ"Local"の"Authentication Method"が</p> <p>"Pre-Shared Key"のとき項目が有効になる。</p>
"Confirm Pre-Shared Key"	"Pre-Shared Key"と同様	"Pre-Shared Key"と同様
"Remote"	タイトル	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。
"Authentication Method"	"Pre-Shared Key" / "Certificate" をドロップダウンリストで選択	<p>"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。</p> <p>"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ"Access Control"が"IPsec"のとき項目が有効になる。</p>
"ID Type"	ドロップダウンリストで選択する。 "Distinguished Name" / "IP Address" / "FQDN" / "Email Address" / "Key ID"	<p>"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。</p> <p>"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ"Access Control"が"IPsec"かつ"Remote"の"Authentication Method"が"Pre-Shared Key"のとき項目が有効になる。</p>
"ID"	<p>入力可能値は"ID Type"の選択による。ただし全てにおいて先頭での「@」「#」「=」の使用は不可である。</p> <p>"Distinguished Name" : ASCII で 1~255 文字。ただし「=」を必ず使用する。</p> <p>"IP Address" : IPv4、IPv6</p> <p>"FQDN" : ASCII のうち英数、ドット、ハイフンが使用可能で 1~255 文字。</p> <p>"Email Address" : ASCII で 1~255 文字。ただし「@」を必ず使い、「=」は使用不可</p> <p>"Key ID" : ASCII で 1~255 文字</p>	<p>"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。</p> <p>"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ"Access Control"が"IPsec"かつ"Remote"の"Authentication Method"が"Pre-Shared Key"のとき項目が有効になる。</p>
"Pre-Shared Key"	<p>Max Length = 127 文字 ASCII:0x20-0x7E 空文字列入力は不可とする 表示はマスクする</p>	<p>"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。</p> <p>"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ"Access Control"が"IPsec"かつ"Remote"の"Authentication Method"が"Pre-Shared Key"のとき項目が有効になる。</p>

"Confirm Pre-Shared Key"	"Pre-Shared Key"と同様	"Pre-Shared Key"と同様
"Encapsulation"	"Transport Mode" / "Tunnel Mode" をドロップダウンリストで選択	"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"
"Remote Gateway(Tunnel Mode)"	Max Length = 39 文字 39 文字なので IPv4 と IPv6 のみ 空文字入力は不可とする	"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"かつ "Encapsulation"が"Tunnel Mode"
"Security Protocol"	"ESP" / "AH"をドロップダウンリストで選択	"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"
"Algorithm Settings"	タイトル文字列。メンバーに"IKE"、"ESP"、"AH"を持つ。	-
"IKE"	タイトル文字列。メンバーに "Encryption"、"Authentication"、"Key Exchange"を持つ。	-
"Encryption"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "AES-CBC-128" / "AES-CBC-192" / "AES-CBC-256" / "3DES" / "Any"	"IKE Version"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"のとき項目が有効になる。
"Encryption"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "AES-CBC-128" / "AES-CBC-192" / "AES-CBC-256" / "AES-GCM-128" / "AES-GCM-192" / "AES-GCM-256" / "3DES" / "Any"	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"のとき項目が有効になる。
"Authentication"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "SHA-1" / "SHA-256" / "SHA-384" / "SHA-512" / "MD5" / "Any"	"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"のとき項目が有効になる。
"Key Exchange"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "DH Group 1" / "DH Group 2" / "DH Group5" / "DH Group14" / "DH Group15" / "DH Group16" / "DH Group17" / "DH Group18" / "DH Group19" / "DH Group20" / "DH Group21" / "DH Group22" / "DH Group23" / "DH Group24" / "DH Group25" / "DH Group26" / "Any"	"IKE Version"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"のとき項目が有効になる。
"Key Exchange"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "DH Group 1" / "DH Group 2" / "DH Group5" / "DH Group14" / "DH Group15" / "DH Group16" / "DH Group17" / "DH Group18" / "DH Group19" / "DH Group20" / "DH Group21" / "DH Group22" / "DH Group23" / "DH Group24" / "DH Group25" / "DH Group26" / "DH Group27" / "DH Group28" / "DH Group29" / "DH Group30" / "Any"	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"のとき項目が有効になる。
"ESP"	タイトル文字列。メンバーに"Encryption"、"Authentication"を持つ。	-
"Encryption"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "AES-CBC-128" / "AES-CBC-192" / "AES-CBC-256" / "AES-GCM-128" / "AES-GCM-192" / "AES-GCM-256" / "3DES" / "Any"	"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"かつ "Security Protocol"が"ESP"のとき項目が有効になる。

"Authentication"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "SHA-1" / "SHA-256" / "SHA-384" / "SHA-512" / "MD5" / "Any"	"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"かつ "Security Protocol"が"ESP"のとき項目 が有効になる。"ESP"の"Encryption" で"AES-GCM-128" / "AES-GCM-192" / "AES-GCM-256"が選択されていると きは無効となる。
"AH"	タイトル文字列。メンバーに"Authentication"を持つ。	-
"Authentication"	以下をドロップダウンリストで選択する。サポートするアルゴリズムはネットワーク機能仕様書を参照する。 "SHA-1" / "SHA-256" / "SHA-384" / "SHA-512" / "MD5" / "Any"	"IPsec/IP Filtering"が"Enable"かつ "Access Control"が"IPsec"かつ "Security Protocol"が"AH"のとき項目 が有効になる。

#### 10.3.5.1.1.1.3 ボタン

IPsec 基本設定を設定するためのボタンを設ける。

Table 10-108 ボタン

項目	説明
"Next"	入力確認ページへ遷移する。

"Next"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラー ポップアップ ウィンドウを出す。

Table 10-109 エラー ポップアップ

項目	説明
"Invalid value below."	テキストボックスへの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は 1 行に 1 項目表示する。 また、ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）とリモートアドレス（ホスト）が IPv6 で入力されているにも関わらず、トランsportプロトコルが ICMPv4 が入力されている場合や、リモートアドレス（ホスト）とリモートアドレスの IP v4/v6 の組合せが不正な場合にも表示される。
<印刷機能あり機種の場合> "The combination of Local Address (Printer) and Remote Address (Host) is incorrect."	ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）とリモートアドレス（ホスト）の組み合わせが不正な場合に表示する。 使用可能な組み合わせは以下の表を参照。
<スキャナーの場合> "The combination of Local Address (Scanner) and Remote Address (Host) is incorrect."	
"Select 1 to 10 service names."	"Service Name"のチェックが 0 件、または 11 件以上の場合に表示する。
"Pre-shared keys you entered do not match."	事前共有キーと事前共有キーの確認の入力した値が一致しない場合に表示する。

通信を通過または遮断の場合。

通信を通過または遮断		ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）			
		IPv4	fe80::~	fe80::~以外	Any
リモートアドレス (ホスト)	(単一指定) IPv4	○	×	×	○
	(単一指定) fe80::~	×	○	×	×
	(単一指定) fe80::~以外	×	×	○	○

(範囲指定) IPv4	○	×	×	○
(範囲指定) fe80::～を含む	×	○	×	×
(範囲指定) fe80::～を含まない	×	×	○	○
(空白) すべて	○	×	○	○

IPsec の使用の場合。

IPsec の使用	ローカルアドレス (プリンター/スキャナー)				
	IPv4	fe80::～	fe80::～以外	Any※	
リモートアドレス (ホスト)	(単一指定) IPv4	○	×	×	○
	(単一指定) fe80::～	×	×	×	×
	(単一指定) fe80::～以外	×	×	○	○
	(範囲指定) IPv4	×	×	×	×
	(範囲指定) fe80::～を含む	×	×	×	×
	(範囲指定) fe80::～を含まない	×	×	×	×
	(空白) すべて	○	×	○	○

○：設定可能で、動作としてもポリシーが有効として動作する

×：設定不可。この組合せで“次へ”を押下された場合、“ローカルアドレス (プリンター/スキャナー) とリモートアドレス (ホスト) の組合せが不正です。”が表示される

※：IPv6 リンクローカルアドレスは含まない。

### 10.3.5.1.1.2 個別ポリシー -Group Policy

#### 10.3.5.1.1.2.1 イメージ図

以下に個別ポリシーの設定項目の画面イメージを示す。

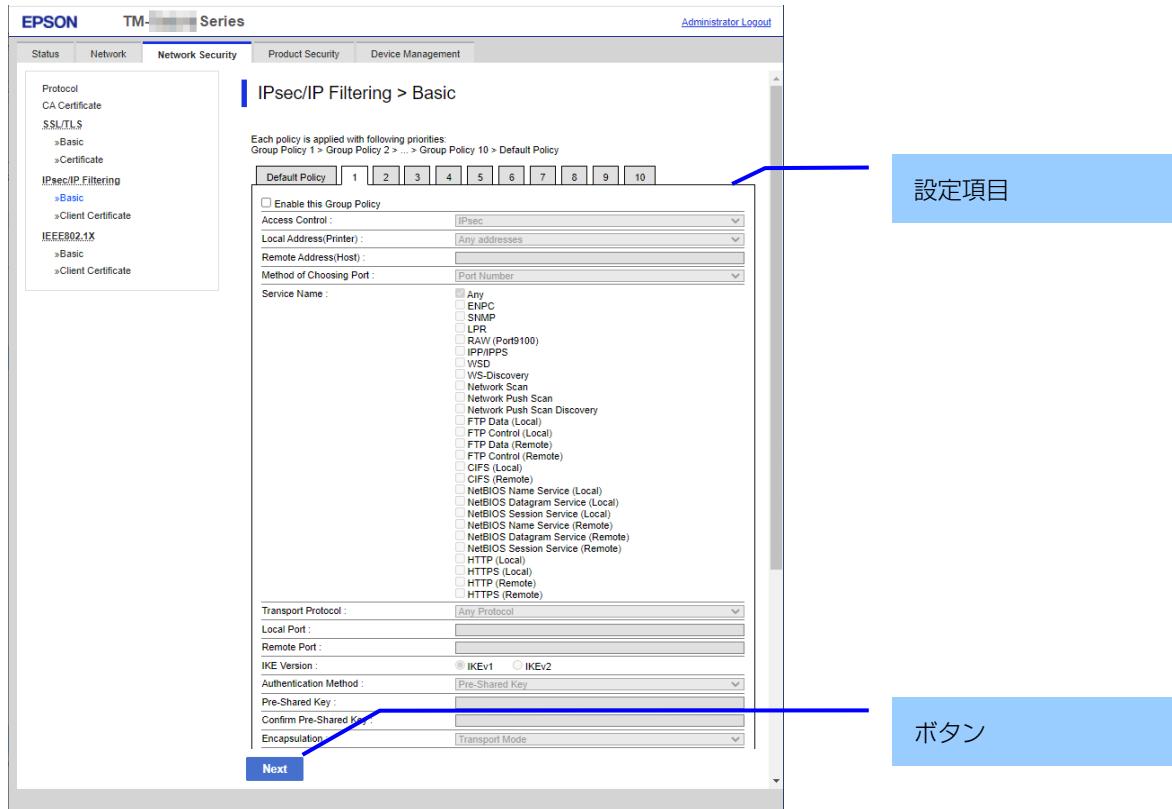


Figure 10-38 IPsec トップページ 個別ポリシー

#### 10.3.5.1.1.2.2 個別ポリシーの設定項目

以下の項目の設定が可能である。個別ポリシーは 1~10 までタブによって表示を切り替えるが、設定は一括で行う。

Table 10-110 設定項目

項目	説明	説明
"Each policy is applied with following priorities: "Group Policy 1 > Group Policy 2 > ... > Group Policy 10 > Default Policy"	ポリシーの説明	-
"Enable this Group Policy"	チェックボックスにチェックあり：有効 チェックボックスにチェックなし：無効	-
"Access Control"	"Permit Access" / "Refuse Access" / "IPsec" をドロップダウンリストで選択	"Enable this Group Policy"が有効
<印刷機能あり機種の場合> "Local Address(Printer)"  <スキャナーの場合> "Local Address (Scanner)"	"Unavailable" / "Any addresses" / "Use automatically acquired IPv4 address (xxx.xxx.xxx.xxx)" / IPv4 Address / IPv6 Address / IPv6 Link-Local Address / IPv6 Stateful Address / IPv6 Stateless Address 1 / IPv6 Stateless Address 2 / IPv6 Stateless Address 3 をドロップダウンリストで選択  IPv6 Address～ IPv6 Stateless Address 3 は、アドレスが設定済みの場合に表示する。 "Unavailable"は、設定されているローカルアドレスとプリンターのIPアドレスの組み合わせが不正な場合に表示される。"Unavailable"は設定することはできない。 IP アドレスの取得方法が自動設定の場合、以下の項目を選択することが可能。	"Enable this Group Policy"が有効

	"Use automatically acquired IPv4 address (xxx.xxx.xxx.xxx)" 自動追従しない場合は、以下のように IP アドレスのみの項目を設定する。 "xxx.xxx.xxx.xxx"	
"Remote Address(Host)"	Max Length = 43 文字 IPv4 形式、IPv6 形式で入力。 空文字列入力は可能。空文字列入力した場合、すべての IP アドレスが対象 プレフィックスを使用することで範囲指定。 255.255.255.255、0.0.0.0 の入力は不可とする。	"Enable this Group Policy"が有効
"Method of Choosing Port"	"Service Name" / "Port Number" をドロップダウンリストで選択	"Enable this Group Policy"が有効
"Service Name"	"Service Name"は、以下の中から 1 件以上 10 件以下の選択が可能。 但し、"Any"が選択された場合は、"Any"以外の項目はグレーアウトする  "Any" / "ENPC" / "SNMP" / "LPR" / "RAW (Port9100)" / "IPP/IPPS" / "WSD" / "WS-Discovery" / "Network Scan" / "Network Push Scan" / "Network Push Scan Discovery" / "FTP Data (Local)" / "FTP Control (Local)" / "FTP Data (Remote)" / "FTP Control (Remote)" / "CIFS (Local)" / "CIFS (Remote)" / "NetBIOS Name Service (Local)" / "NetBIOS Datagram Service (Local)" / "NetBIOS Session Service (Local)" / "NetBIOS Name Service (Remote)" / "NetBIOS Datagram Service (Remote)" / "NetBIOS Session Service (Remote)" / "HTTP (Local)" / "HTTPS (Local)" / "HTTP (Remote)" / "HTTPS (Remote)" /	"Enable this Group Policy"が有効かつ "Method of Choosing Port"が"サービス名指定"の場合は機能をサポートする場合のみ有効となる。  · LPR 機能ありの場合 "LPR"  · RAW (Port9100)機能ありの場合 "RAW (Port9100)"  · IPP 機能ありの場合 "IPP/IPPS"  WSD スキャンの場合 "WSD" / "WS-Discovery"  · スキャン機能ありの場合 "Network Scan"  · Push スキャン機能有りの場合 "Network Push Scan" / "Network Push Scan Discovery"  · FTP 印刷機能ありの場合 "FTP Data (Local)" / "FTP Control (Local)" /  · ScanToFolder 機能ありの場合 "FTP Data (Remote)" / "FTP Control (Remote)" / "CIFS (Remote)" / "NetBIOS Name Service (Remote)" / "NetBIOS Datagram Service (Remote)" / "NetBIOS Session Service (Remote)" /  · ファイル共有機能ありの場合 "CIFS (Local)" / "NetBIOS Name Service (Local)" / "NetBIOS Datagram Service (Local)" / "NetBIOS Session Service (Local)" /
"Transport Protocol"	"Any Protocol" / "TCP" / "UDP" / "ICMPv4" をドロップダウンリストで選択	"Enable this Group Policy"が有効かつ "Method of Choosing Port"が"Port Number"

"Local Port"	Max Length = 60 文字  数字、コンマ、スペースを入力 OK とする。 空文字列入力は可能。空文字列入力した場合、すべてのポート番号が対象。 コンマ区切りで複数入力可能。（最大 10 個）値の範囲は、1~65535	"Enable this Group Policy"が有効かつ "Method of Choosing Port"が"Port Number"かつ "Transport Protocol"が"TCP"または"UDP"
"Remote Port"	Max Length = 60 文字  数字、コンマ、スペースを入力 OK とする。 空文字列入力は可能。空文字列入力した場合、すべてのポート番号が対象。 コンマ区切りで複数入力可能。（最大 10 個）値の範囲は、1~65535	"Enable this Group Policy"が有効かつ "Method of Choosing Port"が"Port Number"かつ "Transport Protocol"が"TCP"または"UDP"
"IKE Version"	"IKEv1" / "IKEv2"をラジオボタンで選択。	"Enable this Group Policy"が有効かつ "Access Control"が"IPsec"
"Authentication Method"	"Pre-Shared Key" / "Certificate"をドロップダウンリストで選択	"IKE Version"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効かつ"Access Control"が"IPsec"のときのみ項目が有効になる。
"Pre-Shared Key"	Max Length = 127 文字 ASCII:0x20-0x7E 空文字列入力は不可とする 表示はマスクする	"IKE Version"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効かつ"Access Control"が"IPsec"のときのみ項目が有効になる。
"Confirm Pre-Shared Key"	"Pre-Shared Key"と同様	"Pre-Shared Key"と同様
"Local"	タイトル	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。
"Authentication Method"	"Pre-Shared Key" / "Certificate"をドロップダウンリストで選択	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効かつ"Access Control"が"IPsec"のとき項目が有効になる。
"ID Type"	ドロップダウンリストで選択する。 "Distinguished Name" / "IP Address" / "FQDN" / "Email Address" / "Key ID"	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効かつ"Access Control"が"IPsec"かつ"Local"の"Authentication Method"が"Pre-Shared Key"のとき項目が有効になる。
"ID"	入力可能値は"ID Type"の選択による。ただし全てにおいて先頭での「@」「#」「=」の使用は不可である。 "Distinguished Name" : ASCII で 1~255 文字。ただし「=」を必ず使用する。 "IP Address" : IPv4、IPv6 "FQDN" : ASCII のうち英数、ドット、ハイフンが使用可能で 1~255 文字。 "Email Address" : ASCII で 1~255 文字。ただし「@」を必ず使用し、「=」は使用不可 "Key ID" : ASCII で 1~255 文字	"IKE Version"が"IKEv2"かつ"Local"の"ID Type"が"IP Address"以外のとき項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効かつ"Access Control"が"IPsec"かつ"Local"の"Authentication Method"が"Pre-Shared Key"のとき項目が有効になる。

"Pre-Shared Key"	Max Length = 127 文字 ASCII:0x20-0x7E 空文字列入力は不可とする 表示はマスクする	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ 項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効 かつ"Access Control"が"IPsec"か つ"Local"の"Authentication Method"が"Pre-Shared Key"のと き項目が有効になる。
"Confirm Pre-Shared Key"	"Pre-Shared Key"と同様	"Pre-Shared Key"と同様
"Remote"	タイトル	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ 項目が表示される。
"Authentication Method"	"Pre-Shared Key" / "Certificate" をドロップダウンリストで選択	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ 項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効 かつ"Access Control"が"IPsec"の とき項目が有効になる。
"ID Type"	ドロップダウンリストで選択する。 "Distinguished Name" / "IP Address" / "FQDN" / "Email Address" / "Key ID"	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ 項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効 かつ"Access Control"が"IPsec"か つ"Remote"の"Authentication Method"が"Pre-Shared Key"のと き項目が有効になる。
"ID"	入力可能値は"ID Type"の選択による。ただし全てにおいて先頭での 「@」 「#」 「=」 の使用は不可である。 "Distinguished Name" : ASCII で 1~255 文字。ただし「=」を必ず使用 する。 "IP Address" : IPv4、IPv6 "FQDN" : ASCII のうち英数、ドット、ハイフンが使用可能で 1~255 文字。 "Email Address" : ASCII で 1~255 文字。ただし「@」を必ず使用し、 「=」は使用不可 "Key ID" : ASCII で 1~255 文字	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ 項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効 かつ"Access Control"が"IPsec"か つ"Remote"の"Authentication Method"が"Pre-Shared Key"のと き項目が有効になる。
"Pre-Shared Key"	Max Length = 127 文字 ASCII:0x20-0x7E 空文字列入力は不可とする 表示はマスクする	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ 項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効 かつ"Access Control"が"IPsec"か つ"Remote"の"Authentication Method"が"Pre-Shared Key"のと き項目が有効になる。
"Confirm Pre-Shared Key"	"Pre-Shared Key"と同様	"Pre-Shared Key"と同様
"Encapsulation"	"Transport Mode" / "Tunnel Mode" をドロップダウンリストで選択	"Enable this Group Policy"が有効 かつ "Access Control"が"IPsec"
"Remote Gateway(Tunnel Mode)"	Max Length = 39 文字 39 文字なので IPv4 と IPv6 のみ 空文字,255.255.255.255、0.0.0.0 の入力は不可とする	"Enable this Group Policy"が有効 かつ "Access Control"が"IPsec" かつ "Encapsulation"が"Tunnel Mode"
"Security Protocol"	"ESP" / "AH"をドロップダウンリストで選択	"Enable this Group Policy"が有効 かつ "Access Control"が"IPsec"

"Algorithm Settings"	タイトル文字列。メンバーに"IKE"、"ESP"、"AH"を持つ。	-
"IKE"	タイトル文字列。メンバーに"Encryption"、"Authentication"、"Key Exchange"を持つ。	-
"Encryption"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "AES-CBC-128" / "AES-CBC-192" / "AES-CBC-256" / "3DES" / "Any"	"IKE Version"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効かつ"Access Control"が"IPsec"のとき項目が有効になる。
"Encryption"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "AES-CBC-128" / "AES-CBC-192" / "AES-CBC-256" / "AES-GCM-128" / "AES-GCM-192" / "AES-GCM-256" / "3DES" / "Any"	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効かつ"Access Control"が"IPsec"のとき項目が有効になる。
"Authentication"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "SHA-1" / "SHA-256" / "SHA-384" / "SHA-512" / "MD5" / "Any"	"Enable this Group Policy"が有効かつ"Access Control"が"IPsec"のとき項目が有効になる。
"Key Exchange"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "DH Group 1" / "DH Group 2" / "DH Group5" / "DH Group14" / "DH Group15" / "DH Group16" / "DH Group17" / "DH Group18" / "DH Group19" / "DH Group20" / "DH Group21" / "DH Group22" / "DH Group23" / "DH Group24" / "DH Group25" / "DH Group26" / "Any"	"IKE Version"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効かつ"Access Control"が"IPsec"のとき項目が有効になる。
"Key Exchange"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "DH Group 1" / "DH Group 2" / "DH Group5" / "DH Group14" / "DH Group15" / "DH Group16" / "DH Group17" / "DH Group18" / "DH Group19" / "DH Group20" / "DH Group21" / "DH Group22" / "DH Group23" / "DH Group24" / "DH Group25" / "DH Group26" / "DH Group27" / "DH Group28" / "DH Group29" / "DH Group30" / "Any"	"IKE Version"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "Enable this Group Policy"が有効かつ"Access Control"が"IPsec"のとき項目が有効になる。
"ESP"	タイトル文字列。メンバーに"Encryption"、"Authentication"を持つ。	-
"Encryption"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "AES-CBC-128" / "AES-CBC-192" / "AES-CBC-256" / "AES-GCM-128" / "AES-GCM-192" / "AES-GCM-256" / "3DES" / "Any"	"Enable this Group Policy"が有効かつ"Access Control"が"IPsec"かつ"Security Protocol"が"ESP"のとき項目が有効になる。
"Authentication"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "SHA-1" / "SHA-256" / "SHA-384" / "SHA-512" / "MD5" / "Any"	"Enable this Group Policy"が有効かつ"Access Control"が"IPsec"かつ"Security Protocol"が"ESP"のとき項目が有効になる。 "ESP"の"Encryption"で"AES-GCM-128" / "AES-GCM-192" / "AES-GCM-256"が選択されているときは無効となる。
"AH"	タイトル文字列。メンバーに"Authentication"を持つ。	-

"Authentication"	以下をドロップダウンリストで選択する。サポートするアルゴリズムはネットワーク機能仕様書を参照する。 "SHA-1" / "SHA-256" / "SHA-384" / "SHA-512" / "MD5" / "Any"	"Enable this Group Policy"が有効かつ"Access Control"が"IPsec"かつ"Security Protocol"が"AH"のとき項目が有効になる。
------------------	--	---

#### 10.3.5.1.1.2.3 ボタン

IPsec 基本設定を設定するためのボタンを設ける。

Table 10-111 ボタン

項目	説明
"Next"	入力確認ページへ遷移する。

"次へ"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーpopupアップウインドウを出す。

Table 10-112 エラーpopupアップ

項目	説明
"Invalid value below."	テキストボックスへの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は 1 行に 1 項目表示する。 また、ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）とリモートアドレス（ホスト）が IPv6 で入力されているにも関わらず、トランスポートプロトコルが ICMPv4 が入力されている場合や、リモートアドレス（ホスト）とリモートアドレスの IP v4/v6 の組合せが不正な場合にも表示される。
<印刷機能あり機種の場合> "The combination of Local Address (Printer) and Remote Address (Host) is incorrect."	ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）とリモートアドレス（ホスト）の組み合わせが不正な場合に表示する。 使用可能な組み合わせは以下の表を参照。
<スキャナーの場合> "The combination of Local Address (Scanner) and Remote Address (Host) is incorrect."	
"Select 1 to 10 service names."	"Service Name"のチェックが 0 件、または 11 件以上の場合に表示する。
"Pre-shared keys you entered do not match."	事前共有キーと事前共有キーの確認の入力した値が一致しない場合に表示する。

通信を通過または遮断の場合。

通信を通過または遮断		ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）			
		IPv4	fe80::～	fe80::～以外	Any
リモートアドレス (ホスト)	(単一指定) IPv4	○	×	×	○
	(単一指定) fe80::～	×	○	×	×
	(単一指定) fe80::～以外	×	×	○	○
	(範囲指定) IPv4	○	×	×	○
	(範囲指定) fe80::～を含む	×	○	×	×
	(範囲指定) fe80::～を含まない	×	×	○	○
	(空白) すべて	○	×	○	○

IPsec の使用の場合。

IPsec の使用		ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）			
		IPv4	fe80::～	fe80::～以外	Any※
リモートアドレス (ホスト)	(単一指定) IPv4	○	×	×	○
	(単一指定) fe80::～	×	×	×	×
	(単一指定) fe80::～以外	×	×	○	○
	(範囲指定) IPv4	×	×	×	×
	(範囲指定) fe80::～を含む	×	×	×	×
	(範囲指定) fe80::～を含まない	×	×	×	×
	(空白) すべて	○	×	○	○

○：設定可能で、動作としてもポリシーが有効として動作する

×：設定不可。この組合せで“次へ”を押下された場合、“ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）とリモートアドレス（ホスト）の組合せが不正です。”が表示される

※：IPv6 リンクローカルアドレスは含まない。

### 10.3.5.1.2 入力確認ページ

設定ページで"次へ"ボタンが押下されたら、入力された設定値を確認するための入力確認ページに遷移する。入力確認ページでは、基本ポリシー及び個別ポリシー毎にタブ分割せず、1ページで全ポリシーの入力値を確認することができる。

#### 10.3.5.1.2.1 イメージ図

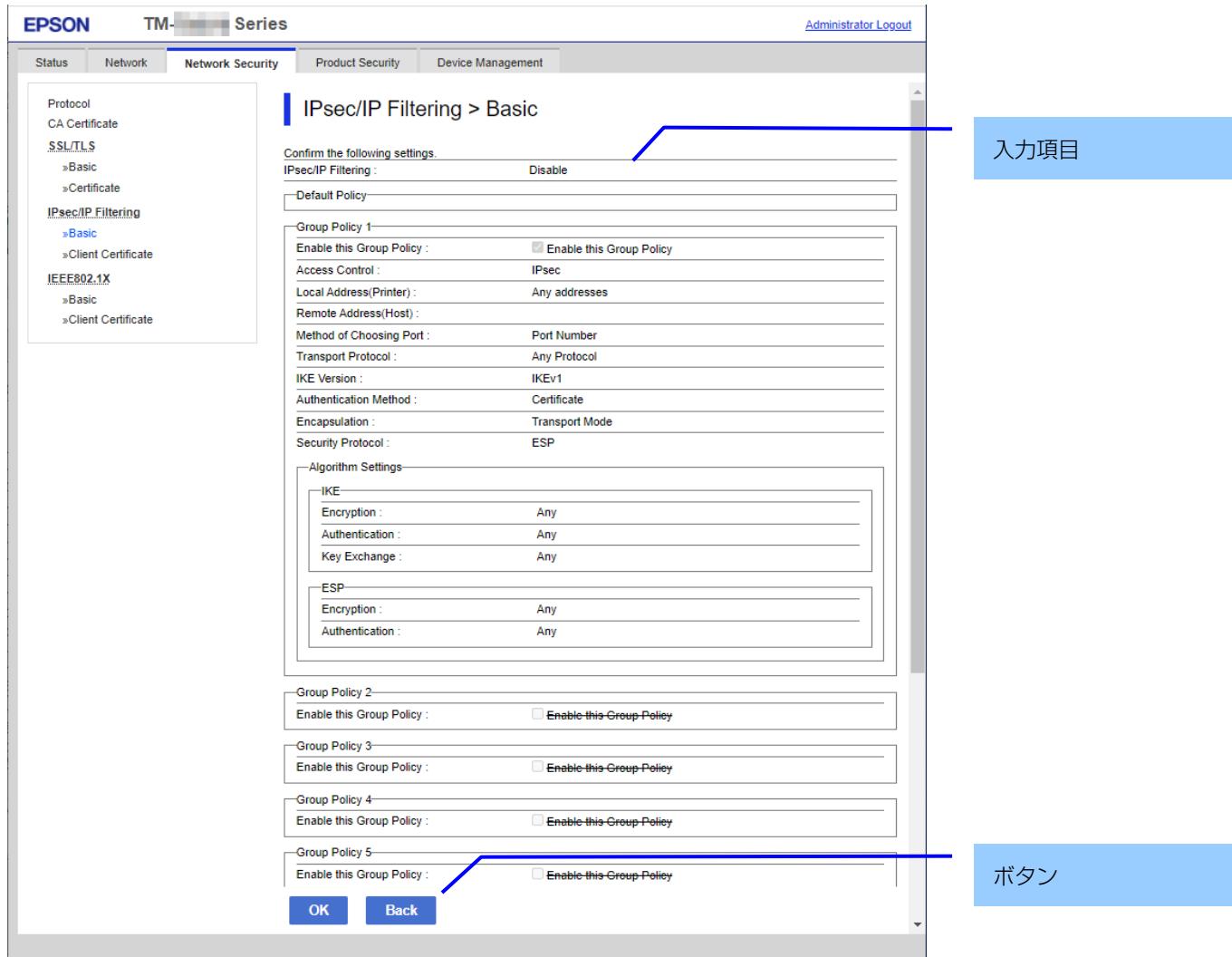


Figure 10-39 入力確認ページ

#### 10.3.5.1.2.2 入力項目

Table 10-113 入力項目

項目	説明
"Confirm the following settings."	左記の文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。
"Default Policy"	デフォルトポリシーのタイトル
"Group Policy 1"/ "Group Policy 2"/ "Group Policy 3"/ "Group Policy 4"/ "Group Policy 5"/ "Group Policy 6"/ "Group Policy 7"/ "Group Policy 8"/ "Group Policy 9"/ "Group Policy 10"	個別ポリシー毎のタイトル

"Communication will be shut down temporarily to enable the new settings." "You cannot access the network immediately after the settings are changed." "Depending on the changes, you may not be able to connect to Web Config."	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。
<LCD のない製品の場合> "If connection is lost unintentionally, initialize the network settings on the product's control panel. And then configure it again."	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。
<LCD ありの製品の場合> "If connection is lost unintentionally, disable IPsec/IP Filtering on the product's control panel. And then configure it again."	

#### 10.3.5.1.2.3 ボタン

IPsec 基本設定ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。設定ボタンを押下することで設定結果ページを表示する。

Table 10-114 ボタン

項目	説明
"OK"	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。ボタンを押下することで設定結果ページへ遷移する。
"Back"	IPsec 基本ポリシー設定ページへ戻るためのボタンを設ける。ボタンを押下することで IEEE802.1X 設定ページへ遷移する。

#### 10.3.5.1.2.4 設定結果ページ

設定ボタンを押すと結果ページが表示される。設定成功時に表示されるページと設定失敗時に表示されるページを以下に示す。

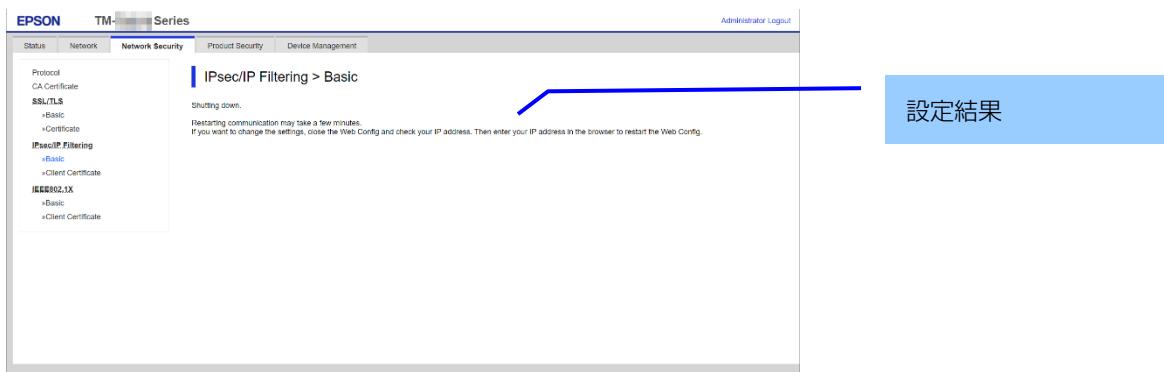


Figure 10-40 設定成功ページ



Figure 10-41 設定失敗ページ

#### 10.3.5.1.2.5 設定結果

Table 10-115 設定結果

項目	説明
"Shutting down." "Restarting communication may take a few minutes." "If you want to change the settings, close the Web Config and check your IP address. Then enter your IP address in the browser to restart the Web Config."	成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)
"Setup failed."	失敗の場合に表示する。

## 10.3.5.2 クライアント証明書 – Client Certificate

### 10.3.5.2.1 トップページ

#### 10.3.5.2.1.1 イメージ図

トップページは以下に示す。

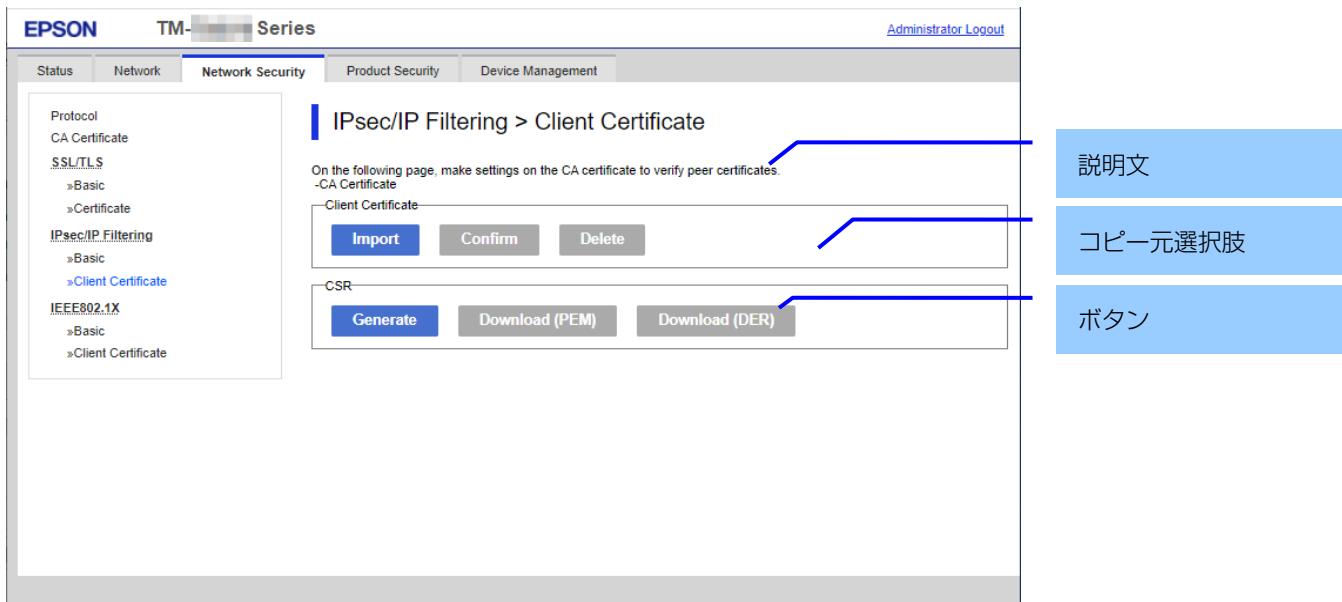


Figure 10-42 トップページ

#### 10.3.5.2.1.2 説明文

Table 10-116 トップページ 説明文

項目	説明
"On the following page, make settings on the CA certificate to verify peer certificates." "-CA Certificate"	固定文字列

#### 10.3.5.2.1.3 コピー元選択肢

どの機能から本機能へ証明書をコピーするかをドロップダウンリストで選択できる。

Table 10-117 コピー元選択肢

項目	説明	有効条件
"Copy From"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "Certificate for SSL/TLS" / "Certificate for IEEE802.1X" / "Certificate for S/MIME" "Certificate for SSL/TLS"は SSL/TLS の証明書ページでクライアント証明書がインポートされている場合のみ表示される。 "Certificate for IEEE802.1X"は IEEE802.1X の証明書ページでクライアント証明書がインポートされている場合のみ表示される。 "Certificate for S/MIME"は S/MIME の証明書ページでクライアント証明書がインポートされている場合のみ表示される。	"Copy From"は、以下のページで1つでもクライアント証明書がインポートされている場合に表示される。 ・ SSL/TLS の証明書ページ ・ IEEE802.1X の証明書ページ ・ S/MIME の証明書ページ

#### 10.3.5.2.1.4 ボタン

IPsec/IP フィルタリング設定の証明書設定トップページで表示するボタンについて説明する。

Table 10-118 トップページのボタンについて

項目(グループ名)	項目(ボタン名)	説明	有効条件
"Client Certificate"	"Import"	クライアント証明書のインポートの設定ページに遷移する	-
	"Confirm"	クライアント証明書の情報確認ページに遷移する	クライアント証明書がインポート済時
	"Delete"	ポップアップ表示後、インポート済みのクライアント証明書を削除する	クライアント証明書がインポート済時、かつ、未使用時
	"Copy"	他機能でインポート済みの証明書をドロップダウンリストから選択し、本機能へコピーする。 本機能でクライアント証明書が既にインポートされている場合は、警告ポップアップウィンドウが表示される。 本機能でクライアント証明書が未インポートの場合は、結果ページへ遷移する。	"コピー"ボタンは、以下ページで1つでもクライアント証明書がインポートされている場合に表示される。 ・SSL/TLS の証明書ページ ・IEEE802.1X の証明書ページ
"CSR"	"Generate"	CSR の生成するための設定画面に遷移する	-
	"Download (PEM)"	生成した CSR を PEM 形式でダウンロードする	CSR が生成済時
	"Download (DER)"	生成した CSR を DER 形式でダウンロードする	CSR が生成済時

#### 10.3.5.2.2 結果表示ページ

##### 10.3.5.2.2.1 イメージ図

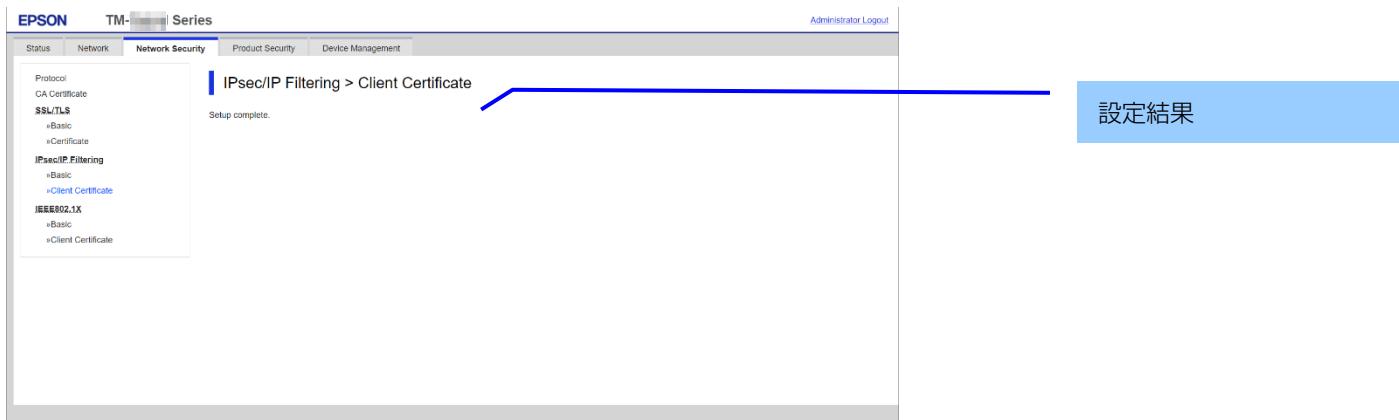


Figure 10-43 結果表示ページ

##### 10.3.5.2.2.2 設定結果

コピーボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

Table 10-119 「使用するサーバー証明書」の切り替え 結果表示

項目	説明
"Setup complete."	上書きでない証明書インポート成功の場合に表示する。
"Setup failed."	失敗の場合に表示する。

### 10.3.5.2.3 クライアント証明書「インポート」

#### 10.3.5.2.3.1 インポートトップページ

IPsec/IP フィルタリング設定の証明書設定トップページのクライアント証明書のインポートボタンを、押下することによって、以下のクライアント証明書インポート設定ページに遷移する。

##### 10.3.5.2.3.1.1 イメージ図

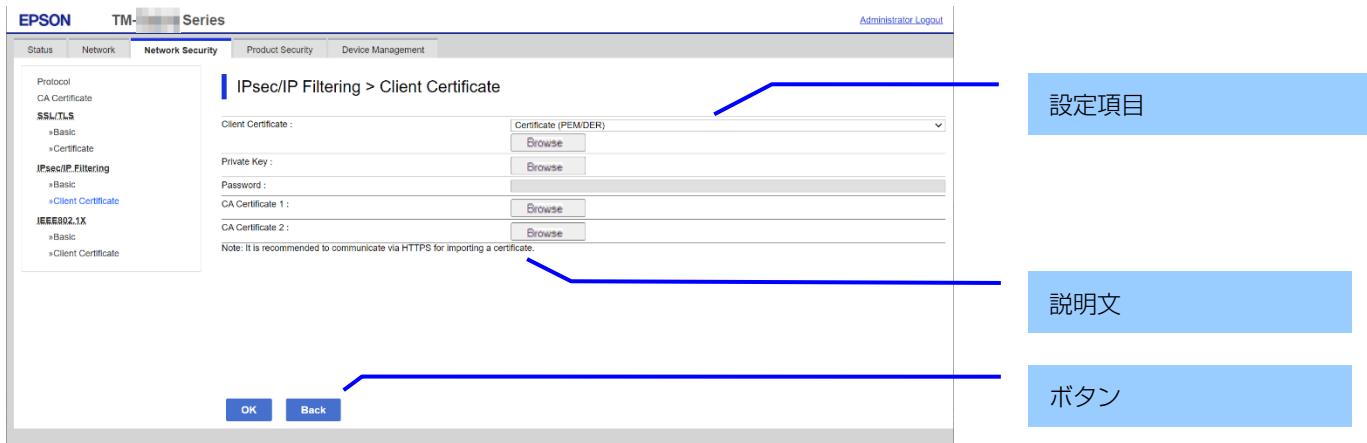


Figure 10-44 インポートトップページ

##### 10.3.5.2.3.1.2 設定項目

インポートトップページでは、以下の設定が可能である。

Table 10-120 クライアント証明書インポート 設定項目

項目	説明	有効条件
"Client Certificate"	インポートするクライアント証明書ファイルを指定できる。フォルダー参照ボタンで入力する。	-
File Format	インポートするサーバー証明書のファイル形式をドロップダウンリストで選択する。 "Certificate (PEM/DER)" / "Certificate with Private Key (PKCS#12)"	-
"Private Key"	インポートするサーバー証明書に関する秘密鍵ファイルが指定できる。フォルダー参照ボタンで入力する。 -You can input the private key file of the server certificate to import it to the printer. It also is able to select the file using file button.	ファイル形式が"Certificate (PEM/DER)"を選択された時
"Password"	秘密鍵を暗号化するためのパスフレーズをテキストボックスで入力する。ASCII 文字コード (0x20-0x7E) 0 文字以上 48 文字以下 入力した文字は、"**"でマスクして表示する。	-ファイル形式が"Certificate with Private Key (PKCS#12)"を選択された時
"CA Certificate 1"	サーバー証明書を発行した機関の証明書をインポートするためにファイルを指定する。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が"Certificate (PEM/DER)"を選択された時
"CA Certificate 2"	CA 証明書 1 を発行した機関の証明書をインポートするためにファイルを指定する。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が「証明書 (PEM/DER)」を選択された時

##### 10.3.5.2.3.1.3 説明文

Table 10-121 クライアント証明書情報 説明文

項目	説明
"Note: It is recommended to communicate via HTTPS for importing a certificate."	固定文字列

#### 10.3.5.2.3.1.4 ボタン

インポートページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-122 クライアント証明書インポート ボタン

項目	説明
"OK"	<p>インポートを実施する。</p> <p>"OK"ボタンが押された際に、条件によって下記の動作を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。</li><li>● 入力値に誤りがなく、かつ既に証明書がインポートされている場合は、警告としてポップアップウィンドウを出す。</li><li>● 入力値に誤りがなく、かつ証明書がインポートされていない場合は、結果表示ページへ遷移する。</li></ul>
"Back"	IEEE802.1X 証明書設定トップページに遷移する

### 10.3.5.2.3.2 結果表示ページ

設定または“OK”ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

#### 10.3.5.2.3.2.1 イメージ図

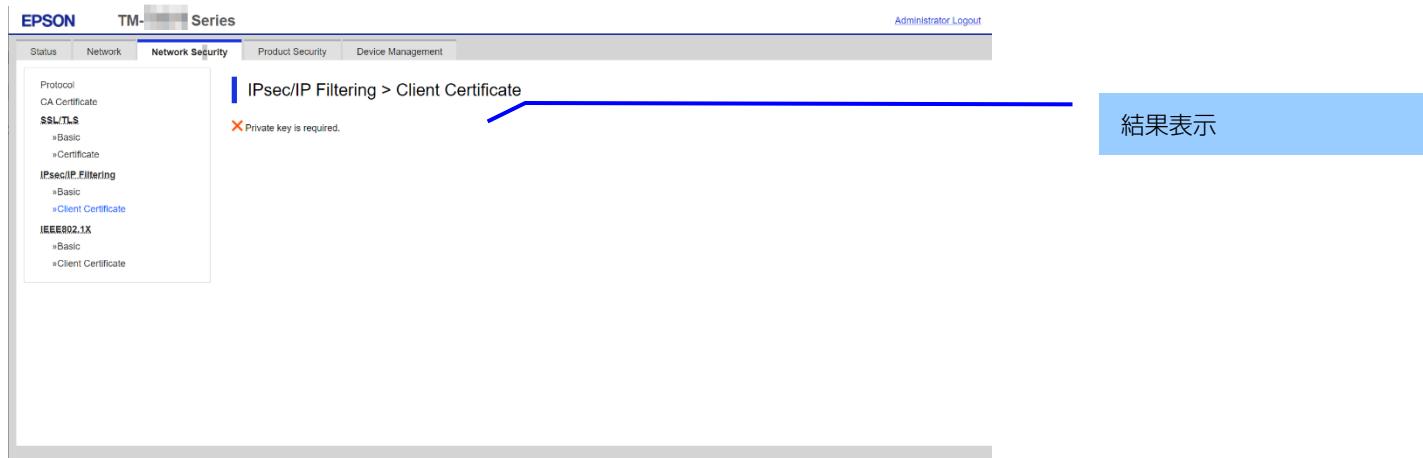


Figure 10-45 結果表示ページ

#### 10.3.5.2.3.2.2 結果表示

Table 10-123 クライアント証明書インポート 結果表示

項目	説明	インポートトップページから遷移	警告ポップアップから遷移	ネットワーク再起動ボタン押下後遷移
“Setup complete.”	証明書インポート成功の場合に表示する。	する	しない	しない
“Shutting down.” “Restarting communication may take a few minutes.” “If you want to change the settings, close the Web Config and check your IP address. Then enter your IP address in the browser to restart the Web Config.”	上書き証明書インポート成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)	しない	する	する
“Invalid password.”	パスワードが不正の場合に表示する。	する	する	しない
“Invalid file.”	以下の場合に表示する。 ・証明書が不正 -ファイル形式が X.509 形式でない -5K 以上 24K 未満のサイズオーバーの証明書をインポートしようとした(※) ・秘密鍵ファイルと証明書がマッチしない ・チェーンが不正	する	する	しない
“Invalid date and time.”	有効期間外の証明書をインポートしようとしたときに表示する。(日時未設定状態)	する	する	しない
“The certificate has expired. Check if the certificate is valid, or check the date and time on the product.”	有効期間外の証明書をインポートしようとしたときに表示する。(日時設定済状態)	する	する	しない
“Cannot use the Client Certificates that include more than three CA certificates.”	証明書をサーバー証明書 1 つと CA 最大件数オーバー ・PKCS#12 に 3 つ以上の CA 証明書が含まれている	する	する	しない
“Private key is required.”	秘密鍵が必要な証明書にファイルがなかった場合に表示する。	する	する	しない
“Setup failed.”	証明書インポート失敗時に表示する。	する	する	しない

"Setup failed." "Click [Reboot Network] to apply the settings." "Communication will be shut down temporarily." "The setting may be applied to the communication after other settings are changed or the device is restarted."	ネットワーク再起動に失敗した時に表示する。	しない	する	する
--	-----------------------	-----	----	----

※インポートする証明書のサイズが 24Kbyte 以上の場合、読み込みできず Web ブラウザーのエラーが表示される。

#### 10.3.5.2.3.2.3 ボタン

Table 10-124 ボタン

項目	説明	有効条件
"Reboot Network"	ネットワーク再起動を実施する。 ネットワーク再起動に成功した場合は、成功結果ページへ遷移する。 ネットワーク再起動に失敗した場合は、同じページへ遷移する。	ネットワーク再起動に失敗した場合のみ表示

#### 10.3.5.2.4 クライアント証明書「表示」 - Confirm for Client certificate

##### 10.3.5.2.4.1 トップページ

IPsec/IP フィルタリング設定の証明書設定トップページのクライアント証明書の表示ボタンを、押下することによって、以下のクライアント証明書情報確認ページに遷移する。

表示されるページの形式は“CA 署名証明書の「表示」”と同じである。

##### 10.3.5.2.4.1.1 表示項目

Table 10-125 クライアント証明書情報 表示項目

項目	説明
“Client Certificate”	クライアント証明書の情報を表示する。 ASCII 最大 8192Byte。
“CA Certificate 1”	CA 証明書 1 の情報を表示する。なければ項目自体表示しない。 ASCII 最大 8192Byte。
“CA Certificate 2”	CA 証明書 2 の情報を表示する。なければ項目自体表示しない。 ASCII 最大 8192Byte。

##### 10.3.5.2.4.1.2 ボタン

Table 10-126 クライアント証明書情報 ボタン

項目	説明
“Back”	IPsec 証明書設定トップページに遷移する

## 10.3.5.2.5 CSR(署名リクエスト)「生成」

### 10.3.5.2.5.1 生成トップページ

IPsec/IP フィルタリング設定の証明書設定トップページの CSR の生成ボタンを、押下することによって、以下の CSR 生成設定ページに遷移する。

表示されるページの形式は“SSL/TLS > 証明書> CSR 「生成」”と同じである。

#### 10.3.5.2.5.1.1 イメージ図

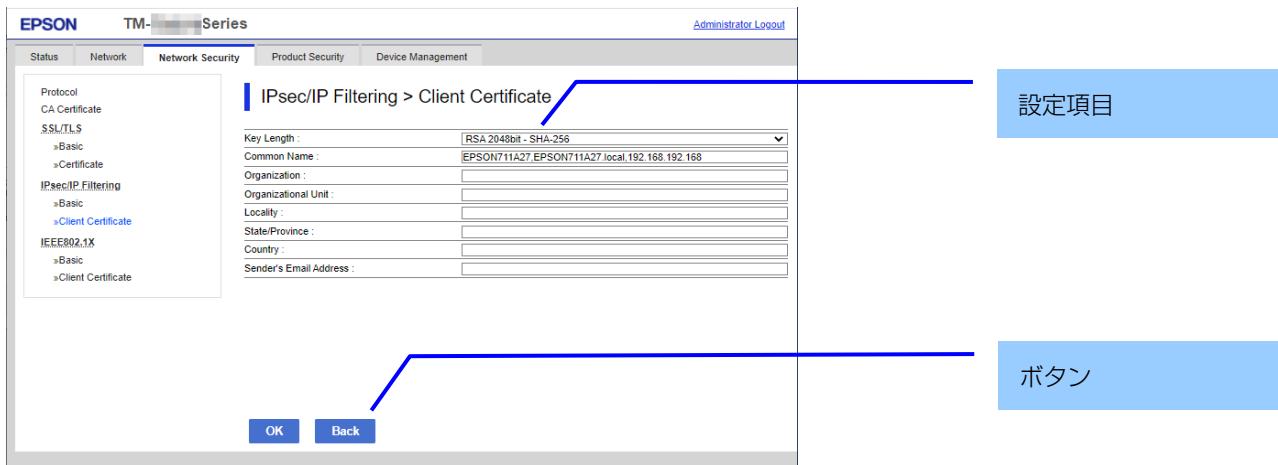


Figure 10-46 CSR(署名リクエスト)「生成」

#### 10.3.5.2.5.1.2 設定項目

CSR の生成には以下の情報をユーザーに入力してもらう必要がある。

Table 10-127 CSR 生成 設定項目

項目	説明
“Key Length”	CSR 作成に用いる公開鍵長を設定する。 以下をドロップダウンリストで選択する。 “RSA 1024bit- SHA-1” / “RSA 2048bit- SHA-256” / “RSA 3072bit - SHA-256” / “EC 256bit- SHA-256” / “RSA 4096bit - SHA-384” / “EC 384bit - SHA-384” / “EC 521bit- SHA-512”
“Common Name”	CSR 作成に用いるコモンネームを設定する。 テキストボックスで入力を行う。 1 文字以上 128 文字以下 IPv4 形式、IPv6 形式（括弧 “[ ”、” ] ”で囲む書式を許容）、ホスト名形式、FQDN 形式で入力可能。また、カンマ（0x2c）は、制御用文字として特殊な意味を持つ。※参照
“Organization”	CSR 作成に用いる組織名を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は “” を設定する。
“Organizational Unit”	CSR 作成に用いる部署名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は “” を設定する。

"Locality"	CSR 作成に用いる市町村名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は “” を設定する。
"State/Province"	CSR 作成に用いる都道府県名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は “” を設定する。
"Country"	CSR 作成に用いる国別記号（ISO-3166）を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 2 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする 入力文字列無い場合は “” を設定する。

※ コモンネームやにカンマ(,)文字を使用して複数入力が可能。入力した情報はカンマ(,)によって複数に分割される。

#### 10.3.5.2.5.1.3 ボタン

生成ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

**Table 10-128 CSR 生成設定ページのボタンについて**

項目	説明
"OK"	CSR 生成を実施する
"Back"	IPsec 証明書設定トップページに遷移する

**Table 10-129 CSR 生成エラー ポップアップ ウィンドウ**

項目	説明
"Invalid value below."	入力値エラーの場合に表示する。

### 10.3.5.2.5.2 結果表示

設定ボタンが押された後で、砂時計ページを表示し、設定結果を表示するページに遷移する。

#### 10.3.5.2.5.2.1 イメージ図

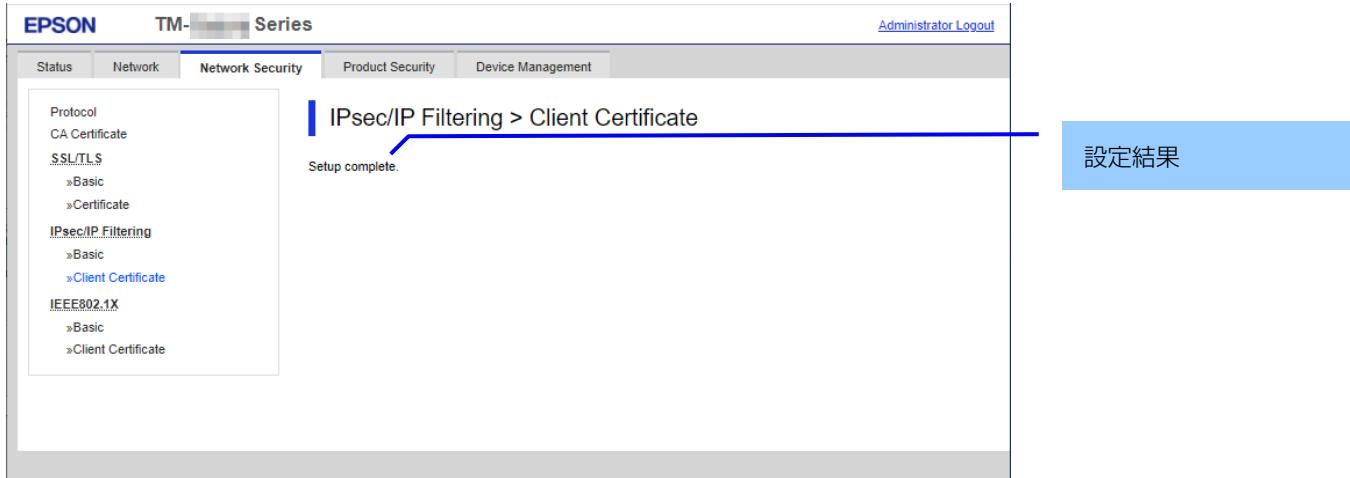


Figure 10-47 結果表示ページ

#### 10.3.5.2.5.2.2 設定結果

Table 10-130 設定結果

項目	説明
"Setup complete."	成功時に表示する。
"Setup failed."	上記以外の場合に表示する。

#### 10.3.5.2.6 CSR（署名リクエスト）「ダウンロード」

IPsec/IP フィルタリング設定の証明書設定トップページの CSR 「ダウンロード (PEM)」ボタン、もしくは CSR 「ダウンロード (DER)」ボタンを、押下することによって、生成した CSR のダウンロードが可能である。

「ダウンロード (PEM)」ボタン押下した場合は、PEM のファイル形式でダウンロードでき、「ダウンロード (DER)」ボタン押下した場合は、DER のファイル形式でダウンロードできる。

ダウンロードされるファイルの初期名は、"EXPORT\_CSR\_<製造番号>\_<日付時刻>"の形式である。

<製造番号>は、製品の製造番号をあらわす。

<日付時刻>は、プリンターに設定されている日付時刻をあらわす。例:20181010143021

CSR のダウンロード方法は、ブラウザーによって異なる。

### 10.3.6 IEEE802.1X

IEEE802.1X 設定では、IEEE802.1X に関する、基本設定、証明書設定が可能である。

本設定のメニューでは、以下のサブメニューをサポートする。

Table 10-131 IEEE802.1X 設定のサブメニュー

サブメニュー	
"Basic"	
"Client Certificate"	

#### 10.3.6.1 基本

##### 10.3.6.1.1 基本設定 トップページ

###### 10.3.6.1.1.1 イメージ図

以下に IEEE802.1X の基本設定の画面イメージを示す。

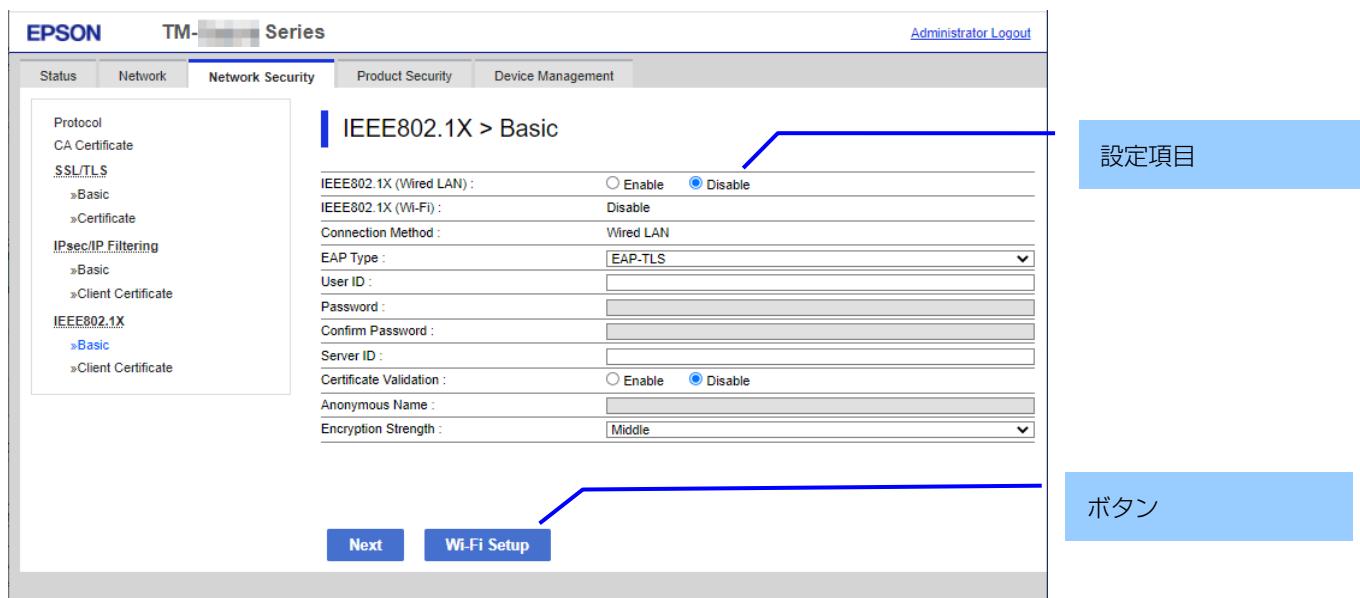


Figure 10-48 IEEE802.1X 基本設定トップページ

###### 10.3.6.1.1.2 設定項目

以下の項目の設定が可能である。

Table 10-132 設定項目

項目	説明	有効条件
"IEEE802.1X (Wired LAN)"	"Enable" / "Disable" をラジオボタンで選択	有線 LAN 対応機種のみ項目を表示する。
"IEEE802.1X (Wi-Fi)"	"Enable" / "Disable"を表示	Read Only WPA2/WPA3-Enterprise 対応機種のみ項目を表示する。
"Connection Method"	"Wired LAN" / "Wi-Fi" / "Disable"を表示。	Read Only WPA2/WPA3-Enterprise 対応機種のみ項目を表示する。
"EAP Type"	■Wi-Fi チップ搭載機種以外 "EAP-TLS" / "PEAP-TLS" / "PEAP/MSCHAPv2" をドロップダウンリストで選択。  ■Wi-Fi チップ搭載機種 "EAP-TLS" / "EAP-TTLS" / "PEAP-TLS" / "PEAP/MSCHAPv2" をドロップダウンリストで選択。	-

"User ID"	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストボックスに 1 ~ 128byte の半角文字で入力する。</li> <li>ASCII 文字コード 0x20 ~ 0x7E</li> </ul>	-
"Password"	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストボックスに 1 ~ 128byte の半角文字で入力する。</li> <li>ASCII 文字コード 0x20 ~ 0x7E</li> </ul> <p>"EAP Type" が "PEAP/MSCHAPv2" または "EAP-TTLS" の場合、空文字入力は不可。必ず、入力が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fi チップ搭載機種以外</li> </ul> <p>"EAP Type" が "PEAP/MSCHAPv2" のとき入力可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fi チップ搭載機種</li> </ul> <p>"EAP Type" が "PEAP/MSCHAPv2" または、"EAP-TTLS" のとき入力可能。</p>
"Confirm Password"	"Password" と同様	"Password" と同様
"Server ID"	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストボックスに 0 ~ 128byte の半角文字で入力する。</li> <li>ASCII 文字コード 0x20 ~ 0x7E</li> </ul>	-
"Certificate Validation"	以下を選択するラジオボタンを設ける。 "Enable" / "Disable"	-
"Anonymous Name"	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストボックスに 0 ~ 128byte の半角文字で入力する。</li> <li>ASCII 文字コード 0x20 ~ 0x7E</li> </ul>	"EAP Type" が "PEAP-TLS" / "PEAP/MSCHAPv2" / "EAP-TTLS" のときに入力可能。
"Encryption Strength"	"Middle" / "High" をドロップダウンリストで選択	-

#### 10.3.6.1.1.3 ボタン

Table 10-133 ボタン

項目	説明	有効条件
"Next"	入力確認ページへ遷移する。	有線 LAN 対応機種のみ表示する。
"Wi-Fi Setup"	WPA2/WPA3-Enterprise による無線接続設定を開始するために、SSID 探索ページに遷移する。	WPA2/WPA3-Enterprise 対応機種のみ表示する。

ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラー ポップアップ ウィンドウを出す。

Table 10-134 エラー ポップアップ

項目	説明
"Invalid value below."	テキストボックスへの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は 1 行に 1 項目表示する。
"Passwords you entered do not match."	パスワードとパスワードの確認の入力した値が一致しない場合に表示する。

### 10.3.6.1.2 SSID 探索ページ

“無線 LAN 設定”ボタン押下により SSID 探索ページに遷移する。SSID 探索ページは以下のようにになる。“最新の状態へ更新”ボタンの押下、あるいは定期的に SSID 探索が完了したかを確認し、完了している場合は無線設定ページへ遷移し、未完了の場合は SSID 探索ページへ遷移し、探索に失敗した場合は設定結果のページに遷移する。

#### 10.3.6.1.2.1 イメージ図

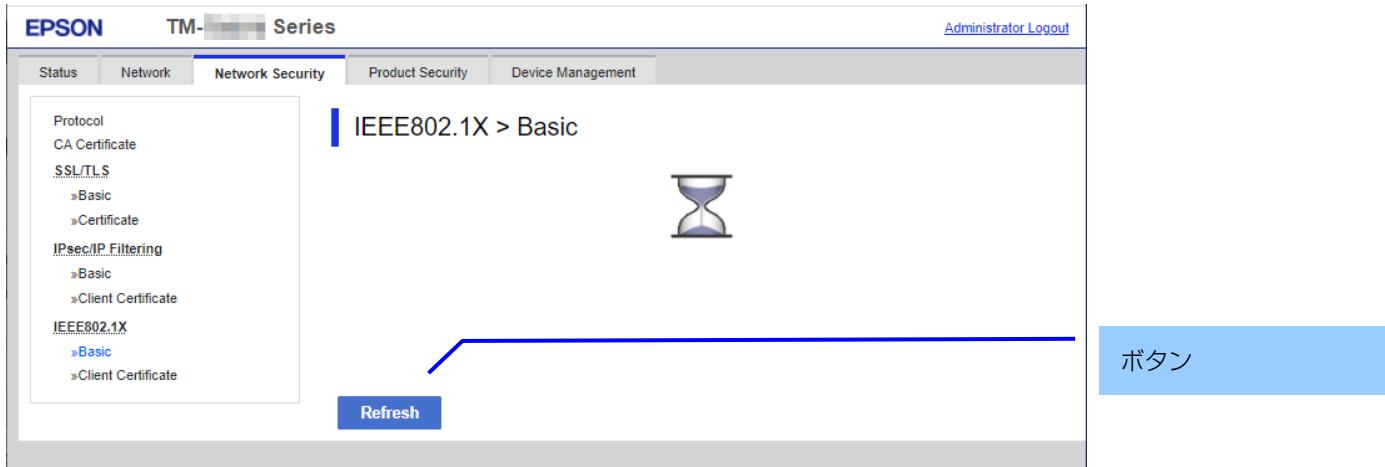


Figure 10-49 SSID 探索ページ

#### 10.3.6.1.2.2 ボタン

Table 10-135 ボタン

項目	説明
“Refresh”	ボタン押下により SSID 探索が完了していた場合は無線設定ページを、未完了の場合は SSID 探索ページへ遷移する。

### 10.3.6.1.3 無線設定ページ

SSID 探索ページより、“最新の状態へ更新”ボタンの押下、あるいは定期的な探索結果確認により SSID の探索が完了した時点で、無線設定ページに遷移する。無線設定ページは以下のようにになる。ラジオボタンにて、探索された SSID、あるいは手動設定の SSID の中から設定する SSID を選択する。

#### 10.3.6.1.3.1 イメージ図

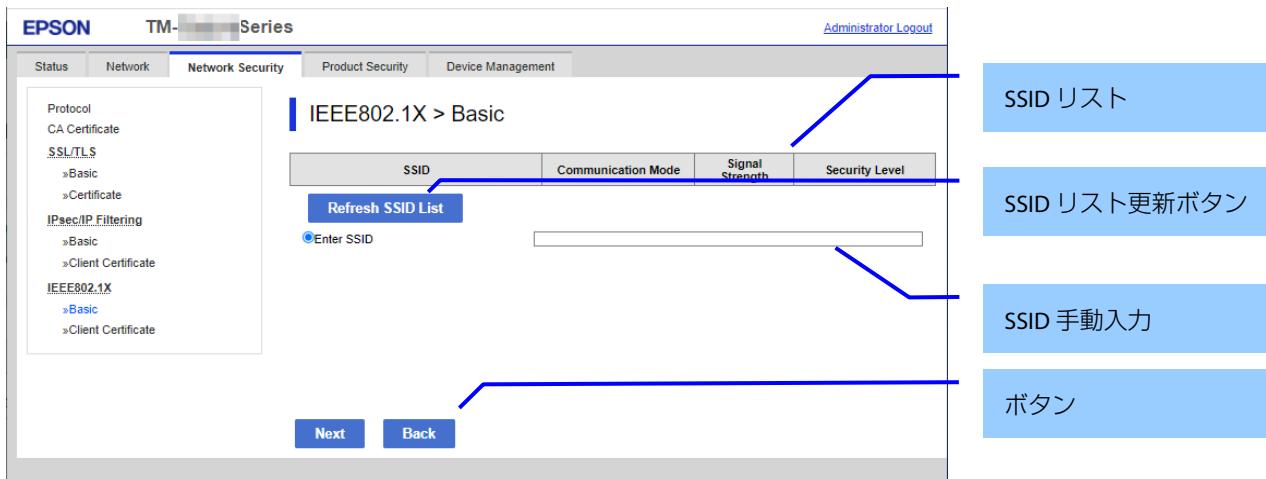


Figure 10-50 無線設定ページ - Wi-Fi Settings Page

### 10.3.6.1.3.2 SSID リスト

SSID リストから設定する SSID を選択する。SSID リストは以下のように構成され、信号強度の強い順に、セキュリティ設定が WPA2/WPA3-Enterprise の SSID を最大 10 個まで表示する。

**Table 10-136 SSID リスト**

項目	説明	条件
"SSID"	SSID 名を表示する。	-
"Communication Mode"	通信方法を表示する。表示される文字列は "Infrastructure" である。	-
"Signal Strength"	電波状態を表示する。表示される文字列は "Excellent" / "Good" / "Fair" / "No Good" / "Unknown" である。	Wi-Fi チップ搭載機種のみ表示される。
"Security Level"	セキュリティの方式を表示する。表示される文字列は "WPA2/WPA3-Enterprise" である。	-

### 10.3.6.1.3.3 SSID 手動入力

手動入力した SSID に対する設定を行う。

**Table 10-137 SSID 手動入力**

項目	説明
"Enter SSID"	SSID 手動入力用のテキストボックスを設ける。入力可能文字は、1~32 文字の範囲で、半角英数字、半角記号（ASCII コードでは 0x20-0x7E の範囲）である。

### 10.3.6.1.3.4 SSID リスト更新ボタン

SSID リストを更新するためのボタンを設ける。

**Table 10-138 SSID リスト更新ボタン**

項目	説明
"Refresh SSID List"	ボタンを押下することで SSID 探索ページへ遷移する。

### 10.3.6.1.3.5 ボタン

無線設定ページで入力された値で無線 LAN 設定を進める、あるいは操作を戻すためのボタンを設ける。

**Table 10-139 ボタン**

項目	説明
"Next"	無線設定ページで入力された値で WPA2/WPA3-Enterprise 設定を進めるためのボタン。ボタン押下でも設定は反映されず、入力確認ページへ遷移する。
"Back"	無線設定ページで入力された値を破棄し、IEEE802.1X 基本設定トップページへ遷移するためのボタン。

"設定"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーpopupアップウィンドウを出す。

**Table 10-140 エラーpopupアップ**

項目	説明
"Invalid value below."	SSID の入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。

#### 10.3.6.1.4 入力確認ページ

基本設定トップページ、無線設定ページで“次へ”ボタンが押下されたら、入力された設定値を確認するための入力確認ページに遷移する。

##### 10.3.6.1.4.1 イメージ図

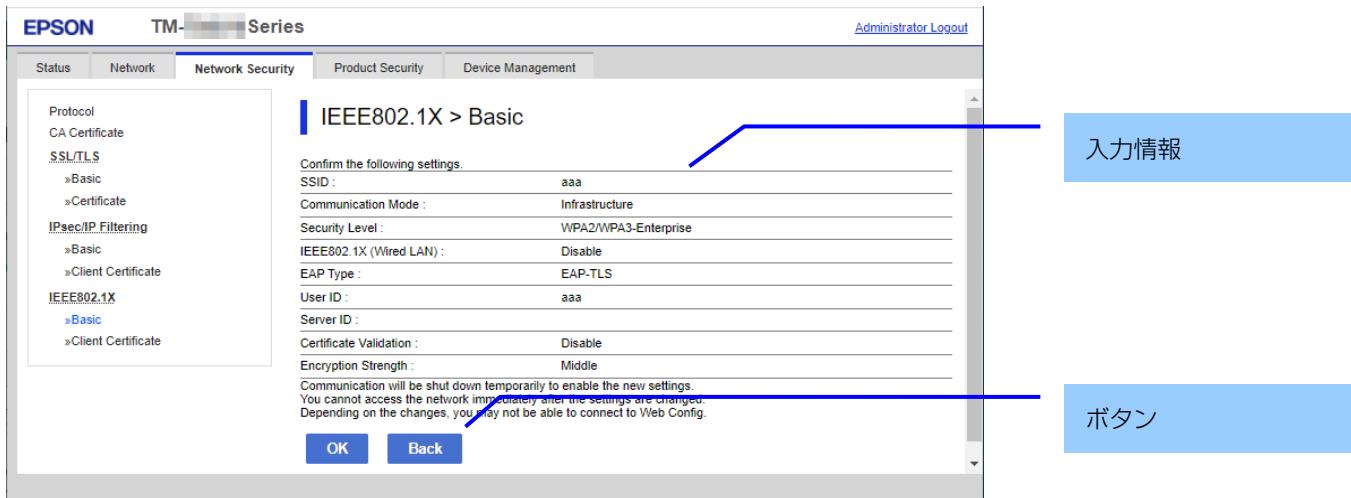


Figure 10-51 入力確認ページ

##### 10.3.6.1.4.2 入力情報

入力情報は入力確認ページへの遷移が、IEEE802.1X 基本設定トップページから遷移したか、無線設定ページから遷移したかにより表示する項目が異なる。以下に各遷移で表示する項目を示す。

Table 10-141 遷移による表示項目の違い

項目	基本設定トップページからの遷移	無線設定ページからの遷移
“SSID”	×	○
“Communication Mode”	×	○
“Security Level”	×	○
“IEEE802.1X(Wired LAN)”	○	○
“EAP Type”	○	○
“User ID”	○	○
“Password”	○	○
“Server ID”	○	○
“Anonymous Name”	○	○
“Encryption Strength”	○	○

○：表示、×：非表示

IEEE802.1X 基本設定トップページで無効になっていた項目は入力確認ページでは表示しない。

また、表示項目の上下に以下の文言を記載する。

Table 10-142 説明文

項目	説明	有効条件
“Confirm the following settings.”	左記の文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。	-
“Communication will be shut down temporarily to enable the new settings.” “You cannot access the network immediately after the settings are changed.” “Depending on the changes, you may not be able to connect to Web Config.”	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。	-

<LCD のない製品の場合> "If connection is lost unintentionally, initialize the network settings on the product's control panel. And then configure it again."	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。	基本設定トップページからの遷移時のみ表示。
<LCD ありの製品の場合> "If connection is lost unintentionally, disable IEEE802.1X on the product's control panel. And then configure it again."		

#### 10.3.6.1.4.3 ボタン

表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。設定ボタンを押下することで設定結果ページを表示する。

Table 10-143 ボタン

項目	説明
"Apply"	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。ボタンを押下することで設定結果ページへ遷移する。
"Back"	基本設定 トップページから入力確認ページに遷移してきた場合は基本設定 トップページに、無線設定ページから入力確認ページに遷移してきた場合は無線設定ページに戻るためのボタン。

#### 10.3.6.1.5 設定結果ページ

"Apply"ボタンを押すと結果ページが表示される。

##### 10.3.6.1.5.1 イメージ図

設定成功時に表示されるページと設定失敗時に表示されるページを以下に示す。



Figure 10-52 設定結果ページ

##### 10.3.6.1.5.2 設定結果

Table 10-144 設定結果

項目	説明
"Shutting down." "Restarting communication may take a few minutes." "If you want to change the settings, close the Web Config and check your IP address. Then enter your IP address in the browser to restart the Web Config."	成功の場合に表示する。(ネットワーククリブートが発生する。)
"Setup failed."	失敗の場合に表示する。

## 10.3.6.2 クライアント証明書設定

### 10.3.6.2.1 トップページ

IEEE802.1X 設定の証明書設定トップページは以下に示す。

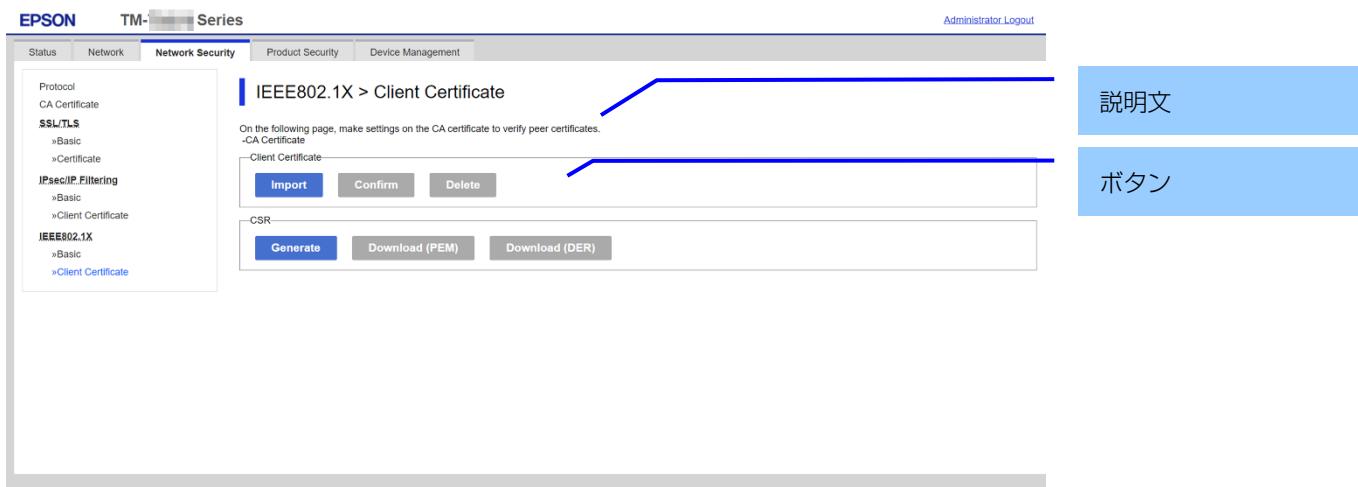


Figure 10-53 クライアント証明書設定トップページ

#### 10.3.6.2.1.1 説明文

Table 10-145 トップページ 説明文

項目	説明
"On the following page, make settings on the CA certificate to verify peer certificates." "-CA Certificate"	固定文字列

#### 10.3.6.2.1.2 コピー元選択肢

どの機能から本機能へ証明書をコピーするかをドロップダウンリストで選択できる。

10-146 コピー元選択肢

項目	説明	有効条件
"Copy From"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "Certificate for SSL/TLS" / "Certificate for IPsec" / "Certificate for S/MIME" "Certificate for SSL/TLS"は SSL/TLS の証明書ページでクライアント証明書がインポートされている場合のみ表示される。 "Certificate for IPsec"は IPsec の証明書ページでクライアント証明書がインポートされている場合のみ表示される。 "Certificate for S/MIME"は S/MIME の証明書ページでクライアント証明書がインポートされている場合のみ表示される。	"Copy From"は、以下のページで1つでもクライアント証明書がインポートされている場合に表示される。 ・ SSL/TLS の証明書ページ ・ IPsec の証明書ページ ・ "S/MIME 用証明書"

### 10.3.6.2.1.3 ボタン

トップページで表示するボタンについて説明する。

Table 10-147 トップページのボタンについて

項目(グループ名)	項目(ボタン名)	説明	有効条件
"Client Certificate"	"Import"	クライアント証明書のインポートの設定ページに遷移する	-
	"Confirm"	クライアント証明書の情報確認ページに遷移する	クライアント証明書がインポート済時
	"Delete"	ポップアップ表示後、インポート済みのクライアント証明書を削除する	クライアント証明書がインポート済時、かつ、未使用時
	"Copy"	他機能でインポート済みの証明書をドロップダウンリストから選択し、本機能へコピーする。 本機能でクライアント証明書が既にインポートされている場合は、警告ポップアップウィンドウが表示される。 本機能でクライアント証明書が未インポートの場合は、結果ページへ遷移する。	"Copy"ボタンは、以下ページで 1 つでもクライアント証明書がインポートされている場合に表示される。 ・ SSL/TLS の証明書ページ ・ IPsec の証明書ページ
"CSR"	"Generate"	CSR の生成するための設定画面に遷移する	-
	"Download (PEM)"	生成した CSR を PEM 形式でダウンロードする	CSR が生成済時
	"Download (DER)"	生成した CSR を DER 形式でダウンロードする	CSR が生成済時

### 10.3.6.2.2 結果表示ページ

コピーボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

#### 10.3.6.2.2.1 イメージ図

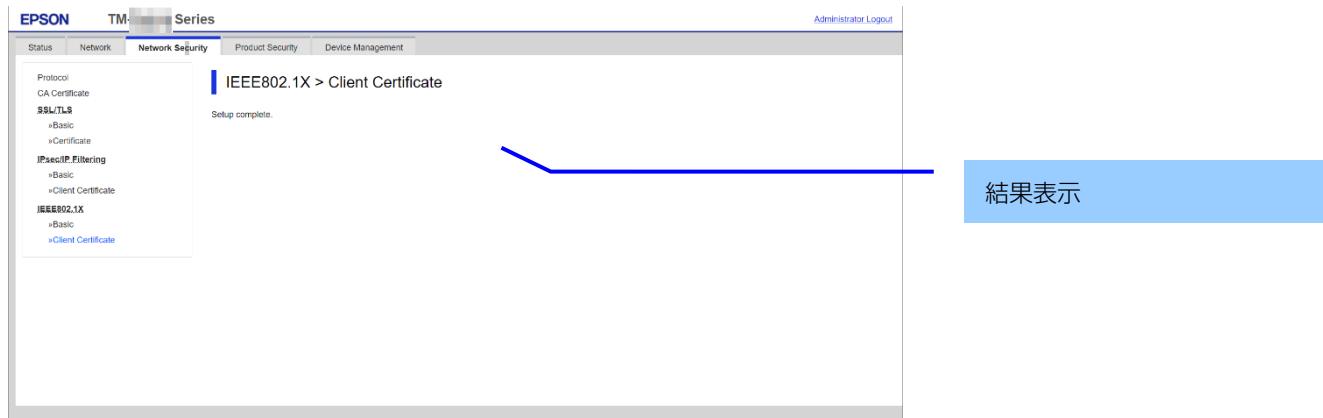


Figure 10-54 結果表示ページ

#### 10.3.6.2.2.2 結果表示

Table 10-148 結果表示

項目	説明
"Setup complete."	上書きでない証明書インポート成功の場合に表示する。
"Setup failed."	失敗の場合に表示する

### 10.3.6.2.3 クライアント証明書「インポート」

#### 10.3.6.2.3.1 インポートトップページ

IEEE802.1X 設定の証明書設定トップページのクライアント証明書のインポートボタンを、押下することによって、以下のクライアント証明書インポート設定ページに遷移する。

表示されるページの形式は“IPsec/IP フィルタリング > クライアント証明書「インポート」”と同じである。

#### 10.3.6.2.3.1.1 設定項目

インポートトップページでは、以下の設定が可能である。

**Table 10-149 クライアント証明書インポート 設定項目**

項目	説明	有効条件
“Client Certificate”	インポートするクライアント証明書ファイルを指定できる。フォルダー参照ボタンで入力する。	-
File Format	インポートするサーバー証明書のファイル形式をドロップダウンリストで選択する。 “Certificate (PEM/DER)” / “Certificate with Private Key (PKCS#12)”	-
“Private Key”	インポートするサーバー証明書に関する秘密鍵ファイルが指定できる。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が“Certificate (PEM/DER)”を選択された時
“Password”	秘密鍵を暗号化するためのパスフレーズをテキストボックスで入力する。ASCII 文字コード（0x20-0x7E） 0 文字以上 48 文字以下 入力した文字は、”**”でマスクして表示する。	- ファイル形式が“Certificate with Private Key (PKCS#12)”を選択された時
“CA Certificate 1”	サーバー証明書を発行した機関の証明書をインポートするためにファイルを指定する。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が“Certificate (PEM/DER)”を選択された時
“CA Certificate 2”	“CA Certificate 1”を発行した機関の証明書をインポートするためにファイルを指定する。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が“Certificate (PEM/DER)”を選択された時

#### 10.3.6.2.3.1.2 説明文

**Table 10-150 クライアント証明書情報 説明文**

項目	説明
“Note: It is recommended to communicate via HTTPS for importing a certificate.”	固定文字列

#### 10.3.6.2.3.1.3 ボタン

インポートページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

**Table 10-151 クライアント証明書インポート ボタン**

項目	説明
“OK”	インポートを実施する。 “OK”ボタンが押された際に、条件によって下記の動作を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。</li> <li>● 入力値に誤りがなく、かつ既に証明書がインポートされている場合は、警告としてポップアップウィンドウを出す。</li> <li>● 入力値に誤りがなく、かつ証明書がインポートされていない場合は、結果表示ページへ遷移する。</li> </ul>
“Back”	IEEE802.1X 証明書設定トップページに遷移する

### 10.3.6.2.3.2 エラーポップアップウィンドウ

“OK”ボタン押下時に、入力値に誤りがある旨を通知するためのエラーポップアップを表示する。  
表示されるページの形式は“IPsec/IP フィルタリング > クライアント証明書「インポート」”と同じである。

#### 10.3.6.2.3.2.1 確認メッセージ

Table 10-152 エラーポップアップウィンドウ

項目	説明
“Select a Client Certificate.”	クライアント証明書のパスが未入力の場合に表示する。
“CA Certificate 1 is not entered.”	CA 証明書 1 が未入力で、CA 証明書 2 のみ入力されている場合に表示する。
“Invalid value below.”	入力値エラーの場合に表示する。

#### 10.3.6.2.3.2.2 ボタン

OK ボタンの文言は各ブラウザーの表示仕様に従う。

Table 10-153 エラーポップアップウィンドウ ボタン

項目	説明
“OK”	インポートトップページに遷移する。

### 10.3.6.2.3.3 警告ポップアップウィンドウ

“設定”ボタン押下時に、証明書が既にインポート済みある旨を通知するためのエラーポップアップを表示する。  
表示されるページの形式は“IPsec/IP フィルタリング > クライアント証明書「インポート」”と同じである。

#### 10.3.6.2.3.3.1 確認メッセージ

Table 10-154 警告ポップアップウィンドウ

項目	説明
“The certificate will be overwritten.”	入力値に誤りがなく、かつ既に証明書がインポートされている場合に表示する。
“Communication will be shut down temporarily.”	入力値に誤りがなく、かつ既に証明書がインポートされている場合に表示する。

#### 10.3.6.2.3.3.2 ボタン

OK ボタン、Cancel ボタンの文言は各ブラウザーの表示仕様に従う。

Table 10-155 警告アップウィンドウ ボタン

項目	説明
“OK”	証明書の上書きを実施する。 結果ページへ遷移する。
“Cancel”	インポートトップページに遷移する

#### 10.3.6.2.3.4 結果表示ページ

設定または OK ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

表示されるページの形式は“IPsec/IP フィルタリング > クライアント証明書「インポート」”と同じである。

##### 10.3.6.2.3.4.1 結果表示

Table 10-156 クライアントく結果表示

項目	説明	インポートトップページから遷移	警告ポップアップから遷移	ネットワーク再起動ボタン押下後に遷移
“Setup complete.”	証明書インポート成功の場合に表示する。	する	しない	しない
“Shutting down.” “Restarting communication may take a few minutes.” “If you want to change the settings, close the Web Config and check your IP address. Then enter your IP address in the browser to restart the Web Config.”	上書き証明書インポート成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)	しない	する	する
“Invalid password.”	パスワードが不正の場合に表示する。	する	する	しない
“Invalid file.”	以下の場合に表示する。 ・証明書が不正 -ファイル形式が X.509 形式でない -5K 以上 24K 未満のサイズオーバーの証明書をインポートしようとした(※) ・秘密鍵ファイルと証明書がマッチしない ・チェーンが不正	する	する	しない
“Invalid date and time.”	有効期間外の証明書をインポートしようとしたときに表示する。(日時未設定状態)	する	する	しない
“The certificate has expired. Check if the certificate is valid, or check the date and time on the product.”	有効期間外の証明書をインポートしようとしたときに表示する。(日時設定済状態)	する	する	しない
“Cannot use the Client Certificates that include more than three CA certificates.”	証明書をサーバー証明書 1 つと CA 最大件数オーバー ・PKCS#12 に 3 つ以上の CA 証明書が含まれている	する	する	しない
“Private key is required.”	秘密鍵が必要な証明書にファイルがなかった場合に表示する。	する	する	しない
“Setup failed.” “Click [Reboot Network] to apply the settings.” “Communication will be shut down temporarily.” “The setting may be applied to the communication after other settings are changed or the device is restarted.”	ネットワーク再起動に失敗した時に表示する。	しない	する	する

※インポートする証明書のサイズが 24Kbyte 以上の場合、読み込みできず Web ブラウザーのエラーが表示される。

### 10.3.6.2.3.4.2 ボタン

Table 10-157 ボタン

項目	説明	有効条件
"Reboot Network"	ネットワーク再起動を実施する。 ネットワーク再起動に成功した場合は、成功結果ページへ遷移する。 ネットワーク再起動に失敗した場合は、同じページへ遷移する。	ネットワーク再起動に失敗した場合のみ表示

### 10.3.6.2.4 クライアント証明書「表示」

IEEE802.1X 設定の証明書設定トップページのクライアント証明書の表示ボタンを、押下することによって、以下のクライアント証明書情報確認ページに遷移する。

表示されるページの形式は"CA 署名証明書の「表示」"と同じである。

#### 10.3.6.2.4.1 表示項目

Table 10-158 クライアント証明書情報 表示項目

項目	説明
"Client Certificate"	クライアント証明書の情報を表示する。 ASCII 最大 8192Byte。
"CA Certificate 1"	CA 証明書 1 の情報を表示する。なければ項目自体表示しない。 ASCII 最大 8192Byte。
"CA Certificate 2"	CA 証明書 2 の情報を表示する。なければ項目自体表示しない。 ASCII 最大 8192Byte。

### 10.3.6.2.4.2 ボタン

Table 10-159 クライアント証明書情報 ボタン

項目	説明
"Back"	IEEE802.1X 証明書設定トップページに遷移する

### 10.3.6.2.5 クライアント証明書「削除」

#### 10.3.6.2.5.1 警告ポップアップウィンドウ

IEEE802.1X 設定の証明書設定トップページのクライアント証明書の削除ボタンを押下することによって、全てのインポート済みクライアント証明書を削除する。

#### 10.3.6.2.5.2 結果表示ページ

OK ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

##### 10.3.6.2.5.2.1 イメージ図

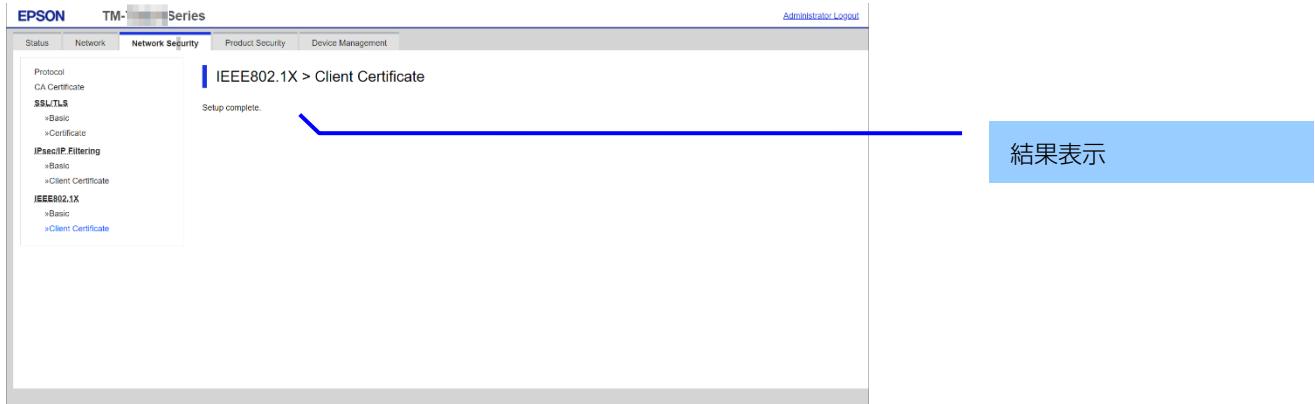


Figure 10-55 結果表示ページ

##### 10.3.6.2.5.2.2 結果表示

Table 10-160 結果表示

項目	説明
"Setup complete."	証明書の削除に成功した場合に表示する。
"Setup failed."	証明書の削除に失敗した場合に表示する。

#### 10.3.6.2.6 クライアント証明書「上書きコピー」

##### 10.3.6.2.6.1 警告ポップアップウィンドウ

証明書トップページのコピーボタンを押下したときに、本機能でクライアント証明書を既にインポート済みならば、以下の警告ポップアップを表示する。

表示されるページの形式は"CA 署名証明書「インポート」"と同じである。

##### 10.3.6.2.6.1.1 確認メッセージ

Table 10-161 警告ポップアップウィンドウ

項目	説明
"The certificate will be overwritten."	既に証明書がインポートされている場合に表示する。
"Communication will be shut down temporarily."	

#### 10.3.6.2.6.1.2 ボタン

OK ボタン、Cancel ボタンの文言は各ブラウザーの表示仕様に従う。

**Table 10-162 警告ポップアップウィンドウ ボタン**

項目	説明
"OK"	証明書の上書きコピーを実施する。 結果ページへ遷移する。
"Cancel"	インポートトップページに遷移する

#### 10.3.6.2.6.2 結果表示ページ

OK ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

表示されるページの形式は"IPsec/IP フィルタリング > クライアント証明書「上書きコピー」"と同じである。

#### 10.3.6.2.6.2.1 結果表示

**Table 10-163 結果表示**

項目	説明	警告ポップアップから遷移	結果表示から遷移
"Shutting down." "Restarting communication may take a few minutes." "If you want to change the settings, close the Web Config and check your IP address. Then enter your IP address in the browser to restart the Web Config."	上書き証明書コピー成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)	する	する
"Setup failed."	上書き証明書コピーに失敗した時に表示する。	する	する

#### 10.3.6.2.7 CSR(署名リクエスト)「生成」

##### 10.3.6.2.7.1 生成トップページ

IEEE802.1X 設定の証明書設定トップページの CSR の生成ボタンを、押下することによって、以下の CSR 生成設定ページに遷移する。表示されるページの形式は"SSL/TLS > 証明書> CSR 「生成」"と同じである。

##### 10.3.6.2.7.1.1 設定項目

CSR の生成には以下の情報をユーザーに入力してもらう必要がある。

**Table 10-164 CSR 生成 設定項目**

項目	説明
"Key Length"	CSR 作成に用いる公開鍵長を設定する。 以下をドロップダウンリストで選択する。 "RSA 1024bit - SHA-1" / "RSA 2048bit - SHA-256" / "RSA 3072bit - SHA-256" / "EC 256bit - SHA-256" / "RSA 4096bit - SHA-384" / "EC 384bit - SHA-384" / "EC 521bit - SHA-512"
"Common Name"	CSR 作成に用いるコモンネームを設定する。 テキストボックスで入力を行う。 1 文字以上 128 文字以下 IPv4 形式、IPv6 形式（括弧内 "["、 "]" で囲む書式を許容）、ホスト名形式、FQDN 形式で入力可能。また、カンマ（0x2c）は、制御用文字として特殊な意味を持つ。※参照
"Organization"	CSR 作成に用いる組織名を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。

"Organizational Unit"	CSR 作成に用いる部署名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は “” を設定する。
"Locality"	CSR 作成に用いる市町村名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は “” を設定する。
"State/Province"	CSR 作成に用いる都道府県名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は “” を設定する。
"Country"	CSR 作成に用いる国別記号（ISO-3166）を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 2 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする 入力文字列無い場合は “” を設定する。

※ コモンネームやにカンマ(,)文字を使用して複数入力が可能。入力した情報はカンマ(,)によって複数に分割される。

#### 10.3.6.2.7.1.2 ボタン

Table 10-165 CSR 生成設定ページのボタンについて

項目	説明
"OK"	CSR 生成を実施する
"Back"	SSL/TLS 証明書設定トップページに遷移する

生成ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-166 CSR 生成エラー ポップアップ ウィンドウ

項目	説明
"Invalid value below."	入力値エラーの場合に表示する。

#### 10.3.6.2.7.1.3 結果表示

設定ボタンが押された後で、砂時計ページを表示し、設定結果を表示するページに遷移する。

Table 10-167 CSR 生成 設定結果

項目	説明
"Setup complete."	成功時に表示する。
"Setup failed."	上記以外の場合に表示する。

#### 10.3.6.2.8 CSR（署名リクエスト）「ダウンロード」

IEEE802.1X 設定の証明書設定トップページの CSR 「ダウンロード (PEM)」 ボタン、もしくは CSR 「ダウンロード (DER)」 ボタンを、押下することによって、生成した CSR のダウンロードが可能である。

「ダウンロード (PEM)」 ボタン押下した場合は、PEM のファイル形式でダウンロードでき、「ダウンロード (DER)」 ボタン押下した場合は、DER のファイル形式でダウンロードできる。

ダウンロードされるファイルの初期名は、"EXPORT\_CSR\_<製造番号>\_<日付時刻>" の形式である。

<製造番号>は、製品の製造番号をあらわす。

<日付時刻>は、プリンターに設定されている日付時刻をあらわす。例:20181010143021

CSR のダウンロード方法は、ブラウザーによって異なる。

## 10.4 本体セキュリティ - Product Security

### 10.4.1 パスワード暗号化 - Password Encryption

#### 10.4.1.1 トップページ

##### 10.4.1.1.1 イメージ図

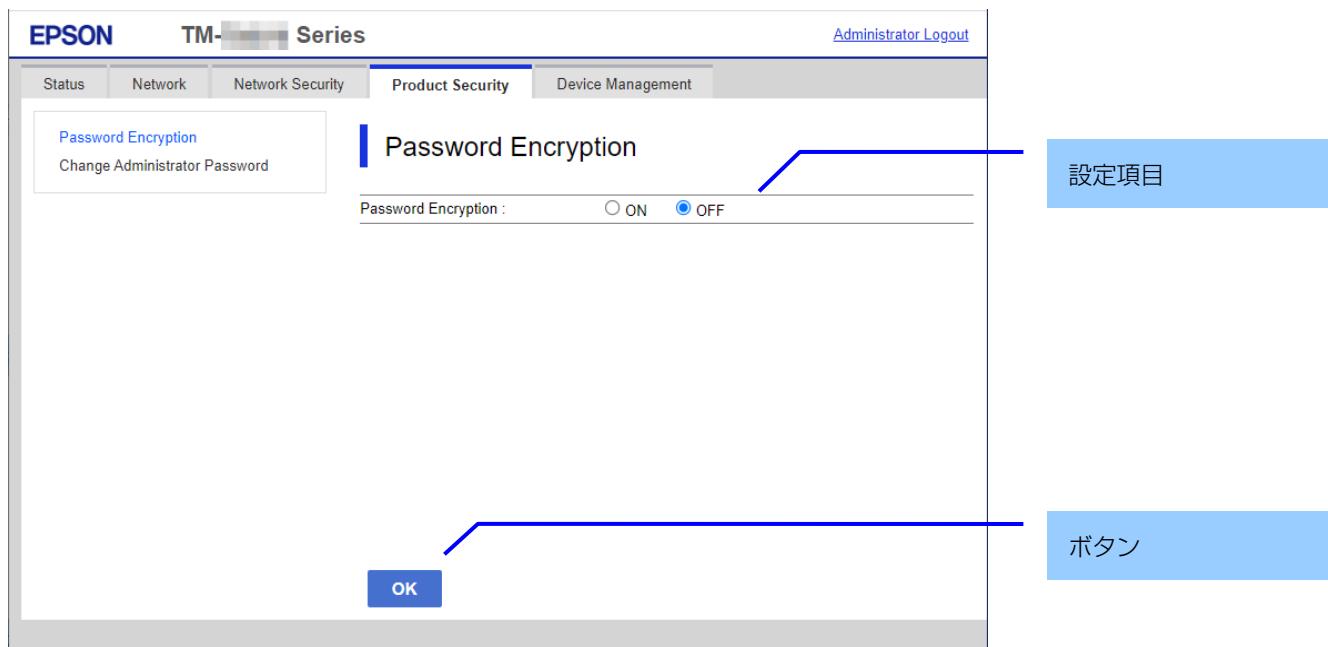


Figure 10-56 パスワード暗号化

#### 10.4.1.1.2 設定項目

以下にソフトウェアの設定項目について記載する。

Table 10-168 ソフトウェア設定項目

項目	説明	有効条件
"Password Encryption"	以下を選択するラジオボタンを設ける。 "ON" / "OFF"	ソフトウェア暗号化の機種でのみ表示する。
"Password Encryption"	設定されている以下の値を文字列で表示する。 "ON" / "OFF"	TPM 暗号化の機種でのみ表示する。

#### 10.4.1.1.3 ボタン

設定項目の入力値を反映するためのボタンを設ける。

Table 10-169 ボタン

項目	説明	有効条件
"OK"	ボタンを押下することで結果表示のページへ遷移する。	ソフトウェア暗号化の機種でのみ表示する。

#### 10.4.1.1.4 確認ダイアログ

Table 10-170 確認ダイアログ

項目	説明
"Restart the printer to apply the password encryption setting. If you turn the power off while restart is in progress, data may be damaged and the printer settings are restored to defaults."	"OK"ボタンが押下された場合に表示する。

#### 10.4.1.2 結果表示ページ

設定ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

##### 10.4.1.2.1 イメージ図

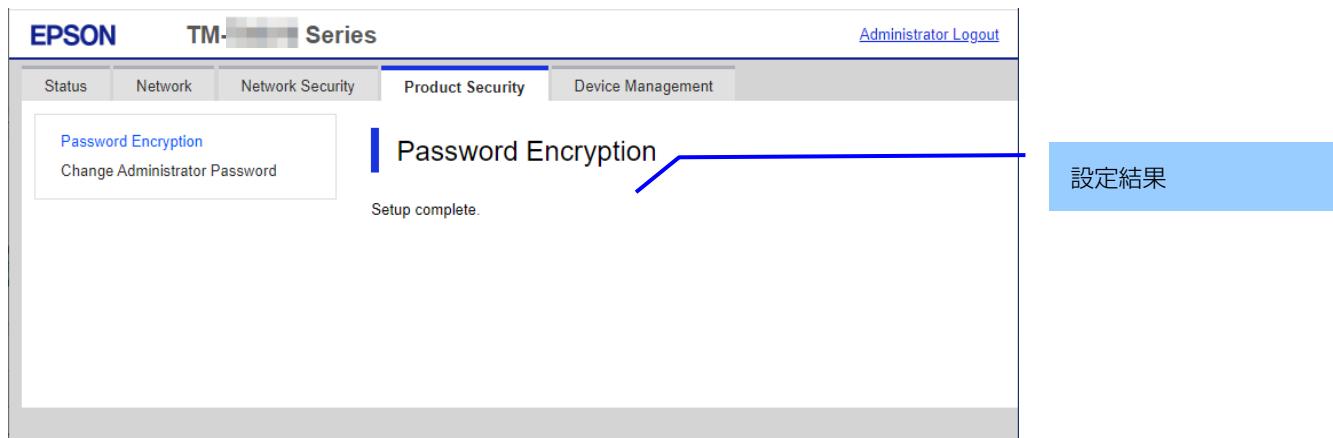


Figure 10-57 結果表示

##### 10.4.1.2.2 設定結果

Table 10-171 結果表示

項目	説明
"Setup complete."	設定成功時に表示する。
"Setup failed."	設定に失敗したときに表示する。

## 10.4.2 管理者パスワード変更 - Change Administrator Password

管理者パスワード変更では、管理者モードに必要な管理者パスワードを設定することができる。  
ここで設定された項目は、管理者ログオン時に使用される。

### 10.4.2.1 トップページ

#### 10.4.2.1.1 イメージ図

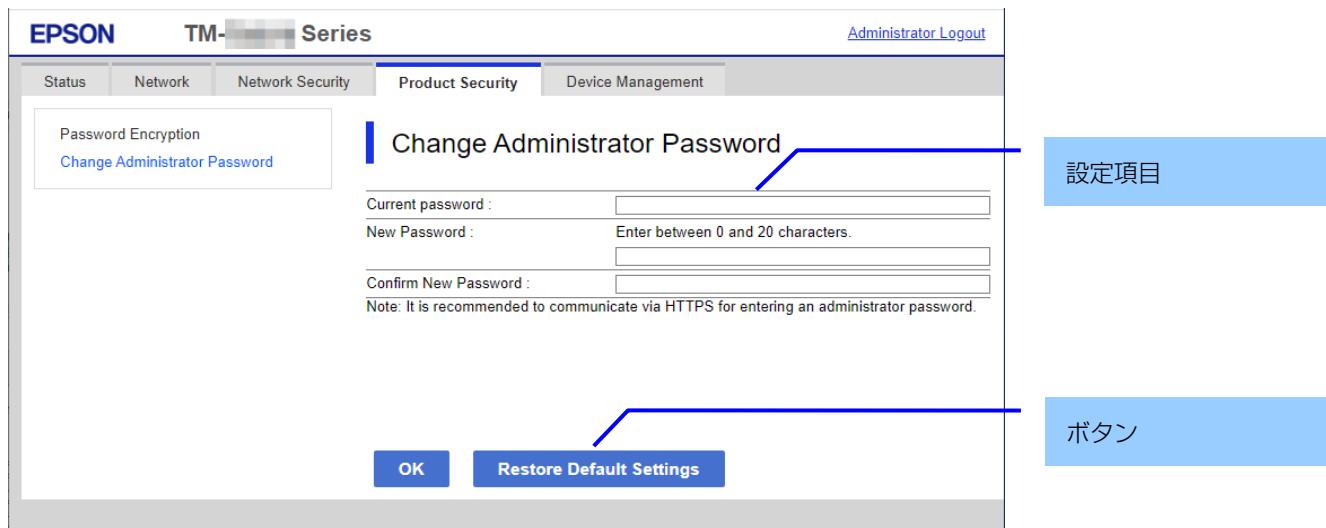


Figure 10-58 管理者パスワード変更

#### 10.4.2.1.2 設定項目

以下に管理者パスワード変更の項目について記載する。

Table 10-172 管理者パスワード変更 設定項目

項目	説明	有効条件
"Current password"	現在設定されている管理者パスワードを入力するためのテキストボックス。	-
"New Password"	新しく設定するパスワードを入力するためのテキストボックス。 ASCII 文字コード (0x20-0x7E) (英数字記号) 1 ~ 20 文字。 ただし、パスワードポリシー反したパスワードの場合は設定に失敗する。	-
"Enter between %d and 20 characters."	新しいパスワードの入力用テキストボックス上部に、表示する。 ● ISO15408 のみ対応機種 ● その他機種 "1~20 文字"	-
"Confirm New Password"	ASCII 文字コード (0x20-0x7E) (英数字記号) 1 ~ 20 文字。 新しいパスワードと同じものを入力させるためのテキストボックス。	-
"Note: It is recommended to communicate via HTTPS for entering an administrator password."	固定文字列	-

#### 10.4.2.1.3 ボタン

管理者パスワード変更項目の入力値を反映するためのボタンを設ける。

**Table 10-173 管理者パスワード変更ボタン**

項目	説明	有効条件
"OK"	ページ最下部にボタンを設ける。	-
"Restore Default Settings"	"購入時の設定に戻しますか?"の警告ポップアップを表示し、OK ボタンを押下されたら、設定値を購入時初期設定に戻す。キャンセルボタンを押下されたら、警告ポップアップの表示を消すのみで何もしない。	管理者パスワードの初期値対応が入っている機種でのみ表示する。

設定ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

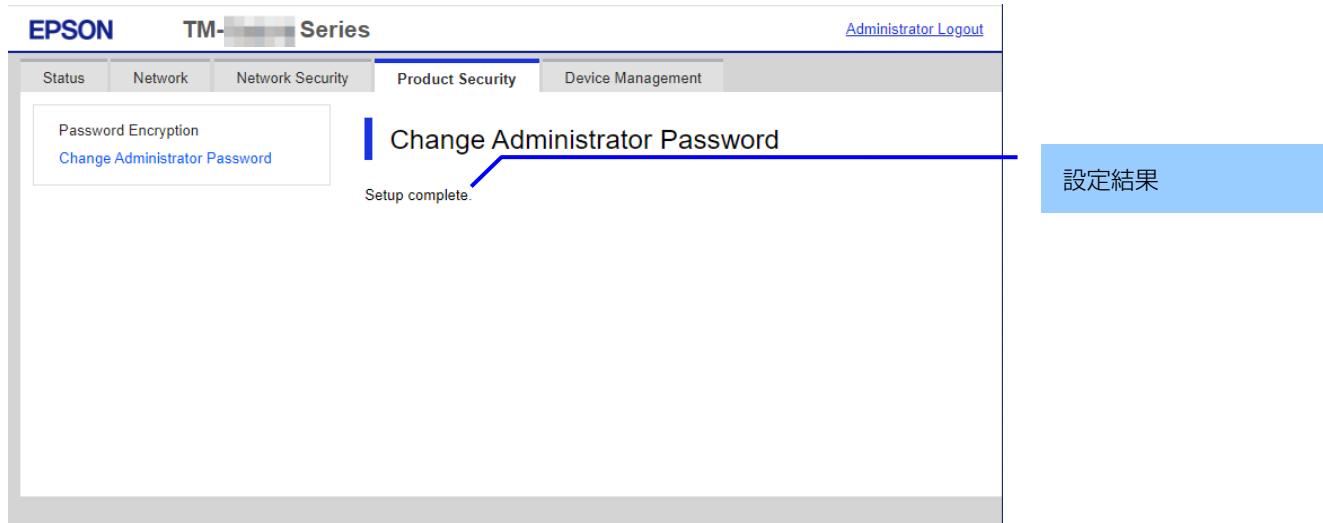
**Table 10-174 エラー ポップアップ**

項目	説明
"Invalid value below."	入力されたユーザー名やパスワードの入力形式が間違っている場合に JavaScript のポップアップウィンドウで表示する。
"Password and confirm password do not match."	入力された新しいパスワードと、新しいパスワード（確認）が一致しない場合に JavaScript のポップアップウィンドウで表示する。

#### 10.4.2.2 結果表示

設定ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

##### 10.4.2.2.1 イメージ図



**Figure 10-59 イメージ図**

##### 10.4.2.2.2 設定結果

**Table 10-175 結果**

項目	説明
"Setup complete."	正常に設定が終了した場合に表示する。 結果表示後、自動的にページをリロードし、製品情報のページを表示する。 元の状態が管理者ログオン状態であれば管理者ログオン状態を維持し、管理者パスワード未設定状態であれば管理者ログオフ状態になる。

"Failed to make the settings." "The password you entered is incorrect."	入力されたパスワードが、製品に設定されている管理者パスワードと一致しなかった場合に表示する。 本ページのすべての設定がプリンターに反映されない。
"The password does not meet the password policy requirements. Check the requirements."	パスワードポリシー違反により、設定に失敗した場合に表示する。
"Setup failed."	上記以外の設定失敗時に表示する。

## 10.5 デバイス管理 – Device Management

### 10.5.1 設定のエクスポート/インポート – Export and Import Setting Value

設定のエクスポート/インポートのページでは、詳細設定の設定状態をファイルに書き出すエクスポート、詳細設定をファイルを読み込んで行うインポートが可能である。本ページでは、以下のサブメニューをサポートする。

**Table 10-176 エクスポート/インポートのサブメニュー**

サブメニュー	
"Export"	
"Import"	

#### 10.5.1.1 エクスポート/インポートカテゴリー

エクスポート、インポートでの対象項目は、複数の設定項目をカテゴリーという単位でまとめたものの中から選択する。カテゴリーとそこに含まれる設定項目は以下のようになる。カテゴリーの中にはサブカテゴリーを含むものがあり、親のカテゴリーを選択するとサブカテゴリーは全て選択される。

**Table 10-177 エクスポート/インポートカテゴリー**

カテゴリー	説明
"All"	下記全てのカテゴリーが選択される。
"Network"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
"Basic"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
"Settings except below"	メニューにあるネットワーク基本が対象となる。ただし、以下の設定を除く。
"Device Name"	ネットワーク基本設定にあるデバイス名が対象となる。
"Location"	ネットワーク基本設定にあるロケーションが対象となる。
"Obtain IP Address, IP Address, Subnet Mask, and Default Gateway"	ネットワーク基本設定にある TCP/IP 設定、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが対象となる。
"IPv6 Address and IPv6 Address Default Gateway"	ネットワーク基本設定にある IPv6 アドレス、IPv6 デフォルトゲートウェイが対象となる。
"Wi-Fi"	メニューにある無線 LAN が対象となる。
"Wired LAN"	メニューにある有線 LAN が対象となる。
"Wi-Fi Direct"	<p>■Wi-Fi チップ搭載機種以外 メニューにある Wi-Fi Direct が対象となる。</p> <p>■Wi-Fi チップ搭載機種 下記のサブカテゴリー全てが選択される。</p>
"Settings except below"	Wi-Fi チップ搭載機種のみ表示する。 メニューにある Wi-Fi Direct が対象となる。ただし、以下の設定を除く。
"SSID and Password"	Wi-Fi チップ搭載機種のみ表示する。 Wi-Fi Direct にある SSID とパスワードが対象となる。
"Network Security"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
"Protocol"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
"Settings except below"	メニューにあるプロトコルが対象となる。ただし、以下の設定を除く。
"Bonjour Service Name"	プロトコル設定にある Bonjour サービス名が対象となる。
"SSL/TLS"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
"Basic"	メニューにある SSL/TLS の基本設定が対象となる。
"Certificate"	メニューにある SSL/TLS のサーバー証明書設定が対象となる。
"Automatic Certificate Update"	メニューにある証明書自動更新が対象となる。
"IPsec/IP Filtering"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
"Basic"	メニューにある IPsec/IP フィルタリングの基本設定が対象となる。
"Client Certificate"	IPsec/IP フィルタリング 証明書設定のクライアント証明書が対象となる。

	"IEEE802.1X"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
	"Basic"	メニューにある IEEE802.1X の基本設定が対象となる。
	"Client Certificate"	IEEE802.1X 証明書設定のクライアント証明書設定が対象となる。
	"CA Certificate"	メニューにある相手サーバー検証用 CA 証明書が対象となる。
	"Product Security"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
	"Access Control Settings"	メニューにある利用者制限設定が対象となる。
	"Password Encryption"	メニューにあるパスワード暗号化が対象となる。
	"Administrator Password"	メニューにある管理者パスワードが対象となる。
	"Device Management"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
	"Administrator Name/Contact Information"	メニューにある管理者名/連絡先が対象となる。
	"Date and Time"	メニューにある日付/時刻が対象となる。ただし、表示形式と時差とタイムサーバーが対象となる。

## 10.5.1.2 エクスポート - Export

エクスポートは、トップページと結果表示ページで構成される。

### 10.5.1.2.1 トップページ

#### 10.5.1.2.1.1 イメージ図

メニュー画面の"エクスポート"を選択すると表示される。エクスポートトップページは以下のようになる。

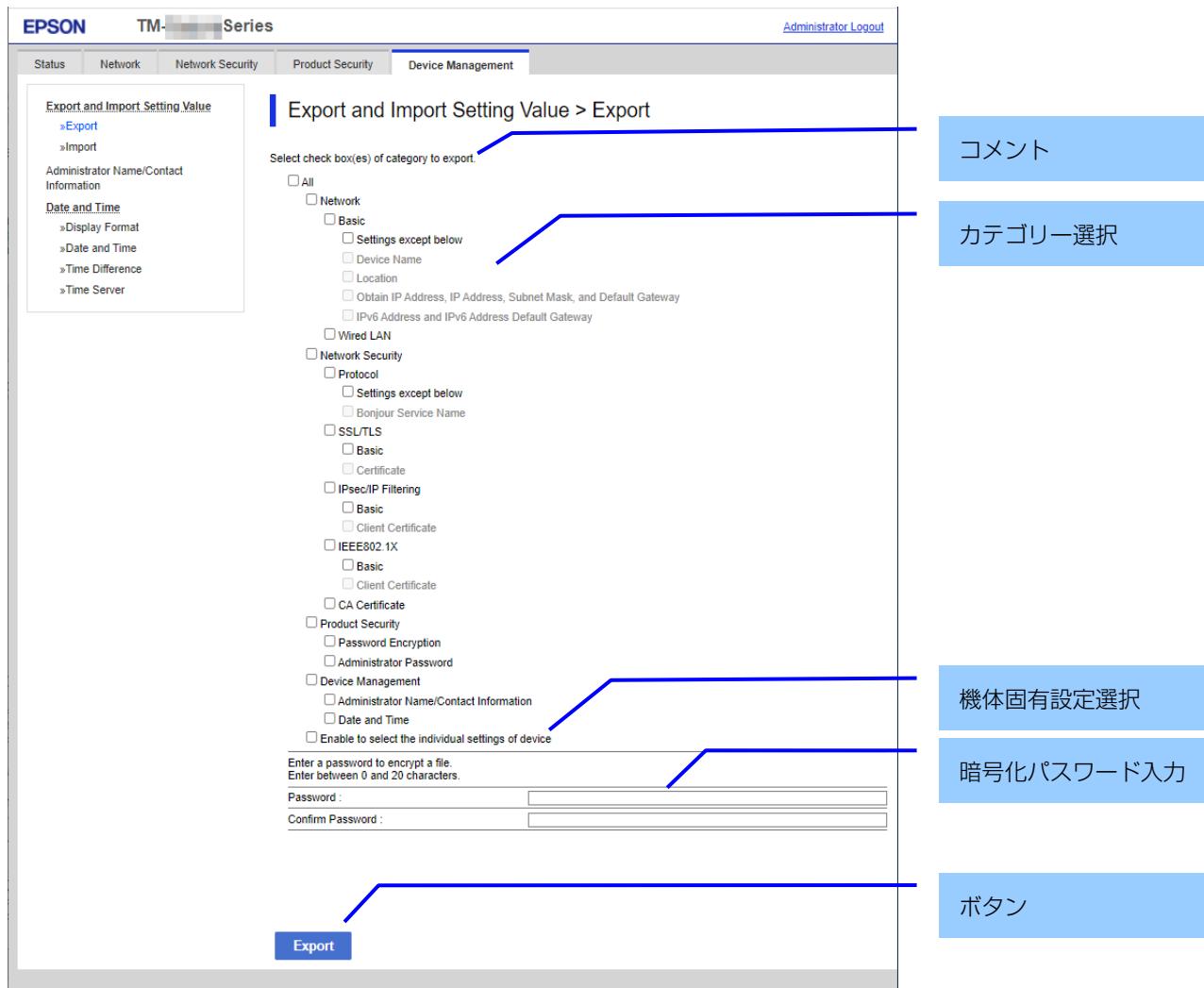


Figure 10-60 トップページ

#### 10.5.1.2.1.2 コメント

以下のコメントを記載する。

Table 10-178 コメント

コメント	説明
"Select check box(es) of category to export."	カテゴリー選択の上部に記載する。
"Enter a password to encrypt a file." "Enter between 0 and 20 characters."	暗号化パスワード入力の上部に記載する。

#### 10.5.1.2.1.3 カテゴリー選択

エクスポートするカテゴリーをチェックするための項目を設ける。選択できるカテゴリーは“エクスポート/インポートカテゴリー”で示したカテゴリーであり、ページ表示時は全カテゴリーが未チェック状態である。エクスポートでの表示については以下のような特徴がある。

**Table 10-179 エクスポートカテゴリーの特徴**

カテゴリー	特徴
Device Name	
Location	• “Enable to select the individual settings of device”が未チェック時はグレーアウトし選択不可。
Obtain IP Address, IP Address, Subnet Mask, Default Gateway	• “Enable to select the individual settings of device”が未チェック時はグレーアウトし選択不可。 • “Obtain IP Address”が“Manual”的ときのみ項目が表示される。
IPv6 Address, IPv6 Address Default Gateway Network Security Settings > SSL/TLS > Certificate Network Security Settings > IPsec/IP Filtering > Client Certificate Settings Network Security Settings > IEEE802.1X > Client Certificate Settings	• “Enable to select the individual settings of device”が未チェック時はグレーアウトし選択不可。
Network Security Settings > S/MIME > Client Certificate	
Bonjour Service Name	
SSID and Password	
Network Security Settings > S/MIME > Client Certificate	S/MIME の証明書がインポート済みのときは、メールサーバー設定と連動するため、機種固有設定扱いとはしない。
Product Security > Password Encryption	ソフトウェア暗号化が有効になっている機種でのみ表示する。

#### 10.5.1.2.1.4 機体固有設定選択

機体固有のカテゴリーを選択できるようにする項目を設ける。

**Table 10-180 機体固有設定選択**

項目	説明
“Enable to select the individual settings of device”	本項目にチェックを入れることで、“エクスポート/インポートカテゴリー”で示した機体固有設定のカテゴリーをチェックできるようになる。

#### 10.5.1.2.1.5 暗号化パスワード入力

エクスポートファイルを暗号化するためのパスワードを入力させる。

**Table 10-181 暗号化パスワード入力**

項目	説明
“Password”	ファイルを暗号化するためのパスワードを入力する。 テキストボックスに 0~20byte の範囲で、半角英数字記号（ASCII の 0x20-0x7E）を入力する。入力時の表示はマスクする。
“Confirm Password”	暗号化パスワードと同じ。

#### 10.5.1.2.1.6 ボタン

エクスポートファイルを作成するためのボタンを設ける。

Table 10-182 ボタン

項目	説明
"Export"	ファイル作成を開始する。ファイル作成失敗時は結果ページに遷移する。ボタン押下後にトップページ内の全項目がグレーアウトする。

"エクスポート"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーポップアップウィンドウを出す。

Table 10-183 エクスポート エラーポップアップ

項目	説明
"Select at least one category."	カテゴリーが選択されていない場合に表示する。
"Invalid value below."	テキストボックスの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は1行に1項目表示する。
"Passwords you entered do not match."	パスワードとパスワード確認入力の値が一致しない場合に表示する。

ダウンロードされるファイルの初期名は、"Config\_<製造番号>\_<日付時刻>"の形式である。

<製造番号>は、製品の製造番号をあらわす。

<日付時刻>は、プリンターに設定されている日付時刻をあらわす。例:20181010143021

#### 10.5.1.2.2 結果表示ページ

結果表示は失敗時のみ表示される。

Table 10-184 エクスポート 結果表示 - Export Result

項目	説明
"Creating a file failed."	ファイル作成に失敗した場合に表示する。
"Export the file again."	

### 10.5.1.3 インポート - Import

インポートはトップページ、カテゴリー選択ページ、入力確認ページ、結果表示ページと遷移して行われる。

#### 10.5.1.3.1 トップページ

##### 10.5.1.3.1.1 イメージ図

メニュー画面の”インポート”を選択すると表示される。インポートトップページは以下のようになる。

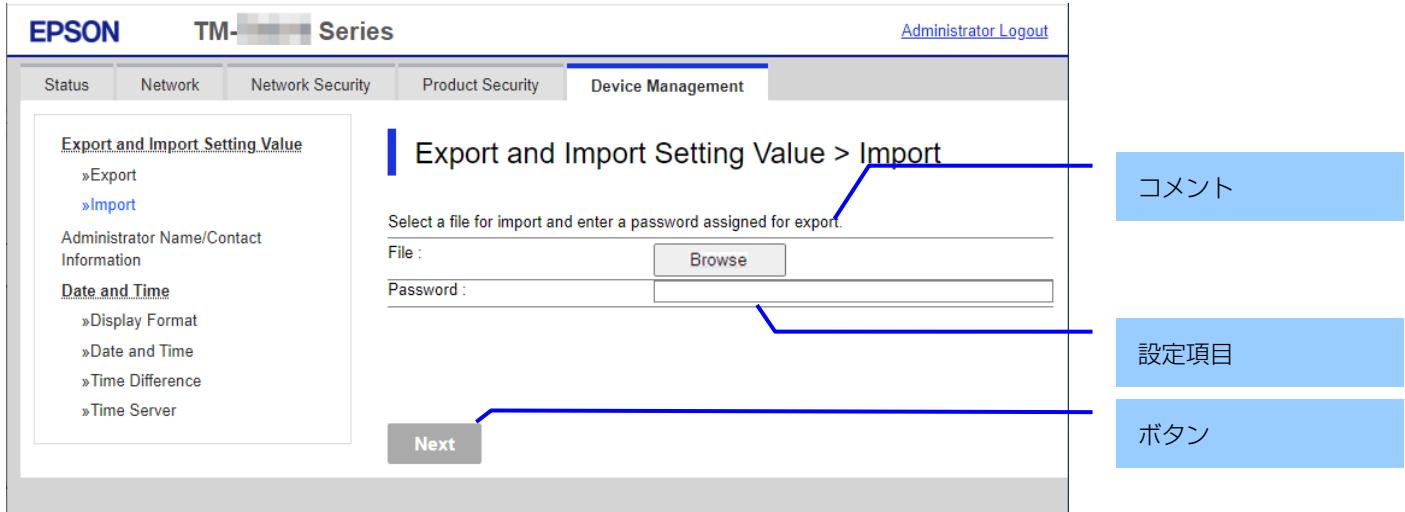


Figure 10-61 トップページ

##### 10.5.1.3.1.2 コメント

ページ上部と”次へ”ボタン押下後にコメントを表示する。

Table 10-185 コメント

項目	説明	有効条件
“Select a file for import and enter a password assigned for export.”	ページ上部に表示する。	-
“Sending file. Please wait...”	“Next”ボタンの上に表示する。	“Next”ボタンが押された後のみ表示する。

##### 10.5.1.3.1.3 設定項目

以下の項目の設定が可能である。

Table 10-186 設定項目

項目	説明
“File”	インポートするファイルを指定する。ファイル参照ボタンで指定する。
“Password”	ファイルを復号するためのパスワードを入力する。テキストボックスに0～20byteの範囲で、半角英数字記号（ASCIIの0x20-0x7E）を入力する。入力時の表示はマスクする。

##### 10.5.1.3.1.4 ボタン

ファイルを解析しカテゴリー選択ページを表示するためのボタンを設ける。

Table 10-187 ボタン

項目	説明	有効条件
“Next”	カテゴリー選択ページへ遷移する。ファイル解析に失敗した場合は結果表示ページへ遷移する。ボタン押下後はトップページ内の全項目がグレーアウトする。	インポートファイルが選択されているときのみ有効となる。

"Next"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーポップアップウィンドウを出す。また、エラー時は全項目のグレーアウト、および"ファイルを送信しています。しばらくお待ちください。"のコメント表示は行わない。

**Table 10-188 エラーポップアップ**

項目	説明
"Invalid value below."	テキストボックスの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は1行に1項目表示する。

### 10.5.1.3.2 カテゴリー選択ページ

#### 10.5.1.3.2.1 イメージ図

解析が完了した時点でカテゴリー選択ページに遷移する。カテゴリー選択ページは以下のようになる。

REDACTED Series web interface. The page shows a list of categories to export, with checkboxes for 'All' and specific categories like Network, Basic, and Settings except below. Blue arrows point from the right margin to various UI elements: 'コメント' points to the top header, 'カテゴリー選択' points to the category list, '機体固有設定選択' points to the 'Basic' checkboxes under Network, and 'ボタン' points to the 'Export' button."/>

EPSON TM-REDACTED Series

Status Network Network Security Product Security Device Management Administrator Logout

Export and Import Setting Value  
»Export  
»Import

Administrator Name/Contact Information

Date and Time  
»Display Format  
»Date and Time  
»Time Difference  
»Time Server

Select check box(es) of category to export.

All

- Network
- Basic
- Settings except below
- Device Name
- Location
- Obtain IP Address, IP Address, Subnet Mask, and Default Gateway
- IPv6 Address and IPv6 Address Default Gateway
- Wired LAN
- Network Security
- Protocol
- Settings except below
- Bonjour Service Name
- SSL/TLS
- Basic
- Certificate
- IPsec/IP Filtering
- Basic

Export

**Figure 10-62 カテゴリー選択ページ**

#### 10.5.1.3.2.2 コメント

以下のコメントを記載する。

**Table 10-189 コメント**

コメント	説明	有効条件
"Select check box(es) of category to import."	カテゴリー選択の上部に表示する。	-
"The symbols indicate as follows: !: Some items in a category cannot be imported."	カテゴリー選択の上部に表示する。	-

### 10.5.1.3.2.3 カテゴリー選択

選択できるカテゴリーは“エクスポート/インポートカテゴリー”で示したカテゴリーであり、ページ表示時は全カテゴリーが未チェック状態となっている。インポートページでの表示については以下のような特徴がある。

**Table 10-190 インポートカテゴリーの特徴**

カテゴリー	特徴
All Categories	<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートするファイルに設定が含まれてないカテゴリーはグレーアウトする。</li> <li>カテゴリー内の一部の設定がインポートされない場合はカテゴリーの前に“!”を表示し選択可能にする。</li> </ul>
Device Name	<ul style="list-style-type: none"> <li>“Enable to select the individual settings of device”が未チェック時はグレーアウトし選択不可。</li> <li>インポートファイルに設定情報が含まれていない場合は、グレーアウト状態で表示する。</li> </ul>
Location	<ul style="list-style-type: none"> <li>“Enable to select the individual settings of device”が未チェック時はグレーアウトし選択不可。</li> <li>インポートファイルに設定情報が含まれていない場合は、グレーアウト状態で表示する。</li> </ul>
Obtain IP Address, IP Address, Subnet Mask, Default Gateway	<ul style="list-style-type: none"> <li>“Enable to select the individual settings of device”が未チェック時はグレーアウトし選択不可。</li> <li>インポートファイルの“Obtain IP Address”が“Auto”的ときは表示しない。</li> <li>インポートファイルに設定情報が含まれていない場合は、グレーアウト状態で表示する。</li> </ul>
IPv6 Address, IPv6 Address Default Gateway	<ul style="list-style-type: none"> <li>“Enable to select the individual settings of device”が未チェック時はグレーアウトし選択不可。</li> <li>インポートファイルに設定情報が含まれていない場合は、グレーアウト状態で表示する。</li> </ul>
Network Security Settings > SSL/TLS > Certificate	<ul style="list-style-type: none"> <li>“Enable to select the individual settings of device”が未チェック時はグレーアウトし選択不可。</li> <li>インポートファイルに設定情報が含まれていない場合は、グレーアウト状態で表示する。</li> </ul>
Network Security Settings > IPsec/IP Filtering > Client Certificate Settings	<ul style="list-style-type: none"> <li>“Enable to select the individual settings of device”が未チェック時はグレーアウトし選択不可。</li> <li>インポートファイルに設定情報が含まれていない場合は、グレーアウト状態で表示する。</li> </ul>
Network Security Settings > IEEE802.1X > Client Certificate Settings	<ul style="list-style-type: none"> <li>“Enable to select the individual settings of device”が未チェック時はグレーアウトし選択不可。</li> <li>インポートファイルに設定情報が含まれていない場合は、グレーアウト状態で表示する。</li> </ul>
Bonjour Service Name	
SSID and Password	
Network Settings > LDAP	Kerberos 設定が LDAP サーバーに含まれている機種から、Kerberos 設定と LDAP 設定が独立している機種にインポートするときは、Kerberos 設定 1 に Kerberos の設定がインポートされる。逆のインポートでは Kerberos 設定 1 の値がインポートされる。
Network Settings > Kerberos	
Network Security Settings > IPsec/IP Filtering > Basic	設定項目が少ない機種からのインポート時は、設定に不足している項目はデフォルト値が設定される。 セキュリティプロトコルの違いや、IKE バージョンの違いでグレーアウトされてたり非表示になっている項目については上書きされない。
Network Security Settings > IEEE802.1X > Basic	本カテゴリーの設定項目が不足している場合や、設定値が未対応の値の場合は、インポートは行わず設定前の値のままする。
Network Security Settings > S/MIME > Certificate	メールサーバー設定と連動するため、機種固有設定には含めない。
Product Security > Password Encryption	ソフトウェア暗号化が有効になっている機種でのみ表示する。

### 10.5.1.3.2.4 機体固有設定選択

機体固有のカテゴリーを選択できるようにする項目を設ける。

**Table 10-191 機体固有設定選択**

項目	説明	有効条件
“Enable to select the individual settings of device”	チェックを入れることで、“エクスポート/インポートカテゴリー”で示した機体固有設定のカテゴリーをチェックできるようになる。	インポートするファイルに機体固有設定が含まれていない場合はグレーアウトする。

#### 10.5.1.3.2.5 ボタン

入力確認ページ、あるいはトップページに遷移するためのボタンを設ける。

**Table 10-192 ボタン**

項目	説明
"Next"	<p>入力確認ページへ遷移する。</p> <p>S/MIME サポート機種で、S/MIME の証明書とメールサーバー設定を同時に選択しないときは、以下のポップアップを表示する。  <i>" - You need to select both S/MIME certificate and email server setting. The S/MIME signature setting becomes automatically [Do not add signature] and S/MIME certificate is deleted. Do you want to continue?"</i></p> <p>ただし、メールサーバー設定の送信元アドレスと署名用証明書のアドレスが不整合にならない設定の場合は、実際には証明書は削除されない。</p> <p>ただし、クライアント証明書のみインポートされる場合は、不整合が起きるものとして、処理する。</p>
"Back"	トップページに遷移する。

"Next"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーpopupアップウィンドウを表示する。

**Table 10-193 エラーpopupアップ**

項目	説明
"Select at least one category."	カテゴリーが選択されていない場合に表示する。

**Table 10-194 ポップアップ**

項目	説明
"By using the firmware, you agree to the End User License Agreement. FOR USERS IN THE UNITED STATES, YOU AGREE TO IMPORTANT LEGAL TERMS AND CONDITIONS, INCLUDING A CLASS ACTION WAIVER AND ARBITRATION. PLEASE READ CAREFULLY: <a href="https://support.epson.net/eula/Agree?">https://support.epson.net/eula/Agree?</a> "	自動ファームウェアアップデートのチェックが入っている場合に表示される。

### 10.5.1.3.3 入力確認ページ

#### 10.5.1.3.3.1 イメージ図

カテゴリー選択ページで“次へ”ボタン押下後、入力された設定値を確認するための入力確認ページに遷移する。

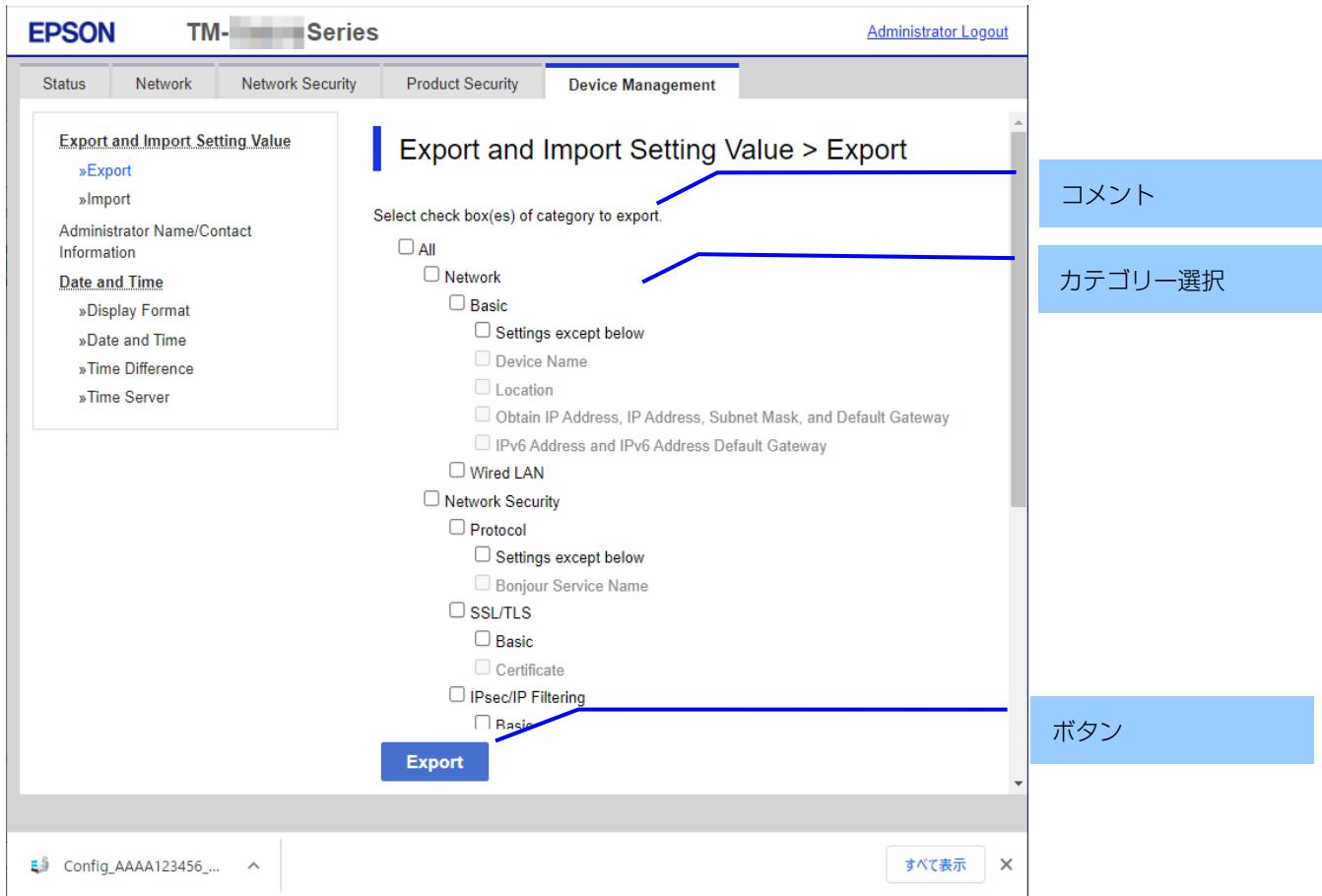


Figure 10-63 入力確認ページ

#### 10.5.1.3.3.2 コメント

以下のコメントを記載する。

Table 10-195 コメント

コメント	説明	有効条件
"The symbols indicate as follows: ": Some items in a category cannot be imported."	カテゴリー選択の上部に表示する。	-
" Communication will be shut down temporarily to enable the new settings. You cannot access the network immediately after the settings are changed."	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。	-

#### 10.5.1.3.3.3 カテゴリー確認

前のページで入力されたカテゴリー情報が表示される。前ページで選択されなかったカテゴリーはグレーアウトして表示される。

#### 10.5.1.3.3.4 ボタン

入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-196 ボタン

項目	説明
"OK"	結果表示ページへ遷移する。
"Back"	カテゴリー選択ページへ遷移する。

#### 10.5.1.3.4 結果表示ページ

##### 10.5.1.3.4.1 結果表示

設定結果に応じて以下のように表示する。

Table 10-197 結果表示

項目	説明
"Shutting down." "Restarting communication may take a few minutes." "If you want to change the settings, close the Web Config and check your IP address. Then enter your IP address in the browser to restart the Web Config."	成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)
"Setup complete."	成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生しない。)
"Setup failed."	失敗の場合に表示する。インポートファイルが変更された状態でインポートしようとした時も表示される。製品が割り込みモード中の時も失敗する。
"Loading file failed." "Check if the file and password are correct and then import the file again."	インポート トップページで指定したファイルが異常、あるいはパスワードが違っている場合に表示する。

## 10.5.2 ファームウェアアップデート- Firmware Update

### 10.5.2.1 トップページ

#### 10.5.2.1.1 イメージ図

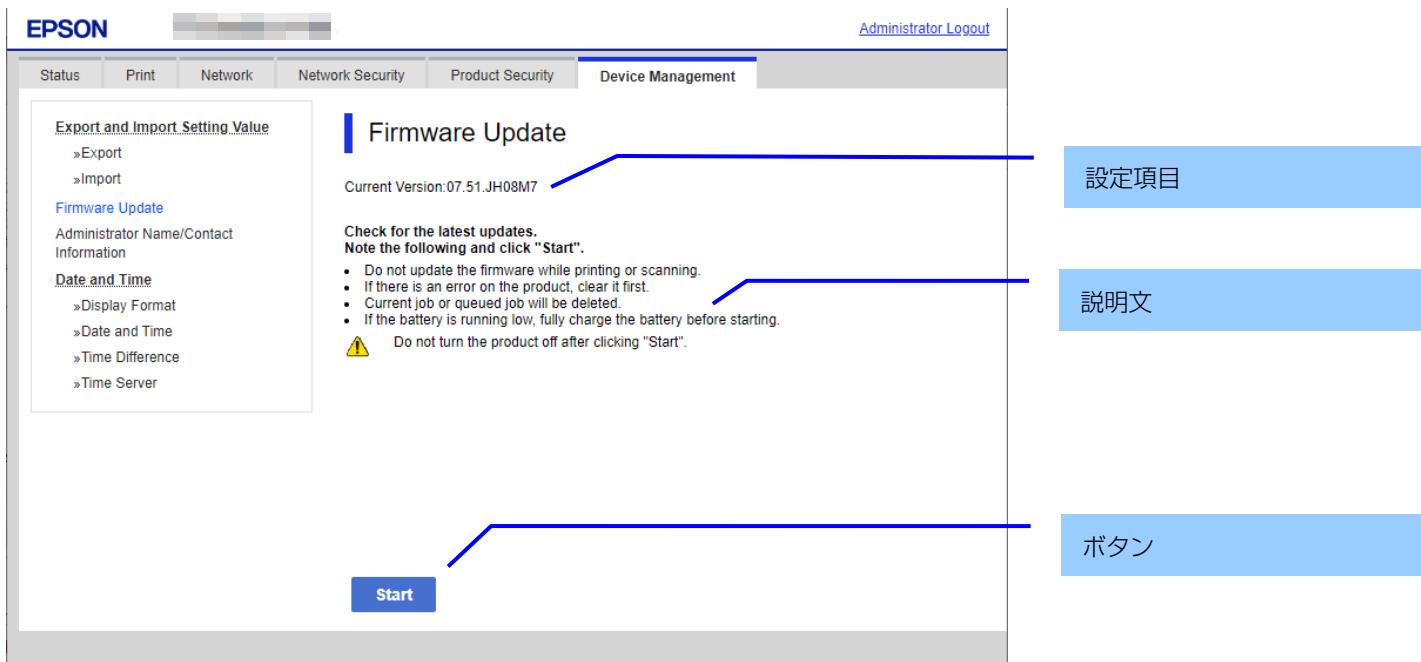


Figure 10-64 トップページ – Top page

#### 10.5.2.1.2 表示項目

Table 10-198 表示項目

項目	説明
“現在のバージョン”	12 文字以下の ASCII 文字列。 XX.YY.ZZZZZZ -XX: Linux Kernel バージョン -YY: Linux Appli バージョン -ZZZZZZ: Main バージョン

#### 10.5.2.1.3 設定項目

Table 10-199 設定項目

コメント	説明	有効条件
“新しいファームウェアが公開されているか確認します。” “以下に注意して [確認開始] を押してください。”	固定文字列	-
“・印刷やスキャンをしているときは、開始しないでください。”	固定文字列	-
“・エラーが表示されているときは解除してください。”	固定文字列	-
“・ロール紙が挿入されているときは取り外してください。”	固定文字列	ロール紙給紙サポート機種のみ表示する。
“・実行中や実行待ちのジョブは破棄されます。”	固定文字列	-
“確認開始後は電源を切らないでください。”	固定文字列 文字列の前に ! マークアイコンを表示する。	-
“AC アダプターが接続されていないときは接続してください。”	固定文字列	バッテリー機能搭載機種のみ表示する。

#### 10.5.2.1.4 ボタン

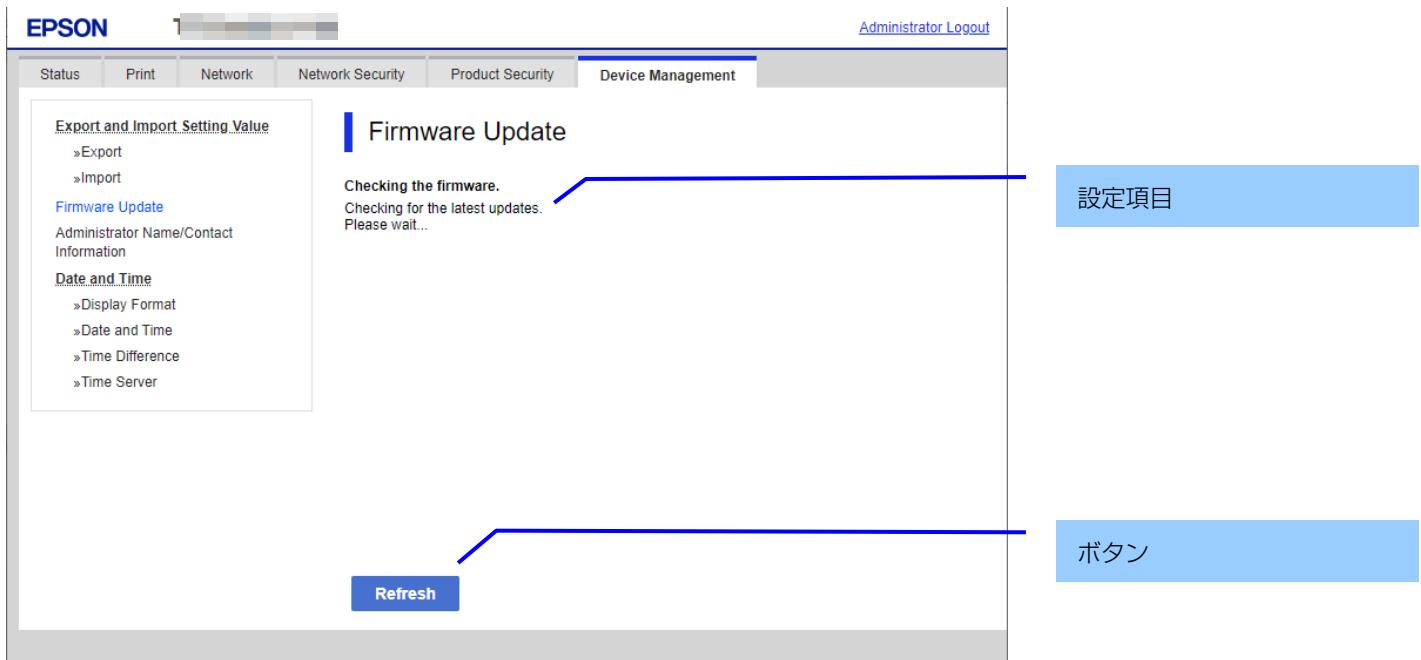
**Table 10-200 ボタン**

項目	説明
“確認開始”	ファームウェア確認中ページに遷移する。

#### 10.5.2.2 ファームウェア確認中ページ – **Firmware search process page**

ファームウェアアップデートトップページの確認開始ボタンを押下することによって、以下のファームウェア確認中ページに遷移する。

##### 10.5.2.2.1 イメージ図



**Figure 10-65 ファームウェア確認中ページ**

#### 10.5.2.2.2 表示項目

**Table 10-201 表示項目**

項目	説明
“ファームウェアを確認しています。” “アップデート可能なファームウェアが公開されているかを確認しています。 確認が終了するまでしばらくお待ちください。”	固定文字列

#### 10.5.2.2.3 ボタン

**Table 10-202 ボタン**

項目	説明
“最新の状態へ更新”	実行中ページ最下部にボタンを設ける。 押下するとページを最新の状態へ更新する。

### 10.5.2.3 アップデート前確認ページ – Before update confirm page

アップデート可能なファームウェアが見つかった場合、以下のアップデート前確認ページに遷移する。

#### 10.5.2.3.1 イメージ図

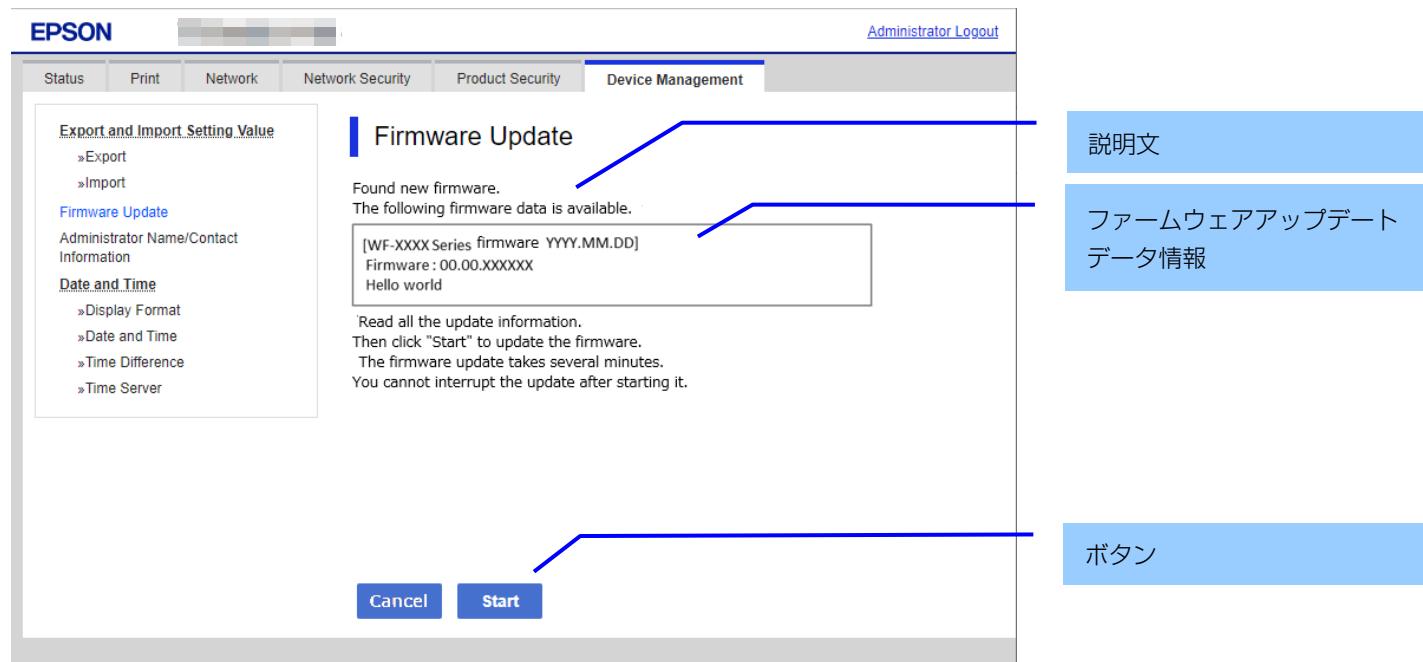


Figure 10-66 アップデート前確認ページ – Before update confirm page

#### 10.5.2.3.2 説明文

Table 10-203 説明文

項目	説明
“新しいファームウェアが見つかりました。” “以下のファームウェアデータが公開されています。”	固定文字列
“アップデート内容を確認する場合は、以下の URL にアクセスしてください。” “ <a href="https://epson.sn/eui/">https://epson.sn/eui/</a> ”	固定文字列。ファームウェアアップデートデータ情報の下に表示される。RED 準拠プリンターでのみ表示。URL はリンクで表示する。
“アップデートの内容を最後までお読みの上、 ファームウェアのアップデートを行う場合は、[開始]を押してください。” “アップデート処理は数分かかります。 一旦開始すると中断できません。”	固定文字列
“ファームウェアをご使用することで、エンドユーザーライセンス契約に合意することになります。米国在住のお客様は集団訴訟放棄・仲裁合意条項を含む重要な契約条件に合意することになります。注意してお読みください: <a href="https://support.epson.net/eula/">https://support.epson.net/eula/</a> ”	EULA 説明文
“同意する”	チェックボックス。本チェックボックスにチェックを入れると“開始”のボタンが有効になる。（未チェック状態の時は“開始ボタン”はグレーアウト）

#### 10.5.2.3.3 ファームウェアアップデートデータ情報

Table 10-204 ファームウェアアップデートデータ情報

項目	説明
機種名とファームウェアアップデートファイル公開日	10 文字以下の ASCII 文字列。 YYYY.MM.DD
ファームウェアアップデートファイルバージョン	12 文字以下の ASCII 文字列。 XX.YY.ZZZZZ -XX: Linux Kernel バージョン -YY: Linux Appli バージョン -ZZZZZ: Main バージョン
ファームウェアアップデートデータ説明文	1024Byte 以下の UTF-8 文字列。

#### 10.5.2.3.4 ボタン

Table 10-205 ボタン

項目	説明
“中止”	ファームウェアアップデートを中止する。
“開始”	ファームウェアアップデートを開始する。

#### 10.5.2.4 キャンセル中ページ – Cancel process Page

##### 10.5.2.4.1 イメージ図

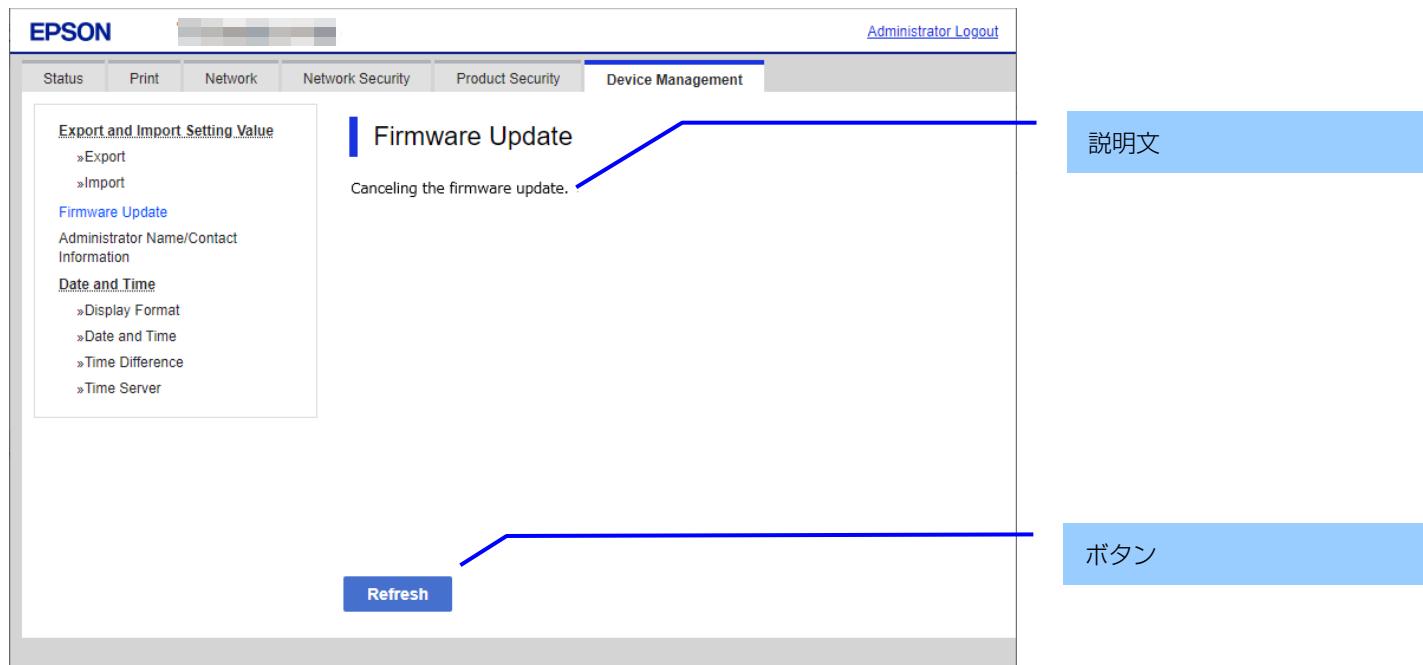


Figure 10-67 キャンセル中ページ – Cancel process Page

##### 10.5.2.4.2 説明文

Table 10-206 説明文

項目	説明
“ファームウェアのアップデート処理を中止しています。”	固定文字列

##### 10.5.2.4.3 ボタン

Table 10-207 ボタン

項目	説明
“最新の状態へ更新”	実行中ページ最下部にボタンを設ける。 押下するとページを最新の状態へ更新する。

## 10.5.2.5 結果表示ページ – Result page

### 10.5.2.5.1 イメージ図

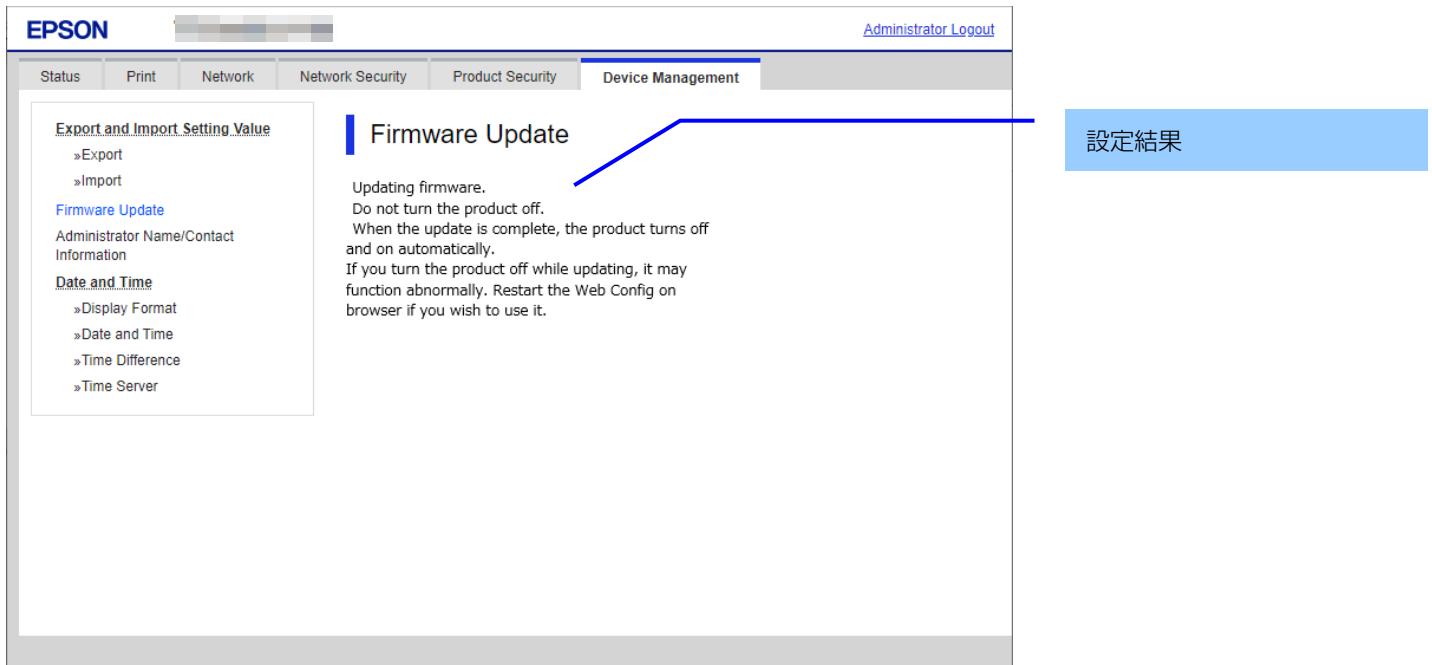


Figure 10-68 結果表示ページ – Result page

### 10.5.2.5.2 設定結果

Table 10-208 設定結果

項目	説明
"アップデート処理を開始しました。"	正常にアップデート処理を開始した場合に表示する。
"アップデート中は電源を切らないでください。"	"アップデート中は電源を切らないでください。"の先頭に、！マークアイコンを表示する。
"AC アダプターを抜かないでください。"	"AC アダプターを抜かないでください。"は、バッテリー機能搭載機種でのみ表示する。
"アップデート中に製品の電源を切ると正常に起動できなくなります。 アップデートが終了すると、製品は自動で再起動します。 引き続き Web Config を使用するときは、ブラウザーを再起動してください。"	
"ファームウェアのアップデートを中止しました。"	正常に中止処理が完了した場合に表示する。
"お使いの製品のファームウェアは最新です。"	ファームウェアが最新である場合に表示する。
"エプソンのサーバーに接続できません。"	Epson サーバーに接続不可能な状態の場合に表示する。 文字列の前に×マークアイコンを表示する。
"ファームウェアアップデートを実行できません。" "・印刷やスキャンをしているときは終了してください。" "・ロール紙が挿入されているときは取り外してください。" "・パネルに警告やエラーが表示されているときはエラーを解除してください。" "※インクパックを含む消耗品等のエラーが発生している可能性もあります。" "AC アダプターが接続されていないときは接続してください。" "外部メモリーを取り出してください。" "上記の対応を行ってから一旦終了し、再度実行してください。 それでもエラーが表示されるときは、ブラウザーを再起動してください。"	ファームウェアアップデートが実行できない状態の場合に表示する。 "ファームウェアアップデートを実行できません。"の先頭に×マークアイコンを表示する。 "・ロール紙が挿入されているときは取り外してください。"はロール紙給紙サポート機種のみ表示する。 "AC アダプターが接続されていないときは接続してください。"はバッテリー機能搭載機種のみ表示する。

“処理を実行できませんでした。”

“他のコンピュータから処理が行われている可能性があります。”

他のコンピュータから処理が行われていて処理が実行できなか  
った場合に表示。

“処理を実行できませんでした。”の先頭に×マークアイコンを表  
示する。

### 10.5.3 管理者名/連絡先 – Administrator Name / Contact Information

管理者連絡先では、連絡先を設定変更できる。

#### 10.5.3.1 トップページ

##### 10.5.3.1.1 イメージ図

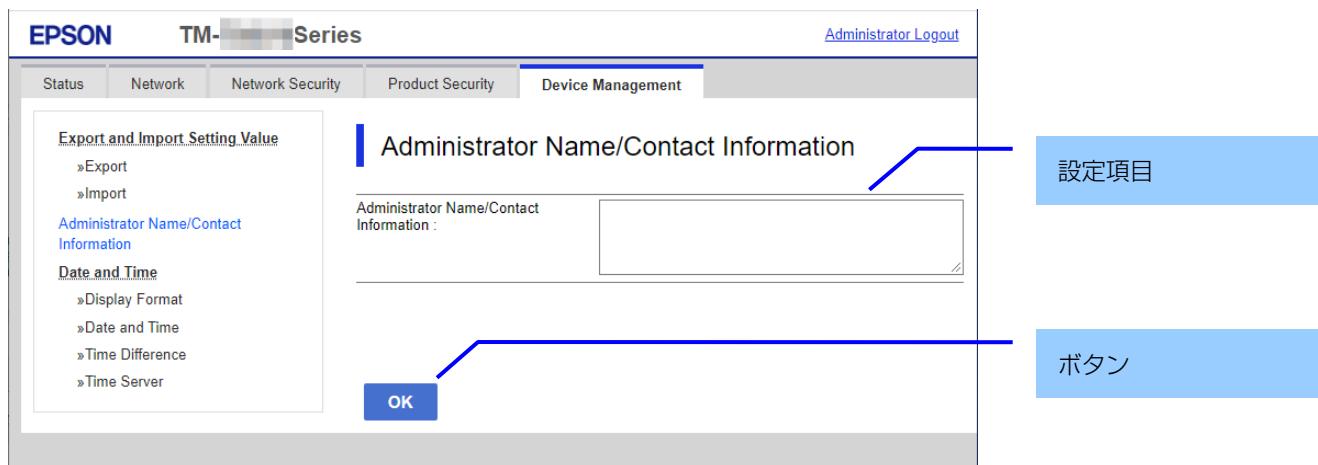


Figure 10-69 管理者連絡先設定 - Contact Information Settings

#### 10.5.3.1.2 設定項目

以下に連絡先設定の項目について記載する。

Table 10-209 管理者連絡先設定 設定項目

項目	説明
"Administrator Name/Contact Information"	UTF-8 0～255Byte。

#### 10.5.3.1.3 ボタン

管理者パスワード設定項目の入力値を反映するためのボタンを設ける。

Table 10-210 管理者連絡先設定ボタン

項目	説明
"OK"	メインフレームのページ最下部にボタンを設ける。

#### 10.5.3.2 結果表示

設定ボタンが押された後で、入力値に誤りがあればエラーポップアップウィンドウを表示し、誤りがなければ設定結果を表示するページに遷移する。

#### 10.5.3.2.1 結果表示

Table 10-211 管理者連絡先設定 結果表示

項目	説明
"Setup complete."	正常に設定が終了した場合に表示する。
"Setup failed."	設定失敗時に表示する。
"Invalid value below." " – Administrator Name/Contact Information"	テキストボックスへの入力値が異常な場合にエラーポップアップウィンドウで表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は1行に1項目表示する。

## 10.5.4 日付/時刻 - Date and Time

日付時刻・タイムサーバー設定では、日付や時刻の設定や、NTP サーバーに関する設定ができる。本設定のメニューでは、以下のサブメニューをサポートする。

**Table 10-212** 日付時刻・タイムサーバー設定のサブメニュー

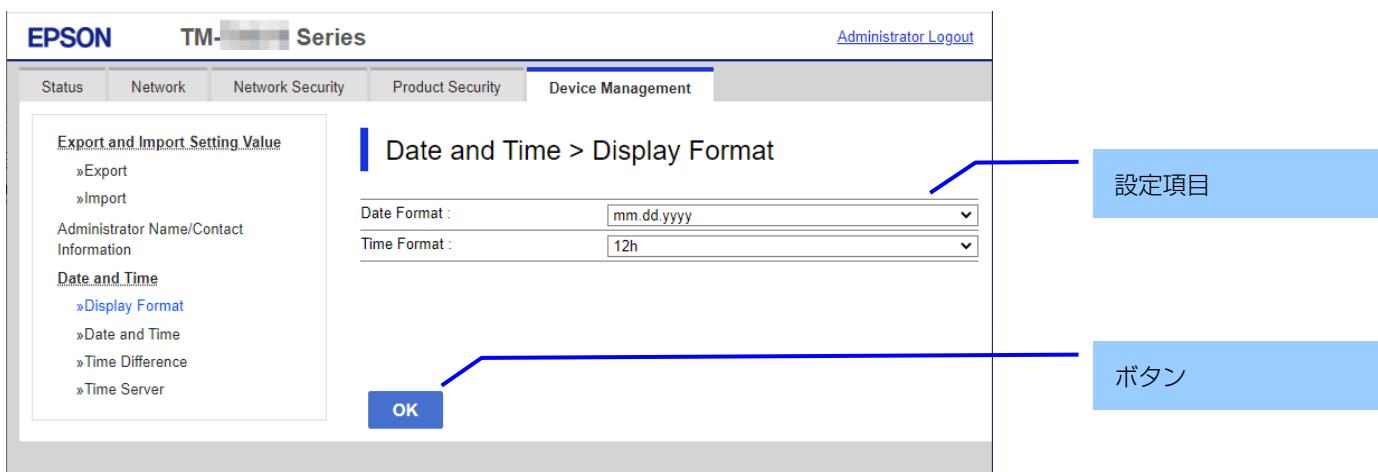
サブメニュー - Sub menu	有効条件
“Display Format”	-
“Date and Time”	-
“Time Difference”	-
“Time Server”	NTP 対応機種のみ表示する。

### 10.5.4.1 表示形式- Display Format

以下に日付時刻の表示形式設定の画面イメージを示す。

#### 10.5.4.1.1 トップページ

##### 10.5.4.1.1.1 イメージ図



**Figure 10-70** 表示形式設定 - Display Format Settings

##### 10.5.4.1.1.2 設定項目

**Table 10-213** 表示形式設定 設定項目

項目	説明
“Date Format”	以下の 3 種類の表示形式をドロップダウンリストで切り替えを可能にする。 “年.月.日”“yyyy.mm.dd” 日付を yyyy.mm.dd 形式の表示に切り替える。 “月.日.年”“mm.dd.yyyy” 日付を mm.dd.yyyy 形式の表示に切り替える。 “日.月.年”“dd.mm.yyyy” 日付を dd.mm.yyyy 形式の表示に切り替える。
“Time Format”	以下の表示切り替えを可能にする。 “12h” / “24h”

##### 10.5.4.1.1.3 ボタン

表示形式を設定するためのボタンを設ける。

**Table 10-214** ボタン

項目	説明
“OK”	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。

#### 10.5.4.1.2 結果表示

設定ボタンが押された際、メインフレームのページが切り替わり以下の結果を表示する。

##### 10.5.4.1.2.1 イメージ図

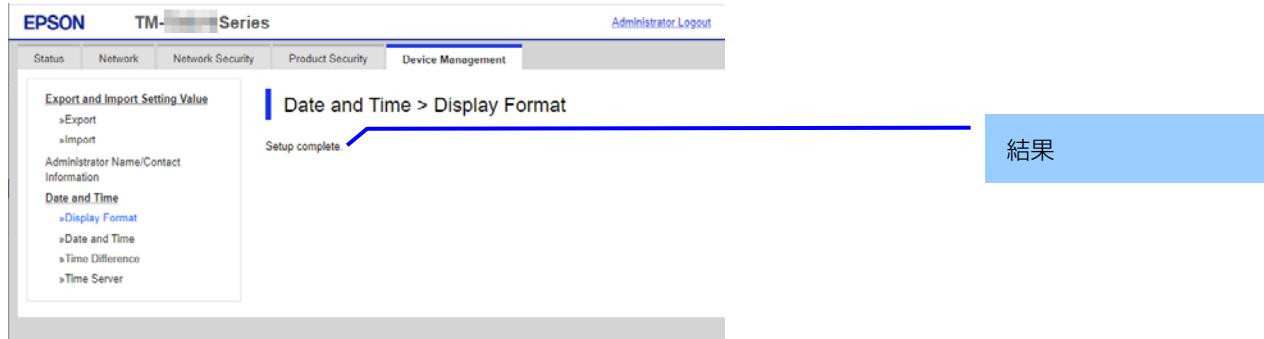


Figure 10-71 結果表示

##### 10.5.4.1.2.2 結果表示

Table 10-215 結果

項目	説明
"Setup complete"	設定成功時に表示する。
"Setup failed"	設定失敗時に表示する。

## 10.5.4.2 日付時刻- Date and Time

### 10.5.4.2.1 トップページ

#### 10.5.4.2.1.1 イメージ図

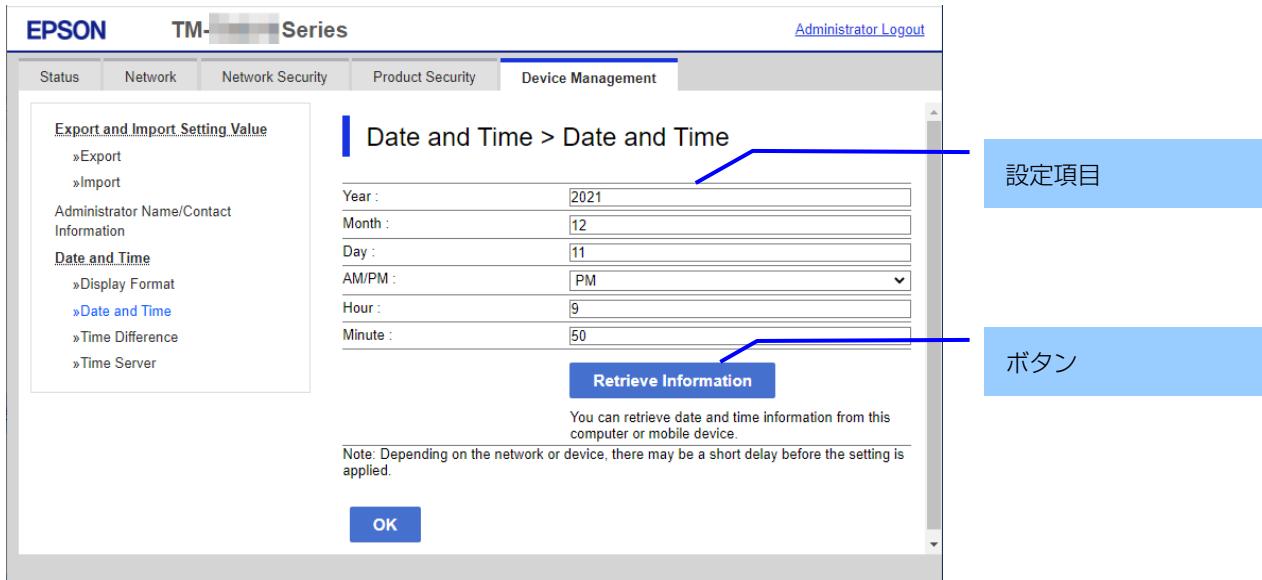


Figure 10-72 日付時刻設定 - Date and Time settings

#### 10.5.4.2.1.2 設定項目

以下に日付時刻設定の項目について記載する。

Table 10-216 設定項目

項目	説明	有効条件
"Year"	西暦で年を数値で入力できるテキストボックス。数字4桁(20XX-2099)。XXは発売年度と同じ値が入る。	-
"Month"	月を数値で入力できるテキストボックス。(1-12)	-
"Day"	日を数値で入力できるテキストボックス。(1-31)	-
"AM/PM"	以下のドロップダウンリストで切り替えを可能にする。 "AM" / "PM"	時刻表示形式が24hに指定されている時のみ
"Hour"	時間を数値で入力できるテキストボックス。 時刻表示形式が24h設定の場合:(0-23) 時刻表示形式が12h設定の場合:(0-11)	-
"Minute"	分を数値で入力できるテキストボックス。(0-59)	-
"You can retrieve date and time information from this computer or mobile device."	"Retrieve Information" ボタンの説明	
"Note: Depending on the network or device, there may be a short delay before the setting is applied."	固定の注意メッセージ	-

#### 10.5.4.2.1.3 ボタン

日付時刻を設定するためのボタンを設ける。

Table 10-217 ボタン

項目	説明
"Retrieve Information"	JavaScriptでコンピュータからデータを取得するためのボタン。設定項目「分」の下にボタンを設ける。
"OK"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。

設定ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-218 エラー ポップアップ

項目	説明
"Invalid value below." "-Year""-Month""-Day""-Hour""-Minute"	入力された"年""月""日""時""分"の値が、入力規則と間違っている場合に表示する。 但し、「日」の入力チェックについて、「年」または「月」の情報が無い場合、「日」が何日まで存在するかわからないので、入力チェックは実施しない。

#### 10.5.4.2.2 結果表示

設定ボタンが押された際、メインフレームのページが切り替わり以下の結果を表示する。

##### 10.5.4.2.2.1 イメージ図

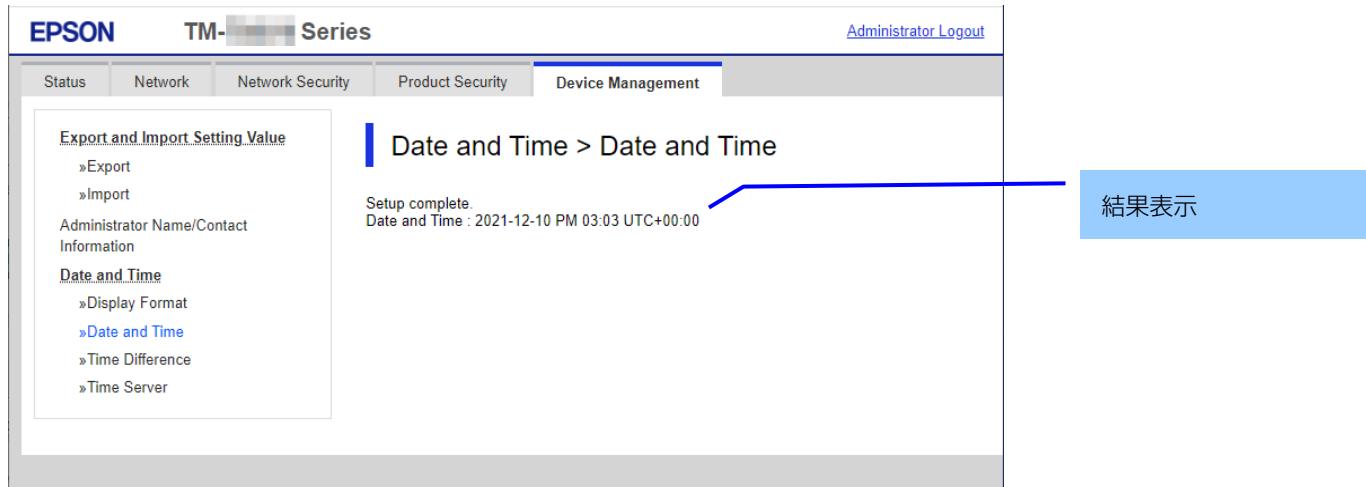


Figure 10-73 結果表示

##### 10.5.4.2.2.2 結果表示

設定結果は以下のように表示する。

Table 10-219 結果表示

項目	説明	有効条件
"Setup complete"	設定成功時に表示する。	-
"Setup failed"	設定失敗時に表示する。	-
"Date and Time"	現在の日付時刻を設定されている表示形式で表示する。	設定成功時

### 10.5.4.3 時差- Time Difference

#### 10.5.4.3.1 トップページ

##### 10.5.4.3.1.1 イメージ図

以下に時差設定の画面イメージを示す。

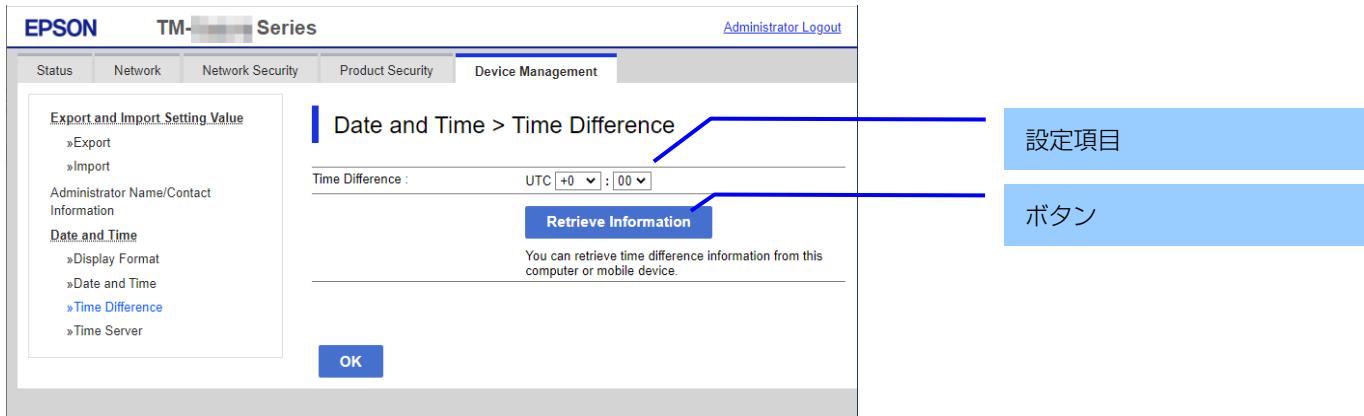


Figure 10-74 時差- Time Difference

#### 10.5.4.3.1.2 設定項目

以下に時差設定の項目について記載する。

Table 10-220 設定項目

項目	説明
"Daylight Saving Time"	サマータイムの指定を以下の仕向けに応じてラジオボタンでの切り替えを可能にする。 <EAI> "Winter" / "Summer" <Euro> "OFF" / "ON" <工販>項目なし
"Time Difference"	(UTC +/-HH:MM)の形式で時分をドロップダウンリストで入力を可能にする。 HH: 「-12」から「+13」を1刻みで選択可能。0は「+0」と「-0」を選択可能。 MM: 「00」、「15」、「30」、「45」を選択可能 [-0:0]を設定した場合は、[+0:0]として表示する。
"You can retrieve time difference information from this computer or mobile device."	"Retrieve Information" ボタンの説明

#### 10.5.4.3.1.3 ボタン

時差設定を反映するためのボタンを設ける。

Table 10-221 ボタン

項目	説明
"Retrieve Information"	JavaScript でコンピュータからデータを取得するためのボタン。設定項目「時差」の下にボタンを設ける。
"OK"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。

#### 10.5.4.3.2 結果表示

設定ボタンが押された際、メインフレームのページが切り替わり以下の結果を表示する。

##### 10.5.4.3.2.1 イメージ図

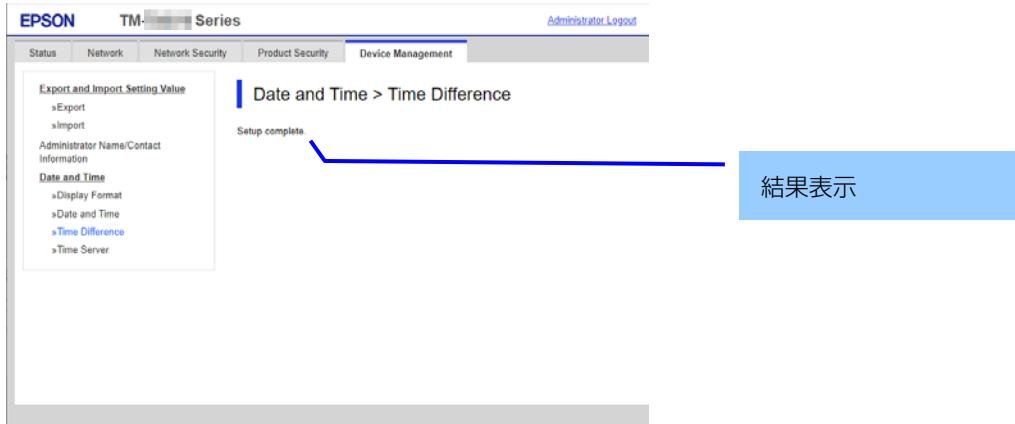


Figure 10-75 結果表示

##### 10.5.4.3.2.2 結果表示

Table 10-222 結果表示

項目	説明
"Setup complete"	設定成功時に表示する。
"Setup failed"	設定失敗時に表示する。

## 10.5.4.4 タイムサーバー- Time Server

### 10.5.4.4.1 トップページ

#### 10.5.4.4.1.1 イメージ図

以下にタイムサーバー設定の画面イメージを示す。

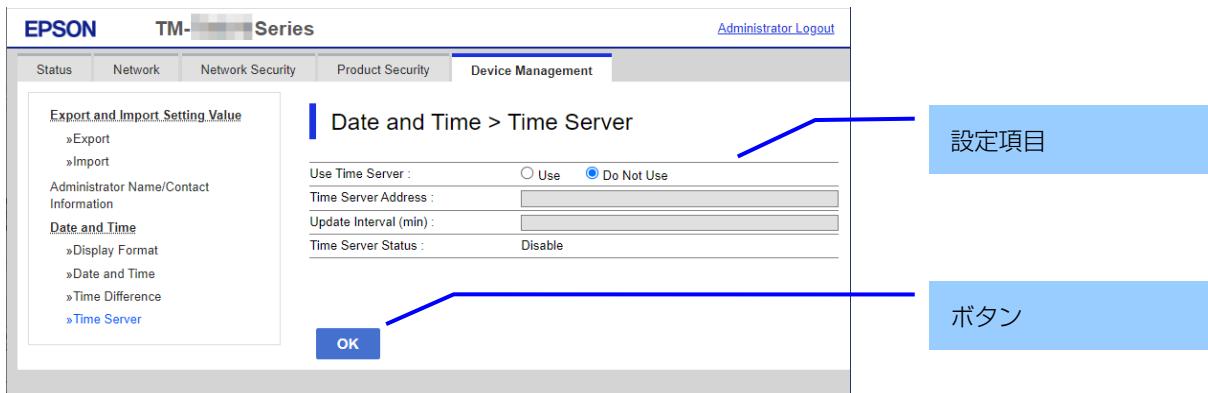


Figure 10-76 タイムサーバー設定 - Time Server settings

#### 10.5.4.4.1.2 設定項目

以下にタイムサーバー設定の項目について記載する。

Table 10-223 タイムサーバー設定 設定項目

項目	説明	有効条件
"Use Time Server"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Use" / "Do Not Use"	-
"Time Server Address"	サーバーのアドレスが設定できるテキストボックスを設ける。最大入力可能文字数は 252 文字 IP アドレス(IPv4/IPv6)、及び FQDN で指定可能	"Use Time Server"が"Use"の時、有効
"Update Interval (min)"	時刻更新の間隔が設定できるテキストボックスを設ける。最大入力可能文字数は 5 文字。(1-10080) 分単位	"Use Time Server"が"Use"の時、有効
"Time Server Status"	タイムサーバーとの接続状態を以下の文字列で示す。 "Completed synchronizing"/"Synchronizing" /"Failed to synchronize" / "Disable"	"Use Time Server"が"Use"の時、有効

#### 10.5.4.4.1.3 ボタン

タイムサーバー設定を反映するためのボタンを設ける。

Table 10-224 ボタン

項目	説明
"OK"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。 ボタンが押されると実行中ページに遷移する。

設定ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-225 エラー ポップアップ

表示項目	説明
"Invalid value below." "-Time Server Address" "-Update Interval(min)"	タイムサーバーアドレスと更新間隔の値が、入力規則と間違っている場合に表示する。

#### 10.5.4.4.2 実行中ページ

設定ボタンを押した際、以下のページを表示する。タイムサーバーへ接続するため、その間、更新ボタンの押下、あるいは定期的にページを更新し、接続の完了もしくは失敗の判定が付くまで本ページを表示する。判定が付くと結果表示ページに遷移する。

##### 10.5.4.4.2.1 イメージ図

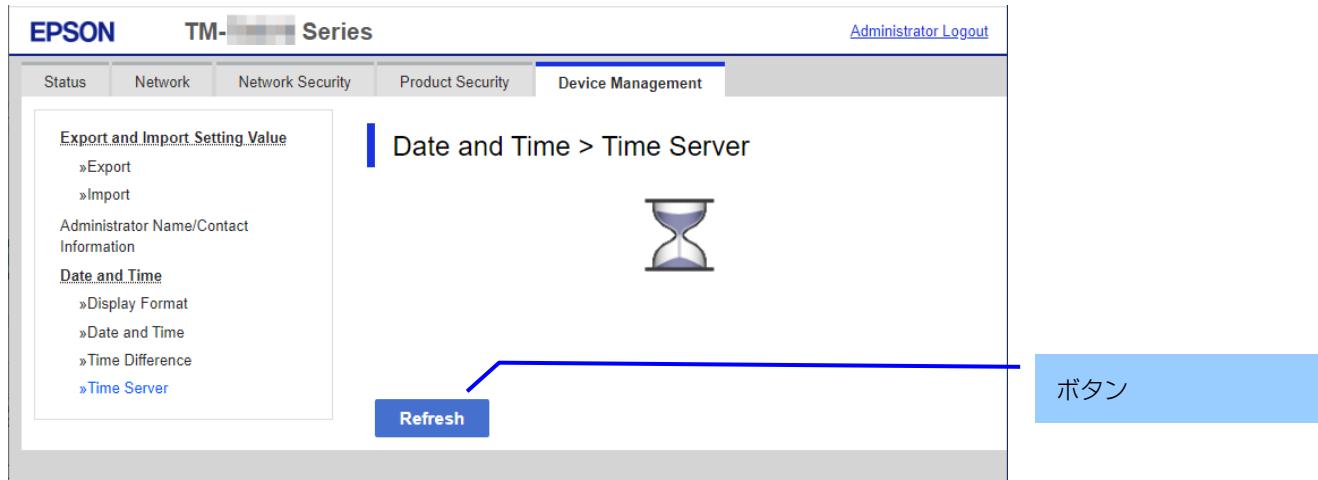


Figure 10-77 実行中ページ

##### 10.5.4.4.2.2 ボタン

Table 10-226 ボタン

表示項目	説明
"Refresh"	実行中ページ最下部にボタンを設ける。

#### 10.5.4.4.3 結果表示

実行中ページからサーバーへの接続が実施され、その結果が判明すると、メインフレームのページが切り替わり以下の結果を表示する。

##### 10.5.4.4.3.1 イメージ図

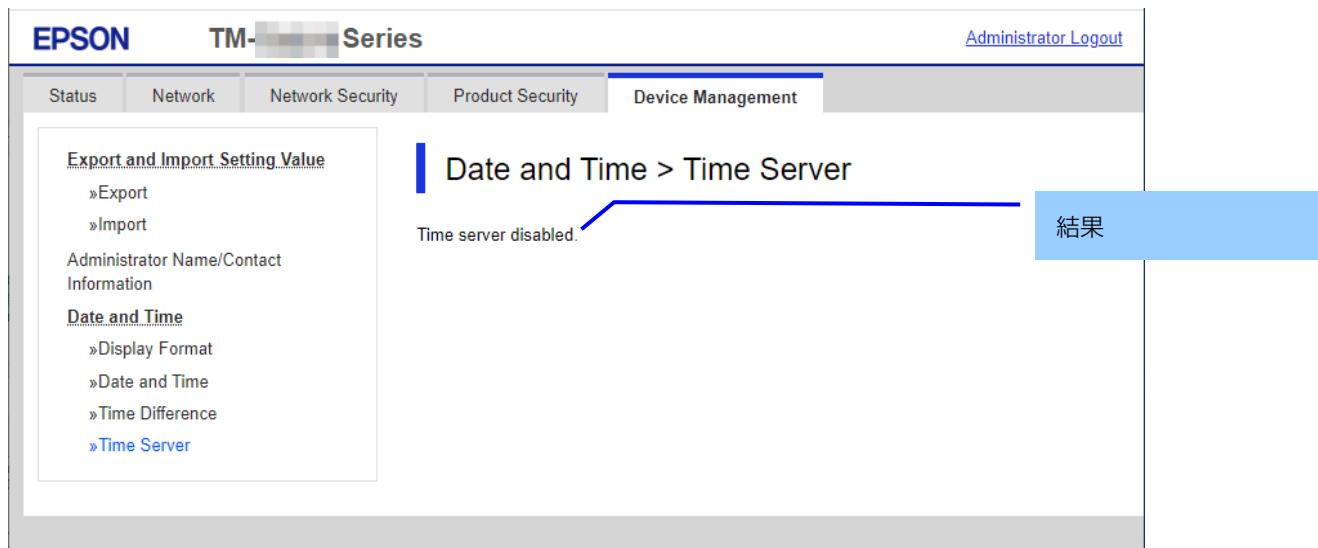


Figure 10-78 結果表示

#### 10.5.4.4.3.2 設定結果

設定結果は以下のように表示する。

Table 10-227 結果

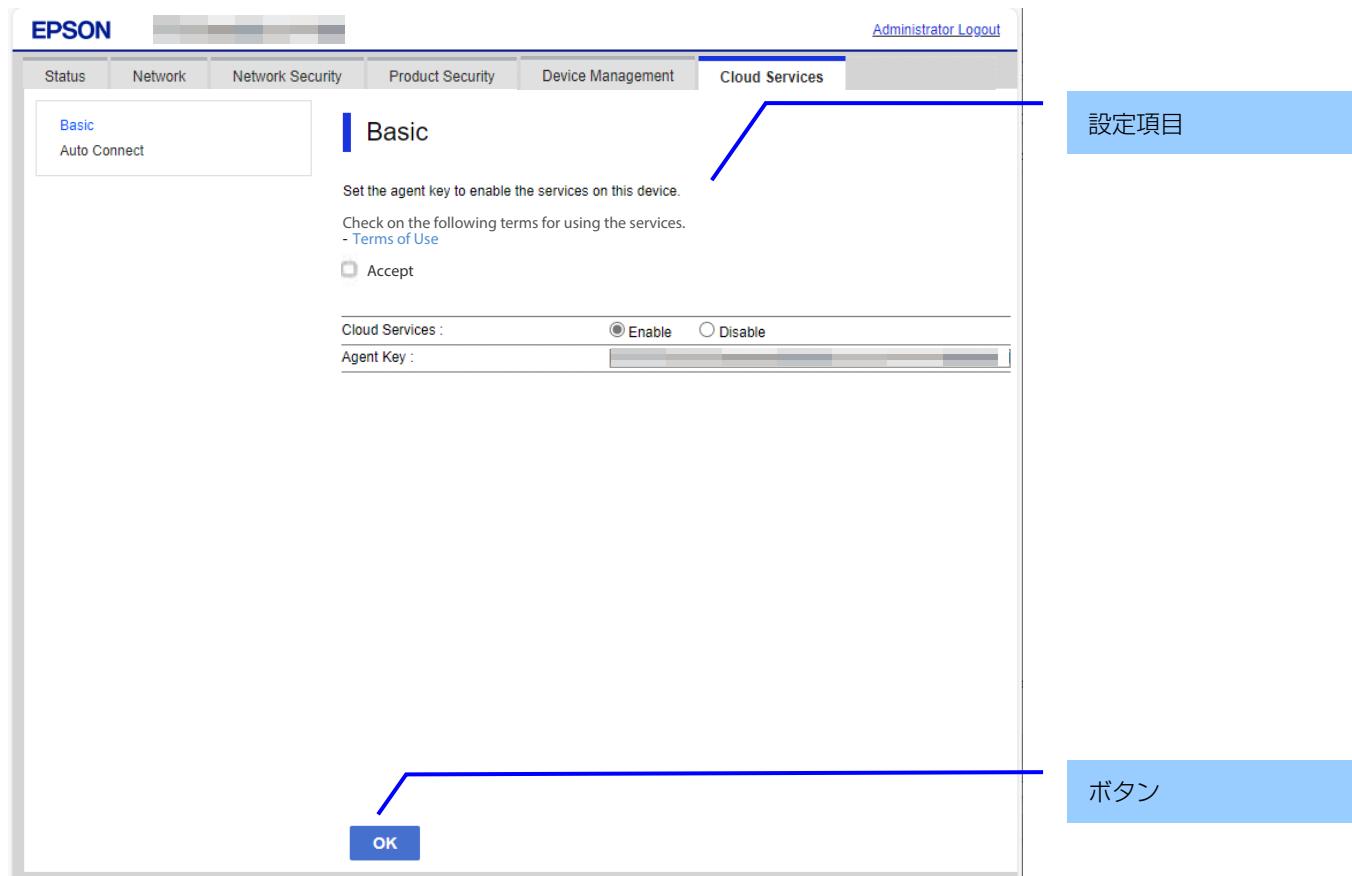
項目	説明	有効条件
"Setup complete"	設定成功時に表示する。	-
"Connection failed" "Check the settings"	接続失敗時に表示する。	-
"Time server disabled"	タイムサーバーの使用を無効にした場合に表示する。	-
"Cannot access the product until processing is complete."	プリンターやスキャナなどの製品がビジーによる設定失敗時に表示する。	-
"Date and Time"	現在の日付時刻を設定されている表示形式で表示する。	設定成功時

## 10.6 クラウドサービス - Cloud Services

### 10.6.1 基本 - Basic

#### 10.6.1.1 トップページ

##### 10.6.1.1.1 イメージ図



#### 10.6.1.1.2 設定項目

Table 10-228 設定項目

項目	説明	有効条件
"Check on the following terms for using the services."	固定文字列	-
"Cloud Services"	クラウドサービスに接続可能か表示する。 "Enable" / "Disable"	-
"Terms of Use"	文字列中の"利用規約"はリンクになっており、クリックすると別窓で <a href="https://pos-cloud-link.epson.com/documents/license.html">https://pos-cloud-link.epson.com/documents/license.html</a>	-
"Accept"	チェックボックス。本チェックボックスにチェックを入れると"OK"のボタンが有効になる。(未チェック状態の時は"OK"はグレーアウト)	-

#### 10.6.1.1.3 ボタン

基本設定を反映するためのボタンを設ける。

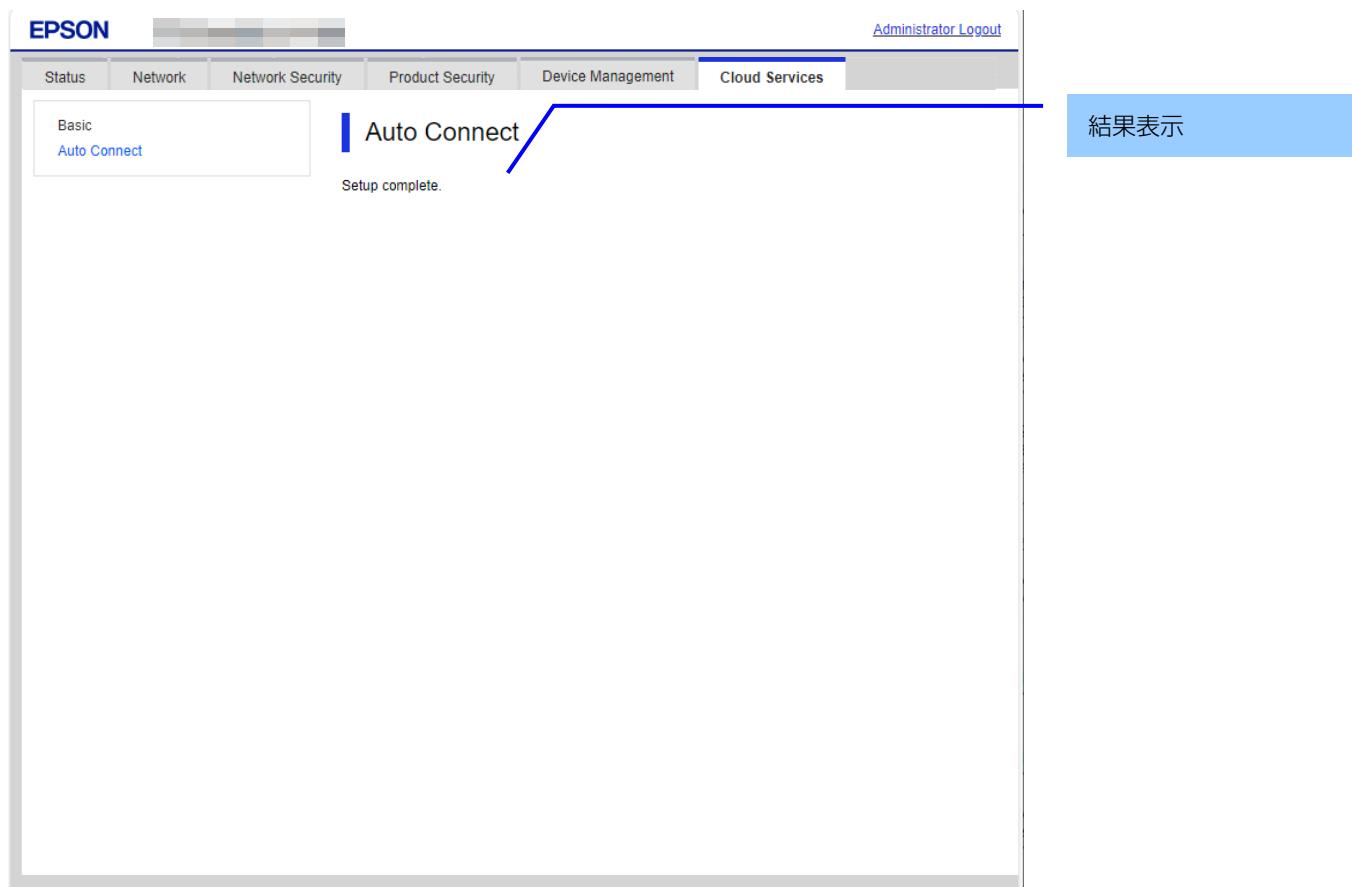
Table 10-229 ボタン

項目	説明
"OK"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。

### 10.6.1.2 結果表示

設定ボタンが押された際、メインフレームのページが切り替わり以下の結果を表示する。

#### 10.6.1.2.1 イメージ図



#### 10.6.1.2.2 結果表示

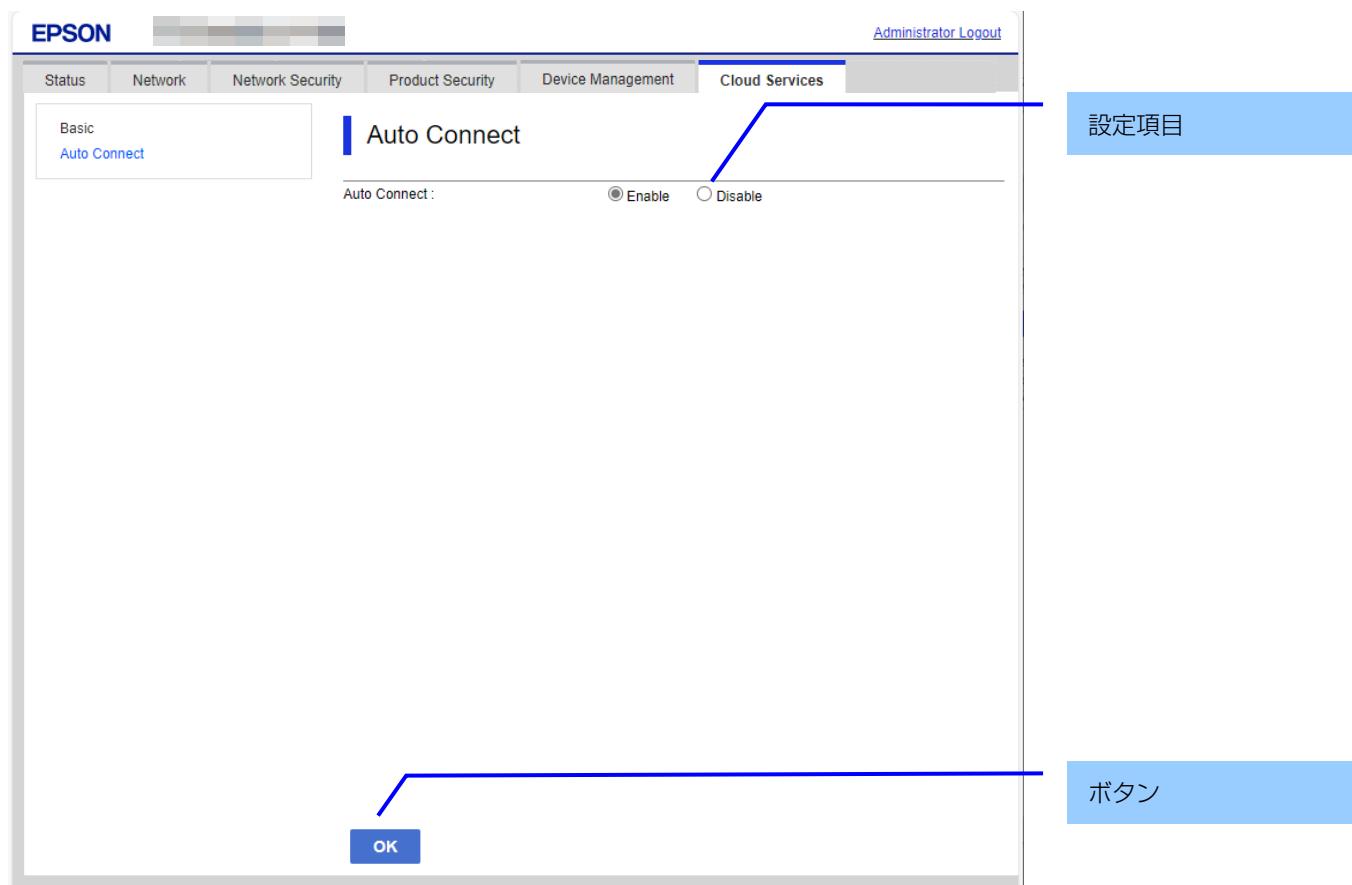
Table 10-230 基本設定 結果表示

項目	説明
"Setup complete."	正常に設定が終了した場合に表示する。
"Setup failed."	設定失敗時に表示する。

## 10.6.2 自動接続 - Auto Connection

### 10.6.2.1 トップページ

#### 10.6.2.1.1 イメージ図



#### 10.6.2.1.2 設定項目

Table 10-231 設定項目

項目	説明	有効条件
"Auto Connect"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "Enable" / "Disable" 初期値は"Enable" "Disable"を選択した場合は、クラウドサービス自動接続が無効となる。	-

#### 10.6.2.1.3 ボタン

基本設定を反映するためのボタンを設ける。

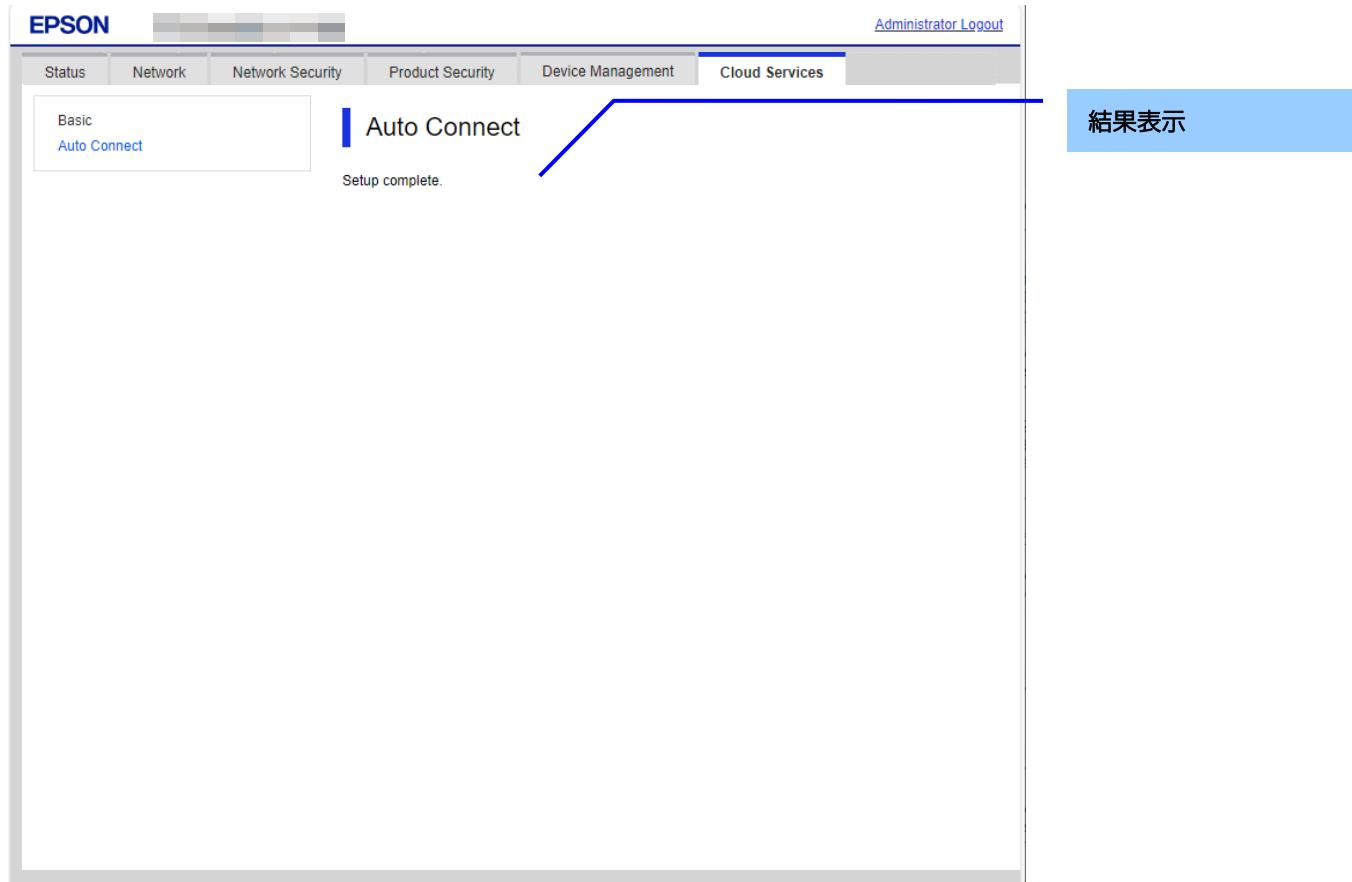
Table 10-232

項目	説明
"OK"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。

## 10.6.2.2 結果表示

“OK”ボタンが押された際、メインフレームのページが切り替わり以下の結果を表示する。

### 10.6.2.2.1 イメージ図



### 10.6.2.2.2 結果表示

Table 10-233 結果表示

項目	説明
“Setup complete”	設定成功時に表示する。
“Setup failed”	設定失敗時に表示する。